

# IPSHU 研究報告シリーズ

研究報告 No. 24

## 原爆手記掲載書・誌一覧

字吹 暁

広島大学図書

September, 1996

0130452726

科学研究センター



広島県東千田町1丁目1番89号

電話 (082) 241-1221 (内線) 3829

# 原爆手記掲載書・誌一覧

広島大学原爆放射能医学研究所

宇吹 暁

広島大学平和科学研究センター

# 目 次

## 原爆手記掲載書・誌一覧解題

はじめに	1
1. 年別出版状況	5
2. 発行主体別出版状況	7
3. 被爆当時の組織	12
4. 被爆者団体	15
5. 被爆者関係施設・団体	20
6. 平和教育関係団体	25
7. 原水爆禁止・反核団体	29
8. 社会団体	29
9. 手記の普及状況	31
10. 執筆者の被爆地別状況	32
11. 掲載書誌数	34
12. 手記（集）出版の動機	35
おわりに	37

## 原爆手記掲載書・誌一覧

## 原爆手記掲載書・誌一覧解題

### はじめに

広島・長崎の原爆被爆から半世紀が過ぎた。この間、史上初めての体験の実相を記録し残す営みは、さまざまな形でなされてきた。

広島高等師範学校教授森滝市郎は、動員学徒を引率して三菱江波造船所（爆心地より4.3キロメートル）で就労中を被爆し、ガラス破片により右眼を失明した。「さいやく記」は、この時から1945年9月9日に郷里の眼科病院に入院するまでの経過を便箋21枚に書き綴った記録である。8月6日より8月14日までは鉛筆書き、15日から9月9日までは墨書されているが、前者は学生の代筆により、また、後者は「昭和21年1月27日午後郷里の眼科医院入院中」に記したものである。

長崎医科大学で被爆した物理的療法科助教永井隆は、右側頭動脈を切断するという重傷を負った。しかし、直ちに長崎の北東の山間に救護所を開設、9月20日に出血多量で倒れるまで救護活動に挺身した。彼は、ここでの患者125人の治療経験を、10月以降の早い時期に、「原子爆弾救護報告」（大学病院の野紙で182頁）としてまとめた。

しかし、これらは、社会一般への公表を目的としたものではなく、長い間、その存在が広く知られることはなかった。永井が被爆直後に執筆した報告書は、1970年になって、週刊朝日の臨時増刊号（7月25日刊）や単行本（9月25日刊）の形で紹介された。また、森滝の「さいやく記」の前半部分は、1972年刊行の『広島県史原爆資料編』に収録されることにより一般に知られた。

朝日新聞（東京本社版）は、1945年8月10日付の紙面に「閃光 熱い痛い感じ」との見出しで体験者の談話を掲載、同月12日には、浅井・松尾・岸田特派員発の現地報告「一瞬に広島変貌」を載せた。また、30日には「海底のやうな光—原子爆弾の空襲に遭って」との見出しで、広島で被爆した作家大田洋子の体験記を掲載している。

新聞だけでなくラジオやテレビも、多くの被爆者の声を紹介してきた。NH

Kラジオ（広島県域）では、1949年8月9日の「原爆1号[吉川清]に聞く」、同テレビでは、58年2月28日の「原爆被災者は訴う」が、記録（広島放送局放送部資料班『広島ハンドブック（1983年作成）』）で確認できる早期のものである。

原爆被害者は、自らの体験を、小説・短歌・俳句・詩・絵画といった芸術作品の形で表現してきた。大田洋子は、自らの体験を基に創作した小説を、すでに1945年11月に完成した（48年11月に中央公論社から『屍の街』として刊行）。また、46年夏、中国新聞社が発行した『月刊中国』8月号は、「原子爆弾記念号」を銘打ち、調査報告・体験記のほかに、廃虚のスケッチや短歌を掲載している。

アメリカ戦略爆撃調査団の戦意部門は、1945年11月10日から12月29日にかけて、日本人3135人を対象とした面接調査を実施した。この調査の対象地域は、市部・郡部・原爆地域に大別され、原爆地域では363人が面接予定者として抽出された。広島市が74年に入手した同調査団の関係資料の中に59本（28時間16分）の録音テープが含まれていたが、ここには原爆地域（広島）の22人（1人はロシア人）の声が収録されている。これは、86年に広島市平和文化センターによって『原爆被爆者等面接記録』として出版された。

1949年9月に発行された『平和を守る闘い—パリ＝プラーグ、東京平和大会の記録』の中に、大田洋子の発言が収録されている。これは、原爆体験者が平和集会で訴えた生の声が活字として公表された早い例である。55年から日本で継続的に開催されるようになった原水爆禁止世界大会の議事録や広島・長崎への平和学習の記録の中にも、被爆者代表の発言や被爆者の体験談を見ることができる。

ものを書くとか、人前で話すという習慣を持たない原爆体験者も多い。また、闘病中で書きたくても書くことのできない人もある。こうした人々の体験も聞き書きの形で残されてきた。

一般に「原爆体験記」といわれているものの内容は、実にさまざまである。被爆およびその直後の体験を書いたものもあれば、戦後の闘病や生活の記録もある。

原爆被害者のイメージも、同様である。行政機関は、被爆直後には、原爆被

害者を「死者・行方不明・重傷者・軽傷者・一般罹災者」という区分で捉えている。ここでの「一般罹災者」は、原爆により家屋の被害を受け生活の根拠を失ったものであり、救援のため早期に入市したり救護活動に従事して放射能の影響を蒙った人々は含まれていなかった。行政機関が、これらの人々を「被爆者」として施策の対象にするのは、1957年に制定された原爆医療法を契機としてであった。

いわゆる「原爆体験記」を、原爆による直接の被害者が自らの体験を書き記したものと理解することもできよう。しかし実際には、救援・救護活動や調査活動に従事した人々の記録、原爆被害者の家族や被爆二世・三世の手記、また、原爆被害者の社会的発言や聞き書きも、「原爆体験記」と同様に扱われる場合が多い。

原爆手記の中にはさまざまな書物に転載されたものがある。また、原爆手記を掲載した書物が、重版のほか改刊や復刻という新たな形で出版される場合もあった。そのほか、同一人物が、何度も新たに書き起こした例もある。今回、これらを総称する言葉として「原爆手記」を使用し、できるだけ多くの手記を把握することを目指した。

現在ではかなりの数の機関・団体が、原爆手記を収集・保存している。この目録の作成にあたり、つぎの機関・団体を調査した。

- |     |   |
|-----|---|
| 広島  | 広島大学原爆放射能医学研究所、財団法人広島平和文化センター<br>広島市立中央図書館、広島県立図書館、広島平和教育研究所<br>広島平和会館、広島平和親善センター |
| 長崎  | 長崎原爆被災者協議会、長崎県立図書館、長崎国際文化会館<br>岡まさはる記念長崎平和資料館、長崎県教育文化会館                           |
| 東京  | 日本原水爆被害者団体協議会、東京都原爆被害者団体協議会<br>法政大学大原社会問題研究所、国立国会図書館<br>厚生省健康保健局企画課、大宅壮一文庫        |
| その他 | 福岡県原爆被害者団体協議会、福岡市原爆被害者団体協議会<br>福岡県立図書館  |

## 山口県原爆被害者団体協議会

原爆文献の目録は、これまで数多く作成されている。目録作成に当たり、これらを参考にしたが、原則として、原本に当たり確認のできるものを採用することとした。ただし、一部、重版や再録によって確認できたものも採用している。たとえば、この目録の巻頭に掲げている1946年2月刊行の『不知火・追悼号』の原本は未見であるが、79年10月刊行の『わが青春―七高時代』に写真復刻されていたものである。また、つぎに掲げる堅実な先行の業績からも、一部採用した。

1. 原爆被災資料広島研究会編・刊『原爆被災資料総目録第3集―原爆手記広島の部』（1972年）
2. 「ひろしまをよむ」会編『資料'82 反核―原爆文献を検証する』（溪水社、1983年）
3. 原爆被災資料広島研究会編・刊『原爆被災資料総目録第4集―占領期文献』（1984年）
4. 被爆40年をよむ会編「資料'85 反核―原爆文献（単行本）一覧」（広島・長崎の証言の会『ヒロシマ・ナガサキの証言第17号』1986年、所収）
5. 「ヒロシマの『史点』―占領下の原爆文献考」（『中国新聞』1986年6月30日―8月12日連載）
6. 広島大学原爆放射能医学研究所附属原爆被災学術資料センター「原爆手記掲載書・誌目録」（『資料調査通信第82号』1989年、所収）

なお、目録化に当たっては、つぎのものを省いた。理由は、いずれも、独自の調査と分析が必要と考えたからである。

1. 生の原稿・日記・手紙類
2. 小説・短歌・俳句・絵画などの芸術作品（ただし、これらの序や跋な

- どで体験に触れているものは含めた)。
3. 日本語以外のもの。
  4. 新聞紙上に掲載されたもの (ただし、団体機関紙などいわゆるミニコミ紙に掲載されたものは含めた)。
  5. 聞き書きのうち、語り手が1人称で表現されていないもの。
  6. 抜粋 (ただし、ある程度のまとまりがあるものは含めた)。

これらの基準により確認し得た掲載書誌数は3542件、その中への収録手記数は3万7793件であった。

## 1. 年別出版状況

一般に占領期には、原爆問題はタブーであったといわれている。確かに、GHQの検閲は、原爆に関する情報が国民の間に広まることを妨げた。この事実については、モニカ・ブラウ著『検閲－禁じられた原爆報道』(時事通信社、1988年)、堀場清子『禁じられた原爆体験』(岩波書店、95年)・『原爆－表現と検閲』(朝日新聞社、95年)が詳細に明らかにしている。

しかし、占領期にかなりの原爆手記が出版されたことも事実である。1948年から49年の出版界では永井隆ブームが巻き起こった。48年の読売新聞社主催の読書祭では、永井隆の『この子を残して』(1948年9月25日刊、以下「480925」という形で表記)が全投票数の約半数を獲得して良書ベストテンの第一位となった。また、日本出版配給会社49年上半期のベストセラーズ調査によれば、永井の著作が第1、3、5、8位に入り、その総数は51万冊にのぼった。また、広島関係でも『天よりの大いなる声』(490410)が、全国にさきがけて売り出された広島で旬日にして売りつくされ、直ちに改訂版が発行されたといわれている。この外にも、占領期間中約704冊原爆文献が出版されている(『原爆被災資料総目録第4集』)。これらは、出版界の原爆タブーが、49年には打ち破られていたことを示している。

とはいえ、この期間に出版された手記の掲載書・誌や手記件数は極めて限られたものであった。講和条約が発効した1952年4月28日までの書誌数は120冊、



手記数は534件にすぎない。

原爆手記を書くということは、多くの原爆被害者にとって容易なことではなかった。文章化という技術的問題以前のさまざまな問題があった。長田新が『原爆の子』(511002)の「序」の中で、つぎのような中学3年生の手記の一部を紹介しているが、その一端を示している。

まだまだ書けば、生々しい記憶が次から次へと浮かんでくる。けれど丁度癒えかけた生傷をまたうがつような心持ちがして、これだけ書くのにも幾たびか筆を捨てては、やっとの思いで書きつらねた。亡くなった父や妹や伯父さん、それからたくさんのお友だちや、何十万の霊への手向けともなるような心持ちで書きました。

また、戦後の日本社会に生まれた「被爆者差別」や解明することのできない「原爆症」への不安が、原爆被害者の心を塞いだ。しばしば、「思い出したくない」、「忘れたくない」、「触れたくない」、「そっとしていて欲しい」という形で表現される原爆被害者内部の「原爆タブー」は、戦後永い間、原爆被害者を捉えて離れることはなかった。

図1. は、原爆手記を掲載した書誌数を年別に示したものである。1965年と82年の実数は、それぞれ64冊、169冊であるが、それぞれの年を境に原爆手記の出版が活発になっていることがわかる。ちなみに64年までの書誌数の年平均は23冊であるが、65年以降は100冊となっている。また、1985年と95年はそれぞれ際立って増加しているが、それぞれ226冊、241冊であった。

図2. には、これらの掲載書誌に収録された手記の数を年別に示した。手記数は、掲載書誌数と比べ、数年遅れの1968年から増加傾向を示している。被爆30周年に当たる75年には、1223件と初めて年間に出版された手記数が1000件を超え、82年以降は、ほぼ毎年1,000件を超えるようになっている。特に被爆40周年と被爆50周年にあたる85年および95年には、それぞれ2980件、5496件という多数の手記が発行された。60年代後半と80年代の手記数の増加は、原爆被害者が自分自身の中のタブーを打ち破っているものと理解することができよう。

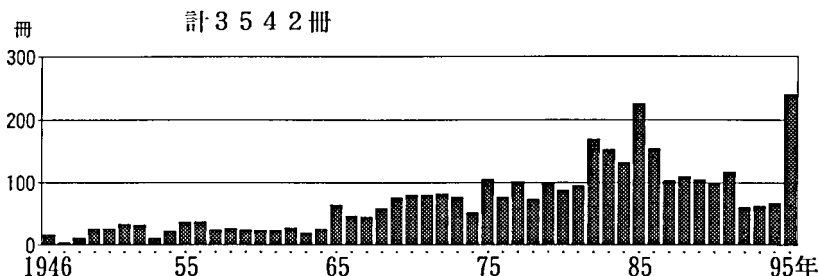


図 1. 原爆手記掲載書誌数の年別推移

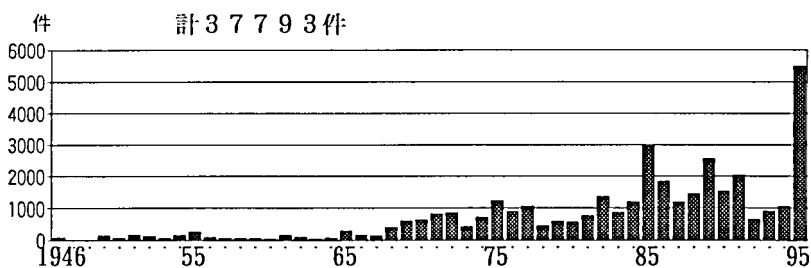


図 2. 原爆手記数の年別推移

原爆被害者の中には、独力で原爆タブーの打破に取り組むものもあった。原爆被害者による「個人出版」物（これまで確認しえたのは283冊）は、その成果といえよう。しかし、大半の書誌は、各種の団体や出版社などにより発行されたものである。つまり、原爆被害者の原爆タブー打破にあたっては、外部の働きかけや協力が多数存在し、大きな役割を果たしていたのである。

## 2. 発行主体別出版状況

原爆手記の発行に当たっては、さまざまな組織・団体が関わっている。市販された最も早い原爆手記集である『天よりの大いなる声』（490410）の場合、「日本基督教青年会同盟」の編集により「東京トリビューン社」から発行された。また、第2回原水爆禁止世界大会に向けて発行された『もういやだー原爆の生きている証人たち』（560808）の編者は「長崎原爆青年乙女の会」であり

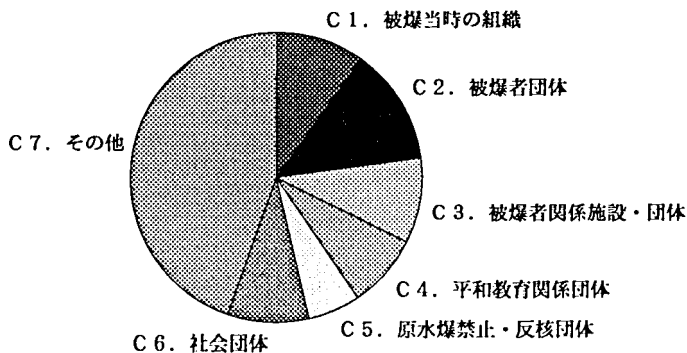
発行者は「原水爆禁止長崎実行委員会」である。「東京トリビューン社」のような出版社を除けば、編集や発行に関わった組織・団体は、「1.被爆当時の組織」・「2.被爆者団体」・「3.被爆者関係施設・団体」・「4.平和教育関係団体」・「5.原水爆禁止・反核団体」・「6.社会団体」・「7.その他」の7つに分類することができる。これによれば、前者は、「6.社会団体」、後者は、「2.被爆者団体」と「5.原水爆禁止・反核団体」に分類できる。また、後者のように複数に分類できるものは32冊であった。

図3. は、複数に分類されるものは、第1分類（分類番号の若いもの）を採用し、分類ごとの掲載書誌数と手記数およびその全体に占める割合を示したものである。書誌数では、「7.その他」が大きな割合を示しているが、他の分類の割合に極端な差はない。しかし、手記数でみるとその差が明瞭となる。手記数で大きな割合を占めているのは、「2.被爆者団体」と「1.被爆当時の組織」であり、両者を合わせれば手記数全体の59%となる。両者は、組織の動機が被爆当時と戦後という違いはあるが、いずれも原爆被害者によるものである。このことは、原爆手記の発行を主として担ってきたのは、原爆被害者自身であることを示すものであろう。

一方、掲載書誌数・手記数ともに分類別で最も割合の小さいのは、「5.原水爆禁止・反核団体」で、掲載書誌数で6%弱（207冊）、手記数で3%弱（962件）を占めているに過ぎない。第2分類以降を含めても、212冊・1024件であり割合に変化はない。日本の原水爆禁止運動は被爆体験を基礎に据えて展開してきたといわれているが、手記の出版という側面からみると、原水爆禁止団体・反核団体は大きな役割を果たしてきていないことがわかる。

表1. は、「7.その他」を除く大分類をさらに細かく分類（小分類）したものである。小分類で多いのは、「25.地域被爆者団体（広島・長崎両県外）」、「14.学校」、「22.被爆者団体（広島県内）」、「28.日本原水爆被害者団体協議会」、「32.被爆体験継承団体」、「31.被爆者援護施設」、「15.事業所」の順で、いずれも分類ごとの手記数が1000件を越えている。また、「26.労組被爆者団体」、「43.学校」、「63.婦人団体」、「13.官公庁」、「41.県市町村」、「44.公民館・老人クラブ・社会福祉協議会」、「21.地域被爆者団体（広島市内）」の手記

## 掲載書誌



## 手記

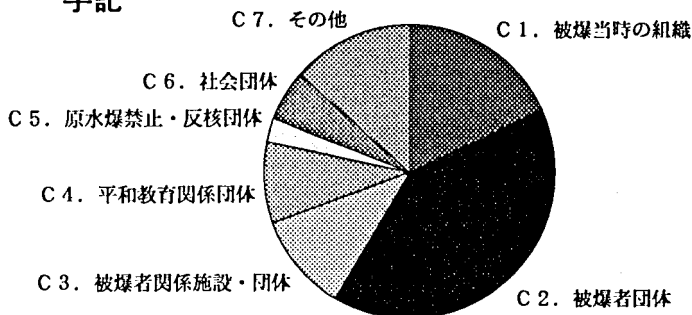


図3. 掲載書誌数・手記数の分類別割合

数の合計が500件を越えている。これらを合わせれば、全体の約75%となり、これらが原爆手記出版の主要な担い手であることがわかる。

分類1では「14.学校」の手記数が、全体の59%と際立っている。動員学徒の犠牲者の場合、戦傷病者戦没者遺族等援護法（1952年4月30日制定）により準軍属の扱いで、他の犠牲者とは異なり国の援護の対象となっているが、こうした行政施策が原爆手記出版の活性化を促したものと思われる。分類2では「25.地域被爆者団体（広島・長崎両県以外）」が48%で群を抜いている。両県外の被爆者健康手帳所持者数は8万8812人で、全体の28%にすぎないが（1996年3月31日現在）、手記数を両県内の被爆者団体分を比べると、その比率は64

表1. 掲載書誌・手記の分類別冊・件数とその割合

分類 番号	分類名	書誌数	手記数	割合1	割合2
1	被爆当時の組織	348	6836	18.1	100.0
11	軍隊	27	393	1.0	5.8
12	地域組織	20	260	0.7	3.8
13	官公庁	36	905	2.4	13.2
14	学校	144	4059	10.7	59.4
15	事業所	114	1108	2.9	16.2
19	その他	7	111	0.3	1.6
2	被爆者団体	462	15312	40.5	100.0
21	地域被爆者団体 (広島市内)	24	510	1.4	3.3
22	地域被爆者団体 (広島県内)	50	3314	8.8	21.6
23	地域被爆者団体 (長崎市内)	4	103	0.3	0.7
24	地域被爆者団体 (長崎県内)	6	128	0.3	0.8
25	地域被爆者団体 (広島・長崎両県外)	244	7382	19.5	48.2
26	労組被爆者団体	44	962	2.6	6.3
27	生協被爆者団体	19	392	1.0	2.6
28	日本原水爆被害者団体協議会	43	2310	6.1	15.1
29	その他	28	211	0.6	1.4
3	被爆者関係施設・団体	339	4100	10.9	100.0
31	被爆者援護施設	93	1957	5.2	47.7
32	被爆体験継承団体	246	2143	5.7	52.3
4	平和教育関係団体	287	3386	9.1	100.0
41	県市町村	88	891	2.4	26.3
42	教育委員会	7	439	1.2	13.0
43	学校	99	958	2.5	28.3
44	公民館・老人クラブ・社会福祉協議会	56	800	2.1	23.6
45	教職員組合	37	298	0.8	8.8
5	原水爆禁止・反核団体	207	962	2.6	100.0
51	世界大会議事録	92	234	0.6	24.3
52	その他	115	728	1.9	75.7
6	社会団体	323	2085	5.6	100.0
61	平和団体	50	124	0.3	6.0
62	労働組合	34	263	0.7	12.6
63	婦人団体	86	913	2.4	43.8
64	生活協同組合	22	117	0.3	5.6
65	その他	131	668	1.8	32.0
7	その他	15761	51121	13.5	100.0

注) 割合1 = 全手記数に占める割合、  
割合2 = 小分類の手記数の大分類の手記数に占める割合

%（地域被爆者団体の合計に占める両県外分の比率）と高くなる。原爆手記の出版を被爆者団体の社会的アクティビティの一つの指標と考えれば、被爆地を含む両県よりもその他の地域の被爆者団体の社会的アクティビティの方が高いということができよう。

分類4では、平和行政、教育委員会、学校教育、社会教育などさまざまな分野における平和教育において被爆体験の継承が試みられてきた様子を知ることができる。また、分類6では、「63.婦人団体」が44%を占めているが、これは、原爆被害に関心を持つ社会団体の中で婦人団体が果たしてきた役割の大きさを示すものである。

原爆手記の出版の牽引力となった団体・組織は時代によって変化している。図4. は、戦後の50年間を10年ごとに分け、各期の分類ごとの手記数の増減をまとめたものである。第3期（1966～75年）に手記数が急増している。その中で目立つのは「1.被爆当時の組織」の増加であるが、その後も引き継がれている。「2.被爆者団体」は、第1期には皆無であったが、第2に姿を現し以後急激に増加した。また、「3.被爆者関係施設・団体」・「4.平和教育関係団体」も、「2.被爆者団体」ほどではないにしても、時期が下がるにつれ、増えている。

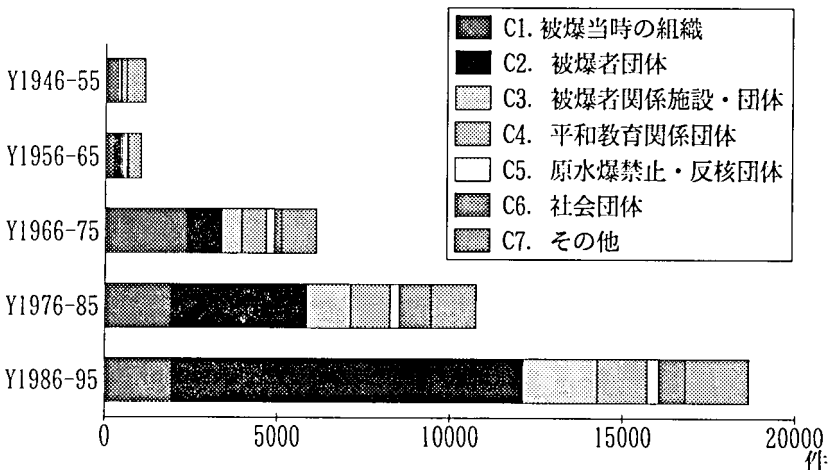


図4. 10年毎の原爆手記の分類別推移

### 3. 被爆当時の組織

原爆により多くの犠牲者を出した学校・官公庁・企業の関係者は、被爆直後から慰霊行事を開催し続けている。そうした行事の関連事業として、あるいは「紙碑」として追悼文集の出版が行われた。その初期の例としては、被爆から1周年目に出版された第七高等学校造士館（鹿児島）の『不知火・追悼号』（15人の追悼文を収録）や広島興産株式会社文化部の『泉第一集—みたまの前に捧ぐる』（15人の追悼文を収録）などがあげられる。

表2. は、手記集を出版した学校関係の組織をまとめたものである。広島・長崎の学校数は、それぞれ28校、15校となっている。このほかに学校史の中に原爆手記を収録したものもある。これらを合わせた掲載書・誌数は144冊、手記件数は4059件であった。中でも最も多くの手記を収録しているのは、旧長崎医科大学原爆犠牲者遺族会の『忘れな草3号』（690320）で、308件の遺族・級友・同僚の手記を含んでいる。

企業関係では、長崎の三菱重工業関係のものが目立つ。占領期の1949年に、39人の手記を収録した『長崎精機原子爆弾記』が出版された。また、68年には、長崎造船所の有志を中心に原爆前後の思い出集『原爆前後』が創刊され、86年までの19年間に61巻を出版している（この中に収録された原爆手記数は429件）。この中に広島の三菱重工業関係の被爆状況も含まれてはいるが、広島独自の出版活動は起こっていない。

官公庁関係では、被爆時に広島に所在した多くの官公庁が、追悼集や被災誌の形で手記を出版した。中でも広島市消防局（750701）・県庁（760331）・警察（890801）関係のものは、いずれも100件を超える手記集である。このほかにも、中国電気通信局（550806）・広島県社会保険診療報酬支払基金（550833）・広島市役所（660331）・広島財務局（671225）・広島高等検察庁（690806）・法曹（700806）・中国地方総監府（720806）・日本銀行広島支店（770806）・広島郵便局（770806、950301）・広島通産局（780228）・広島財務局（800610）・逓信局（820806）・中国地方建設局（850833、950833）などが手記集を出版している。これに対し、長崎の官公庁では、こうした試みがほとんどなされていない。わずかに警察（790320）・長崎県（810808）が確認できるのみである。

表 2. 学校関係の原爆手記出版状況

---

広島＝	広島女子高等師範学校 (500801)
	広島県立第一中学校 (540425, 540803, 621016, 740501, 940933)
	広島市立高等女学校 (570806, 770806, 870806, 940801)
	比治山高等女学校 (690806) ・修道中学校 (730806, 951104)
	広島大学 (750806)
	広島女子高等師範学校附属山中高等女学校 (750806, 850110, 931020)
	広島県立第二高等女学校 (750806, 950903) ・広島商業学校 (760523)
	千田小学校 (761028, 770715)
	広島市立中学校 (770806) ・広島市鞆町国民学校 (780806)
	広島県立第一高等女学校 (781333, 950733)
	広島市立第三国民学校 (800110)
	愛媛県立松山城北高等女学校 (810514) ・進徳高等女学校 (811206)
	広島高等師範学校 (820806)
	広島県立第二中学校 (840720, 850501, 900510, 911133)
	広島高等師範学校附属中学校 (840720) ・祇園高等女学校 (860806)
	崇徳中学校 (880310) ・広島市立第一国民学校 (910601)
	県立広島師範学校 (930806) ・広島県立広島工業学校 (940806, 950806)
	広島工業専門学校 (950333) ・広島高等学校 (950720)
	広島県立賀茂高等女学校 (950733) ・大竹小学校 (950806)
長崎＝	第七高等学校 [鹿児島] (460207, 460733, 791015)
	長崎医科大学 (551022, 680415, 690215, 690320, 711231, 740531, 750733, 850915, 900809, 910809, 950805, 950809)
	純心女子学園 (610716) ・長崎市城山小学校 (700809)
	熊本商業学校 (710815) ・長崎青年師範学校 (740731)
	長崎師範学校 (750809, 950809) ・西浦上国民学校 (770724)
	熊本工業専門学校 (770833) ・長崎県立大村中学校 (801001)
	長崎県立長崎高等女学校 (850808, 900815) ・山里国民学校 (900809)
	鎮西学院 (911023) ・長崎工業経営専門学校 (950633)
	佐賀県立伊万里商業学校 (950809)
動員学徒＝	広島県立動員学徒等犠牲者の会 (680330, 720730, 751225, 951031)
	長崎県動員学徒犠牲者の会 (721130)
	動員学徒戦没者追悼記の会 [山口県] (750814)

---

量は少ないが、遺族会・隊友会といった旧軍関係の組織によっても出版された。早い例としては、広島県遺族会 (550320) のものがある。手記数では、広島県の世羅部隊のもの (800527) が最も多く、106件を収録している。ほかに、広島に本拠がある広島師友会 (761233, 771233) ・暁部隊 (860801, 950310) や広島第一陸軍病院 (881122) ・佐世保海軍病院 (881233) などが手記集をまとめている。



また、町内会といった地域単位の組織により出版されたものや市町村史・誌類の中にも手記を見いだすことができる。東広島郷土史研究会が被爆40周年を記念して出版した『賀茂大地の声』（860430）はその一例であるが、ここには123件の手記が収録されている。

これらは、広く読まれることを期待して出版されたわけではなくごく内輪のものであった。しかし、中には広島県立第一中学校の『星は見ている』（鯉書房刊、540803）や、長崎の三菱重工業の『原爆前後』（朝日新聞社刊、830710）などのように、全国的な出版ルートに乗ったものがあった。

図5.には、「1.被爆当時の組織」の小分類の内、手記数が500件を超えるものについて1965年以降の手記数の推移を示した。3つにほぼ共通しているのは、被爆30・40・50周年という節目の年に盛り上がりが見られることである。なお、1989年の「官公庁」の増加は、広島県警友会の『原爆回想録』（890801、133件の手記を収録）の出版によるものである。

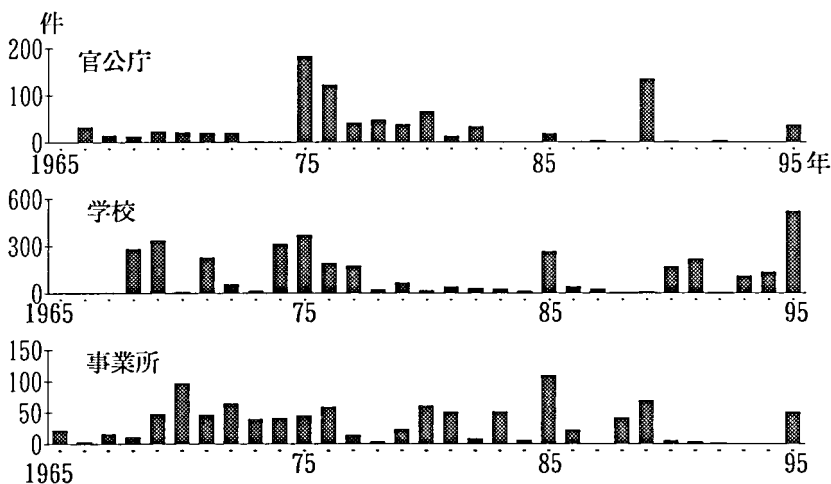


図5. 「被爆当時の組織」の小分類別手記数の推移

#### 4. 被爆者団体

全国各地に原爆被害者の団体が組織されるのは、1955年8月に広島で開催された原水爆禁止世界大会（第1回）を契機としてである。翌56年5月27日に広島県原爆被害者団体協議会が組織され、同年8月10日には、同会が中心となって日本原水爆被害者団体協議会（以下、「日本被団協」と略称する）が結成された。こうして生まれた被爆者団体の中には、原水爆禁止運動の一環として、手記出版に取り組むものが現れた。前に紹介したように『もういやだ』（56088）は、第2回世界大会に向けて、長崎原爆青年乙女の会が編さんしたものであった。日本被団協が編集・発行した『原爆被害の実相と被害者の苦しみ』（590806）は、その序で「原爆被害の実相を知り被害者の苦しみを知らせていただくことが、原水爆禁止運動と被爆者救援運動を推し進めて行く基礎となると信ずる」と述べた。同会は、翌年から機関誌（『被団協連絡』）上で、原爆手記の紹介を開始し、64年までに39件の手記を掲載した。兵庫県原爆被害者の会も、手記集『あの日あの時』（620527）の「あとがき」で「この本が原水爆禁止運動の一助」となることを期待している。

この後、被爆者団体による手記集が次々と発行された。表3. は、手記集を発行した広島・長崎両県内の地域単位の被爆者団体をまとめたものである。広島県内では、原爆手記集を発行した団体が36団体69冊に及んでいる。これに対し長崎県内では、広島で見られるような地域被団協の活発な出版活動を確立することができない。

原爆手記集は、広島・長崎両県外でも出版された。表4. は、そうした団体をまとめたものである。都道府県単位の団体で出版が確認できないのは、山形・滋賀・山口・愛媛・鹿児島のみだが、山口・鹿児島両県の場合は、それぞれ山口県原爆被害者福祉会館「ゆだ苑」・鹿児島県原爆被害者福祉協議会が積極的な出版活動を行っている（後出の表5. 参照）。

静岡県原水爆被害者の会が発行した『静岡県原水爆白書』シリーズ（621117、640730、690201、720301）は、調査表への被害者の記載を抄録したものである。同様に、日本被団協の『「あの日」の証言』（881128、890328）、『被爆者の死』（890728、891108）なども、1985年に同会が実施した原爆被爆者調査の結果を

まとめたものである。これらはいずれも匿名であるが、こうした形式の採用により、より多くの被爆者の証言が活字として公表されることとなった。

1960年代半ばから労働組合が職場の被爆者へ関心を向け、労組内部に対策委員会や被爆者団体が組織された。その中で、一時期、教職員組合や全電通・国労の被爆者団体が、積極的に手記集の出版に取り組んだ。広島では、広島県原爆被爆教師の会が『未来を語りつづけて－原爆体験と教育の原点』（690806）をはじめ、『にんげんのあしたへ－平和を考える広島の子第1集』（730310）・『この子らに語りつぐもの－広島原爆被爆教職員の手記1集』（771220）・『続・未来を語りつづけて』（950525）を出版した。長崎では、長崎市原爆被爆教師の会が『沈黙の壁をやぶって』（700809）・『長崎の平和教育』（710720、720720）を出版している。また、被爆教師の全国組織も80年8月（全国原爆被爆教職員連絡会）と88年3月（原爆被爆教職員の会全国連絡会）に手記集を出版している。

表3. 原爆被爆者団体（広島・長崎両県内）による原爆手記集出版状況

---

広島県内＝吉島被爆者の会（1966～72年，7冊）
福島地区被爆者の会（1968～85年，11冊）
船越原爆被爆者の会（840110，840801，841001）
広島市原爆被爆者協議会井口支部（880833）
〔以上広島市内，以下郡市町村名のみを表記〕
海田町（680420，700701，750806，850806）・西城町（760808）
福山市（780420，900401）・大竹市（780633）
府中市（820523，840630，910806）・東城町（840806，950806）
双三郡三和町（840806，950806）・音戸町（850201）・呉市仁方（850410）
甲田町（850701）・御調町（850801）・大朝町（850806）
千代田町（850806，951201）・三良坂町（850806，951206）
神石郡（850806，900806，940806）・沼隅町（860333）・豊栄町（860806）
芸北町（860806）・世羅西町（870601）・尾道地区（870901，950701）
久井町（880101，950728）・三原市（910806，950630）・甲山町（920301）
君田村（920806）・湯来町（930331）・本郷町（930806）
瀬戸田町（950117）・甲奴町（950801）・作木村（950805）
布野村（950806）・神辺町（950833）
広島県原爆者被害者団体協議会（861210）
長崎県内＝長崎原爆青年乙女の会（560808，700727，700809，850809）
長崎県被爆者手帳友の会（850808）
長崎原爆被災者協議会（910809，950633，950809）

---

表 4. 原爆被爆者団体（広島・長崎両県外）による原爆手記集出版状況

---

北海道被団協（880433）
琴似被爆者の会（660720）
青森県原爆被爆者の会（950901）
岩手県原爆被爆者団体協議会（650301, 950325）
宮城県原爆被爆者の会（840910, 880625, 920330, 950805）
秋田県原爆被爆者団体協議会（850806, 960806）
福島県原爆被爆者協議会（871208, 881108, 950915）
茨城県原爆被爆者協議会（850920, 901118, 950801）
栃木県原爆被爆者協議会（921015, 950806）
群馬県原爆被災者の会（群友会）（751110, 851130, 940331）
埼玉県原爆被爆者協議会（しらさぎ会）（770720, 870510, 950601）
千葉県原爆被爆者友愛会（900833, 950508）
松戸市原爆被爆者の会（860915）
東京都原爆被害者団体協議会（東友会）（701114, 830820, 860220, 931030, 941228, 950433, 950730）
北区原爆被爆者の会（双友の会）（881031）
杉並被爆者団体光友会（861012）
世田谷被爆者の会（世田谷同友会）（891010, 950806）
足立区原爆被害者の会（足友会）（880330, 950320）
大田区原爆被害者の会（大友会）（891001, 941001）
中野区原爆被害者の会（長友会）（720909, 740331）
被爆者練馬の会（900433）
品川被爆者の会（950701）
豊島区原爆被害者の会（770525）
葛飾原爆被爆者の会（葛友会）（841101）
板橋みのり会（810118）
調布市原爆被害者の会（調友会）（880619）
八王子市原爆被爆者の会（950831）
国分寺被爆者の会（670733）
神奈川県原爆被災者の会（760333, 810429, 840433, 850633, 900733, 950715）
横浜市被爆者の会（浜友の会）（860433, 870801, 950715）
神奈川県原爆被災者の会平塚支部（880515）
逗子市被爆者の会（つばき会）（920333, 930733）
相模原原爆被災者の会（850630, 950501）
川崎市折鶴の会（860333）
新潟県原爆被害者の会（新友会）（720715, 910720, 950707）
新潟県原爆被害者の会上越支部・上越市原爆被害者の会（840101）
富山県原爆被害者団体協議会（911233, 931233）
石川県原爆被災者友の会（681333, 691333, 860325, 950730）
福井県原爆被害者団体協議会（950815）
山梨県原水爆被害者の会（甲友会）（700533, 740722, 850721, 950633）
長野県原水爆被災者の会（長友会）（710205, 760730, 810805）
岐阜県原爆被爆者の会（950801）

静岡県原水爆被害者の会 (621117, 640730, 690201, 720301, 790633, 810614, 860806, 860806, 890726, 920320, 951001)  
愛知県原水爆被災者の会 (愛友会) 婦人部 (850815, 860815, 870715, 880806, 890720, 900720, 910720)  
名古屋市北区被爆者懇談会 (651233, 660501)  
愛知県原水爆被災者の会豊橋支部 (豊睦会) (901202)  
一宮市原爆被災者の会 (830806)  
三重県原爆被災者の会 (950701)  
京都府原爆被災者の会 (京友会) (791133, 950733)  
京都府原爆被災者の会宇治支部 (950733)  
京都原水爆被災者懇談会 (910526)  
大阪府原爆被害者団体協議会 (821133, 851233, 910301)  
大阪市原爆被害者の会 (740526, 790429, 791228, 800425, 801129, 810301, 850727, 860726, 900728, 910519, 940730)  
大阪市原爆被害者の会婦人部 (690806, 700710, 710619, 720718, 730705, 750717, 751201, 821027, 830615, 840527, 841123, 881112, 890729, 920927, 950330)  
大阪市東住吉区原爆被害者の会 (800316, 870801)  
大阪市淀川区折鶴の会 (900501)  
釜ヶ崎原爆被爆者の会 (780524, 790801)  
池田市原爆被害者の会 (771125)  
東大阪市原爆被害者の会 (800733, 950333)  
豊中市原爆被害者の会 (860921)  
泉佐野原爆被害者協議会 (950530)  
茨木市原爆被害者の会 (831130)  
岸和田市原爆被害者の会 (はづき会) (840433)  
高槻市原爆被害者の会 (811001)  
守口市原爆被害者の会 (920610)  
河内長野市原爆被害者の会 (950633)  
兵庫県原爆被害者の会 (620527)  
兵庫県原爆被害者連絡協議会 (700733, 700806, 910333)  
神戸市原爆被害者の会 (800125)  
西宮市原爆被害者の会 (930533)  
丹原原爆被害者の会 (870308)  
奈良原爆被災者の会 (670201)  
奈良県原爆被害者の会 (わかくさの会) (861220, 900110, 950510)  
和歌山県原爆被災者の会 (860815, 950828)  
鳥取県原爆被害者協議会 (830201, 860333, 950733)  
島根県原爆被爆者協議会 (860333)  
島根県原爆被爆者協議会浜田支部 (931033)  
益田市原爆被爆者の会 (850806)  
伯太町被爆者協議会 (941010)  
木次町被爆者協議会 (750318)  
岡山県原爆被爆者会玉野支部 (861208)  
西大寺地方原爆被爆者の会 (840806, 900533)

山口県・長門・大津原爆被爆者友の会 (870806, 900801)  
徳山被爆者の会 (790533, 800733, 810733, 820833, 830933, 850933)  
宇部市・小野田市原爆被爆者協議会 (790733, 800733, 880703, 910201)  
徳島県原爆被爆者の会 (820801)  
香川県原爆被爆者の会 (950331)  
愛媛県原爆被爆者の会新居浜支部 (850815)  
中島町被爆者の会 (840533)  
高知県原水爆被災者の会 (651209)  
高知県原爆被爆者の会 (950801)  
福岡県原爆被害者団体協議会 (880528, 890331)  
福岡市原爆被害者の会 (710615, 830706, 840315, 850609, 900806, 950416)  
福岡県原爆被害者団体協議会糟屋郡原爆被害者の会 (910708)  
福岡県南筑被爆者の会 (770801)  
福岡県南部被爆者連合会 (950533)  
大牟田市原水爆被害者の会 (760801)  
大牟田原爆被害者の会 (890401)  
宗像原爆被害者の会 (880831)  
筑紫原爆被害者の会 (860511, 910720)  
久留米被爆者の会 (820130)  
佐賀県原爆被爆被害者団体協議会 (8610010)  
唐津原爆被害者の会 (780833, 830806)  
伊万里・西松浦地区被爆者友の会 (820831)  
塩田町原爆被害者の会 (920533)  
熊本県原爆被害者の会 (790615)  
大分県原爆被害者団体協議会 (880430, 950801)  
宮崎県原爆被害者の会 (701108, 870820)  
沖縄県原爆被爆者協議会 (711333, 810515)

---

全電通関係では、『原子雲に下に生きつづけて』が1970年から83年にかけて10冊（1・2集は、全電通広島被爆者連絡協議会、3集以降は全電通被爆者連絡協議会の編・刊）、『風化に抗して』（全電通長崎県支部被爆者連絡協議会）が72年と75年に2冊出版された。国労関係では、『この怒りを』シリーズが1971年から82年にかけて6冊出版されている。このほかに自治労（751333、851120）・全日自労（770720、820806）・全通（840401、850401）の被爆者団体によるものもあった。

1970年前後に始まった労組内の被爆者団体による手記の出版活動は、80年代半ばまで続いた後、姿を消した。ただし、被爆50周年には、国労（950633）・全電通（950807）・全通（950920）・全水道（951017）による出版が見られた。

また、この間、長崎県原爆被爆二世教職員の会編『平和な明日へ・語り継ぐ父母の被爆体験』（870233、880733）のような労組内の被爆二世団体による体験継承の試みが現れている。

1970年代後半から生協が原水爆禁止運動に積極的に取り組むようになるが、広島では生協内部に組織された原爆被害者団体が、手記集の出版に取り組んでいる。広島医療生活協同組合の原爆被害者の会は、77年8月6日『炎の中の私第1集』に発行したのを皮切りに、翌年からほぼ毎夏、体験記集『ピカに灼かれて』（『炎の中の私』の改題）を発行し続けている。

このほかにも、原爆小頭症患者とその家族で組織する「きのこ会」（770801）や広島の原爆被爆者相談員の会の活動の中から生まれた「原爆被害者証言のつどい」（950731）、外国人被爆者の団体である広島県朝鮮人被爆者協議会（790715）・韓国原爆被爆者協会（870430）による手記集などが存在する。

図6.には、「2.被爆者団体」の小分類の内、手記数が500件を超えるものの1965年以降の手記数の推移を示した。小分類により、盛り上がりの時期が異なり、しかも極端な増加を示している。「21.広島市内」（1984年）と「28.日本被爆団協」（1988・89年）の場合は、前者は、船越原爆被害者の会による『被爆体験記』3巻の出版（計326件の手記を収録）、また後者は、1985年に取り組んだ原爆被爆者実態調査の結果の公表という、それぞれ特別な事情による。これに対し、「22.広島県内の被爆者団体」（1985年・95年）と「25.広島・長崎両県外の被爆者団体」（95年）では、前出の表3・表4.に見られるように多数の団体がかかわっている。被爆40周年・50周年という節目の年の盛り上がりは、いわば各地の被爆者団体の積極的な取り組みの成果であった。

「26.労組被爆者団体」の盛り上がりは、1970年代から80年代はじめにかけて現れているが、その後は低調である。その原因としては、被爆体験を持つ組合員の定年退職が考えられる。

## 5. 被爆者関係施設・団体

戦後半世紀の間に、原爆被害者を援護する施設や原爆被害者救援組織が、さまざまな形で生まれた。そうした中には、手記の出版を通じて被害者の実態や

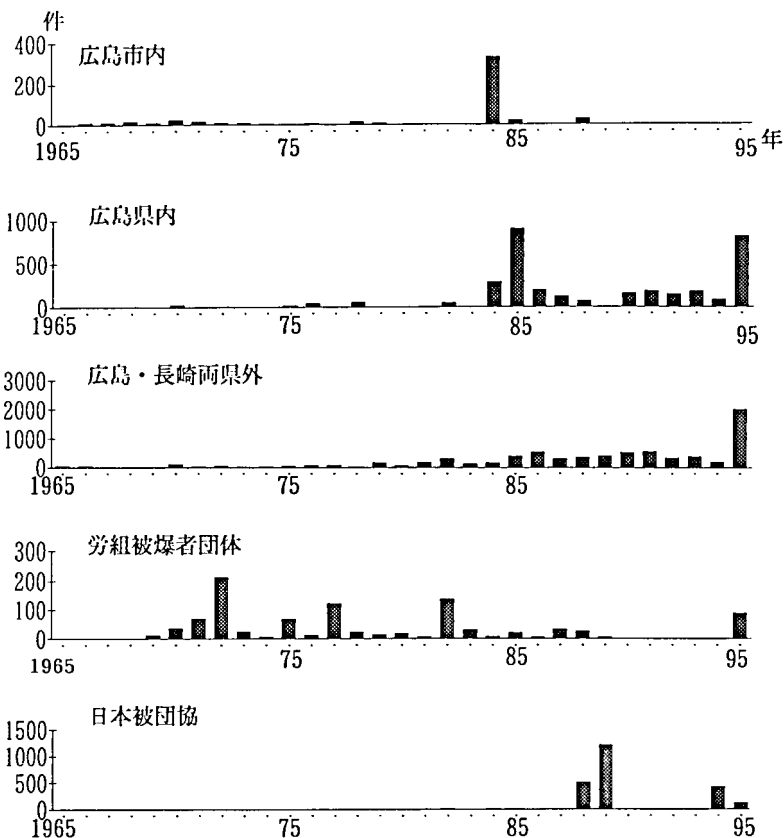


図6. 「被爆者団体」の小分類別手記数の推移

気持ちを社会に広く伝える努力をおこなうものがあつた。広島戦災児育成所が被爆の翌年に出版した『あの当時』(460833)は、こうした試みの嚆矢である。同所内の授業で書かれた作文から15編が収録されたこの冊子は、粗悪な紙にガリ刷りされ、紙のこよりで綴じたものであつた(『ヒロシマの『史点』—占領下の原爆文献考』)。この後、原爆の子を守る会(521333、広島)・広島子どもを守る会(590733)・胎内被爆者・被爆二世を守る会(660720、720806、広島)・広島原爆被爆者福祉センター職業補導部(671001、681333、691001)・広島憩



いの家 (690515、700710、711201、790601) ・広島・長崎朝鮮人被爆者実態調査団事務局 (791220) などが手記集の発行をおこなっている。しかし、そこに紹介された手記数は限られたものであった。1980年代には、表5. のような手記集が継続的に出版されるようになり、紹介される手記数も増加した。このほかに、外国人戦争犠牲者追悼碑建立委員会 (820417、長崎) ・「長崎原爆松谷訴訟」を支援する会 (890733、930533、930533) ・被爆45周年に被爆者援護法を実現する京都の会 (900310) ・「韓国被爆者慰霊訪日団」を迎える全国連絡会 (900810) ・広島原爆被害者援護評議会 (950633) など多様な団体が、手記を紹介している。

山代巴・川手健らは原爆被害者の手記が核時代に持つ重要な意味を早くから認識していた。彼らは、1948年8月ごろから原爆手記の収集を計画し、52年8月になって着手した。53年6月に原爆被害者の手記編纂委員会の名で刊行された『原爆に生きてー原爆被害者の手記』(三一書房)はその成果である。70年前後から、被爆体験継承を機軸に据えた原水禁運動や平和運動がさまざまな形で展開されるようになるが、山代や川手の試みはその先駆であった。

表5. 被害者援護施設・団体により継続的に出版された原爆手記集

---

山口県原爆被爆者福祉会館 (ゆだ苑)『語りー山口のヒロシマ』(800125, 800920, 810906, 820906, 830906, 860906, 900833)
広島原爆被爆者援護事業団『紙碑ー被爆老人のあかし』(810720, 850525, 900831, 951215)
江戸川原爆犠牲者追悼碑の会『鳩になってー江戸川・被爆者の証言』(820725, 840722, 900722)
長崎在日朝鮮人の人権を守る会『原爆と朝鮮人』(820731, 830731, 840731, 860930, 891215)
恵の丘長崎原爆ホーム『原爆体験記』(821130, 840809, 850809, 870809, 890809, 900809, 920809, 940809, 950809)
特別養護老人ホーム清鈴園『はらおぐさ・原小草』(830701, 870806)
原爆被害者相談員の会『ヒバクシャーともに生きる』(831211, 841211, 851211, 880211, 881211, 891005, 891211, 910331, 930601, 940601, 950601, 950801)
鹿児島県原爆被爆者福祉協議会『原爆許すまじ』(860809, 890920, 950401)
町友会とともに生きる会『被爆者として人間として』ほか (890730, 910310, 930620, 950806)

---

長崎の証言の会は、「長崎憲法会議・科学者会議・高校原水協・長崎被災協の有志」により組織されたもので、「長崎の証言刊行委員会」として出発し、1969年以後今日まで原爆手記を刊行し続けている。表6. は、その変遷の概略である。95年までに出版された52冊の中には715件の手記が収録されている。同会は、このほかに『爆心の丘にて』(720725)・『地球ガ裸ニナツタ』(910210)・『小さき十字架』(910801)などを単行本として出版している。

表7. は、長崎の証言の会・広島証言の会以外の被爆体験継承団体をまとめたものである。このうち、ヒロシマ・ナガサキを考える会は、1982年から95年までの間に機関誌『ヒロシマ・ナガサキを考える』(石川逸子編)を53号発行し、その中で49件の手記を紹介した。また、『八王子・被爆体験を語りつぐ会』も、1984年から95年までの間に『ヒロシマ・ナガサキ 被爆体験を語り継ぐ……八王子から』を29号発行し、28件の手記を収録している。

1970年代は、原爆被害だけでなく、全国各地の空襲・戦災の史実の掘り起こしの運動が展開された時期であった。この運動の一環として多くの手記集が出版された。創価学会青年部反戦出版委員会は、1970年代半ばから全国各地の戦争体験の掘り起こしに取り組むが、その成果として、1974年から85年にかけて原爆手記を収録した12冊(481件の手記を収録)を出版した。また、千葉(721033)・大牟田(750810)・山口(761001)・大阪(770725)・岡山(790201)・鳥取(820717)・多摩(820815)・福山(850808)・島原半島(860620)・岩国(860814)・高崎(890623)などの空襲・戦災を記録する運動の成果として出版された本の中にも、原爆手記が収録されている。

表6. 長崎の証言の会の原爆手記出版状況

1969～78年『長崎の証言』(長崎の証言刊行委員会編)		
	年1回刊	全10冊 収録手記数274件
1978～81年『季刊長崎の証言』(長崎の証言の会編)		
	季刊	12冊 88件
1982～87年『ヒロシマ・ナガサキの証言』(広島証言の会と共編)		
	季刊	21冊 195件
1987年～ 『証言－ヒロシマ・ナガサキの声』(広島証言の会と共編)		
	年1回刊	9冊(～1995年) 158件

表 7. 被爆体験継承団体の手記出版状況

---

原爆体験を伝える会 [東京] (720420)
原爆文献を読む会 [東京] (720806)
英文「広島への追憶と今日」出版を支える会 [広島] (721333)
原爆の証言と記録の会 [東京] (751033)
長崎「原爆問題」研究普及協議会 (790620)
原爆資料保存会 [広島] (810801)
ヒロシマを知らせる委員会 [広島] (810820)
八王子・被爆体験を語りつぐ会 (820421)
ヒロシマ・ナガサキを考える会 [東京] (820433)
府中町原爆体験を語りつぐ会 [広島県] (830410)
原水爆を考える [福島県] 原町市民の会 (830716)
名古屋 YMCA ひろしま・ながさきを伝える会 (830720)
戦争と原爆を語り継ぐ共同出版委員会 [京都] (850610)
「原爆、忘れまじ」を世界に広める会 [名古屋] (920301)
「被爆者の手記」出版西区の会 [名古屋] (920802)
自分史つうしんヒバクシャ [東京] (930410)
被爆者の自分史編集委員会 [広島] (950720)
被爆体験を聞く北区の会 [東京] (950805)

---

注 1 : [ ] 内には、団体の所在地を示した。

注 2 : 断続的に出版しているものについては、最初の出版年月日のみを記した。

1970年代後半から80年代にかけ、被爆者運動を大きく進展させる二つの動きがあった。その一つは、77年の国連NGO（非政府組織）主催の被爆問題国際シンポジウム（7月から8月にかけて広島・長崎を中心に開催）に向けて実施された被爆者実態調査である。それは、全国各地で実施されたが、東京都北区（780210）・群馬県（780420）・福岡県推進委員会（780520）・長野県（780915）の各推進委員会は、被爆者による調査表への記載や被爆者からの聞き取りを収録した報告書を独自にまとめた。

もう一つは、1980年の原爆被爆者対策基本問題懇談会の答申以後、日本被団協を含む市民組織が取り組んだ国民法廷運動である。その中で、原爆被害者は、証人として参加し、原爆被害の実相を訴えたが、福岡（811333）・北海道（821333）・新宿（821333）・千代田（821333）・文京（830304）・豊島（830806）・宮崎（901001）・浜松（920233）の各法廷での記録が残されている。

図 7. には、「3.被爆者関係施設・団体」を小分類ごとに1965年以降の手記

数の推移を示した。「32.被爆体験継承団体」は、1970年代から盛り上がりが見られ、以後持続している。「31.被爆者援護施設・団体」では、10年遅れの80年代から取り組まれるようになっていく。特に95年に大きな盛り上がりが見られるが、これは、729件を収録した鹿児島県原爆被爆者福祉協議会編『原爆許すまじ』（950401）によるものである。

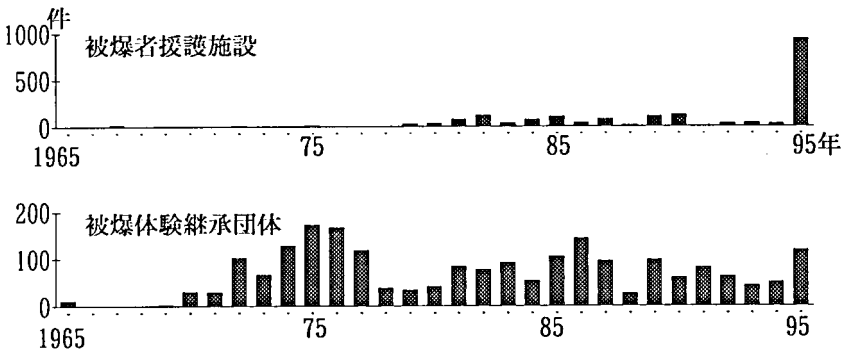


図7. 「被爆者関係施設・団体」の小分類別手記数の推移

## 6. 平和教育関係団体

1969年と70年には、広島と長崎で被爆教師の会が結成され、この団体を中心に「被爆体験の継承」を主な内容とする組織的な平和教育運動が始まった。この運動は、それまで原水爆禁止運動とは無縁であった多数の被爆者の証言を引き出す契機となった。平和教育を進めた学校の多くが、聞き取りによる被爆体験記集や各学校・地域の被災記録をその成果として作成した。表8. は、10件以上の手記を掲載した記録を残している広島・長崎両県内の学校をまとめたものである。

広島県内では、学校単位だけでなく教育委員会や教職員組合など多様な団体による取り組みが見られた。原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑建設委員会事務局（711215）・庄原市社会科同好会（720105、721228、750523）・広島女学院教職員組合平和教育委員会（730401、760401）・国際平和教育研究会（750806、810715）・広島県教職員組合海田地区支部（830806）・広島市教育委員会事務局社会教育部社会教育課（860333、890333）・廿日市町教育委員会（8607

表 8. 広島・長崎両県内の学校の原爆手記集出版状況

---

広島県内＝	広高等学校 (760733) ・ 安田女子高等学校 (761020, 810212)
	廿日市中学校 (780233) ・ 亀山中学校 (780533, 790333)
	日本キリスト教団広島府中教会こぼと幼稚園 (780219, 780724, 831333, 950801) ・ 海田中学校 (791133) ・ 観音小学校 (820201)
	可部中学校 (820433) ・ 大河小学校 (820933) ・ 戸坂中学校 (830310)
	可部東中学校 (850333) ・ 三和中学校 (870301)
	鈴峯女子高等学校 (901026, 911133)
長崎県内＝	緑ヶ丘中学校 (720288, 761333) ・ 森山中学校 (730503)
	活水中学校 (740410) ・ 飯盛中学校 (770214)

---

10) ・ 広島県退職婦人教職員の会 (861022) ・ 坂町教育委員会 (910806) ・ 広島県同和教育研究協議会 (940707) などがある。こうした活動は、長崎県内でも「原爆殉難教え子と教師の像」維持委員会 (840315) などが存在するが、全体として広島ほど活発ではなかった。

1970年代後半から修学旅行を広島・長崎での平和学習にあてた小・中・高等学校が増加する。広島原爆資料館に入館した修学旅行生は79年度には、2253団体32万7359人であったが、94年度には4150団体43万9059人にまで増えている(人数のピークは87年度の53万8345人)。これらの学校の修学旅行の記録集の中には、被爆地で聞いた体験談を収めたものが見られる。この目録に収録したのは、たまたま市内の公共機関に所蔵されているものだけであるが、系統的に調査すれば、多数が新たに確認できることであろう。また、被爆地以外の学校の中には、日本福祉大学附属高校 (930833) のように、学校所在地(愛知県知多地域)在住の被爆者の聞き取りをおこなったものもあった。

広島市内の平和教育の活性化に応えるかのように、地域の老人関係団体の中には、原爆手記の発行を試みるものが現れた。1974年の広島市安佐公民館で組織された安佐明治青年大学が発行した『原爆の記録・あの日わたしは』(740806)は、その早い例である。79年には、広島市内の公民館が、被爆体験の継承への取り組みを開始した。また、84年から85年にかけては、戦後広島市に合併した新市域の公民館が相次いで手記集の出版を手掛けた。これは教育委員会の被爆体験継承事業の一環としておこなわれたもので、その成果は、同委員会により86年と89年の二度にわたり『あのとき閃光を見た 広島空に』(正統合

わせて289件の手記を収録)としてまとめられた。また、広島市老人クラブ連合会も85年12月に『私達の思いを次世代へ』を発行している。

広島・長崎両市が被爆数年後から開催している平和祈念式は、地方自治体による「平和行政」の先駆的なものである。両市の平和行政の活動は、原爆被災誌や手記集の発行という形でも展開された。広島では、『原爆体験記』(広島市民政局社会教育課編、500806)・『ヒロシマの証言』(広島平和文化図書刊行会、690806)・『広島原爆戦災誌』(全5巻、1971年刊)・『原爆被爆者等面接記録』(広島平和文化センター編、860331)・『原爆被爆者は訴える』(広島平和文化センター、880331)などが、また長崎では、『長崎原爆戦災誌』(全5巻、77～85年刊)・『長崎市職員による原爆体験記』(長崎国際文化会館、871101)・『ピース・トーカーきみたちにつたえたい』(長崎平和推進協会、880331、880809、900401、940633、950809)などが発行されている。

被爆両市以外でも、長崎県西彼杵郡長与町・時津町(731001)・諫早市福祉事務所(830333)・昭島市企画部企画課(900733)・長崎県時津町(951127)などが被爆体験集を出版した。また、1982年以降全国各地に生まれた非核宣言自治体が、戦争体験記集の発刊や平和学習のための広島・長崎への市民の派遣事業などを実施するようになったが、これらの手記集や報告集の中にも原爆手記が収録された。表9. は、それらをまとめたものである。自治体により体験継承を取り扱う部局が異なっていることが注目される。これらは、たまたま確認しえたものであるが、今日非核宣言自治体は、全国で2050に及んでおり(『朝日新聞』96年1月4日)、これ以外にも数多くのものが存在するものと思われる。

図8. には、「4. 平和教育関係団体」のうち手記数が500件を超えるものの1965年以降の推移を示した。「43. 学校」は、70年代からほぼ10年間盛り上がりを示したが、その後は低調である。その他の2つの小分類では、特定の年・時期に盛り上がりが見られている。その背景には、「41. 県市町村」では71年の『広島原爆原爆戦災誌』、「44. 公民館・老人クラブ・社会福祉協議会」では85年の『私達の思いを次ぎ世代へ』(広島市老人クラブ連合会)というように特定の手記集の出版が存在している。

表9. 地方自治体の原爆手記出版状況

---

摂津市市長公室企画課 (85080105)
町田市企画部企画課 (88020101)
日野市総務部 (880720, 900720, 920701, 940701)
板橋区総務部総務課 (890120)
草加市企画財政部広報広聴課 (900331)
東京都目黒区総務部総務課 (910215, 910325, 931033, 941033)
練馬区 (910301)
岩手県松尾村 (910331)
中野区企画部企画課 (930333, 950320)
東京都杉並区総務部総務課 (930333)
甲府市地域振興課 (941201)
葛飾区総務部総務課 (950733)
松山市 (950833)
滋賀県健康福祉部社会福祉課 (950933)
高森町教育委員会 (951025)
品川区総務部総務課 (951133)
宇治市平和都市推進協議会 (951233)
三鷹市企画部企画調整室平和・女性・国際化推進係 (951333)
東京都千代田区 (951333)

---

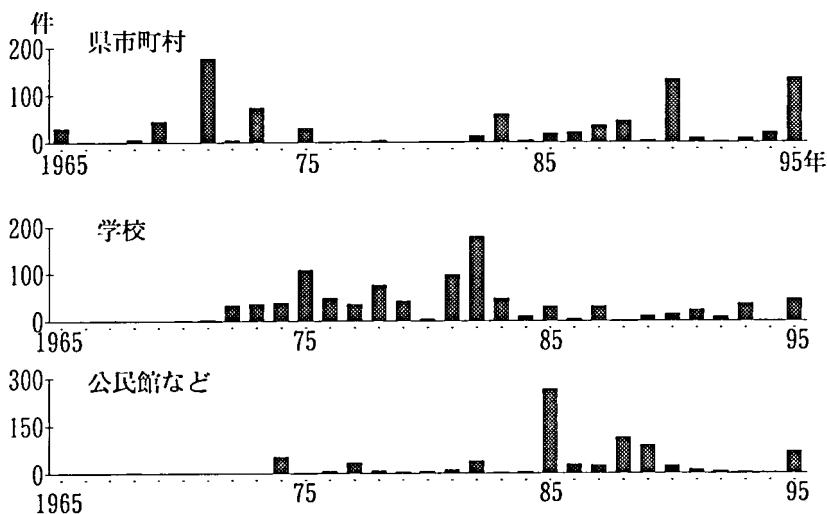


図8. 「平和教育関係団体」の小分類別手記数の推移

## 7. 原水爆禁止・反核団体

1955年から毎年広島・長崎を中心に開催されるようになった原水爆禁止世界大会では、毎回被爆者の代表が「訴え」をおこなっている。その全文あるいは要約は、大会報告書の中に見ることができる。原水爆禁止運動は、1963年に決定的な分裂に至る。しかし、原水爆禁止の願いを込めた原爆手記の出版活動は、運動の分裂により途絶えるのではなく、逆に活発におこなわれるようになった。

『木の葉のように焼かれて』（新日本婦人の会広島県本部、1964年～）・『あさ』（山下会、65～84年）、『老いと怒りと』（吉島被爆者の会、66年～72年）・『壁－未解放部落原爆被爆者の手記』（福島地区被爆者の会、68年～78年）・『原子雲の下に生きつづけて』（全電通被爆者協議会、70年～83年）・『この怒りを』（国労原爆対策協議会、71年～82年）・『ピカに灼かれて』（広島医療生協原爆被害者の会、77年～）などは、原水爆禁止世界大会に向けて出版されたものである。これらよりも早い61年6月に創刊された原水爆禁止広島母の会の機関誌『ひろしまの河』も67年まで継続的に発行され、主に大会の中で頒布された。また、原水爆禁止西宮市協議会が、『平和へのねがい』を69年に創刊し、89年までに7号を発行している。このほかに、原水爆禁止長崎県協議会（650729）・原水爆禁止日本協議会（710730、800806）・原水爆禁止香川県協議会（850720）・非核長崎市民の会（850733）・広島駅前核実験抗議座り込み連絡センター（851201）・核兵器禁止平和建設広島県民会議（860806）・「反核・写真運動」（870806）・非核の政府を求める広島会（900714）・核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会（910615）・原水爆禁止東京協議会（930233）などの原水爆禁止団体が、単発的に手記集を発行している。

## 8. 社会団体

被爆体験継承の活動は、戦後に展開されたさまざまな文化運動や社会運動の中でも取り組まれてきた。長崎文化連盟（490930）・京都大学文学部学友会（510714）・日本労働組合総評議会（520803）による手記集の出版は、その早い例である。労働団体では、前に紹介した労組内の被爆者団体の外に、全基労中国地区委員会（600806）・全労働省労働組合広島支部（770625）・全電通広



島（780415）・国鉄長崎機関区（810808）・全専売労働組合広島地方部（820806）・鳥取県教職員組合（860630）・出版労連（910806）・全労働省労働組合（910806）などが手記集を発行した。婦人団体は、早くから原水爆禁止運動に積極的に取り組んでいるが、前出の新日本婦人の会や山下会のものの外に、長崎市婦人会（700701）・草の実会（820715）・広島主婦同盟（850533）・くらしと平和を守る婦人の会（850720）・広島県商工団体連合会婦人部協議会（890220）・長崎県婦人団体連絡協議会（910215）・広島県女性会議（950833）などによる手記集が存在している。

1980年代以降、生活協同組合や宗教団体が、被爆者団体・婦人団体とともに原水禁運動の積極的な推進母胎として活躍するようになるが、これらの団体も手記集を発行した。前者の例としては、全国大学生生活協同組合連合会（830301）・生活協同組合コープながさき（861333）・エフコープ生活協同組合（950520、福岡）・生協ひろしま（950806）などが、また、後者の例としては天理教広島教務支庁（800701）・安芸教区広陵東組（830806、950806）・日本福音ルーテル教会（840401）・浄土真宗本願寺派安芸教区高宮組可部法中（850833、860933）・カトリック正義と平和広島協議会（910225）などがある。

このほかにも、広島県手話通訳問題研究会（890806）・長崎県ろうあ福祉協会（950320）・ひまわり会（広島・高陽第一診療所）（950806）・長崎県部落史研究所（951025）・牛田ニュース（951101、広島）が10件以上の手記を収録した手記集を出版している。

図9.には、小分類「63.婦人団体」の1965年以降の推移を示した。ほぼ継続的な出版が行われているが、1985年にピークが現れている。これは、104件の手記を収録した『語り継ごう業火の中のさけび』（広島主婦同盟）の出版によるものである。

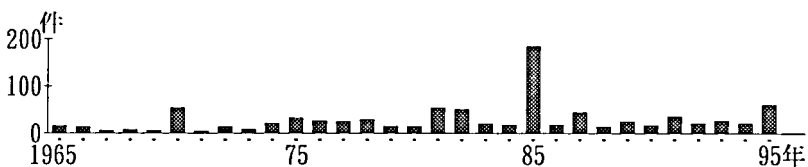


図9. 「婦人団体」の手記数の推移

## 9. 手記の普及状況

原爆手記の掲載書誌には、頒布ルート（＝マスコミ）に乗ったものとそうでないもの（＝私家版）がある。全国的な頒布ルートに乗ったと考えられるものは817冊（手記数は5297件）を数え、書誌数全体の23%（手記数で14%）を占める。地方のマスコミ・ミニコミが関わっているものを含めれば書誌数で1642冊（46%）、手記数で7778件（21%）となる。この場合の私家版は、1900冊（54%）、3万15件（79%）である。

図10. は、マスコミが関わったものについて、掲載書誌数と手記数を年別に示したものである。これから、マスコミが、戦後ほぼ一貫して原爆手記に関心をよせてきたことが分かる。占領期の1949年から講和条約が発効した52年にかけて、毎年20冊を超える書誌が出版されているが、この4年間の書誌数は97冊である。また、表10. のような全国的な頒布ルートを持つと考えられるマスコミ機関が、占領期間中に原爆手記掲載書誌の発行を手掛けている。

マスコミの関心はそれ以後しばらく薄れたが、1960年代に入り再び高まり、多数の掲載書誌が発行され続けている。80年代には、さらに高い水準で推移していたが90年代には減少傾向にある。82、85、95年に書誌数のピークが見られるが、それぞれの実数は89、112、82冊である。手記数では、年ごとの増減が書誌数の場合より激しいが、80年代の盛り上がりは、書誌数と同様である。91

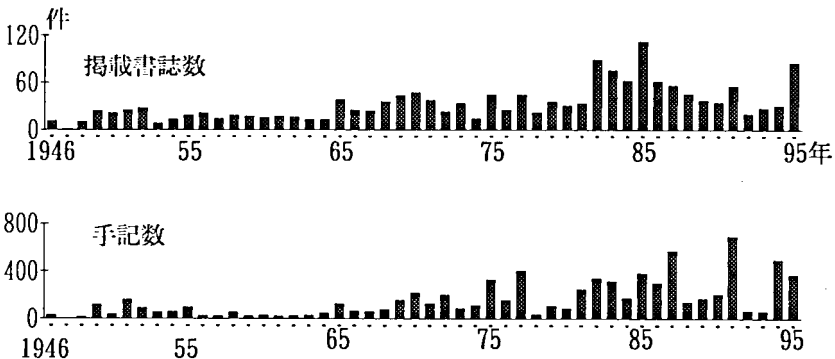


図10. マスコミが関わった掲載書誌数と手記数の推移

表10. 全国的な頒布ルートを持つマスコミの占領下における原爆手記出版状況

---

岩波書店 (460301, 510801, 511002), 最新医学社 (460933),  
朝日新聞社 (461010, 490814), 鎌倉文庫 (480325),  
主婦之友社 (480501, 520301), ロマンズ社 (480615, 490515, 500501),  
大日本雄弁会講談社 (480701, 480925, 481101, 481201, 490801, 490801, 500725,  
500801), つり人社 (480901), 中央社 (481130),  
日比谷出版社 (490130, 490630), 婦人タイムス社 (490220)  
東京トリビューン社 (490410, 491001), 丁子屋書店 (490720),  
雄鶏社 (490801, 491010), 改造社 (490801), 表現社 (490810)  
京都印書館 (490815), ナウカ社 (490920), 時事通信社 (490930),  
日本出版 (491033), 有恒社 (491125), 銀座出版社 (491215),  
銀座文庫 (500215), 自由青年出版社 (500801), 実業之日本社 (500801)  
学風書院 (500810), モダンセラピー社 (500820), 都市計画協会 (500833)  
新女性社 (501001, 510801), 理論社 (501110), 新潮社 (510115),  
東和社 (510201), 暁明社 (510331), 婦人画報社 (510801), 文芸春秋社 (510801),  
中央出版社 (510815), 日本出版協同 (510905), 社会科学研究社 (510925),  
新興出版社 (511110), 三笠書房 (511133), 青銅社 (511228, 520210),  
中央公論社 (520101)

---

年に手記数が極端な増加を示しているが、これは日本図書センターのシリーズ『日本の原爆記録』の出版によるものである。また、戦後50年間に原爆手記を多く取り扱ったマスコミは、汐文社 (50冊)・朝日新聞社 (40冊)・岩波書店 (34冊) で、いずれも30冊を超えている。

なお、書誌は大きく単行本・冊子類 (=書) と逐次刊行物 (=誌) に分けられるが、書は2706冊 (76%)、誌は836冊 (24%) となっている。

## 10. 執筆者の被爆地別状況

執筆者の被爆地別の手記数は、広島分18,500件 (71%)、長崎分7,407件 (28%)、被爆地不明178件 (1%) である。1985年の厚生省の調査によれば、被爆者の被爆地別割合は、広島被爆62%、長崎被爆38%であるが、これを基準とすれば全体として原爆手記の執筆は、広島分が多い。

図11. には、発行主体の分類別に被爆地別の手記数の割合をまとめた。分類「1.被爆当時の組織」が、基準とほぼ同じ割合であるほかは、基準と大きくずれており、「3.被爆者関係施設・団体」以外は、広島分が多くなっている。また、図示していないが、小分類では、「27.生協被爆者団体」(広島分が99%、

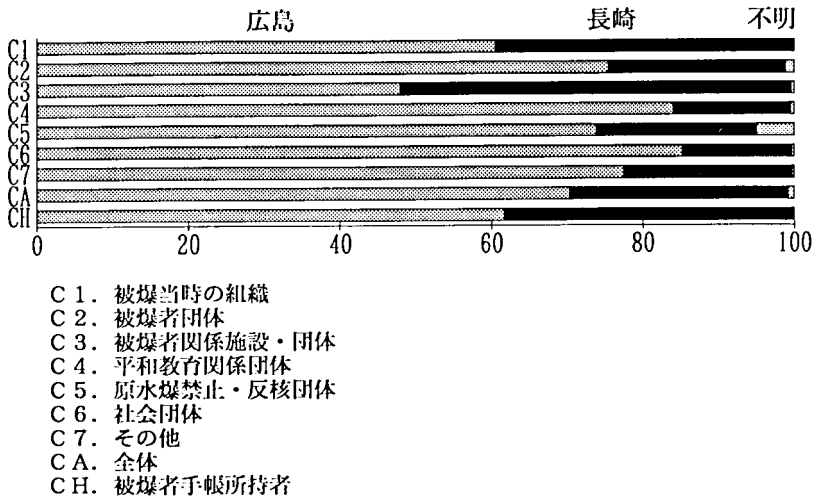


図11. 分類別に見た手記執筆者の被爆地の割合

以下同様)、「42.教育委員会」(99%)、「44.公民館・老人クラブ・社会福祉協議会」(97%)・「13.官公庁」(96%)、「11.軍隊」(89%)、「63.婦人団体」(88%)、「61.平和団体」(87%)、「62.労働団体」(85%)となっており、広島分が基準の比べ著しく多い。これに対し、長崎の多いのは、「15.事業所」(長崎分が58%、以下同様)、「14.学校」(49%)、「32.被爆体験継承団体」(48%)、「31.被爆者援護施設・団体」(47%)などであった。

つぎに、手記の執筆者の被爆地別に、年別手記数を示すと図12.のようになる。被爆地広島分では、1965年と75年に画期が見られ、85年には、極端に増加している。これに対し、被爆地長崎分では、68年に画期が見られるが、以後広島分のような大きな増加は見られない。ただ、両者ともに、95年に大きな盛り上がりを見せた。この年の手記数はそれぞれ3773件(69%)、1706件(31%)であり、その割合は基準に近いものであった。

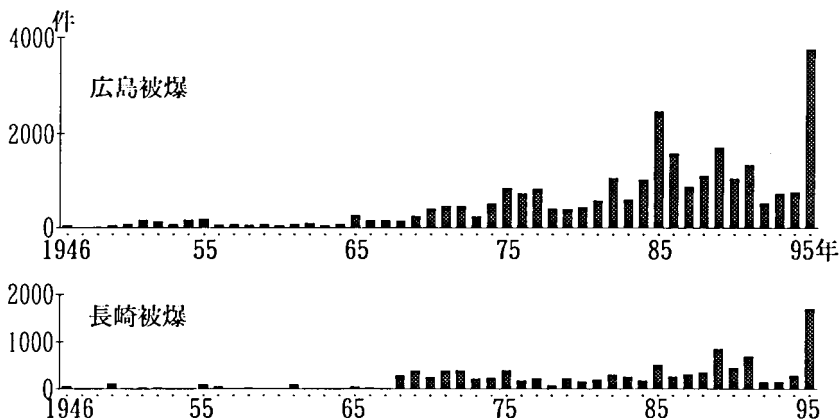


図12. 執筆者の被爆地別手記数の推移

## 11. 掲載手記数

1冊の掲載手記数を見ると、ほとんどの書誌の収録数は、10件未満である。1件から9件掲載しているものは2733冊（全書誌の78%）、10件から99件は728冊（21%）、100以上は52冊（1%）であった。多さでは、鹿児島県原爆被爆者福祉協議会編・刊『原爆許すまじ』（950401）の729件が群を抜いている。その他では日本被団協が被爆40周年に実施した調査の一連の報告（881128、890328、890728、891108、940625）や、旧長崎医科大学原爆犠牲者遺族会の『忘れな草3号』（690320）・『同1号』（680415）・『同4号』（711231）および大阪府原爆被害者団体協議会の『被爆の証言－広島・長崎』（910301）、広島県立一中被爆生徒の会の『ゆうかりの友』（740501）、大牟田原爆被害者の会の『点滅－後世に遺す全会員（被爆者206人・遺族7人）の伝言集』（890401）が、それぞれ200件以上を収録している。

これらは、発行主体別の分類で見れば『原爆許すまじ』を除き、いずれも「1.被爆当時の組織」もしくは「2.被爆者団体」に入るものである。発行主体別で1冊当たりの掲載手記数の多いのは、「22.地域被爆者団体」（67件）、「42.教育委員会」（63件）、「28.日本被団協」（54件）、「11.軍隊」（32件）などであった。

マスコミに乗ったものと私家版の区別で見ると、1冊当たりの掲載手記数は、前者は5件、後者は16件となり、私家版の方が手記を多く収録している。

一般的に、「1.被爆当時の組織」や「2.被爆者団体」の編集者は、組織や地域内のできるだけ多くの被爆者から証言を引き出そうと努力している。また、「22.被爆者団体（広島県内）」では、被爆者の実情を反映して入市や救護活動に従事したいいわゆる間接被爆者の手記の占める割合が大きい。1984年に広島県双三郡三和町で出版された手記集には187人の手記が収録されているが、これは同町内の被爆者の70%に相当し、間接被爆者の手記数は73パーセントとなっている。さらに、これらの手記集では、共通の体験が述べられ、重複も多い。さらに、収録されているほとんどは、被爆当時の記述に終始している。これに対し、マスコミでは、とかく被害の大きい典型的な体験を求めがちであった。また、この中では手記出版が活発になるにつれ、手記の類型化を憂える声が生まれ、被爆体験の思想化や原爆投下時に限定された手記からの脱皮が声高に唱えられるようになっていく。マスコミに乗ったものと私家版の掲載手記数の差は、こうした両者の手記に対する態度・評価の違いからもたらされたものと考えられる。

## 12. 手記（集）出版の動機

原爆被害の実相は、被爆直後から書き継がれているが、それが出版物となるに当たっては、さまざまな動機があった。被爆直後から今日まで最も広く存在しているのは、原爆犠牲者への追悼の気持ちである。被爆の翌年に発行された3冊の手記集のうち、『不知火』（460207）・『泉』（460801）は学友の追悼集であり、『あの当時』（460833）は、両親を慕う孤児の思いを中心に綴ったものであった。『星は見ている』（540803）は「亡き子を偲ぶため」、『原爆と母たち』（550807）は「せめて生徒たちの供養だけでも」との意図から、それぞれ広島一中と広島女高師の関係者によって編さんされたものであった。

こうした出版の動機としての追悼の気持ちは、今日に至るまで綿々と引き継がれている。たとえば、『動員学徒誌』（680330）・『流灯』（711215）は、慰霊碑の建立と並行して出版されており、『原爆の記録』（690806）は、慰霊碑に

かわるものとして編さんされた。また、『炎の中に』（690806）と『鎮魂』（700806）は、いずれも25回忌の法要に付随して出版された。手記集（50点以上の手記を収録）のタイトルに、「追憶」（1954～93年）・「忘れな草」（68～85年）・「追悼」（77～93年）・「鎮魂」（77年）・「紙碑」（81～95年）・「墓標」（84～95年）といった言葉が使われているが、これらは、編さん者の追悼の気持ちを表現している。

追悼と並んで平和への強い願望も、早い時期から出版の動機であった。『長崎精機原子爆弾記』（490809）は、巻頭に「この生々しき体験実録を故登原所長以下二二七三殉職者の霊位に献ぐ」の言葉を掲げているが、これは、もともと原爆1周忌の日に「世界平和の端緒となった原爆の実体を永遠に記念し郷土長崎の復興、平和国家の再建に資したい」との考えから発案されたものであった（同書「序に代えて」）。

1949年4月、トルーマン米大統領が、「私は再び原子兵器の使用を決定することをためらわない」と言明、9月には、ソ連が原爆保有を発表して世界に大きな衝撃を与えた。この時期から、原爆手記がつぎつぎに出版されるようになるが、この背景には、原爆被害の体験を平和に結び付けようとする願望や明確な意図があった。たとえば広島市の『原爆体験記』（500806）は、その「刊行のことば」の中で、「二つの世界の激しい対立の嵐吹きすさぶ中に、天来の平和の訴えとして人の子の耳を傾けさせないだろうか」と述べている。この本は、浜井信三広島市長が47年に『『広島遺産』として後世に残す』ことを目的として市民から募集し、必ずしも公表を前提としていなかったが、50年の原爆記念日に向けて出版したものであった（『原爆市長』、671215）。翌51年には、長田新が私的に『『平和のための教育』研究資料』として収集した児童・生徒の手記が『原爆の子』（511002）として東京の出版社から発行された。またこの時期には、『ヒロシマを忘れるな』（500801）や京都大学文学部学友会の『原爆体験記』（510714）などのように平和運動の一環として原爆反対を明確に掲げた手記集が現れた。

これらの手記集は、いずれも被爆当時の実相を伝えることによって原水爆の禁止を訴えることに主眼が置かれていた。しかし、多くの被爆者が置かれてい

る現状に十分な関心を寄せているわけではなかった。山代巴・川手健らの『原爆に生きて』(530625)は、この点に重点を置いて編さんされた初めての手記集であった。しかし、こうした試みが直ちに広く理解されたわけではなかった。編さん委員たちは、心の中を世間に向けて公表できず、真実のことを言うことができないような被爆者の置かれている状況を指摘している(同書「序」)。

広島市の『原爆体験記』(500806)や長田新の『原爆の子』(511002)の出版には、直接、追悼や平和といった目的に資するというのではなく、史上初の体験を克明に記録し残すという意図がみられた。こうした意図は、1970年代に、『広島原爆戦災誌(全5巻)』・『長崎原爆戦災誌』などの編さん事業や民間の被爆体験継承運動に引き継がれた。被爆者団体の手記集は、その関係者が意図しているかどうかは別として、これまで明らかになっていた事実を被害者自身の記録として残すとともに、空白に近かったさまざまな被爆の実相を掘り起こしている。たとえば、広島県内の場合、各市町村から出動して被爆した地区特設警備隊や義勇隊の被害状況、各市町村での救援・救護活動の実態が明らかになった。また、広島県外の地域被団協の手記集により、不明部分の多かった広島駐屯部隊の被害状況が次第に明らかになっている。

被爆者団体とくに地域単位の被爆者団体の多くは、手記集を出版するまでは、国の施策にもとづく被爆者健康診断の受け皿的な性格にとどまり、原水爆禁止運動との直接的な関わりを持っていなかった。しかし、これらの団体による手記集の出版は、社会との間に新たな関係を築く試みであった。手記集に付された「風化に抗して」・「子孫におくる」・「語りつがねばならないこと」・「伝言」といったタイトルからは、被爆体験を各地域において継承しようとする意図を、また、「原爆許すまじ」・「核戦争を阻止し核兵器をなくすために」などの表題からは、核兵器禁止への願いを知ることができる。

## おわりに

原爆手記の多くは、私家版である。原爆手記は、しばしば、書名に「原爆」・「被爆」といったキーワードを持たない刊本や意外な逐次刊行物に収録されている。こうしたものを確認するためには、広島・長崎関係の出版物にこまめに



当たる必要がある。広島公共機関については広く郷土資料に当たったが、長崎については、そうした作業をおこなっていない。その理由は、作業員自身が広島に在住していることによるが、公共機関による原爆文献の収集・保存作業が、広島に比して長崎では著しく遅れていることもあった。また、原爆手記は両市以外でも、多数出版されている。今回調査した福岡県立図書館では、広島・長崎両市の公共機関で見ることのできなかった同県内の出版物を数点を確認することができた。こうしたものは、他県においても同様に確認できるであろう。

この目録は、1995年までの出版物を対象としたが、96年にも多数の手記が出版されている。これまでに確認できているだけでも、手記数は500件に及んでいる。自らの体験を遺そうとする原爆被害者の意志は、現在なお健在である。今後、手記数はこれまでのように多くはないとしても、少なくとも10年～20年という単位では、出版が途絶えるとは思われない。原爆手記掲載書誌の確認作業は、今後もお必要である。

手記集の各手記の内容は、簡単なものが多い。これまで厚生省により4回の全国原爆被爆者実態調査が実施されたが、情報の量・内容は、これらの記述と大差のないものかも知れない。しかし、実態調査の結果は、そのまま公表されるわけではなく、数量的に処理され、一人一人の情報は無視される。手記により原爆被害は初めて、それぞれ顔を持つ人間の被害として残されるのである。

原爆被害は、しばしばアウシュビッツや南京の被害と並んで取り上げられる。しかし、多くの場合、犠牲者の数の比較にとどまり、被害者一人一人の個性において表現されているわけではない。もし、30数万人の被爆者及び数不明の遺族・被爆二世などの原爆被害者が、手記を書く、つまり原爆被害への自らの思いを活字として遺すとするれば、それは貴重な「平和への道標」（1986年発行の豊中市原爆被害者の会の手記集のタイトル）となることであろう。

広島で原爆白書の作製が提案されて、30年が経過した。この間、原爆被害の実態解明の試みがさまざまな形でなされてきた。原爆被災資料広島研究会による原爆被災資料の所在確認作業、広島・長崎両市の原爆資料館をはじめとする機関がおこなった資料の収集・保存事業、10フィート運動による原爆映画の製作、マスコミ各社の原爆企画報道など、その量は膨大なものである。原爆白書

にとって、これらの成果を踏まえることはもちろんであるが、なによりも重要なのは、原爆被爆者の体験を基礎に据えることである。その意味で、原爆手記の分析は、原爆白書の基礎と骨格を構築する作業といえよう。

被爆体験は、原水爆禁止運動・反核運動のエネルギーの源泉であった。また、1980年代からの被爆体験の証言活動を中心とした被爆者運動は、日本の運動で中心的役割を果たしてきた。日本の運動を振り返り、運動の今後を展望しようとする際、原爆手記の分析は、多くの示唆を与えてくれるであろう。

日本では、1982年以降、非核宣言をおこなう自治体が急増し、その数は、現在では2000を超えた。宣言の多くは、「わが国は、世界唯一の核被爆国として、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返してはならない」との趣旨を盛り込んでいる。自治体の中には、非核宣言を記念して、自ら原爆被害者の手記集の発行に取り組んだものがあった。また、80年代半ばに広島県内で被爆者団体の手記集が多数出版された背景には、市町村役場の原爆被爆者対策主管課（係）や社会福祉協議会などの支援が見受けられた。さらに、91年からは、厚生省による手記集出版への補助事業が始まっている。全国の自治体や国が、こうした行政施策を今後も持続・充実するとともに、手記（集）の収集・保存・利用に対する新たな施策を展開してゆくことが望まれる。

追記：この報告は、下記の研究の成果の一部である。

1. 1994-96年度文部省科学研究費基盤研究C「原爆被爆者対策史の基礎的研究」  
（課題番号：06610313、代表：宇吹暁）
2. 1995-96年度文部省科学研究費基盤研究B(1)「被爆関連文献のフルテキスト・データベースの作成・検索・分析の研究」  
（課題番号：07309010、代表：松尾雅嗣）



# 原爆手記掲載書・誌目録

1945（昭和20）年～1995（平成7）年

## 凡例

- 
- ◆これは、原爆手記を掲載した単行本と逐次刊行物の目録である。
  - ◆ここで原爆手記とは、つぎのものの総称である。
    - ◇原爆体験記
    - ◇原爆被害者としての社会的発言
    - ◇原爆被害者の家族、被爆二世・三世の手記
    - ◇聞き書きのうち原爆被害者が一人称でまとめられているもの
  - ◆現物で確認できたもののほかに、つぎの文献や再録などで確認できるものを加えた。
    - ◇原爆被災資料広島研究会編『原爆被災資料総目録 第三集 原爆手記・広島の一部』
    - ◇原爆被災資料広島研究会編『原爆被災資料総目録 第四集 占領期文献』
  - ◆機関紙・誌（いわゆるミニコミ）は収録したが、一般紙（商業紙）は省いた。
  - ◆外国語の手記を掲載したものは省いた。
  - ◆掲載した項目およびその内容は、つぎのとおりである。
    - ◇「月日」＝発行年の月日を示す。
      - \*「月」が不明のものは、「13」で示した。
      - \*「日」が不明のものは、「33」で示した。
    - ◇「書誌名」
    - ◇「編著者」
    - ◇「発行所」 \*「編著者」と同一の場合は省いた。
    - ◇「広島」＝執筆者が広島被爆の手記数
    - ◇「長崎」＝執筆者が長崎被爆の手記数
    - ◇「不明」＝執筆者が被爆地が広島か長崎か不明の手記数
    - ◇「計」＝「広島」・「長崎」・「不明」の合計
      - \*執筆者が広島・長崎の両地で被爆したものについては、両者に加えた。
    - ◇「CL」＝編集・発行主体別の分類記号であり、その内容は次頁の通りである。
      - \*複数の分類を持つものについては、数次の若い分類番号を採用した。
    - ◇「\*」印＝広島大学原爆放射能医学研究所付属国際放射線情報センターの所蔵を示す。
-

原爆手記掲載書誌分類表

分類 番号	内容	分類 番号	内容
1	<u>被爆当時の組織</u>	5	<u>原水爆禁止・反核団体</u>
11	軍隊	51	世界大会議事録
12	地域組織	52	その他
13	官公庁		
14	学校	6	<u>社会团体</u>
15	事業所	61	平和団体
19	その他	62	労働組合
		63	婦人団体
2	<u>被爆者団体</u>	64	生活協同組合
21	地域被爆者団体 (広島市内)	65	その他
22	地域被爆者団体 (広島県内)		
23	地域被爆者団体 (長崎市内)	7	<u>単行本</u>
24	地域被爆者団体 (長崎県内)	71	出版社 (全国)
25	地域被爆者団体 (広島・長崎両県外)	72	出版社 (広島)
26	労組被爆者団体	73	出版社 (長崎)
27	生協被爆者団体	74	新聞社・放送局
28	日本原水爆被害者団体協議会	75	その他
29	その他		
		8	<u>雑誌</u>
3	<u>被爆者関係施設・団体</u>	81	マスコミ (全国)
31	被爆者援護施設	82	ミニコミ (広島)
32	被爆体験継承団体	83	ミニコミ (長崎)
		84	ミニコミ (その他)
4	<u>平和教育関係団体</u>		
41	県市町村	9	<u>その他</u>
42	教育委員会	91	個人出版
43	学校	92	その他
44	公民館・老人クラブ・社会福祉協議会		
45	教職員組合		

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<u>1945 (昭和20) 年</u>								
[なし]								
<u>1946 (昭和21) 年</u>								
02 07	不知火・追悼号	第七高等学校 造士館理科二 年甲類五組		0	15	0	15	14
03 01	世界3月号		岩波書店	1	1	0	2	81 *
03 10	中国文化創刊号—原 子爆弾特輯	栗原貞子編	中国文化発行 所	2	0	0	2	82 *
04 01	晩鐘2・3月号		晩鐘社	1	0	0	1	82
07 33	長崎戦没学友追悼文 集	第七高等学校 造士館		0	31	0	31	14
08 01	泉第1集—みたまの 前に捧ぐる	広島興産文化 部編	広島興産株式 会社	15	0	0	15	15
08 01	月刊中国8月号—原 子爆弾記念号	京極務修編	中国新聞社	5	0	0	5	82 *
08 01	瀬戸内海8月号		浜根汽船出版 部	1	0	0	1	82
08 01	晩鐘8月号		晩鐘社	1	0	0	1	82
08 33	岬柴火遺稿集			1	0	0	1	92
08 33	あの当時	広島戦災児育 成所編		15	0	0	15	31
09 20	火を継ぐ	松尾敦之	平戸文化協会	0	1	0	1	65 *
09 33	最新医学第4号		最新医学社	1	0	0	1	84
10 01	言霊10月号		言霊社	1	0	0	1	84
10 10	志願囚—囚人ととも に三十年	正木亮	朝日新聞社	1	0	0	1	74
11 01	子供の世界創刊号		広島県児童文 化協会	1	0	0	1	82
<u>1947 (昭和22) 年</u>								
04 01	歌集・麗雲	山本康夫	真樹社	1	0	0	1	72 *
06 20	雅子斃れず—長崎原 子爆弾記	石田雅子・石 田壽・石田稔 一		0	2	0	2	91
08 33	島耕造遺稿集	島耕造三回忌 追弔会		1	0	0	1	92
<u>1948 (昭和23) 年</u>								
03 25	犯罪少年の手記	坪田譲治・平 間孝三 (編)	鎌倉文庫	1	0	0	1	71 *
05 01	主婦之友5月号		主婦之友社	0	1	0	1	81
06 15	ロザリオの鎖	永井隆	ロマンス社	0	1	0	1	71 *
07 01	キング7月号		大日本雄弁会 講談社	0	1	0	1	81
07 33	いずみ		[警察機関誌]	1	0	0	1	82

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1948 (昭和23) 年</b>									
08 20	広島貯金支局戦災復 旧事務史	広島貯金支局 (編)		2	0	0	2	13	*
09 01	つり人9月号		つり人社	1	0	0	1	84	
09 25	この子を残して	永井隆	大日本雄弁会 講談社	0	1	0	1	71	*
11 01	キング11月号		大日本雄弁会 講談社	0	1	0	1	81	
11 30	広島原子爆弾の手記 ・絶後の記録-亡き 妻への手紙	小倉豊文 (広 島文理科大学 助教授)	中央社	1	0	0	1	71	*
12 01	キング12月号		大日本雄弁会 講談社	0	1	0	1	81	
<b>1949 (昭和24) 年</b>									
01 30	長崎の鐘	永井隆	日比谷出版社	0	1	0	1	71	*
01 33	旅路	荒城月子		1	0	0	1	91	
02 20	長崎原子爆弾記・雅 子斃れず	石田雅子	婦人タイムス 社	0	2	0	2	71	*
04 10	天よりの大いなる声	日本基督教青 年会同盟(編)	東京トリビュ ーン社	16	0	0	16	71	*
05 15	ロザリオの鎖 (増補 版)	永井隆	ロマンス社	0	1	0	1	71	*
06 30	花咲く丘	永井隆	日比谷出版社	0	1	0	1	71	*
07 20	ひろしま-原子爆弾 の体験をめぐりて	衣川舜子	丁子屋書店	1	0	0	1	71	*
08 01	原子雲の下に生きて -長崎の子供らの手 記	永井隆 (編)	大日本雄弁会 講談社	0	38	0	38	71	*
08 01	雄鶏通信臨時増刊- 特選記録文学	雄鶏通信編集 部 (編)	雄鶏社	1	0	0	1	81	*
08 01	改造8月号		改造社	1	0	0	1	81	
08 01	婦人倶楽部8月特大 号		大日本雄弁会 講談社	1	0	0	1	81	
08 09	長崎精機原子爆弾記	三菱重工業株 式会社長崎精 機製作所(編)		0	39	0	39	15	*
08 10	雅子斃れず-長崎原 子爆弾記	石田雅子	表現社	0	2	0	2	71	*
08 14	週刊朝日8月14日 号		朝日新聞社	0	1	0	1	81	
08 15	平和のともしび-原 爆第一號患者の手記	吉川清・富田 勝己 (補註)	京都印書館	2	0	0	2	71	*
08 33	警察文化		中国管区警察 学校	2	0	0	2	82	
09 20	福岡県歯科医師会誌		福岡県歯科医 師会	1	0	0	1	84	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1949 (昭和24) 年									
09 20	平和を守る闘いーパ リ＝ブラーグ、東京 平和大会の記録	民主主義擁護 同盟	ナウカ社	1	0	0	1	61	
09 30	長崎－二十二人の原 爆体験記録	長崎文化連盟 (編)	時事通信社・ 時事通信社販 売部(発売)	0	22	0	22	65	*
10 01	天よりの大いなる声 ー広島原爆体験記 [改定増補版]	日本基督教青 年会同盟 [代 表:末包敏夫 ] 編	東京トリビュ ーン社	16	0	0	16	65	
10 10	雄鷄通信臨時増刊ー 特選記録文学第2輯	延原謙編	雄鷄社	1	0	0	1	81	*
10 33	太白10月号			0	1	0	1	83	
10 33	働く婦人10月号	日本民主主義 文化連盟編	日本出版	1	0	0	1	81	
11 25	街娼ー実態とその手 記	竹中勝男・住 谷悦次編	有恒社	1	0	0	1	71	
12 15	サロン臨時増刊号ー 大日本帝国始末記第 1輯		銀座出版社	0	2	0	2	81	
12 20	世紀の閃光ーヒロシ マ最後の日	稲富栄次郎	広島図書	1	0	0	1	72	*
1950 (昭和25) 年									
01 30	東洋工業株式会社三 十年史	東洋工業株式 会社三十周年 記念事業委員 会	東洋工業株式 会社	1	0	0	1	15	*
02 15	小説ファン3月号ー 戦争犠牲者の手記特 集ー	水田浩二編	銀座文庫	0	1	0	1	81	
03 01	郷土クラブ季刊第3 号		郷土クラブ社	1	0	0	1	84	
04 01	明星4月号		広島市母子保 護連盟	1	0	0	1	84	
05 01	トルー・ストーリー 5月号		ロマンス社	1	0	0	1	81	*
05 05	回顧五年原爆ヒロシ マの記録	「原爆ヒロシ マの記録」編 集部(編)	瀬戸内海文庫	1	0	0	1	72	*
05 15	歌集・閃光	須田巖	香蘭短歌会	0	1	0	1	73	
06 09	平和戦線第7号		アカハタ中国 総局	1	0	0	1	82	
07 15	戦争はいやだ	山口健次郎編	晓明社	1	0	0	1	71	*
07 25	ヒロシマの十字架を 抱いて	谷本清	大日本雄弁会 講談社	1	0	0	1	71	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1950 (昭和25) 年</b>									
08 01	ヒロシマを忘れるな —No More Hiroshima's	中村武雄編	自由青年出版 社	12	2	0	14	71	*
08 01	原爆記—千代紙の小 箱	星野春雄	広島女子高等 師範学校物理 学教室原爆五 周年刊行会	7	0	0	7	14	*
08 01	キング8月特大号		大日本雄弁会 講談社	1	0	0	1	81	
08 01	新女苑8月号		実業之日本社	3	0	0	3	81	
08 01	長崎文化第6集		長崎文化評論 社	0	2	0	2	83	
08 05	通信医学第2巻第1 号	通信医学協会 編	通信教育振興 会	1	0	0	1	84	
08 06	原爆体験記	広島市民政局 社会教育課編	広島平和協会	29	0	0	29	41	*
08 06	中国薬業名鑑—広島 県之巻	中西唯一編	中国薬業名鑑 発行所	1	0	0	1	15	
08 10	原子力と私—仁科博 士還暦記念出版	仁科芳雄	学風書院	1	0	0	1	71	
08 15	更生春秋新秋号		更生春秋編輯 局	1	0	0	1	84	
08 20	モダンセラピー第3 巻第8号		モダンセラピ ー社	1	0	0	1	84	
08 33	新都市4巻8号		都市計画協会	1	0	0	1	84	
09 10	藤田一郎翁追懷録	藤田一郎追懷 録編纂委員会		2	0	0	2	92	*
10 01	新女性10月号(創 刊号)		新女性社	1	0	0	1	81	
11 05	通信医学第2巻第2 号	通信医学協会 編	通信教育振興 会	1	0	0	1	84	
11 10	愛になやみ死をおそ れるもの	理論編集部編	理論社	1	1	0	2	71	
<b>1951 (昭和26) 年</b>									
01 15	新潮—人生読本別巻 第1号		新潮社	0	1	0	1	81	
01 33	聖火7号		広島カトリッ ク教会	1	0	0	1	82	
02 01	一郎—幼き生命の訴 え	林芳郎	東和社	1	0	0	1	71	
03 01	聖火御復活祭号		広島カトリッ ク教会	1	0	0	1	82	
03 20	通信医学第2巻第4 号	通信医学協会 編	通信教育振興 会	1	0	0	1	84	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1951 (昭和26) 年								
03 31	私は戦争に生き残った、そして…… 15人の戦争記録	山口健次郎編	晓明社	1	0	0	1	71
03 33	原爆と我が思出一七年忌に当り妻子の靈に捧ぐ	村川藤吉		0	1	0	1	91
06 01	聖火-イエズスの聖心の月号 (第9号)	吉田宰治編	広島カトリック教区・カトリック文化部	1	0	0	1	82
07 14	原爆体験記	京都大学文学部学友会内原爆体験記編集委員会		13	0	0	13	65
07 25	通信医学第3巻第1号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
08 01	世界8月号	吉野源三郎編	岩波書店	7	0	0	7	81 *
08 01	新女性8月号-平和特集号-	山村久編	新女性社	1	0	0	1	81
08 01	婦人画報8月号	近藤善勝編	婦人画報社	1	0	0	1	81
08 01	晩鐘8月号-ひろしま特集号	山隅衛編	晩鐘社	1	0	0	1	82
08 01	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81
08 06	句集・原子野	伊藤一義	夕風社	1	0	0	1	75
08 07	講和新聞	全面講和愛国運動協議会		3	1	0	4	84
08 13	在りし日の樋口光治氏を偲ぶ-原爆犠牲者の七回忌	山村喜久茂		0	1	0	1	91
08 15	如己堂隨筆	永井隆	中央出版社	0	1	0	1	71 *
08 33	堀江隆介追悼録			1	0	0	1	92
09 01	ひろしま教育第27号-平和問題特集	村上式編	広島県教職員組合文化局	5	0	0	5	82
09 05	翼なき操縦士	奥宮正武	日本出版協同(財)下関水産振興協会	1	0	0	1	71 *
09 17	原爆を浴びて	那須秀雄		1	0	0	1	92 *
09 20	原爆詩集	峠三吉	新日本文学会広島支部・われらの詩の会	1	0	0	1	65
09 20	われらの詩第12号-平和特集	峠三吉編		1	0	0	1	65
09 25	白夾竹桃の下-女学生原爆記	吉松祐一	社会科学研究所	0	15	0	15	73 *
09 33	追悼法会	広島車掌区		1	0	0	1	13
10 02	原爆の子-広島少年少女のうったえ	長田新(編)	岩波書店	105	0	0	105	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1951 (昭和26) 年</b>								
10 30	通信医学第3巻第2号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
11 10	われらかく育てり—戦災児童の手記	積惟勝編	新興出版社	4	0	0	4	71
11 33	長崎の鐘	永井隆	三笠書房	0	1	0	1	71
12 25	通信医学第3巻第3号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
12 28	われら母なれば—平和を祈る母たちの手記	平塚らいてう・ 榎田ふき (監修)	青銅社	1	1	0	2	71 *
<b>1952 (昭和27) 年</b>								
01 01	婦人公論1月号	藤田圭雄編	中央公論社	3	0	0	3	81
02 10	お父さんを生かしたい—平和を叫ぶ子らの訴え	さがわみちお編	青銅社	1	0	0	1	71
03 01	いとし子と耐えてゆかむ—戦争未亡人の叫び	植村環・平林たい子・田辺繁子編	主婦之友社	1	0	0	1	71 *
03 25	通信医学第3巻第4号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
04 25	藤野七蔵氏追懐録	藤野七蔵氏追懐録編纂委員会(編)	(広島瓦斯会社内)	3	0	0	3	92 *
05 15	日本週報		日本週報社	1	0	0	1	81
05 20	大本営発表	松村秀逸	日本週報社	1	0	0	1	71 *
05 25	通信医学第4巻第1号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
06 15	原爆詩集	峠三吉	青木書店	1	0	0	1	71 *
06 20	荊の道(警鐘号)	田中秀正		1	0	0	1	92
06 33	ひろしまNO. 47		広島鉄道管理局	1	0	0	1	82
07 10	通信医学第4巻第2号	通信医学協会編	通信教育振興会	1	0	0	1	84
08 01	郵政8月号	郵政省人事部能率課編	郵政弘済会	26	2	0	28	84 *
08 01	婦人画報8月号	近藤善勝編	婦人画報社	3	2	0	5	81
08 01	広島郵政8月号	井家上耕一編	広島郵政編集部	5	0	0	5	82
08 01	警友ひろしま8月号		広島市警察本部機関誌出版部	1	0	0	1	82
08 01	福音と世界		新教出版社	1	0	0	1	84
08 01	原爆の子—特作映画シリーズ第4輯	近代映画協会編	三到社	8	0	0	8	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1952 (昭和27) 年									
08 03	原爆の子ー見よ！戦争の惨苦を！ー広島 の少女少女・魂の叫び	日本労働組合 総評議会情報 出版部 (編)		32	0	0	32	62	*
08 10	週刊朝日		朝日新聞社	1	1	0	2	81	
08 10	サンデー毎日		毎日新聞社	1	0	0	1	81	
08 14	原爆第1号ーヒロシ マの写真記録ーNO MORE HIROSHIMA	田島賢裕・梅 野彪 (編)	朝日出版社 (発行) 洛陽 書院 (発売)	6	0	0	6	71	*
08 15	記録写真・原爆の長 崎	北島宗人編 ・山端清介 (撮影)	第一出版社	0	3	0	3	71	*
09 33	広銀行報第6号		広島銀行	1	0	0	1	82	
09 33	通信医学第4巻第3 号	通信医学協会 編	通信教育振興 会	1	0	0	1	84	
10 30	私たちは長崎にいた ー原爆生存者の叫び	永井隆	大日本雄弁会 講談社	0	9	0	9	71	
11 03	夜明創刊号		あさひ会	1	0	0	1	84	
11 15	改造増刊号ーこの原 爆禍	横関愛造編	改造社	6	0	0	6	81	*
11 33	通信医学第4巻第4 号	通信医学協会 編	通信教育振興 会	1	0	0	1	84	
12 01	不死鳥の子ー原爆乙 女巣鴨来訪記念文集	すがも広島県 人会・信友会 ・プリズン文 学研究会・白 蓮社 (編)		3	0	0	3	92	*
12 01	新潮12月号		新潮社	0	1	0	1	81	
13 33	私たちは忘れないー 広大原爆展感想集	原爆の子を守 る会 (広島文 理大自治委員 会内)		14	0	0	14	31	
1953 (昭和28) 年									
01 33	婦人公論1月号		中央公論社	2	0	0	2	81	
06 25	原爆に生きてー原爆 被害者の手記	原爆被害者の 手記編集委員 会 (編)	三一書房	26	0	0	26	32	*
06 33	広島原爆雑話	蜂谷道彦		1	0	0	1	91	
08 06	花の命は短くてー原 爆乙女の手記	小島順 (編)	共同出版社	15	0	0	15	71	*
08 33	世界8月号		岩波書店	1	0	0	1	81	
08 33	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81	
08 33	婦人画報8月号		婦人画報社	3	0	0	3	81	
08 33	夕風8月号		夕風社	1	0	0	1	82	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1953 (昭和28) 年</b>								
09 10	世界救世教奇跡集	岡田茂吉(著)	世界救世協出版部	5	2	0	7	65 *
11 10	秘録大東亜戦史—原爆国内篇	田村吉雄(編)	富士書苑	2	2	0	4	71 *
12 20	中国配電株式会社十年史	中国配電株式会社(編)		4	0	0	4	13 *
<b>1954 (昭和29) 年</b>								
02 15	風のように炎のように—峠三吉追悼集	峠三吉追悼集出版委員会・われらの詩の会(編)		1	0	0	1	65 *
03 01	ちび筆	赤松俊子	室町書房	1	0	0	1	71
04 25	追憶	広隆群	広島一中遺族会	85	0	0	85	14 *
04 28	新編広島県警察史—平和条約発効記念	広島県警察史編修委員会編	広島県警察連絡協議会	3	0	0	3	13 *
04 33	文芸春秋4月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81
05 01	婦人朝日5月号		朝日新聞社	7	0	0	7	81
06 20	原水爆禁止の埼玉平和集会—ニュース	原水爆禁止の埼玉平和集会準備会		1	0	0	1	52
07 01	日本医師会雑誌		日本医師会	0	1	0	1	84
07 31	歌集・炎	白木裕	高槻発行所	1	0	0	1	92 *
08 01	週刊朝日8月1日号		朝日新聞社	7	0	0	7	81
08 01	世界		岩波書店	1	0	0	1	81
08 03	星は見ている—全滅した広島一中—年生・父母の手記集	秋田正之(編)	鱈書房	33	0	0	33	14 *
08 03	原水爆禁止署名運動—ニュース第2号	共同通信従業員有志		2	0	0	2	52
08 33	追憶	益田美佐子		1	0	0	1	91
08 33	夕風8月号		夕風社	1	0	0	1	82
10 01	中国電気工事株式会社十年史	中国電気工事株式会社(編)		7	0	0	7	13 *
10 01	太白10月号			0	1	0	1	83
10 33	文芸春秋10月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81
10 33	新女性10月号		新女性社	0	1	0	1	81
11 20	平和祈念像—長崎市—平和祈念像の出来るまで	平和祈念像建設協賛会・長崎県教職員組合(編)	平和祈念像建設協賛会・長崎県教職員組合(編)	0	2	0	2	62 *
11 33	広島教育46号		広島県教職員組合	1	0	0	1	82
12 33	日本談義		日本談義社	1	0	0	1	81

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1955 (昭和30) 年								
01 10	8時15分-原爆広島10年の記録	世界平和集会 広島世話人会 (編)		2	0	0	2	52 *
01 33	暁の鐘		輝松塾	2	0	0	2	92
03 20	靖国の父を訪ねて	広島県遺族会 (編)		9	0	0	9	11 *
04 10	われらのうた	われらのうた の会		1	0	0	1	65
05 01	新日本文学	新日本文学会		1	0	0	1	65
06 18	さかえ第5号	鞆町中学校生徒会		1	0	0	1	43 *
07 33	広島評論			4	0	0	4	82
07 33	広島教育55号		広島県教職員 組合	1	0	0	1	82
08 01	原爆前後	小野山博子		1	0	0	1	91 *
08 01	青史1巻5号	短歌文学を研究する会	青史編集部	3	0	0	3	82 *
08 05	原子力と文学	小田切秀雄	大日本雄弁会 講談社	2	0	0	2	71 *
08 06	原爆の実相	柴田重輝	文化社	1	0	0	1	71 *
08 06	句集・広島	句集広島刊行会 (編)		27	1	0	28	65 *
08 06	原爆の句集・きのこ雲	広島川柳会		7	0	0	7	65
08 06	広島原爆誌	中国電気通信局 (編)		6	0	0	6	13 *
08 06	広島市における被災児の実態-附被災母子の生活状況	原水爆禁止世界大会広島準備会 (編)		3	0	0	3	52 *
08 06	原水爆禁止世界大会議事速報(第一日)	原水爆禁止世界大会共同デスク編	原水爆禁止世界大会日本準備会	1	1	0	2	51
08 07	原爆と母たち-附・原爆をこうして避けた	星野春雄(編)	泰文堂	66	0	0	66	71 *
08 10	原爆十周年記念平和大集会議事録	平和集会共同デスク編		1	1	0	2	51
08 14	週刊朝日		朝日新聞社	1	0	0	1	81
08 14	週刊サンケイ		産経新聞社	4	2	0	6	81 *
08 33	原爆十年	広島県社会保険診療報酬支 払基金		11	0	0	11	13
08 33	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81
08 33	晩鐘		晩鐘編集委員会	3	0	0	3	82
08 33	開拓者8月号			1	0	0	1	84

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1955 (昭和30) 年</b>								
09 15	報道部長日記	松村秀逸	日本週報社	1	0	0	1	71
09 25	ヒロシマ日記	蜂谷道彦	朝日新聞社	1	0	0	1	74 *
09 33	平和9月号		大月書店	2	0	0	2	81
10 01	婦人朝日10月号		朝日新聞社	1	0	0	1	81
10 01	岐阜県平和協議会準備会ニュース第2号	岐阜県平和協議会準備会		1	0	0	1	61
10 22	追憶—長崎医大原爆犠牲者に捧ぐ	長崎医大原爆十周年記念出版委員会編		0	86	0	86	14
10 28	原爆許すまじ—原水爆禁止世界大会の記録・第一回	原水爆禁止世界大会日本準備会		1	1	0	2	51
11 03	創立五十周年記念誌	[広島大学教育学部付属中学校高等学校] 創立五十周年記念事業会編		8	0	0	8	14 *
11 07	安田学園四十年史	安田学園四十年史編集委員会 (編)		2	0	0	2	14 *
11 13	原爆を禁止する日まで—原水爆禁止世界大会岩手県報告書	原水爆禁止世界大会岩手県準備会		1	0	0	1	52
11 20	不安と希望と—統・死の灰かぐら	農林省原水爆研究会		1	0	0	1	52 *
<b>1956 (昭和31) 年</b>								
01 30	通俗の生涯	中野王吉	永井書店	1	0	0	1	71 *
01 33	出雲文学第2号	出雲文学会		1	0	0	1	84
03 02	今堀恭子の面影	今堀一枝	今堀友市	1	0	0	1	91
03 15	原水爆禁止日本協議会ニュース第5号	原水爆禁止日本協議会		0	0	1	1	52
03 33	原爆に立つ男	久保辰雄		1	0	0	1	91
04 01	原水爆禁止日本協議会ニュース第6号	原水爆禁止日本協議会		0	1	0	1	52
04 05	一郎よ死ぬな—一幼児の生と死の記録	林芳郎	鱈書房	1	0	0	1	71 *
04 10	写真で見る原爆の記録	手島毅 (編)	原水爆禁止日本協議会	3	1	0	4	52 *
05 01	らくがき随筆	重富芳衛	毎日広告社広島支社	1	0	0	1	72 *
05 33	広島市戦災処理の概要—元船舶司令官佐伯中将述	佐伯文郎	厚生省引揚援護局史料室	1	0	0	1	11 *
06 01	あゆみ第6号	広島子どもを守る会青年部		1	0	0	1	31

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1956 (昭和31) 年									
07 33	世界のすみずみまで 一被爆者を囲む懇談 会と原爆展の記録	横須賀三浦原 水爆禁止懇談 会編		2	0	1	3	52	*
08 01	中央公論8月号		中央公論社	2	1	0	3	81	
08 07	原子野のうた声一被 爆作曲家の手記	木野昔見雄		0	1	0	1	91	
08 08	もういやだー原爆の 生きている証人たち	長崎原爆青年 乙女の会(編)	原水爆禁止世 界大会長崎実 行委員会	0	33	0	33	23	*
08 08	くずれぬ平和をー8 ・6広島大会、被害 者大会議事録	原水爆禁止広 島大会実行委 員会・広島機 関紙クラブ編		2	0	0	2	51	*
08 09	第二回原水爆禁止世 界大会議事速報(第 一日)	原水爆禁止世 界大会共同デ スク(編)	第二回原水爆 禁止世界大会 実行委員会	1	1	0	2	51	*
08 31	志願囚一死刑廃止論 者の手記	正木亮	河出書房	1	0	0	1	71	
08 33	世界8月号		岩波書店	1	0	0	1	81	
08 33	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81	
08 33	さかえ第6号	幟町中学校		1	0	0	1	43	
08 33	青史第2巻第8号	短歌文学を研 究する会	青史発行所	1	0	0	1	82	
08 33	生活と文学10月号			1	0	0	1	84	
08 33	婦人画報		婦人画報社	1	0	0	1	81	
09 05	福音と世界		新教出版社	1	0	0	1	84	
09 33	いずみNO. 116		広島県警察本 部	1	0	0	1	82	
10 01	思い出ばなしとこ ろ	涌島秀好(著)		1	0	0	1	91	*
10 01	婦人公論10月号		中央公論社	0	2	0	2	81	
10 01	創立七拾周年記念誌	広島女学院		2	0	0	2	14	*
10 08	高校生による原爆資 料紹介の会(仮称) 活動報告	高校生による 原爆資料紹介 の会(仮称) (編)	広島大学教育 学部附属高等 学校	6	0	0	6	43	*
10 08	原水爆禁止全国市議 会議長大会記録	小倉市議会		2	2	0	4	41	
11 15	広島商人	久保辰雄	平凡社	1	0	0	1	71	*
11 25	母のヒロシマ原爆戦 史ーあの日から今も なお	副島まち子	東都書房	1	0	0	1	71	*
12 01	薔薇と車輪一鍛冶四 人集	若狭駿介・河 本芳子・川美 ゆき・小原藤 次	理論社	1	0	0	1	71	*



月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1956 (昭和31) 年								
12 25	広島損害保険史一保 全社創業十周年記念	荒谷輝雄(編)	保全社	1	0	0	1	15 *
12 33	折りにふれ	中井只人		2	0	0	2	91
13 33	童心寺物語	原爆遺児後援 会(編)		9	0	0	9	31 *
1957 (昭和32) 年								
01 01	平和都市建設に活躍 する人々		県報関西新聞 社	3	0	0	3	74
01 33	研究彙報第2巻第1 号	日本憲法確立 同盟編	研究彙報発行 所	1	0	0	1	84
03 01	統・駅長談話室	小谷春夫		1	0	0	1	91 *
03 20	ひろしま-20周年記 念誌1957	日本興業銀行 広島支店行友 会(編)		5	0	0	5	15 *
06 01	天よりの火	川野正七(著)	タブレット社	0	1	0	1	71 *
06 01	新女苑6月号		実業之日本社	0	1	0	1	81
07 01	魔炎一愛児のむくろ を求めて	桑原競		1	0	0	1	91 *
07 01	広島県偕行会誌第1 3号	広島県偕行会 本部		1	0	0	1	11
07 33	落英一呪わしき原爆 に奪われた天野勲君 を偲ぶ	長岡四朗	十三回忌追悼 委員会	1	0	0	1	92
08 01	知性8月号		河出書房	1	0	0	1	81
08 06	流燈一広島市女原爆 追悼の記	広島市女原爆 遺族会(編)		31	0	0	31	14 *
08 12	第3回原水爆禁止世 界大会議事速報一第 1日(8月12日総 会)	原水爆禁止日 本協議会編		0	1	0	1	51
08 13	第3回原水爆禁止世 界大会議事速報一第 2日(8月13日陪 層別協議会)	原水爆禁止日 本協議会編		1	0	0	1	51
08 25	亡びぬものを	永井隆	中央出版社	0	1	0	1	71 *
08 33	原爆の遺児は訴える 一大竹市原水協に寄 せて	大竹市小. 中 学校		5	0	0	5	43
08 33	短歌研究8月号		日本短歌社	1	0	0	1	81
08 33	婦人画報8月号		婦人画報社	1	2	0	3	81
09 05	広島県偕行会誌第1 4号	広島県偕行会 本部		1	0	0	1	11
09 33	キング8月号		大日本雄弁会 講談社	3	0	0	3	81
11 01	新女苑11月号		実業之日本社	1	0	0	1	81

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1957 (昭和32) 年</b>								
11 33	原爆は母を奪った	熊谷孝兵衛		1	0	0	1	91
12 03	石田学園五十周年記念誌	石田学園(編)		6	0	0	6	14 *
12 20	如己堂随想	永井隆(著)	聖ドミニコ修道院(黎明社)	0	1	0	1	71 *
12 33	婦人公論12月号		中央公論社	1	0	0	1	81
<b>1958 (昭和33) 年</b>								
03 20	原子野	福田須磨子(著)	現代社	0	1	0	1	71 *
03 25	ヒロシマ	[永井嘉一]	研光社	1	0	0	1	71 *
04 01	青少年の犯罪日記一付補導の手引き	片山卓治・高城弘明編	広島一元社	1	0	0	1	72 *
04 01	セブンウィクリー4月号	重富芳衛編	セブン・ウィクリー社	1	0	0	1	81 *
04 01	写真でみる原爆の記録	手嶋毅(編)	原水爆資料保存会	3	2	2	7	32 *
05 05	随筆・れんげ草	初井恵学	東宝書房	0	7	0	7	71 *
06 01	川柳・子百句	江田双馬		1	0	0	1	91 *
06 10	烽火6月号		長崎天狼烽火発行所	0	1	0	1	83
06 25	週刊サンケイ(別冊)		産経新聞社	1	0	0	1	81 *
07 33	動く広島7月号		動く広島社	1	0	0	1	82
08 10	政治経済セミナー8月号		政治経済研究会	22	0	0	22	82 *
08 12	第4回原水爆禁止世界大会議事速報一第1日総会	原水爆禁止日本協議会		1	2	0	3	51
08 25	週刊大衆8月25日号		双葉社	0	1	0	1	81
08 33	主婦と生活8月号		主婦と生活社	1	0	0	1	81
09 33	われらのうた38号		われらのうたの会	8	0	0	8	82
09 33	婦人朝日		朝日新聞社	0	2	0	2	81
10 33	婦人朝日		朝日新聞社	0	1	0	1	81
11 01	生々流転	丸木俊子	実業之日本社	1	0	0	1	71 *
11 03	高い石段	古屋安治	梅谷文庫	0	1	0	1	92 *
11 20	現代教養全集3一戦争の記録	臼井吉見(編)	筑摩書房	1	0	0	1	71 *
11 33	広島女子商の一断面	広島女子商学園庭球部		1	0	0	1	14
11 33	婦人朝日		朝日新聞社	0	1	0	1	81
12 01	三児に遺す一わが家の原爆記録	村上敏夫	広島市職員労働組合	1	0	0	1	62
12 15	原子爆弾	加納節尋	北海道大学八・六平和の会	1	0	0	1	52 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1958 (昭和33) 年</b>								
12 25	山本實一追悼録	〔山本實一〕 追悼録編纂委 員会 (編)	中国新聞社	2	0	0	2	92 *
12 33	婦人朝日		朝日新聞社	0	1	0	1	81
<b>1959 (昭和34) 年</b>								
01 31	鯉城一創立八十周年 記念誌・昭和33年	広島県広島国 泰寺高等学校		5	0	0	5	14 *
02 20	現代教養全集6一 生の記録	臼井吉見 (編 集・解説)	筑摩書房	1	0	0	1	71 *
02 25	ロザリオの鎖	永井隆	中央出版社	0	1	0	1	71
06 10	原爆歌集	井原康雄	河出書房新社	1	0	0	1	71 *
06 25	ひき裂かれて一母の 戦争体験	鶴見和子・牧 瀬菊枝編	筑摩書房	1	0	0	1	71
07 33	原爆で親をうばわれ た広島少年少女は 訴える	広島子供を守 る会 (編)		24	0	0	24	31 *
07 33	火幻第4号		火幻短歌会	1	0	0	1	82
08 01	熱い背	瀬戸口千枝	長崎生活を つづる会	0	1	0	1	65 *
08 01	婦人公論8月号		中央公論社	2	0	0	2	81
08 01	日本8月号		講談社	1	0	0	1	81
08 01	婦人画報8月号		婦人画報社	1	0	0	1	81
08 05	第5回原水爆禁止世 界大会議事速報 (8 月4日・5日)	原水爆禁止日 本協議会		1	0	0	1	51 *
08 05	広島教育8月号	広島県教職員 組合教文部	広島教育会館 出版部	3	0	0	3	45
08 06	原爆被害の真相と被 害者の苦しみ	日本原水爆被 害者団体協議 会 (編)		14	1	0	15	28 *
08 06	広島一原爆の街に生 きて	深川宗俊 (著) 「青史」編集 部 (編)	短歌文学を研 究する会	1	0	0	1	65 *
08 20	長崎の鐘はほほえむ 一残された兄弟の記 録	永井誠一、茅 野	知性社	0	1	0	1	71 *
08 33	新婦人8月号		文化事業社	1	0	0	1	81
08 33	広銀NO. 68		広島銀行文書 課	1	0	0	1	82
08 33	家庭教育8月号		西日本図書	1	0	0	1	82
08 33	青史第5巻第8号	短歌文学を研 究する会	青史発行所	1	0	0	1	82
08 33	真樹8月号		真樹社	1	0	0	1	82

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1959 (昭和34) 年</b>								
09 30	記録写真・原爆の長崎	北島宗人(編) ・山端庸介 (撮影)	学風書院	0	3	0	3	71 *
10 01	婦人公論10月号		中央公論社	1	0	0	1	81
12 20	その死を超え行くもの—四竈佑子追憶のしおり	四竈揚		2	0	0	2	91 *
<b>1960 (昭和35) 年</b>								
02 15	広島県川上村史	川上村史編纂会(編)	川上村史刊行会	3	0	0	3	12 *
03 01	マドモアゼル3月号		小学館	1	0	0	1	81
06 15	火の幻	豊田清史	日本文芸社	1	0	0	1	71
06 20	暗転—わが演劇自伝	薄田研二	東峰書院	1	0	0	1	71
06 26	図書新聞		図書新聞	3	0	0	3	81
07 25	被爆の井—小田鳥迷子句集	小田鳥迷子	水明発行社	0	1	0	1	75
08 01	黒い蝶—原爆前後の手記	松岡鶴次	季節社	1	0	0	1	71 *
08 06	愛子—原爆悲記	木村玉二	藤山印刷	1	0	0	1	92 *
08 06	第6回原水爆禁止世界大会議事速報(8月5日—6日)	原水爆禁止日本協議会		0	1	0	1	51 *
08 06	広島原爆遭難記	佐久間作一郎		1	0	0	1	91
08 06	原爆のさげび	全基労中国地区委員会(編)		3	0	0	3	62 *
08 33	広銀NO. 80		広島銀行文書課	2	0	0	2	82
09 01	被団協連絡NO. 29	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
09 25	ふるさとを訪ねて・広島	井伏鱒二	泰光堂	1	0	0	1	71 *
09 33	婦人公論9月号		中央公論社	4	0	0	4	81
10 25	実録太平洋戦争第6巻—銃後篇	伊藤正徳, 富岡定俊, 稲田正純(監修)	中央公論社	2	0	0	2	71 *
11 01	ピカドン	木場善市		1	0	0	1	91
11 01	あしあと	動員学徒援護会(編) 宮原周治(責任編集)		1	0	0	1	14 *
11 03	かえらぬ鶴	瀬戸奈々子(著) 藤川治生(編)	白樺社	2	0	0	2	71 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1960 (昭和35) 年</b>								
11 33	被団協連絡NO. 31	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
12 02	犯罪と捜査—統検事物語	榎田忠美	石崎書店	1	0	0	1	71 *
12 27	デルタ第3号		広島市職員共済組合	4	0	0	4	82 *
13 33	広島原爆記録画展解説目録—原爆十五周年大阪展	福井芳郎		1	0	0	1	91 *
<b>1961 (昭和36) 年</b>								
01 25	群友会ニュース創刊号	群馬県原爆被災者の会		1	0	0	1	25 *
02 25	世界ノンフィクション全集13		筑摩書房	1	0	0	1	71
04 01	被団協連絡NO. 36	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
05 01	被団協連絡NO. 37	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
05 03	皆実有朋—六十周年記念誌	広島県広島皆実高等学校編		2	0	0	2	14 *
06 15	ひろしまの河NO. 1	原水爆禁止広島母の会		1	0	0	1	52 *
07 01	被団協連絡NO. 39	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
07 16	純女学徒隊殉難の記録	純心女子学園(編)		0	92	0	92	14 *
07 33	火幻第12号		火幻短歌会	1	0	0	1	82
08 01	いずみ8月号		広島県警察本部	2	0	0	2	82 *
08 06	広島原爆医療史	広島原爆医療史編集委員会(編)	広島原爆障害対策協議会	43	0	0	43	15 *
08 11	第7回原水爆禁止世界大会議事速報—広島集会・予備会議	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	51 *
08 25	帛紗	山本紀代子	真樹社	1	0	0	1	72 *
08 33	被爆体験記No 1	日本原水爆被害者団体協議会		4	0	0	4	28

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1961 (昭和36) 年</b>								
09 06	核兵器禁止と平和建設のために	核兵器禁止平和建設国民会議 (編)		0	1	0	1	52 *
10 01	被団協連絡NO. 42	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
10 12	かえらぬ鶴	瀬戸奈々子・林田みや子	二見書房	3	0	0	3	71 *
10 33	真生活の友NO. 50		広島真生活教会	1	0	0	1	82 *
11 01	被団協連絡NO. 43	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
11 30	風雪の愛はひとすじに一夫と妻の記録	中島力	新潮出版	1	0	0	1	71 *
12 01	ひろしまの河NO. 4	原水爆禁止広島母の会		1	0	0	1	52
12 01	被団協連絡NO. 44	日本原水爆被害者団体協議会		1	1	0	2	28
12 10	校長の記録	今堀友市	培風館	1	0	0	1	71
<b>1962 (昭和37) 年</b>								
01 01	被団協連絡NO. 45	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
01 33	画報戦記新年号		小出書房	1	0	0	1	81
03 15	被団協連絡NO. 47	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
03 25	平和をもとめて一長田新論文・追想記	広島大学新聞会 (編)		1	0	0	1	65 *
04 15	被団協連絡NO. 48	日本原水爆被害者団体協議会		2	0	0	2	28
05 27	あの日あの時一私達の原爆体験記集	兵庫県原爆被害者の会(編)		14	3	0	17	25 *
06 15	人間の声1943-45-第2次世界大戦戦没者の手紙と手記	ハンス・W・ペーア	河出書房新社	0	1	0	1	71 *
06 25	被団協連絡NO. 50	日本原水爆被害者団体協議会		2	0	0	2	28

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1962 (昭和37) 年								
07 15	わが小説	朝日新聞学芸部編	雪華社	1	0	0	1	74
07 33	随想おのみち第8号		尾道随想クラブ	1	0	0	1	82
08 01	ひろしまの河NO.5	原水爆禁止広島母の会		7	0	0	7	52 *
08 06	原爆回顧録・一閃轟音・第1集	田辺至六(著) 広島県庁職員原爆被爆者更生会(編)	広島県庁職員原爆被爆者更生会	1	0	0	1	13 *
08 13	平岡さんの談話と思い出	同刊行会		3	0	0	3	92
08 33	第8回原水爆禁止世界大会議事要録(1)	原水爆禁止日本協議会編		0	0	1	1	51 *
08 33	第8回原水爆禁止世界大会議事要録(2)	原水爆禁止日本協議会編		1	2	0	3	51
08 33	歌集・白き光	竹内一作	新星書房	1	0	0	1	71
08 33	広銀NO.104		広島銀行文書課	2	0	0	2	82
10 14	広島資材史	日本国有鉄道広島地方資材部(編)		1	0	0	1	13 *
10 16	昭和二十年八月六日原子爆弾投下倒壊校舎脱出手記(元広島一中生徒)	数田猛雄(編)		18	0	0	18	14 *
11 01	被団協連絡NO.54	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
11 03	私の体験記・卒中物語	蜂谷道彦		1	0	0	1	91 *
11 17	静岡県原水爆被害者白書-地方に生きる被害者の実態	静岡県原水爆被害者の会編		22	5	0	27	25 *
11 30	耳鳴り-原爆歌人の手記	正田篠枝	平凡社	1	0	0	1	71 *
12 01	ひろしまの河NO.6	原水爆禁止広島母の会		1	0	0	1	52
12 01	被団協連絡NO.55	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
12 25	長崎五郎を偲ぶ	長崎隆(編)		1	0	0	1	91
12 33	不死鳥第4号		広島大学職員レクリエーションの会	1	0	0	1	82

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1963 (昭和38) 年</b>								
01 01	被団協連絡NO. 56	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
02 25	人間の声—第二次世界大戦戦没者の手紙と手記	ハンス・ベアア (編)	河出書房新社	0	1	0	1	71 *
04 20	きのこぐも	嘉屋文子 (編著)		17	0	0	17	91 *
05 01	ひろしまの河NO. 7	原水爆禁止広島母の会		1	0	0	1	52
06 25	被団協連絡NO. 60	日本原水爆被害者団体協議会		2	0	0	2	28
07 31	戦争と私—主婦たちの第二次世界大戦体験記	草の実会第七グループ編		2	0	0	2	63
07 33	通信往来7月号		通信往来社	1	0	0	1	84
07 33	火幻第20号		火幻短歌会	2	0	0	2	82
08 06	ひろしまの河NO. 8	原水爆禁止広島母の会		2	0	0	2	52
08 06	かえらぬ鶴	瀬戸奈々子	白樺社	1	0	0	1	71 *
08 17	第9回原水爆禁止世界大会議事要録2	原水爆禁止日本協議会編		1	0	0	1	51 *
08 33	広島県中等教育百年の回顧			2	0	0	2	92
08 33	ヒロシマ・原爆と被爆者	日本原水爆被害者団体協議会	日本原水爆被害者団体協議会・広島県原爆被害者団体協議会	2	0	0	2	28 *
08 33	福音と世界8月号		新教出版社	1	0	0	1	81
08 33	ひろぎんNO. 116		広島銀行文書課	3	0	0	3	82
08 33	いずみNO. 197		広島県警察本部	2	0	0	2	82
09 10	長束の思い出	沖村智人		2	0	0	2	92
10 33	世界10月号		岩波書店	6	0	0	6	81
12 20	ひろしまの河NO. 9	原水爆禁止広島母の会		3	0	0	3	52
<b>1964 (昭和39) 年</b>								
02 01	被団協連絡NO. 66	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28
02 15	続・人間形成ある人生		光風社	1	0	0	1	71
03 30	広島随筆	豊田清史	広文館本店	2	0	0	2	72 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1964 (昭和39) 年								
03 33	済美叢誌	済美校友会		1	0	0	1	14
04 25	ひろしまの河NO.10	原水爆禁止広島母の会		3	0	0	3	52
05 01	中山地誌	増岡貞五郎		1	0	0	1	91 *
05 05	奥久登先生・思い出の記	佐々木勲(編)	広島信用金庫 ・広島大学東雲同窓会(等)	1	0	0	1	92 *
05 08	18歳の証言	竹内達	三一書房	3	0	0	3	71 *
05 20	むら雲-新田美登里歌集	新田美登里	初音書房	1	0	0	1	71 *
07 01	目前心後		短歌新聞社	1	0	0	1	71
07 01	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81
07 30	静岡県原水爆被害者白書第2集-私たちの完全援護法要求	静岡県原水爆被害者の会		6	2	0	8	25
08 01	木の葉のように焼かれて[第1集・創刊号]	新日本婦人の会広島県本部		7	0	0	7	63 *
08 01	続・きのこぐも	嘉屋文子		1	0	0	1	91 *
08 03	かあさんと呼べた-原爆の子らと歩いた11年の記録	山口勇子(編)	草土文化	30	0	0	30	71 *
08 15	ああ八月十五日-終戦の思い出・第2集	八幡師友会		2	0	0	2	11
08 25	原水爆禁止広島・長崎大会報告決定集NO.1	原水爆禁止広島・長崎大会全国準備委員会(編)		3	0	0	3	51 *
08 25	原水爆禁止広島・長崎大会報告決定集NO.2	原水爆禁止広島・長崎大会全国準備委員会(編)		2	0	0	2	51 *
08 33	議事要録1-第10回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	1	2	4	51 *
08 33	世界8月号		岩波書店	1	0	0	1	81
08 33	潮8月号		潮出版社	1	0	0	1	81
09 09	七十の年輪	菊池秋夫		1	0	0	1	91 *
11 25	この子を残して	永井隆	東都書房	0	1	0	1	71
12 25	死刑-消えゆく最後の野蛮	正木亮	日本評論社	1	0	0	1	71 *
13 33	議事要録2-第10回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51 *
1965 (昭和40) 年								
01 01	ひろしまの河NO.11	原水爆禁止広島母の会		3	0	0	3	52
01 01	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81 *
02 33	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1965 (昭和40) 年								
03 01	いわての被爆者は願う第二集	岩手県原爆被害者団体協議会		15	0	1	16	25
03 18	週刊平凡3月18日号		平凡社	1	0	0	1	81
03 30	砂原組四十年史	砂原組社史編集委員会(編)	砂原組	1	0	0	1	15 *
03 33	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81
04 33	瀬戸内海詩集	さかもとひさし	椽詩社	1	0	0	1	71 *
04 33	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81
04 33	献歌・原爆月魄	角北人		1	0	0	1	91
05 33	丸5月号		潮書房	1	0	0	1	81
05 33	ひろぎん20周年記念号		広島銀行文書課	1	0	0	1	82
06 25	なに菟経堂燭	原田勉	朝日書院	1	0	0	1	71 *
06 26	あゝ広島原爆	亀田正士(編著)		19	0	0	19	91 *
06 26	図書新聞		図書新聞	3	0	0	3	81
07 05	原爆ゆるすまじ	広島県被爆者の手記編集委員会(編)	新日本出版社	11	0	0	11	32 *
07 10	ドームの崩れる日	内田豊		1	0	0	1	91
07 20	原爆体験記	広島市原爆記刊行会(編)	朝日新聞社	29	0	0	29	41 *
07 20	長野県原爆被爆者白書ー被爆二十周年にあたり私たちの訴え	長野県原水爆被災者の会		5	0	0	5	25
07 20	歌話と随想	山本康夫	真樹社	2	0	0	2	72 *
07 25	暗雲を越えて	嘉屋文子		1	0	0	1	91 *
07 25	生きるー被爆後二十年の生活記録	福田須磨子	長崎原爆被災者協議会	0	1	0	1	24 *
07 29	炎と影ー被爆者二十年の手記	長崎被爆者の手記編集委員会(編)	長水爆禁止長崎県協議会	1	26	0	27	52 *
07 31	その日の広島ーキリスト者の原爆体験	松本卓夫・四竈一郎(他著)	新教出版社	11	0	0	11	71 *
07 31	ガンマ線の臨終ーヒロシマに散った俳優の記録	八田元夫	未来社	1	0	0	1	71 *
07 33	あさ第2号	山下会		5	0	0	5	63
08 01	木の葉のように焼かれて第2集	新日本婦人の会広島県本部・広島支部		10	0	0	10	63 *
08 01	ひろしまの河NO. 12	原水爆禁止広島母の会		3	0	0	3	52

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1965 (昭和40) 年									
08 05	句集・原子沙漠	坂井山彦	ちまき社	1	0	0	1	71	*
08 15	原民喜全集第2巻	原民喜(著)	芳賀書店	1	0	0	1	71	*
08 30	昭和戦争文学全集1 3-原子爆弾投下さ る	昭和戦争文学 全集編集委員 会(編)	集英社	20	1	0	21	71	*
08 30	がらくた集(その2)	友末亮作		1	0	0	1	91	*
08 33	原爆物故者名簿	広島県農業会		16	0	0	16	15	
08 33	広島原爆遭難記一世 紀の惨禍	佐久間作一郎		1	0	0	1	91	
08 33	議事要録1-第11回 原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日 本協議会		0	1	0	1	51	
08 33	議事要録2-第11回 原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日 本協議会		2	2	0	4	51	*
08 33	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81	
08 33	日本8月号		講談社	1	0	0	1	81	
08 33	主婦と生活8月号		主婦と生活社	1	0	0	1	81	
08 33	フェアレディ8月号		学習研究社	1	0	0	1	81	
08 33	放送RCC46号		ラジオ中国	1	0	0	1	82	
08 33	社報NO.167		中国電力株式 会社	5	0	0	5	82	
08 33	あけぼの第9号	松本学園生徒 会		1	0	0	1	84	
08 33	真樹8月号		真樹社	1	0	0	1	82	
09 01	思い出の記	竹内助四郎		4	0	0	4	91	*
09 15	十人百話9	谷川徹三(著 者代表)	毎日新聞社	1	0	0	1	74	
09 30	八月十五日と私-女 性と終戦の記録	NETテレビ 社会教養部 (編)	社会思想社	3	4	0	7	74	*
09 30	原民喜全集第1巻	原民喜	芳賀書店	1	0	0	1	71	*
09 33	婦人公論9月号		中央公論社	4	0	0	4	81	
09 33	戦記画報9月特大号		辰巳書房	1	0	0	1	81	
09 33	暮しと健康9月号		保健同人	1	0	0	1	84	
10 10	主婦の戦争体験記- この声を子らに	いずみの会	風媒社	1	0	0	1	63	*
10 20	魔壇	原爆被害者の 集い・みどり 会	世界救世教西 光会	22	0	0	22	29	*
10 33	一被爆者の手記-爪 跡	松尾公三		1	0	0	1	91	*
10 33	げんばく記	土田康		1	0	0	1	91	
10 33	広島詩集をめぐって	広島県詩人協 会		3	0	0	3	65	
10 33	スクラム第3集		広教組安佐支 部	1	0	0	1	62	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1965 (昭和40) 年</b>								
11 01	政治経済セミナーNO.112		政治経済セミナー社	1	0	0	1	82 *
11 05	安田学園五十年史	安田学園(編)		1	0	0	1	14 *
11 20	春秋二十年—つれづれなるまゝの随想集	広島県医師会(編)		5	0	0	5	15 *
12 09	高知の被爆者は願う	高知県原水爆被災者の会	高知県原水爆対策協議会	14	7	1	22	25
12 20	大きな夢があったのに	額賀英良・信・宇女子	六芸書房	2	0	0	2	71
12 33	折鶴のわがい第1集—愛知県在住原爆被害者の実態調査を終えて	原水爆禁止愛知県協議会・北区被爆者懇談会・新日本医師協会愛知県支部(編)		1	0	0	1	25 *
13 33	米寿・回顧録	土居愈吉		1	0	0	1	91
<b>1966 (昭和41) 年</b>								
02 10	つるのたより第6号	つるの会		0	1	0	1	84
02 15	原民喜全集(普及版)第2巻	原民喜	芳賀書店	1	0	0	1	71
02 15	原民喜全集(普及版)第3巻	原民喜	芳賀書店	1	0	0	1	71
02 28	福岡県下における原爆被爆者の生活実態(その2)	原水爆禁止福岡県協議会、福岡県原水爆被害者団体協議会(編)		1	0	9	10	25 *
03 01	ひろしまの河NO.13	原水爆禁止広島母の会		1	0	0	1	52
03 31	原爆体験記	広島市	広島市	32	0	0	32	13 *
03 31	友愛	日本損害保険協会広島地方委員会		3	0	0	3	15
04 20	戦争体験	山田宗睦編	徳間書店	2	0	0	2	71
05 01	折鶴のわがい第2集—被爆者は訴える—愛知県在住被爆者の手記集	「折鶴のわがい」編集委員会(編)	原水爆禁止愛知県協議会・北区被爆者懇談会・新日本医師協会愛知県支部	9	2	4	15	25 *
05 20	署長の履歴書・第1編	淵真吾	警察文化	1	0	0	1	75
05 20	平和の鐘	田辺耕一郎編	広島悲願の会	1	0	0	1	65

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1966 (昭和41) 年								
05 33	創立九十周年記念誌	広島大学教育学部付属東雲小学校 (編)		1	0	0	1	14 *
05 33	通信往来5月号		通信往来社	1	0	0	1	84
06 01	あさ第3号	山下会		4	0	0	4	63
06 33	きのこ会会報No. 1	きのこ会		1	0	0	1	29
07 10	碁と人生	瀬越憲作 (名譽九段)	財団法人日本棋院	1	0	0	1	92 *
07 12	私たちの原体験—地域活動の記録	原水爆禁止伏見地域実行委員会		1	0	0	1	52
07 15	婦人文芸第21号	婦人文芸の会		1	0	0	1	84
07 20	ヒロシマの証人—たかう被爆者—北海道被爆者の手記 (第1集)	笹田実 (編)	琴似被爆者の会 [北海道]	5	0	0	5	25 *
07 20	広島はたかう—創刊号	胎内被爆者・被爆二世を守る会編		7	0	0	7	31 *
07 27	心から笑える日を一胎内被爆者の生活とその周辺	山下会		2	0	0	2	63 *
07 33	原爆前後の回想	原田一彦		1	0	0	1	91 *
08 01	ひろしまの河No. 14	原水爆禁止広島母の会		6	0	0	6	52
08 01	木の葉のように焼かれて第3集	新日本婦人の会広島県本部・広島支部	新日本婦人の会広島県本部	8	0	0	8	63 *
08 01	東松照明写真集1—<11時02分>NAGASAKI	東松照明	写真同人社	0	14	0	14	71 *
08 01	放送RCC第59号 (6巻7・8号)		ラジオ中国	2	0	0	2	82 *
08 06	理容生活六十五年	島本正次郎		1	0	0	1	91
08 10	長崎原爆記—被爆医師の証言	秋月辰一郎	弘文堂	0	1	0	1	71 *
08 31	ねんりん15号	広島県職員組合		8	0	0	8	62 *
08 33	わたしの体験記 (原文のまま)	RCCラジオ中国 (編)	RCCラジオ中国	13	0	0	13	74 *
08 33	議事要録1—第12回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51 *
08 33	議事要録2—第12回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	51 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1966 (昭和41) 年</b>								
08 33	老いと怒りと第1集	吉島被爆者の会		9	0	0	9	21 *
08 33	青年運動8月号		日本民主青年同盟中央委員会	1	0	0	1	84
08 33	美しい十代		学習研究社	1	0	0	1	81
08 33	広島教育N0175		広島県教職員組合	2	0	0	2	82
08 33	火幻第32号		火幻短歌会	1	0	0	1	82
08 33	白炎第8号	白炎短歌会		1	0	0	1	84
09 08	被爆21周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆21周年世界大会実行委員会		1	0	0	1	51
10 05	婦人文芸第22号	婦人文芸の会		1	0	0	1	84
10 16	加害者への怒り-A B Cはなにをしたか・第1集	原水爆禁止広島市協議会(編)		9	0	0	9	52 *
11 30	タマキ・ケンジ詩集ーヒロシマの午後	タマキ・ケンジ	北東出版社	1	0	0	1	71
12 13	この声きえずー被爆者故飯田又記氏を悼む	大牟田市原水爆被害者の会	[福岡県]	0	1	0	1	25
12 33	粟屋仙吉の人と信仰		待晨堂	1	0	0	1	71
12 33	きのこ会会報No. 2	きのこ会		1	0	0	1	29
12 33	真生活の友N0107		広島真生活教会	1	0	0	1	82
13 33	広島市政秘話ー付平和宣言	浜井信三	広島市	1	0	0	1	41 *
<b>1967 (昭和42) 年</b>								
02 01	奈良県における原爆被災者の実態	奈良原爆被災者の会(編)		7	2	1	10	25 *
02 05	婦人文芸第23号	婦人文芸の会		1	0	0	1	84
02 33	広島通信4		広島県詩人協会	2	0	0	2	82
02 33	広通文学51号		広通文学会	1	0	0	1	82
03 20	卒中物語ー発病から社会復帰まで	蜂谷道彦	通信文化振興会	1	0	0	1	75 *
04 01	原村史(上巻)	原村史編纂委員会(編)	原村史刊行会	4	0	0	4	12 *
04 08	追憶・夫と共に原爆に堪えて・欧米諸国の見聞記	酒井妙珠・酒井孝憲	澄川内科医院(広島市中島町)	1	0	0	1	92
06 30	長崎原爆記ー被爆医師の証言	秋月辰一郎	弘文堂新社	0	1	0	1	71

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1967	(昭和42)年							
06 33	きのこ会会報No. 3	きのこ会		2	0	0	2	29
06 33	文芸春秋6月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81
07 01	炎は消えずー父子被爆記	豊田久夫・豊田清史(共著)	火幻社	2	0	0	2	72 *
07 20	わたしがちいさかったときにー長田新編<原爆の子>他より	長田新他(著)・岩崎ちひろ(画)	童心社	19	0	0	19	71
07 20	原爆の図	丸木位里・丸木俊	田園書房	1	0	0	1	71 *
07 33	いのちありて	国分寺被爆者の会	[東京都]	1	0	0	1	25
07 33	第一回原爆講演会報告書ー「八月六日の意味するもの」	広島女学院大学学宗委員会・広島女学院大学学生自治会		1	0	0	1	43
08 01	木の葉のように焼かれて第4集	新日本婦人の会広島県本部・広島支部	新日本婦人の会広島県本部	4	0	0	4	63 *
08 01	原点第2号	西村豊行	現代社(長崎)	0	1	0	1	83 *
08 01	ひろしまの河NO. 15	原水爆禁止広島母の会		5	0	0	5	52
08 05	警察漫談	桑原規一(著)		2	0	0	2	91 *
08 05	爆心地ー原爆ドーム保存運動の中から	広島折鶴の会(編)		1	0	0	1	31 *
08 06	ドームは呼びかけるー原爆ドーム保存記念誌	広島市(編)		6	0	0	6	41 *
08 06	広島のかげ	川本軍次郎編		1	0	0	1	91
08 28	あしたの墓碑銘ー戦争と人間		三一書房	4	0	0	4	71
08 28	被爆22周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆22周年原水爆禁止世界大会実行委員会		2	2	0	4	51
08 31	尾道市医師会史	尾道市医師会(編)		16	0	0	16	15 *
08 33	老いと怒りと第2集	吉島被爆者の会		9	0	0	9	21 *
08 33	議事要録1ー第13回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	51 *
08 33	議事要録2ー第13回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		1	2	0	3	51
08 33	婦人之友		婦人之友社	1	0	0	1	81

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1967 (昭和42) 年								
08 33	新聞研究8月号		日本新聞協会	1	0	0	1	81
08 33	宏正8月号		実践倫理宏正 会	2	0	0	2	84
08 33	あゆみ4号		全電通労働組 合広島市外電 話局分会	1	0	0	1	62
08 33	いずみNO. 241		広島県警察本 部	7	0	0	7	82
08 33	真樹8月号		真樹社	2	0	0	2	82
08 33	広島医学20巻8号	広島医学会		1	0	0	1	82
09 13	詩集・ママンー付・ 父の詠める母の歌	水野潤一	白陵社	1	0	0	1	71 *
09 33	宏正9月号		実践倫理宏正 会	3	0	0	3	84
10 01	所感文集	広島原爆被爆 者福祉センタ ー職業指導部		11	0	0	11	31
10 15	鯉城一創立九十周年 記念誌	同編集委員会 編	広島県広島国 泰寺高等学校	3	0	0	3	14 *
10 33	あさ第4号	山下会		2	0	0	2	63
11 20	平和はみんなの願い	沖繩在住被爆 者の会		2	0	0	2	25
11 33	広島原爆被爆者の教 護活動参加記録	松井幸雄		1	0	0	1	91
11 33	麦33	広島YMCA 青年成人部		1	0	0	1	84
12 15	原爆市長ーヒロシマ とともに二十年	浜井信三	朝日新聞社	1	0	0	1	74 *
12 25	原爆の記	伊達宗彰編	[広島財務局]	14	0	0	14	13
12 25	人間形成の生涯	向井英三		1	0	0	1	91
1968 (昭和43) 年								
01 10	三つの珠ー山本節子 歌集	山本節子	真樹社	1	0	0	1	72
01 10	歌集・生命賛歌	山本康夫	真樹社	1	0	0	1	72
01 15	随筆・四等課長	中村正樹	四国運輸新聞 社	3	0	0	3	75 *
01 15	新風土ー新春特集		長崎内外通信 社	0	2	0	2	83
02 17	原爆の手記	佐伯敏子		1	0	0	1	91 *
02 20	歌集・焼土の草	上杉綾子	新星書房	1	0	0	1	71
03 05	うめ13号	広島市立観音 中学校夜間2 部		1	0	0	1	84 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1968(昭和43)年									
03 30	勤員学徒誌 [正編]	広島県勤員学徒誌編集委員会(編)		21	0	0	21	14	*
03 33	きのこ会会報No. 4	きのこ会		2	0	0	2	29	
04 15	忘れな草 [1号] - 原爆思い出の手記集	調来助編	旧長崎医科大学原爆犠牲学徒遺族会	0	258	0	258	14	
04 20	被爆者懇談集録一昭和四十二年十二月	海田町原爆被害者会(編)		6	0	0	6	22	*
05 08	或る感星の悲劇一在東京・広島に於ける一被爆者の記録	[草河達夫]		1	0	0	1	91	*
06 01	マスコミ市民		日本マスコミ市民会議	1	0	0	1	81	
06 15	死の影	中山士朗	南北社	1	0	0	1	71	*
07 01	千羽鶴	永田武門編	長崎原爆病院	0	1	0	1	31	
07 01	戦後思想の出発	日高六郎(編・解説)	筑摩書房	1	0	0	1	71	*
07 12	ぼく生きたかった一被爆二世史樹ちゃんの死	竹内淑郎(編)	宇野書店	3	0	0	3	71	*
07 30	われなお生きてあり	福田須磨子	築摩書房	0	1	0	1	71	*
07 33	原爆の手記	老人クラブ「喜楽」		1	0	0	1	44	
07 33	被爆者とともに	神戸港原水協		1	0	0	1	52	
07 33	せいりゅう夏季号		福屋人事部	1	0	0	1	15	
07 33	火幻第40号		火幻短歌会	1	0	0	1	82	
08 01	壁一未解放部落原爆被爆者の手記	福島地区被爆者の会		11	0	0	11	21	*
08 01	きのこ雲一11時2分	新日本婦人の会長崎支部編		0	7	0	7	63	*
08 01	神さま生命をください一被爆青年との愛の記録	山崎弘子	主婦の友社	0	1	0	1	71	*
08 01	佼成8月号		佼成出版社	1	0	0	1	84	*
08 01	聖母の騎士8・9月号		聖母の騎士社	0	1	0	1	83	
08 01	丸8月特別号一ワイド特集日本が崩壊した日	高野弘	潮書房	1	0	0	1	81	
08 20	ザ・ライオン11巻3号		ライオンズインターナショナル	1	0	0	1	84	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1968(昭和43)年								
08 29	被爆23周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆23周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51
08 33	わたしと戦争—八月の手記		中国放送	9	0	0	9	74
08 33	原爆日誌	増山幸男(編著)		2	0	0	2	91*
08 33	老いと怒りと第3集	吉島被爆者の会		6	0	0	6	21
08 33	世界8月号		岩波書店	6	0	0	6	81
08 33	未来8月号		未来社	1	0	0	1	81
08 33	暮しの手帖		暮しの手帖社	5	0	0	5	81
08 33	時8月号		旺文社	1	0	0	1	81
08 33	子どものしあわせ8月号	日本子どもを守る会編	草土文化	3	0	0	3	81
08 33	高一時代8月号		旺文社	1	0	0	1	81
08 33	放送RCC第79号		ラジオ中国	1	0	0	1	82
08 33	青史125号	短歌文学を研究する会	青史グループ	1	0	0	1	82
08 33	真樹8月号		真樹社	2	0	0	2	82
08 33	議事要録1—第14回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		0	1	0	1	51
08 33	議事要録2—第14回原水爆禁止世界大会	原水爆禁止日本協議会		2	1	0	3	51
09 01	広島原爆の思い出—昭和二十年八月六日恐ろしきあの日	木場博		1	0	0	1	91*
09 01	文書ドーム[No.1]	原水爆禁止東簡保実行委員会機関誌ドーム編集委員会	原水爆禁止東簡保実行委員会	1	0	0	1	52
09 05	生々しい記録—ヒロシマの原爆	長谷川唯夫(編)	警察新聞社	12	0	0	12	13*
10 01	被爆者は夜も眠れず—夢の記録	脇水聖子		1	0	0	1	91
10 01	二等兵記[改訂新版]	松前重義	東海大学出版会	1	0	0	1	71*
10 23	原爆—ひたすらに平和を祈りて—広島市南竹屋町の状況と其後の状況	近松幸一		1	0	0	1	91

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1968 (昭和43) 年</b>								
10 33	広鉄文化第15号		国鉄労働組合 広島地方本部	3	0	0	3	82
12 01	わたつみの声はわが 胸に		若樹書房	2	0	0	2	71
12 20	原爆前後1	思い出集世話 人		2	8	0	10	15 *
13 33	人間スクラップー原 爆被害者の手記	根本正雄		1	0	0	1	91 *
13 33	証言45. 8-6 8-9 No. 1	石川県原爆被 災者友の会	被爆者宗教者 科学者懇談会	3	1	0	4	25
13 33	会報ー第1回慰霊祭 記念特集号	新潟県原爆被 害者の会		3	0	2	5	25 *
13 33	所感文集・第2号	広島原爆被爆 者福祉センタ ー職業補導部		0	1	0	1	31
<b>1969 (昭和44) 年</b>								
01 25	教師の戦争体験の記 録	岩手県一関国 民教育研究会 (編)	労働旬報社	0	1	0	1	65 *
02 01	静岡県原水爆被害者 白書第3集ーすすむ 600人の心の交流	静岡県原水爆 被害者の会		1	0	0	1	25
02 15	忘れな草2号	旧長崎医科大 学原爆犠牲者 遺族会		0	15	0	15	14
02 20	あさ第5号	山下会		3	0	0	3	63
03 01	歌集・炎の証	豊田清史	広文館書店	1	0	0	1	72 *
03 20	忘れな草3号	旧長崎医科大 学原爆犠牲者 遺族会		0	308	0	308	14
03 33	原爆の手記	佐伯敏子		1	0	0	1	91
05 01	原爆の顔	近藤えい子ほ か	九州公論社	0	2	0	2	73
05 05	望郷の歌ー講話集ー 中・四国・九州編	石井寿夫・佐 古幸嬰(監修)	あしかび社	1	0	0	1	75
05 15	広島憩いの家1	広島憩いの家		4	0	0	4	31
05 33	広島支店被災記録	日本銀行広島 支店(編)		10	0	0	10	15 *
06 10	一閃轟音第2集ー原 爆地獄	柿本四三		1	0	0	1	91 *
06 10	花を友に	石橋シズヲ		1	0	0	1	91
06 25	原爆前後2	思い出集世話 人		0	37	0	37	15 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1969(昭和44)年								
07 01	木の葉のように焼かれて第5集	新日本婦人の会広島県本部・広島支部	新日本婦人の会広島県本部	3	0	0	3	63 *
07 06	会だより第6号	茨木市原爆被害者の会	[大阪府]	0	0	1	1	25
07 10	ドーム崩れる日	内田豊		1	0	0	1	91 *
07 18	火幻第4号	豊田清史編	火幻短歌会	1	0	0	1	82
07 25	遺稿・藤垂白集	藤節子		1	0	0	1	91 *
07 33	家庭と教育95号		東方出版	3	0	0	3	82
07 33	広島教育210号		広島県教職員組合	1	0	0	1	82
07 33	火幻第4号		火幻短歌会	1	0	0	1	82
08 01	長崎原爆	長崎市国際文化会館		0	1	0	1	41
08 01	ひろしまの観光36号	広島市観光協会		1	0	0	1	41 *
08 01	虹8月号		九州公論社	0	3	0	3	84
08 01	悲しみを怒りにかえてー被爆者とともにたちあがろう	原水爆禁止大阪府協議会		2	1	0	3	52 *
08 01	宏正8月号	杉原栄一郎編	実践倫理宏正会	1	0	0	1	84 *
08 02	被爆体験の継承と平和教育ー第2回平和を語る市民集会記録集	第2回平和を語る市民集会開催委員会・広島市(主催)		4	0	0	4	41 *
08 05	原子雲の下を生きのびてーはもん復刊第二号	全電通広島支部広島電信分会		1	0	0	1	62
08 06	未来を語りつづけてー原爆体験と教育の原点	広島県教職員組合・広島県原爆被爆教師の会(編)	労働旬報社	11	0	0	11	26 *
08 06	原爆の記	指田吾一	社会新報	1	0	0	1	74 *
08 06	原爆の記録	広島高等地方検察庁(編纂)		23	0	0	23	13 *
08 06	炎のなかにー原爆で逝った級友の25回忌によせて	旧比治山高女第5期生の会(編)		13	0	0	13	14 *
08 06	被爆婦人の集い第1集	大阪市原爆被害者の会婦人部		3	1	0	4	25 *
08 06	壁第2集	福島地区被爆者の会		7	0	0	7	21 *
08 06	ヒロシマの証言ー平和を考える	広島平和文化図書刊行会編	日本評論社	38	0	0	38	41 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1969(昭和44)年								
08 06	浜井信三追想録一至 誠・愛・平和	濱井信三追想 録編集委員会		5	0	0	5	92 *
08 09	長崎の証言	「長崎の証言」 刊行委員会		0	2	0	2	32 *
08 13	原爆—ある被爆医師 の証言	服部達太郎	宇野書店	1	0	0	1	71 *
08 15	私の空襲体験—全国 各都市からの公募手 記	ノーベル書房 編集部(編)	ノーベル書房	1	0	0	1	71 *
08 15	週刊読売8月15日 号		読売新聞社	1	0	0	1	81
08 15	青史NO. 127	青史グループ		2	0	0	2	82 *
08 25	被爆24周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集(上)	被爆24周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		2	1	0	3	51 *
08 30	記憶の固執—山田か ん詩集エッセイ集	山田かん	長崎文献社	0	1	0	1	73 *
08 33	八月とわたし		中国放送	8	0	0	8	74
08 33	機転で持ち帰られた 形見の革帯—原爆死 したわが子の記	畝正登		1	0	0	1	91 *
08 33	八月の日記	佐々木雄一郎		1	0	0	1	91
08 33	議事要録1—第15 回原水爆禁止世界大 会	原水爆禁止日 本協議会		2	0	0	2	51 *
08 33	きのこ会会報No. 5	きのこ会		4	0	0	4	29 *
08 33	家庭と教育96号		東方出版	11	0	0	11	82
08 33	老いと怒りと第4集	吉島被爆者の 会		3	0	0	3	21 *
08 33	議事要録2—第15 回原水爆禁止世界大 会	原水爆禁止日 本協議会		1	1	0	2	51 *
08 33	場2号		[広島]	1	0	0	1	82 *
08 33	主婦と生活8月号		主婦と生活社	1	0	0	1	81
08 33	宏正8月号		実践倫理宏正 会	1	0	0	1	84
08 33	放送RCC第91号		ラジオ中国	1	0	0	1	82
08 33	会報第9号	広島弁護士会		1	0	0	1	65
08 33	白炎NO. 18	白炎短歌会		3	0	0	3	84
08 33	真樹8月号		真樹社	1	0	0	1	82
08 33	広島原爆前後の手記 —黒い蝶	松岡鶴次		1	0	0	1	91 *
09 01	文化評論9月号		日本共産党中 央委員会	13	4	0	17	81

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1969 (昭和44) 年</b>								
09 10	被爆24周年原水爆禁止世界大会報告決定集 (下)	被爆24周年原水爆禁止世界大会実行委員会		2	0	0	2	51
09 33	家庭と教育97号		東方出版	4	0	0	4	82
10 01	所感文集第3号	広島原爆被爆者福祉センター		1	0	0	1	31
10 25	戦火の中で	高木俊朗編	筑摩書房	1	5	0	6	71
10 31	証言・私の昭和史5—終戦前後	東京12チャンネル報道部(編)	学芸書林	5	0	0	5	74 *
10 33	底点1	底点編集部	[東京]	2	0	0	2	84 *
10 33	家庭と教育98号		東方出版	5	0	0	5	82
10 33	広通文学66号		広通文学会	1	0	0	1	82
11 10	長崎文化第26号		長崎国際文化協会	0	1	0	1	83
11 33	子どもに戦争をどう教えるか—父母と教師のための	石上正夫・渋谷清祝(編)	鳩の森書房	1	0	0	1	71 *
11 33	家庭と教育99号		東方出版	4	0	0	4	82
12 08	ある惑星の悲劇—在東京・広島に於ける—被爆者の記録	草河達夫(手記) 旭丘光志(劇画)	講談社	1	0	0	1	71 *
12 15	久富達夫	久富達夫追想録編集委員会	久富達夫追想録刊行会	1	0	0	1	92
13 33	証言45. 8-6 8-9 No. 2	石川県原爆被災者の会	被爆者宗教者科学者懇談会	3	0	0	3	25
13 33	広島の日記—昭和20年から44年まで	佐々木雄一郎	【「広島の日記」佐々木雄一郎写真展世話人会】	1	0	0	1	92 *
<b>1970 (昭和45) 年</b>								
01 30	広島文庫第3号	中井正文編	広島文庫の会	1	0	0	1	82
01 33	広島・ヒロシマ			4	0	0	4	91
01 33	原爆から二十五年・悲願に生きた信仰体験記	本山雲彬	*右考堂	1	0	0	1	92 *
01 33	家庭と教育101号		東方出版	2	0	0	2	82
02 33	家庭と教育102号		東方出版	1	0	0	1	82
02 33	広通文学67号		広通文学会	1	0	0	1	82
03 15	原爆日記・第I集	広島県医師会広報部(編)		17	0	0	17	15 *
03 15	ヒロシマにて一九〇〇人の訪問	原水爆禁止日本協議会(編)	平和書房	4	0	0	4	52 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1970 (昭和45) 年								
03 33	家庭と教育103号		東方出版	2	0	0	2	82
04 20	どきゅめんとヒロシ マ24年—現代の救 済	栗原貞子	社会新報	1	0	0	1	74 *
04 30	原爆日記第2集	広島県医師会 広報部 (編)		24	0	0	24	15 *
04 30	長崎文化第27号		長崎国際文化 協会	0	1	0	1	83
04 33	家庭と教育104号		東方出版	2	0	0	2	82
05 15	学徒動員記—熊商・ 長崎造船所	有吉栄治		0	2	0	2	81
05 30	こえ第45号—原爆 の証言—	大久保武雄 (等座談)	憲法研究会	1	0	0	1	84 *
05 33	きのご雲・第1集— 私たちは訴えます	山梨県原水爆 被害者の会		7	0	0	7	25 *
05 33	父母にきく戦争体験 集—現代史を考える	福井県高校社 会科研究会坂 井地区 (編)		1	0	0	1	43 *
05 33	広通文学68号		広通文学会	1	0	0	1	82
06 20	作品集<八月六日> を描く	原民喜 (等)	文化評論出版	2	0	0	2	72 *
06 20	おぼえがき—鉄道と バスセンターの回想	大橋範吾		1	0	0	1	91 *
06 33	あさ第6号	山下会		4	0	0	4	63 *
06 33	広島通信21	「広島通信」 の会		1	0	0	1	82 *
07 01	原爆体験を語る	海田町原爆被 害者会 (編)	[広島県]	27	0	0	27	22 *
07 01	長崎の号泣—長崎市 婦人会員被爆体験記	長崎市婦人会 (編)		0	48	0	48	63 *
07 01	原爆前後3	思い出集世話 人		0	16	0	16	15 *
07 04	歌集・諦観	鈴木水蓮 (鈴 木せき)	真樹社	1	0	0	1	72
07 10	子等よ	沢田静馬・沢 田いちよ	広島憩いの家 編集部	2	0	0	2	31 *
07 10	被爆婦人の集い第2 集	大阪市原爆被 害者の会婦人 部		5	1	0	6	25 *
07 20	被爆25周年会報特 集	茨木市原爆被 害者の会	[大阪府]	1	0	0	1	25
07 25	原子雲の下に生きつ づけて第1集	全電通広島被 爆者連絡協議 会		26	0	0	26	26 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1970(昭和45)年									
07 25	長崎医大原子爆弾救護報告(週間朝日臨時増刊)	小松恒夫編	朝日新聞社	0	1	0	1	74	
07 25	詩誌炮台NO.11-長崎被爆二十五周年特集		炮台社	0	1	0	1	83	
07 27	もういやだ第2集	長崎原爆青年乙女の会(編)		0	24	0	24	23	*
07 30	写真記録・ヒロシマ25年	佐々木雄一郎	朝日新聞社	1	0	0	1	74	*
07 33	ヒロシマ・ナガサキ原爆展		朝日新聞東京本社企画部	0	1	0	1	74	*
07 33	被爆25周年記念援護法制定促進兵庫県被爆者大会報告書	兵庫県原爆被害者連絡協議会(編)		4	0	9	13	25	*
08 01	壁第3集	福島地区被爆者の会		8	0	0	8	21	*
08 01	長崎の証言1970	長崎の証言刊行委員会		0	30	0	30	32	*
08 01	婦人之友8月号		婦人之友社	1	0	0	1	81	*
08 01	虹8月号		九州公論社	0	2	0	2	84	
08 01	聖母の騎士8・9月号		聖母の騎士社	0	1	0	1	83	
08 05	広島原爆の手記-亡き妻への手紙	小倉豊文	八雲井書院	1	0	0	1	71	*
08 06	原爆回想記(広島第二陸軍病院における)	吉田一(編)	[札幌]	9	0	0	9	91	*
08 06	被爆二十五年の歩み-文集	兵庫県原爆被害者連絡協議会(編)		22	6	7	35	25	*
08 06	鎮魂	広島法曹原爆物故者25周年法要委員会(編)		20	0	0	20	13	*
08 09	原爆体験記・もういやだ-原爆に生きている証人たち[第1集復刻版]	長崎原爆青年乙女の会(編)	あゆみ出版	0	33	0	33	23	*
08 09	沈黙の壁をやぶって	長崎県教職員組合長崎総支部・長崎市原爆被爆教師の会(編)	労働旬報社	0	9	0	9	26	*
08 09	平和祈念-原爆被災25周年記念	長崎市城山小学校		0	5	0	5	14	



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1970 (昭和45) 年								
08 14	週刊朝日8月14日号		朝日新聞社	0	1	0	1	81 *
08 15	サルダボヤ8月号		日印サルダボヤ交友会	3	0	0	3	84
08 29	被爆25周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆25周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51 *
08 33	わたしの25年		中国放送	8	0	0	8	74 *
08 33	老いと怒りと第5集	吉島被爆者の会		15	0	0	15	21 *
08 33	家庭画報8月号		世界文化社	1	0	0	1	81
08 33	いずみ8月号		広島県警察本部警務課	2	0	0	2	82
08 33	広島俳句協会会報17号		広島俳句協会	1	0	0	1	82
08 33	真生活の友NO.146		広島真生活教会	1	0	0	1	82
08 33	真樹8月号		真樹社	2	0	0	2	82
08 33	第16回原水爆禁止世界大会の記録1	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51 *
08 33	第16回原水爆禁止世界大会の記録2	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51 *
09 01	丸9月号		潮書房	4	0	0	4	81
09 10	夢の処女地	小井出伊勢子	婦人生活事業部	1	0	0	1	71
09 15	閃光の下から一昭和二十年長崎城山国民学校の記録	朝日ソノラマ編集部(編)	朝日ソノラマ	0	1	0	1	71 *
09 25	長崎医大原子爆弾救護報告	朝日新聞社編	朝日新聞社	0	1	0	1	74 *
09 33	真生活の友NO.147		広島真生活教会	2	0	0	2	82
10 01	広鉄文化18号		国鉄労働組合広島地方本部	1	0	0	1	82 *
10 31	見捨てられた在韓被爆者一日・韓両政府は彼らを見殺しにするのか	竹中勞(編著)	日新報道出版	1	0	0	1	74 *
10 33	真生活の友NO.147		広島真生活教会	1	0	0	1	82
11 01	戦争をみつめて	女の気持ちペングループ		2	0	0	2	63 *
11 01	警鼓11月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1970 (昭和45) 年</b>								
11 08	閃光は今もなお—宮崎県内被爆者25年目の証言	宮崎県原爆被害者の会(編)		24	17	0	41	25 *
11 14	原点からの報告—被爆25周年被爆地訪問慰霊墓参団の記録	東京都原爆被害者団体協議会(編)		6	0	0	6	25 *
11 18	原爆の子—広島少年少女のうったえ [改版]	長田新編	岩波書店	105	0	0	105	71 *
11 20	原爆の閃光と死の灰	山口繁		0	1	0	1	91 *
11 25	長崎文化第28号		長崎国際文化協会	0	1	0	1	83
11 33	きのこ会会報No. 6	きのこ会		1	0	0	1	29
12 01	婦人公論		中央公論社	1	0	0	1	81
12 20	原爆前後4	思い出集世話人		4	35	0	39	15 *
13 33	沖縄の訴え—反戦平和と祖国復帰を願う	原水爆禁止沖縄県協議会編		0	1	0	1	52 *
13 33	追憶 [増補版]	益田美佐子		1	0	0	1	91 *
<b>1971 (昭和46) 年</b>								
01 01	警鼓1月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	1	0	1	83
02 05	生き続けて—信州の被爆者は訴える	長野県原水爆被災者の会		15	1	0	16	25 *
02 11	国立移管25周年記念誌	国立大村病院(編)		1	0	0	1	11 *
02 19	朝日ジャーナル2月19日号		朝日新聞社	1	0	0	1	81
02 33	広鉄文化第19号	国鉄労組広島地方本部	牧書店	1	0	0	1	82
03 01	—医学徒の手記—平和と生命を守るために	高木昌彦	平和書房	1	0	0	1	75 *
03 01	警鼓3月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83
03 15	私の戦中記—子どもに語る母の歴史	桐朋学園初等部PTA編集部(編)		1	0	0	1	43 *
03 19	週刊朝日2月19日号		朝日新聞社	1	0	0	1	81
03 20	原爆前後5	思い出集世話人		2	17	0	19	15 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1971 (昭和46) 年									
04 01	警鼓4月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	1	0	1	83	
04 05	週刊朝日増刊		朝日新聞社	1	0	0	1	81	
05 01	警鼓5月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83	
05 10	広島県警察百年史・下巻	広島県警察史編さん委員会(編)	広島県警察本部	19	0	0	19	13	*
05 31	この碑のまえに・終りなき訴え	仲井賢行(編)	福山こたま会	4	0	0	4	65	*
06 01	警鼓6月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83	
06 15	閃光―広島・長崎原爆被爆体験記	福岡市原爆被害者の会(編)		3	11	0	14	25	*
06 19	被爆婦人の集い第3集	大阪市原爆被害者の会婦人部		4	1	0	5	25	*
06 20	<八月六日>を描く第2集	中山士朗(等)	文化評論出版	2	0	0	2	72	*
06 30	炎の中から―被爆衛生兵の証言	田川清光	「長崎の証言」刊行委員会	0	1	0	1	32	*
07 01	檜山美雄作品集(3)	檜山美雄	広通文学会	1	0	0	1	65	*
07 01	“ひろしま”から学ぶ―高校用原爆・平和教育教材資料(試案)	広島県高教組原爆・平和教育推進資料編集委員会、広島県高教組原爆被爆教職員	広島県高等学校教職員組合	5	0	0	5	26	*
07 01	警鼓7月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83	
07 05	芸文臨時増刊		河出書房新社	1	0	0	1	81	
07 20	絶後の記録―広島原子爆弾の手記	小倉豊文	太平出版社	1	0	0	1	71	*
07 20	原爆をどう教えるか―ながさきの平和教育1	長崎原爆被爆教師の会平和教育資料編集委員会		0	4	0	4	26	
07 27	原子雲の下に生きて―つづけて第2集	全電通広島被爆者連絡協議会		16	1	0	17	26	*

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1971 (昭和46) 年									
07 30	私の戦争体験記・炎の中を生きて—原爆被爆者の手記	原水爆禁止日本協議会(編)	日本青年出版社	10	3	0	13	52	*
07 30	対話・原爆後の人間	重藤文夫・大江健三郎	新潮社	1	0	0	1	71	*
07 33	あさ第7号	山下会		2	0	0	2	63	*
07 33	広島教育N0236		広島県教職員組合	1	0	0	1	82	
08 01	長崎の証言1971	長崎の証言刊行委員会		0	28	0	28	32	*
08 01	文芸春秋8月号		文芸春秋社	1	0	0	1	81	
08 01	家の光8月号	家の光協会		1	0	0	1	84	
08 01	警鼓8月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	2	0	2	83	
08 01	原点1巻3号—平和特集	渡部正則編	原点短歌会	2	0	0	2	82	
08 01	前衛		日本共産党中央委員会	1	0	1	2	81	
08 04	青史NO.133—特集・私とヒロシマ		短歌文学を研究する会	3	0	0	3	82	
08 06	広島原爆戦災誌第1巻—第1編総説	広島市(編)	広島市	12	0	0	12	41	*
08 06	壁第4集	福島地区被爆者の会		8	0	0	8	21	*
08 06	心流るる刻—小松原和家子子歌集	小松原和家子	原点短歌会	1	0	0	1	72	
08 06	会報第1号—原爆の思い出—終戦のころの思い出	広島県医師会職員互助会		8	0	0	8	15	
08 15	私の戦争体験	第三文明編集部(編)	第三文明社	4	1	0	5	71	*
08 15	ああ紅の血は燃ゆる	熊商長崎学徒動員会		0	11	0	11	14	
08 15	焼跡抄—森島信子詩集	森島信子		1	0	0	1	91	
08 15	山本正房追悼録	山本正房追悼録刊行委員会(編)	中国新聞社	1	0	0	1	92	*
08 20	原爆前後6	思い出集世話人		0	4	0	4	15	*
08 28	永井隆全集・全1巻	永井隆	講談社	0	48	0	48	71	*
08 31	被爆26周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆26周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	0	0	1	51	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1971 (昭和46) 年									
08 33	大東亜戦史9-国内編		富士書苑	2	0	0	2	71	
08 33	この怒りを一國鉄労働者被爆体験記	国鉄労働組合・国労原爆被爆者対策協議会(編)		32	11	0	43	26	*
08 33	わたしと戦争-8月の手記-昭和46年版		中国放送	5	0	0	5	74	*
08 33	第17回原水爆禁止世界大会の記録1・1971	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51	*
08 33	第17回原水爆禁止世界大会の記録2・1971	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	51	*
08 33	老いと怒りと第6集	吉島被爆者の会		7	0	0	7	21	*
08 33	真樹8月号		真樹社	6	0	0	6	82	
08 33	大洲民主文学No.4・戦争体験特集		日本民主主義文学同盟大洲支部	1	0	0	1	82	*
09 06	広島原爆戦災誌第2巻-第2編各説・第1章広島市内各地区の被爆状況	広島市(編)	広島市	37	0	0	37	41	*
09 33	橋	高知コスモス短歌会		1	0	0	1	92	
09 33	婦人公論9月号		中央公論社	1	0	0	1	81	
10 01	警鼓10月号	長崎県警察本部警務部教養課		0	1	0	1	83	
10 01	創立15年の歩み	国立呉病院		7	0	0	7	11	*
10 03	皆実有朋-七十周年記念誌	広島県立広島皆実高等学校七〇周年記念誌編集委員会(編)	広島県立広島皆実高等学校	2	0	0	2	14	*
10 06	広島原爆戦災誌第3巻-第2編各説	広島市(編)	広島市	21	0	0	21	41	*
10 33	随想尾道28号		尾道随想クラブ	1	0	0	1	82	
11 06	広島原爆戦災誌第4巻-第2編各説(第3章・第4章・第5章)	広島市(編)	広島市	32	0	0	32	41	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1971 (昭和46) 年</b>									
11 15	原子爆弾傷研究綴 〔復刻版〕	広島第一陸軍 病院 (編)	米田正治	5	0	0	5	11	*
11 15	原爆前後7	思い出集世話 人		2	5	0	7	15	*
11 15	随筆戻り燈籠	佐藤忠雄	教育出版	1	0	0	1	71	*
11 33	五十年史	大東京火災海 上保険株式会 社		1	0	0	1	15	*
12 01	広島憩いの家 No. 3	広島憩いの家		1	0	0	1	31	
12 08	広島原爆戦災誌第5 巻一資料編	広島市 (編)	広島市	74	0	0	74	41	*
12 10	あさ特集号一原爆体 験は子どもらの胸に ー	山下会 (編)		2	0	0	2	63	*
12 10	女人随筆第14号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
12 15	流灯一ひろしまの子 と母と教師の記録	原爆犠牲国民 学校教師と子 どもの碑建設 委員会事務局 (編)		61	0	0	61	45	*
12 20	平和競存の創造一人 類永遠の生存法則・ ヒロシマを繰返さぬ ために	加藤新一 (編 著)	地球人友の会	1	0	0	1	65	*
12 20	原爆前後8	思い出集世話 人		2	5	0	7	15	*
12 31	忘れな草 第四号	調来助編	旧長崎医科学 原爆犠牲者 遺族会	0	212	0	212	14	
13 33	庄原原爆の記録	庄原市社会科 同好会 (編)		1	0	0	1	43	*
13 33	私たちも話したいー 代々木病院千代づる 会 (被爆患者の会) 会員の記録	〔代々木病院 千代づる会〕		5	0	0	5	29	*
<b>1972 (昭和47) 年</b>									
01 05	庄原原爆の記録第1 集〔改訂版〕	庄原市社会科 同好会 (編)		1	0	0	1	43	*
02 15	君は明日生きるか	全国被爆者青 年同盟編	破防法研究会	16	2	0	18	29	
02 15	むさしあぶみ	佐藤月二	溝本積善館	1	0	0	1	72	
02 28	閃光の下でー原爆被 爆の記録	緑ヶ丘中学校 P. T. A. 文化教養部編	〔長崎市立〕	0	13	0	13	43	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1972 (昭和47) 年									
03 01	静岡県原水爆被害者 白書4集—放射線量 の測定と身体への影 響	静岡県原水爆 被害者の会 (編)		6	0	0	6	25	*
03 01	被爆後27年—原爆 被爆者の手記	被爆原体験を 考える会(編)	原水爆禁止・ 全面軍縮大阪 府協議会	4	1	0	5	52	*
03 10	原爆前後9	思い出集世話 人		2	7	0	9	15	*
03 10	ひろしまたかかう婦 人教師	同編集委員会	広島教育会館 出版部	1	0	0	1	45	*
03 15	原爆前後10	思い出集世話 人		2	9	0	11	15	*
03 15	女人随筆第15号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
03 31	広島県史・原爆資料 編	広島県(編)		4	0	0	4	41	*
04 15	原爆前後11	思い出集世話 人		1	8	0	9	15	*
04 20	日本語版水ヲ下サイ —広島と長崎の証言	原爆体験を伝 える会		3	3	0	6	32	
04 33	原爆犠牲者直訴肉筆 集第四巻	群集の渦一同		35	0	0	35	52	
06 15	原爆前後12	思い出集世話 人		2	6	0	8	15	*
06 15	女人随筆第16号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
06 30	聞き書き・戦火に生 きた父母たち—東京 泉南中・生徒の記録	小林桂三郎 (編)	太平出版社	2	1	0	3	71	*
07 01	お母さん逃げて—ド キュメンタリー「原 爆遺書」	広島テレビ放 送(編)	実業之日本社	91	0	0	91	74	*
07 01	潮7月号		潮出版社	49	22	0	71	81	*
07 04	死の同心円—長崎被 爆医師の記録	秋月辰一郎	講談社	0	1	0	1	71	*
07 04	妹たちがかり火— 戦死した兄さんを悼 む	仁木悦子(編)	講談社	0	1	0	1	65	*
07 10	田舎記者—われらナ ガサキ原爆者	中尾幸治	創思社出版株 式会社	0	1	0	1	71	*
07 10	群友会ニュース第3 号	群馬県原爆被 災者の会		2	0	0	2	25	*
07 15	証びと第一集	新潟県原爆被 害者の会(編)		11	2	0	13	25	*
07 15	幽霊—原爆の凶世界 巡礼	丸木俊	朝日新聞社	1	0	0	1	74	*

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1972 (昭和47) 年								
07 18	被爆婦人の集い第4集	大阪市原爆被害者の会婦人部		4	1	1	6	25
07 20	継承の証を絶たずーながさきの平和教育II	長崎県教職員組合長崎支部・長崎原爆被爆教師の会平和教育資料編集委員		0	21	0	21	26 *
07 20	あさ第8号ー被爆二世と手をとりあって	山下会		7	0	0	7	63
07 20	ひろしまの河No. 16ー復刊1号	原水爆禁止広島母の会		6	0	0	6	52 *
07 25	爆心の丘にてー山里浜口地区原爆戦災誌	長崎山里浜口地区復元の会・高谷重治	長崎の証言刊行委員会	0	27	0	27	32 *
07 25	長崎の証言第4集	長崎の証言刊行委員会		1	11	0	12	32 *
07 25	原爆と文学ー創刊号	原爆と文学の会		1	0	0	1	65
07 30	動員学徒誌・続編	広島県動員学徒等犠牲者の会 (編)		3	2	0	5	14 *
07 33	木の葉のように焼かれて第6集	新日本婦人の会広島県本部		7	0	0	7	63 *
08 01	きのか会会報No. 8	きのか会		0	1	0	1	29 *
08 01	婦人公論8月号		中央公論社	2	0	0	2	81
08 01	虹8月号		九州公論社	0	1	0	1	84
08 05	身世打鈴	むくげの会	東都書房	1	0	0	1	65 *
08 06	在中朝鮮女性の半生							
08 06	中国地方総監府誌ー原爆被災記録	中国地方総監府誌刊行会編	中国地方総監府誌原爆被災記録刊行会	14	0	0	14	13 *
08 06	壁第5集ー被爆二世特集号	福島地区被爆者の会		2	0	0	2	21 *
08 06	夾竹桃ー広島はたたかう第3集ー	「夾竹桃」編集委員会	胎内被爆者・被爆二世問題対策会	5	0	0	5	31
08 06	原爆死なせる松田敏彦の追憶	松田雪美		1	0	0	1	91 *
08 06	十三人の死をみつめて	佐伯敏子	原爆文献を読む会	1	0	0	1	32
08 10	太陽が消えたあの日ー被爆を語る	長崎放送報道部 (編)	童心社	0	5	0	5	74 *
08 15	原爆前後13	思い出集世話人		2	6	0	8	15 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1972	(昭和47)年								
08 15	広島が滅んだ日ー2 7年目の真実	宍戸幸輔	読売新聞社	1	0	0	1	74	*
08 26	週刊読売8月26日 号		読売新聞社	1	0	0	1	81	
08 30	風化に抗して	全電通長崎県 支部被爆者連 絡協議会		5	170	0	175	26	*
08 30	被爆27周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	被爆27周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		1	0	0	1	51	
08 31	原子雲の下に生きつ づけて第3集	全電通被爆者 連絡協議会		13	2	0	15	26	
08 33	老いと怒りと第7集	吉島被爆者の 会		7	0	0	7	21	*
08 33	原爆犠牲者直訴肉筆 集第五集	群集の渦一同		14	0	0	14	52	
08 33	第18回原水爆禁止 世界大会の記録1	原水爆禁止日 本協議会		1	0	0	1	51	*
08 33	第18回原水爆禁止 世界大会の記録2	原水爆禁止日 本協議会		1	1	0	2	51	*
09 05	しのびぐさー二森 三老周忌刊	二森一枝編		1	0	0	1	91	*
09 09	鐘ー長広会記録集2	中野区原爆被 害者の会(長 広会)	[東京都]	5	1	1	7	25	
09 15	朝鮮人被爆者孫振斗 さんに治療と在留を !(資料)	孫振斗さん を守る東京市 民の会(編)		1	0	0	1	31	*
09 15	女人随筆第17号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
09 20	百日紅の花ードキュ メンタリー・ヒロシ マ	塩沢茂	ルック社	3	0	0	3	71	*
10 01	ひろしまの歩みとと もにーまこも会創立 二十年記念誌	広島市退職公 務員連盟(ま こも会)(編)		5	0	0	5	13	*
10 01	あゝ、昭和二〇年	阪田泰正編	安芸津記念病 院郷土史料室	4	0	0	4	92	*
10 01	平和に生きる	村上経行	村上経行後援 会	1	0	0	1	65	
10 05	原爆句抄	松尾あつゆき		0	1	0	1	91	
10 08	創立五十周年記念誌	広島県立広島 観音高等学校 創立五十周年 記念誌編集委 員会(編)	広島県立広島 観音高等学校	7	0	0	7	14	*

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1972 (昭和47) 年									
10 25	原子雲の下に	杉本亀吉		0	1	0	1	91	*
10 33	戦争体験の記録1	千葉県戦争体験記録運動をすすめる会		2	0	0	2	32	
11 02	私はこう思う	森本亨		1	0	0	1	91	
11 05	さつき一創立百周年記念誌	幟町小学校創立百周年記念事業委員会編	[広島市立]	3	0	0	3	14	*
11 10	三十周年記念誌	海田高等学校三十周年記念誌編集委員会	広島県立海田高等学校	2	0	0	2	14	*
11 15	原爆前後14	思い出集世話人		0	3	0	3	15	*
11 20	原爆前後16	思い出集世話人		1	7	0	8	15	*
11 30	生き残りたる吾等集 ひてー動員学徒記録 史	動員学徒史編集室(編)	長崎県動員学徒犠牲者の会	0	37	0	37	14	*
11 30	日本の女ー激動期の 女人群像	佐藤隆夫編	東出版社	1	0	0	1	71	
11 30	軌跡ー広職26年史	同盟造船重機 労連三菱重工 労働組合広島 造船職員支部		1	0	0	1	62	*
11 33	断悪ー原爆被爆者教 援のための実体験の 記録	沖繩県原爆被爆者協議会		4	7	3	14	25	*
12 15	女人随筆第18号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
12 20	原爆前後15	思い出集世話人		0	8	0	8	15	*
12 28	庄原原爆の記録第2 集	庄原市社会科同好会(編)		10	0	0	10	43	*
12 28	学童集団疎開の記録	庄原市社会科同好会(編)		1	0	0	1	43	*
13 33	父母と教師の戦争体験	[広島県双三郡]布野村教育研究協議会		7	0	0	7	43	*
13 33	「桑原裁判」の証人 尋問記録	原水爆禁止広島県協議会・広島県原爆被害者団体協議会(共編)		4	0	0	4	22	*
13 33	広島への追憶と今日	高山等編	英文「広島への追憶と今日」出版を支える会	53	0	0	53	32	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1973 (昭和48) 年</b>								
01 10	広島搬送史	広島搬送通信部 広島搬送史編集委員会編	広島搬送通信部	1	0	0	1	13 *
01 10	創立百周年記念誌	広島市立本川小学校		1	0	0	1	14
01 20	いわたぎー創立百周年記念誌	広島県安芸郡船越町立船越小学校編集委員(編)	船越小学校創立百周年記念誌刊行委員会	1	0	0	1	14 *
02 01	追憶抄一闘病記	末次君子遺稿録 賛同者(大下学園高校第8回卒業生)		16	0	0	16	92 *
02 09	被爆者援護法制定要求朝鮮人被爆者救援集会報告集	原水爆禁止日本国民会議		0	2	0	2	52
02 20	原爆前後18	思い出集世話人		1	6	0	7	15 *
02 28	あしたの墓碑銘一戦争と人間[新装版]	安田武(編・解説)	三一書房	4	0	0	4	71 *
03 01	鎮西学院九十年史	鎮西学院九十年記念事業部		0	2	0	2	14
03 10	にんげんのあしたへー平和を考える広島の子第1集	広島県教育研究平和専門委員会・広島県原爆被爆教師の会	広島教育会館出版部	7	0	0	7	26 *
03 15	原爆前後17	思い出集世話人		0	5	0	5	15 *
03 15	瓊浦第19号	瓊浦高校文化部雑誌部		0	2	0	2	43 *
03 20	広島の日記ーヒューマニズム・ドキュメント	佐々木雄一郎	サンデーカメラ	1	0	0	1	92
03 25	女人随筆第19号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
03 30	ひろしまの平和教育第3輯ー付にんげんのあしたへー平和を考える広島の子	県教研平和専門委・広島県原爆被爆教師の会・広島平和教育研究所	広島教育会館出版部	7	0	0	7	26
03 31	宮内小学校誌ー創立百周年記念	宮内小学校誌編集委員会(編)	広島県廿日市町立宮内小学校	1	0	0	1	14 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1973 (昭和48) 年									
04 01	夏雲—広島女学院原爆被災誌	広島女学院教職員組合平和教育委員会編	広島女学院教職員組合	34	0	0	34	45	*
04 01	長崎原爆 [写真集]	長崎市国際文化会館 (編)		0	1	0	1	41	*
04 25	骨を噛む	上野英信	大和書房	1	0	0	1	71	
04 33	広島通信38	「広島通信」の会		1	0	0	1	82	*
05 03	父母の戦争体験を綴る—森山中学校社会科作文集より	末永浩 (編)		0	23	0	23	43	*
05 25	歯車	歯車の会		1	0	0	1	82	*
05 27	若き軍医たちの原爆戦記—長崎県大村海軍病院昭和20年	沖重豊美		0	1	0	1	91	
06 15	ヒロシマに生きて	藤枝良枝		2	0	0	2	91	*
06 25	夢の処女地—〔第3版・増補改訂版〕	小井手伊勢子	婦人生活事業部	1	0	0	1	71	*
06 25	ヒロシマの意味	小黑蕨 (編)	日本評論社	2	0	0	2	71	*
06 25	女人随筆第20号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
06 33	広島通信39	「広島通信」の会		1	0	0	1	82	*
07 01	太陽が落ちる—被爆記者の証言	松野秀雄	長崎の証言刊行委員会	0	1	0	1	32	*
07 05	被爆婦人の集い五周年記念号	大阪市原爆被害者の会婦人部		7	2	0	9	25	*
07 10	広島女学院報第54号	広島女学院		1	0	0	1	82	
07 15	原爆前後19	思い出集世話人		0	8	0	8	15	*
07 15	長崎の証言第5集	長崎の証言刊行委員会		0	57	0	57	32	*
07 15	長崎の証言創刊号改訂版	長崎の証言刊行委員会		0	8	0	8	32	*
07 15	吾家の原爆体験記—死線を越えて	山崎与三郎 (編著)		4	0	0	4	91	*
07 18	閃光の丘から	近藤幸子	春陽社出版	1	0	0	1	71	
07 20	原爆前後20	思い出集世話人		0	8	0	8	15	*
07 20	あさ第9号—原爆資料の返還と28年目の「ヒロシマ」	山下会		3	0	0	3	63	*
07 25	長崎に生きる	渡辺千恵子	新日本出版社	0	1	0	1	71	*
07 25	ひろしまの河NO.17	原水爆禁止広島母の会		10	0	0	10	52	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1973 (昭和48) 年									
07 33	木の葉のように焼かれて第7集	新日本婦人の会広島県本部		5	0	0	5	63	*
08 01	壁第6集—差別と貧困の中から、広島県水平社50周年記念	福島地区被爆者の会		8	0	0	8	21	*
08 01	広島原爆記—未来への遺書	稲富栄次郎	講談社	1	0	0	1	71	*
08 01	きのこ会会報No. 9	きのこ会		1	0	0	1	29	*
08 01	日本児童文学19巻9号	日本児童文学者協会	盛光社	2	0	0	2	81	
08 05	原子雲の下に生きつづけて第4集	全電通被爆者連絡協議会		10	0	0	10	26	
08 05	石田原爆訴訟ニュースNo. 1	石田原爆訴訟をすすめる会事務局		1	0	0	1	31	*
08 06	原爆追悼記	修道中学校遺族会		5	0	0	5	14	
08 06	妖光とその尾	衣川舜子	恒和出版	1	0	0	1	71	*
08 06	原子爆弾—広島・長崎の写真と記録	仁科記念財団(編纂)	光風社書店	2	2	0	4	19	*
08 09	原爆あとさきのあゆみ	岩永岩雄		0	1	0	1	91	
08 10	広島原爆犠牲者高木敏子追想録	高木尊之		16	0	0	16	91	
08 10	妹たちのかがり火・第二集—戦死した兄さんを悼む	かがり火の会・仁木悦子(編)	講談社	1	0	0	1	65	*
08 15	証言昭和二十年八月十五日—敗戦下の日本人	安田武・福島鏡郎(編)	新人物往来社	3	1	0	4	71	*
08 15	朝鮮・ヒロシマ・半日本人—わたしの旅の記録	朴寿南(パク・スナム)	三省堂	21	0	0	21	71	*
08 33	原爆に想う第壹集	中山良一		1	0	0	1	91	*
08 33	第19回原水爆禁止世界大会の記録1	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	51	*
08 33	第19回原水爆禁止世界大会の記録2	原水爆禁止日本協議会		2	2	0	4	51	*
09 01	被爆28周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆28周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	0	0	1	51	
09 25	女人隨筆第21号	女人隨筆社		1	0	0	1	84	*
09 25	芸備の伝承	及川大溪(儀右衛門)	国書刊行会	1	0	0	1	71	
09 28	続々がんす横町	薄田太郎	たくみ出版	2	0	0	2	71	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1973 (昭和48) 年</b>									
10 01	思い出の原爆記	長崎県西彼杵郡長与町・時津町 (編)		0	72	0	72	41	*
10 10	原爆前後2 1	思い出集世話人		0	2	0	2	15	*
10 33	広島通信4 1	「広島通信」の会		1	0	0	1	82	*
11 03	ごさそうー府中小学校創立100周年記念誌	府中小学校創立100周年記念誌編集委員会 (編)		2	0	0	2	14	*
11 08	つどい53号	広島県立広島国泰寺高等学校通信制課程		3	0	0	3	82	
11 10	日本YMCA「ひろしまを考える」旅・報告	日本YMCA		4	0	0	4	65	
12 01	広島輜重兵隊史	諏訪登 (編)	広輜会	2	0	0	2	11	*
12 01	新聞通信調査会報第132号	新聞通信調査会		1	0	0	1	84	
12 06	つぐない原爆補償・創刊号	原爆被災者補償法の制定を期する市民の会		1	0	0	1	31	*
12 16	広島の一週間	高橋勝	オリオン印刷	1	0	0	1	92	
12 20	原爆前後2 2	思い出集世話人		0	9	0	9	15	*
12 25	女人随筆第22号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
12 33	学童集団疎開誌一勤労働員	呉市小学校長会 (編)		10	0	0	10	43	*
12 33	広島通信4 2		「広島通信」の会	1	0	0	1	82	*
13 33	平和教育教材づくり Iー平和を考える [婦人部第6号]	広島県私立学校教職員組合連合婦人部		4	0	0	4	45	
13 33	今日も来たー原爆の記録	中畑佐一		1	0	0	1	91	
<b>1974 (昭和49) 年</b>									
01 20	原爆前後2 3	思い出集世話人		0	4	0	4	15	*
01 27	第19回自転車行進直訴集第1巻	千人鶴の渦胎動編集局 (広島市西蟹屋)		7	0	0	7	52	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1974 (昭和49) 年								
01 27	第19回自転車行進直訴集第2巻	千人鶴の渦胎動編集局 (広島市西蟹屋)		14	0	0	14	52
01 27	第19回自転車行進直訴集第3巻	千人鶴の渦胎動編集局 (広島市西蟹屋)		16	0	0	16	52
01 27	第19回自転車行進直訴集第5巻	千人鶴の渦胎動編集局 (広島市西蟹屋)		16	0	0	16	52
02 25	瓊浦第20号	瓊浦高校文芸部雑誌班		0	1	0	1	43 *
03 25	原爆前後25	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
03 31	鐘一長広会記録集3	中野区原爆被害者の会 (長広会)	[東京都]	3	2	0	5	25
04 05	新篇私の昭和史1-暗い夜の記憶	東京12チャンネル社会教育部 (編)	学芸書林	0	1	0	1	74 *
04 10	わが娘へ-父母のつづる戦争・原爆体験記集	長崎・活水中学校社会科 (編)		0	29	0	29	43 *
04 15	戦争の不条理	外山滋比古 (等編)	三省堂	2	0	0	2	71 *
04 25	女人随筆第23号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
05 01	ゆうかりの友	広島県立一中被爆生徒の会 (編)		230	0	0	230	14 *
05 20	原爆前後24	思い出集世話人		1	9	0	10	15 *
05 26	平和への汚標-被爆者運動十年の歩み	大阪市原爆被害者の会十周年記念大会実行委員会編		4	0	1	5	25 *
05 31	忘れな草-原爆思い出の手記集第五号 (最終編)	調査助編	旧長崎医科大学原爆犠牲学徒遺族会	0	71	0	71	14
06 20	原爆前後26	思い出集世話人		0	4	0	4	15 *
06 30	ふるた-広島市立古田小学校創立百周年記念誌	広島市立古田小学校		1	0	0	1	14
07 18	長崎の証言第6集	長崎の証言刊行委員会		1	35	0	36	32 *
07 20	原爆前後27	思い出集世話人		0	6	0	6	15 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1974 (昭和49) 年								
07 20	広島の日記[写真集]	佐々木雄一郎 (写真撮影・ 編集)	サンデーカメ ラ	1	0	0	1	92 *
07 20	女人随筆第24号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
07 22	きのご雲第2集—私 たちは訴えます	山梨県原水爆 被害者の会		15	0	0	15	25 *
07 25	あさ第10号—平和 教育への願い	山下会		8	0	0	8	63 *
07 25	ひろしまの河NO. 18	原水爆禁止広 島母の会		6	0	0	6	52 *
07 25	慟哭・川柳句集	中津泰人		1	0	0	1	91 *
07 31	原子野を憶う	長崎青年師範 学校昭和二十 一年卒業女子 学生のつどい		0	9	0	9	14
07 33	私は証言するNO 1	ドクイチゴ編 集部	広島皆実高校 社会問題研究 部	1	0	0	1	43 *
07 33	原子野に想う第三集 —原爆孤児の育成	中山良一		1	0	0	1	91 *
08 01	壁第7集—未解放部 落原水爆運動20年	福島地区被爆 者の会		4	0	0	4	21 *
08 01	原子雲の下に生きつ づけて第5集	全電通被爆者 連絡協議会		4	2	0	6	26 *
08 01	潮8月号		潮出版社	0	1	0	1	81
08 01	前衛		日本共産党中 央委員会	2	1	0	3	81
08 04	木の葉のように焼か れて第8集	新日本婦人の 会広島県本部		13	0	0	13	63 *
08 05	第20回原水爆禁止 世界大会記録1	原水爆禁止日 本協議会		1	0	0	1	51 *
08 06	沼田住民手記・原爆 の体験	広島市沼田町 沼田青年会編		20	0	0	20	12 *
08 06	原爆の記録・あの日 わたしは—昭和49 年度安佐明治青年大 学	広島市安佐公 民館 (編)		52	0	0	52	44 *
08 06	広島のことろ—二十 九年	創価学会青年 部反戦出版委 員会 (編)	第三文明社	55	0	0	55	32 *
08 09	ピース・フロム・ナ ガサキ	創価学会青年 部反戦出版委 員会 (編)	第三文明社	0	36	0	36	32 *
08 09	長崎の鐘はほほえむ —残された兄妹の記 録	永井誠一	女子パウロ会	0	1	0	1	71 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1974 (昭和49) 年</b>								
08 21	第20回原水爆禁止世界大会記録2	原水爆禁止日本協議会		2	2	0	4	51 *
08 33	保護者の戦争体験記第1集	広島市立宇品中学校 (編)		7	0	0	7	43 *
08 33	子どものころ戦争があったー児童文学作家と画家が語る戦争体験	あかね書房編集部編	あかね書房	3	0	0	3	71
08 33	明日に生きるー高校生のための平和読本	広島・長崎平和読本編集委員会 (編)	広島県・長崎県高等学校教職員組合	5	5	0	10	45 *
08 33	原爆に想う第参輯ー編集に寄せて	中山良一		1	0	0	1	91 *
09 01	被爆29周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆29周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	0	0	1	51 *
09 10	原爆前後28	思い出集世話人		0	10	0	10	15 *
09 25	鎮魂の海峡ー消えた被爆朝鮮人徴用工246名	深川宗俊	現代史出版会	1	0	0	1	71 *
09 33	原爆に想う第四輯	中山良一		1	0	0	1	91 *
11 20	原爆前後29	思い出集世話人		0	5	0	5	15 *
12 01	岡山県医師会史	岡山県医師会史編纂特別委員会 (編)		1	0	0	1	15 *
12 14	週刊読売		読売新聞社	1	0	0	1	81
<b>1975 (昭和50) 年</b>								
01 33	銀泉50号	銀泉株式会社		1	0	0	1	84
02 15	ドキュメント昭和五十年史4ー太平洋戦争	中村新太郎編	汐文社	1	0	0	1	71 *
02 33	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律」第八条に基づく認定申請却下処分	石田原爆訴訟をすすめる会		6	0	0	6	31
03 10	かかげはしー父母が語る戦争体験記ーPTA25周年記念誌別冊	〔広島市立〕翠町中学校PTA文化部 (編)	翠町中学校PTA	7	0	0	7	43 *
03 18	原爆の想い出	木次町被爆者協議会 (編)	〔島根県〕	8	0	0	8	25 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1975 (昭和50) 年									
03 20	原爆前後30	思い出集世話人		0	13	0	13	15	*
03 31	みさこ一創立百周年記念誌	東海田小学校創立百周年記念誌編集委員会(編)	東海田小学校創立百周年記念事業実行委員会	2	0	0	2	14	*
03 33	わが家の歴史一昭和49年度江平中2年社会科・作文・資料集	末永浩(編)		0	7	0	7	43	*
03 33	五十年のあゆみ一創立五十周年記念	広島市立千田小学校(編)		3	0	0	3	14	*
04 15	女人随筆第26号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
05 03	薬王寺寮一思い出の集団疎開	山王璋		1	0	0	1	91	*
05 08	原爆歌日記	増山藤一郎	真樹社	1	0	0	1	72	*
05 11	石田原爆訴訟をすすめる会ニュースNO.3	石田原爆訴訟をすすめる会		1	0	0	1	31	
05 20	一握乃灰一甲神部隊始末書	沢田直二		1	0	0	1	91	*
05 20	ドキュメント昭和史5敗戦前後	今井清一編	平凡社	3	0	0	3	71	*
05 23	庄原被爆農民の証言	庄原市社会科同好会		11	0	0	11	43	*
06 01	原爆句抄	松尾あつゆき	文化評論出版	0	1	0	1	72	*
06 10	ドキュメント太平洋戦争4一日本列島よじれて燃えた	一色次郎(解説)	汐文社	1	0	0	1	71	*
06 14	小倉陸軍病院の思い出	小倉陸軍病院戦友会		4	0	0	4	11	
06 30	ヒロシマ日記	蜂谷道彦	法政大学出版局	1	0	0	1	71	
06 33	わたしの8月15日一児童文学作家が語る戦争体験	あかね書房編	あかね書房	2	0	0	2	71	
07 01	原爆広島消防史	広島市消防局原爆広島消防史編集委員会(編)	広島市消防協力会	183	0	0	183	13	*
07 01	峠三吉作品集(上)	峠三吉(著) 峠一夫(等編)	青木書店	1	0	0	1	71	*
07 10	雲の三山一あれから三十年原爆がもたらした現代の靈異記	本山雲彬	善誓団	1	0	0	1	92	*
07 15	「原爆」と三十年	秋月辰一郎	朝日新聞社	0	1	0	1	74	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1975 (昭和50) 年									
07 15	ヒロシマにかける虹 ・長篇叙事詩	津田定雄	春陽社出版	1	0	0	1	71	*
07 17	被爆婦人の集い 第六集	大阪市原爆被害者の会婦人部		6	4	2	12	25	
07 20	原爆体験記	広島市原爆体験記刊行会	朝日新聞社	29	0	0	29	41	*
07 20	ひろしまの母親たち	広島県母親連絡会(編)		8	0	0	8	63	*
07 25	広島原爆体験記ーと !そのとき千代紙の 小箱	星野春雄	土屋書店	9	0	0	9	71	*
07 25	ひろしまの河NO. 19	原水爆禁止広島母の会		3	0	0	3	52	*
07 25	もんべと鉄かぶとの 青春ー父母が子に語り 伝える戦争体験	日本コトバの会・大人のつづり方教室編	一光社	1	1	0	2	65	*
07 25	被爆の思想と運動ー 被爆者援護法のために	伊東社	新評論	1	0	0	1	71	*
07 25	あさ第11号ー被爆 三十年を生きて	山下会		8	0	0	8	63	*
07 27	サンデー毎日		毎日新聞社	0	1	0	1	81	
07 29	長崎の証言第7号	長崎の証言刊行委員会		8	30	0	38	32	*
07 30	昭和史探訪5ー終戦 前夜	三国一郎編	番町書房	1	0	0	1	71	*
07 31	被爆韓国人	朴秀馥・郭貴勲・辛泳洙 (編著)	朝日新聞社	7	1	0	8	74	*
07 31	広島大学医学部三十年 年史	広島大学医学部創立三十周年記念事業会 (編)		1	0	0	1	14	*
07 33	追憶ー長崎医科大学 原子爆弾犠牲者の壺 に捧ぐ〔再版〕	長崎医学同窓会 (編)		0	86	0	86	14	*
07 33	広島物語ーあれから 三十年	瀬崎守武		1	0	0	1	91	
07 33	原爆に想う第五集	中山良一		1	0	0	1	91	*
07 33	平和へのねがい第2 号ー原水爆の恐ろしさ	原水爆禁止西宮市協議会		1	1	0	2	52	
08 01	閃光は消えずー被爆 した芦品部隊と警防 団	松岡克昌	みちづれ会	20	0	0	20	92	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1975 (昭和50) 年								
08 01	原爆行動記	保田定夫		1	0	0	1	91 *
08 01	いのちあるかぎりー被爆体験30周年を迎えて	杉山秀夫		1	0	0	1	91 *
08 01	きのご雲第2集ー1時2分	新日本婦人の会長崎本部		0	4	0	4	63 *
08 01	あの日にー原爆体験手記	進藤博(編著)		18	0	0	18	91 *
08 02	福田須磨子詩碑	福田須磨子詩碑建立委員会		0	1	0	1	92
08 04	木の葉のように焼かれて第9集	新日本婦人の会広島県本部		12	0	0	12	63 *
08 06	生死の火ー広島大学原爆被災誌	広島大学原爆死没者慰霊行事委員会編		73	0	0	73	14 *
08 06	広島・閃光の日・30年	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	40	0	0	40	32 *
08 06	おもかげー炎と瓦礫の中に生きて・1975	広島女高師付属山中高等女学校女浦一期会(編)		18	0	0	18	14 *
08 06	私が聞いたヒロシマー高校生が訴える平和の叫び	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	42	0	0	42	32 *
08 06	ヒロシマの雨はドームの涙	小川利雄(編)	教育出版センター	30	0	0	30	43 *
08 06	地獄からの汽車	国際平和教育研究会(編)	教育出版センター	28	0	0	28	43 *
08 06	悪魔の銀のサイコロ	国際平和教育研究会(編)	教育出版センター	24	0	0	24	43 *
08 06	松田亀夫の追憶	松田雪美		1	0	0	1	91 *
08 06	被爆30年の歩み	広島県海田町原爆被害者会(編)		17	0	0	17	22 *
08 06	壁第8集ー原爆被災30周年	福島地区被災者の会		3	0	0	3	21 *
08 06	しらうめー原爆30周年を記念して	広島第二高等女学校同窓会		63	0	0	63	14
08 06	広島・長崎30年の証言(上)	広島・長崎の証言の会編	未来社	6	4	0	10	32 *
08 06	第二十一回原水爆禁止世界大会の記録1	原水爆禁止日本協議会		0	1	0	1	51 *
08 09	原爆の思い出ー三菱長崎製鋼所原爆体験記	銀菱会「原爆の思い出」出版世話人会編	三菱長崎製鋼所永年勤続者銀菱会	0	32	0	32	15 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1975 (昭和50) 年									
08 09	原爆記—長崎師範学 校被爆三十周年折念	長崎被爆折念 誌刊行会編		0	77	0	77	14	*
08 09	長崎が死んだ日	創価学会青年 部反戦出版委 員会 (編)	第三文明社	0	40	0	40	32	*
08 09	風化に抗して第2集	全電通長崎県 支部被爆者連 絡協議会		0	65	0	65	26	*
08 09	歌集・閃光	中野与八郎		0	1	0	1	91	
08 09	原水爆を考える—長 崎を原点として原水 爆を廃絶するために	小川岩雄・西 森一正・矢動 丸広・吉田強 ・岩松繁俊	原水爆禁止長 崎県民会議	0	2	0	2	52	*
08 10	大牟田の空襲第3集	大牟田の空襲 を記録する会		0	1	0	1	32	
08 10	いずみNO. 333		広島県警察本 部	2	0	0	2	82	*
08 10	秘録・太平洋戦争— 世紀の大証言終戦3 0年目に明かす真相	三根生久大 (監修)	読売新聞社	1	0	0	1	74	*
08 14	あゝ紅の血は燃ゆる —動員学徒戦没者追 悼記	動員学徒戦没 者追悼記の会	[山口県]	1	0	0	1	14	
08 15	無名戦士の手記—声 なき声いまも響きて	鶴見俊輔・安 田武・山田宗 睦 (編)	光文社	3	0	0	3	71	*
08 15	絶句	水主川繁人		1	0	0	1	91	*
08 15	峠三吉作品集 (下)	峠三吉	青木書店	1	0	0	1	71	*
08 15	八・一五前後	(解説) 村山 知義	汐文社	6	0	0	6	71	
08 15	女人隨筆第27号	女人隨筆社		1	0	0	1	84	*
08 15	証言記録・太平洋戦 争—終戦への決断	安藤良雄ほか (編)・大井 篤 (解説)	サンケイ新聞 社出版局	1	0	0	1	71	*
08 25	広島昭和二十年	大佐古一郎	中央公論社	1	0	0	1	71	*
08 25	さわらび・母と子の 文集第3集—特集・ 私たちの戦争体験	ひろしま市よ い本をすすめ る母の会		16	0	0	16	84	*
08 30	被爆30周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	被爆30周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		1	1	0	2	51	*
08 33	第二十一回原水爆禁 止世界大会の記録2	原水爆禁止日 本協議会		4	1	0	5	51	*
09 01	空襲・敗戦・引揚	毎日新聞社	毎日新聞社	0	1	0	1	74	*
09 01	婦人公論9月号		中央公論社	0	1	0	1	81	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1975 (昭和50) 年								
09 05	子どものしあわせ臨時増刊号ーわたしの戦後30年	日本子どもを守る会編	草土文化	2	0	0	2	81
09 33	原爆に想う	中山良一		1	0	0	1	91 *
10 18	創立七十周年記念誌	広島大学教育学部付属小学校創立七十周年記念行事実行委記念誌編集委員会編		8	0	0	8	14 *
10 28	この子らに語り伝えよう戦争体験	兵庫県母親連絡会 (編)		1	0	0	1	63 *
10 33	千羽鶴10月号 (第11号)	原爆の証言と記録の会		1	0	0	1	32
11 03	哀歎	松井早苗	渡部正則	1	0	0	1	91 *
11 10	炎の詩ーヒロシマ・ナガサキの証言	群馬県原爆被災者の会編		9	3	0	12	25 *
11 10	東友N071	東友会		2	1	0	3	25
11 15	女人随筆第28号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
11 24	ヒロシマを持って帰りたい	韓国の原爆被害者を救援する市民の会広島支部 (編)		1	0	0	1	31 *
11 25	戦争のおはなし	岡山子ども劇場 (編)		2	0	0	2	65 *
12 01	友情の人文字MIN Eー被爆二世の死を超えて	大阪市原爆被害者の会婦人部 (編)		0	1	0	1	25 *
12 01	被爆二世ー大阪被爆二世の会結成にむけて創刊号	大阪被爆二世の会準備会		2	2	0	4	29 *
12 01	柔軟心	国信玉三 (著) 佐藤月二 (編)		1	0	0	1	91 *
12 25	戦後三十年の歩み	広島県動員学徒等犠牲者の会 (編)		36	0	0	36	14 *
12 25	広島のががいを国政へー活躍する村上経行さん	村上経行後援会		1	0	0	1	65
13 33	原爆被爆者の記録	自治労広島県本部・自治労広島被爆協		2	0	0	2	26 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1975 (昭和50) 年</b>									
13 33	爆心から六〇〇乃至七〇〇米の位置にあった長崎医科大学付属病院にて原爆を受けて	箴島四郎		0	1	0	1	91	*
13 33	原爆の思い出	本広勇		1	0	0	1	91	
13 33	被爆30年に憶—被爆者と安保	酒城繁雄	北海道平和委員会	1	0	0	1	61	
<b>1976 (昭和51) 年</b>									
02 10	原爆前後31	思い出集世話人		0	2	0	2	15	*
02 12	ヒロシマの雲は晴れた	嘉屋文子		1	0	0	1	91	*
02 25	歌集・幾年月	井口静子	火幻社	1	0	0	1	72	*
02 33	広島弁護士会会報第20号	広島弁護士会		2	0	0	2	15	*
03 01	平和教育の指導資料(中学校編)	広島市教育委員会(編)		8	3	0	11	42	*
03 01	長崎県教育史〔通史編〕	長崎県教育会(編)	長崎県教育委員会	0	1	0	1	42	*
03 05	今日を生きる—創価学会婦人部の生活と意見	創価学会婦人部ヤング・ミセス(編)	青娥書房	1	1	0	2	65	*
03 15	傷痕—戦争体験記	広島県医師会(編)		25	1	0	26	15	*
03 25	七六年三・一ピキニデー全国行動「中央集会第五福電丸集会」報告と記録	原水爆禁止日本協議会編		1	0	0	1	52	*
03 27	通玄山房雑記	古浦一郎	古浦一郎先生退官記念事業会	1	0	0	1	92	
03 30	原爆センター15年の歩み	原子爆弾被爆者別府温泉療養研究所(通称原爆センター)(編)		1	0	0	1	31	*
03 30	平和—長崎市立城山小学校原爆被爆30周年記念	長崎市立城山小学校(編)		0	4	0	4	43	*
03 31	広島県庁原爆被災誌	広島県(編)		122	0	0	122	13	*
03 33	神奈川被爆者30年のあゆみ第1集	神奈川県原爆被災者の会編		14	11	0	25	25	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1976 (昭和51)年									
03 33	ながさき・原爆の記録 [写真集]	長崎市国際文化会館原爆資料課 (編)		0	1	0	1	41	*
04 01	夏雲-広島女学院原爆被災誌 [改訂版]	広島女学院教職員組合平和教育委員会編	広島女学院教職員組合	34	0	0	34	45	*
04 15	母たちの昭和史	全国地域婦人団体連絡協議会 (編)	読売新聞社	1	0	0	1	63	*
04 15	女人随筆第29号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
04 30	広島・長崎30年の証言 (下)	広島・長崎の証言の会	未来社	3	3	0	6	32	*
04 30	仍園 [歌集]	江藤淑子	つるばみ社	1	0	0	1	71	
05 01	作品集・傷む八月	亀沢深雪		1	0	0	1	91	*
05 10	原爆前後32	思い出集世話人		0	6	0	6	15	*
05 23	礎 (いしずゑ) -そして、私たちはいま	[広島] 県立広島商業高等学校原爆研究部 (編)	県立広島商業学校遺族会, 県立広島商業高等学校原爆研究部	177	0	0	177	14	*
05 30	反核三〇年	森瀧市郎	日本評論社	1	0	0	1	71	*
05 31	師のあゆみ	臺先生を偲ぶ会 (編)	臺先生を偲ぶ会	2	0	0	2	92	*
06 10	原爆前後33	思い出集世話人		0	1	0	1	15	*
06 20	長崎の鐘	永井隆	中央出版社	0	1	0	1	71	*
07 04	楯楯に耐えた日々-徳島空襲の記録他	創価学会青年部反戦出版委員会 (編)	第三文明社	1	0	0	1	32	*
07 06	ヒロシマ・ナガサキをになう高校生	(第21回) 原水爆禁止世界大会段階別集会「原水禁運動と高校生」現地実行委員会		2	0	0	2	52	*
07 15	20年の大義を世界に-長野県原水協のあゆみ	原水爆禁止長野県協議会編		3	2	0	5	52	*
07 15	鯉城の稚楼-広島陸軍幼年学校史	広幼会	[東京]	2	0	0	2	11	*
07 17	平和へ	牛田中学校1年6組一同		7	0	0	7	43	
07 20	あさ第12号-いまこそヒロシマの声を	山下会		7	0	0	7	63	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1976(昭和51)年									
07 20	広島原爆とアメリカ人—ある牧師の平和行脚	谷本清	日本放送出版協会	1	0	0	1	74	*
07 25	被爆二世—大阪被爆二世の会結成にむけて第2号	大阪被爆二世の会準備会		0	0	1	1	29	*
07 29	長崎の証言第8集	長崎の証言刊行委員会		0	35	0	35	32	*
07 30	生き続けて—信州からの証言第2集	長野県原水爆被災者の会		16	1	3	20	25	*
07 33	若い世代に語る—父母・教師の戦争体験	広島県立広島高等学校第一学年担任会編	広島県立広島高等学校HR課	11	0	0	11	43	*
07 33	父と母が子どもに残す戦争体験第一集	貝塚市立第二中学校		1	1	0	2	43	*
08 01	木の葉のように焼かれて第10集	新日本婦人の会広島県本部		13	0	0	13	63	*
08 01	壁第9集—福島地区原爆犠牲者慰霊の碑建設記念	福島地区被爆者の会		6	0	0	6	21	*
08 01	原爆は生きている—被爆31年目の苦しみの証言	大牟田市原爆被害者の会編	[福岡県]	8	14	0	22	25	*
08 01	被爆者援護法を一被爆31年の証言	みちづれ会(編)		6	0	0	6	65	*
08 01	鎮魂—幸の浦から広島へ	内田正男	たいまつ社	1	0	0	1	71	*
08 01	平和への礎—関西高校生120人の聞き書き	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	3	0	0	3	32	*
08 05	朝日人(朝日社報)	朝日新聞社		1	0	0	1	84	
08 06	被爆追憶記	松田雪美		1	0	0	1	91	*
08 06	第二十二回原水爆禁止世界大会の記録1	原水爆禁止日本協議会(編)		1	0	0	1	51	*
08 08	夾竹桃(原爆体験記)	西城町原爆被爆者友の会編	[広島県比婆部]	43	1	0	44	22	*
08 09	ナガサキを語り継ぐ—高校生による平和の叫び	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	1	12	0	13	32	*
08 09	焦熱のナガサキ—8月9日	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	0	40	0	40	32	*
08 09	八月九日・巡りくる夏の日に—長崎県庁職員の被爆証言	長崎県職員組合被爆者連絡協議会(編)	長崎県職員組合長崎県本部	1	12	0	13	26	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1976 (昭和51) 年								
08 10	原爆前後34	思い出集世話人		0	2	0	2	15 *
08 15	終戦秘史・有末機関長の手記	有末精三	芙蓉書房	1	0	0	1	71 *
08 15	平和之礎	福山市熊野町平和顕彰会編		2	0	0	2	92 *
08 30	被爆31周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆31周年原水爆禁止世界大会実行委員会		2	1	0	3	51 *
08 33	忘れられた傷あとー広島市沼田町大塚地区被爆体験記	〔広島市沼田町〕大塚地区有志の会編		30	0	0	30	12 *
08 33	きのご雲Ⅲ	新日本婦人の会長崎支部		0	5	0	5	63
08 33	第二十二回原水爆禁止世界大会の記録2	原水爆禁止日本協議会		2	1	0	3	51 *
09 10	被爆教師	石田明	一ツ橋書房	1	0	0	1	71 *
10 01	私の戦争体験1	山口戦争体験を記録する会		1	0	0	1	32 *
10 01	創立五十周年記念誌・おおしば	大芝小学校創立五十周年記念誌編集委員会(編)		2	0	0	2	14 *
10 10	原爆前後35	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
10 20	こだまするうたー広島市白鳥地区在住被爆者よりの聞きとり調査報告集	安田女子高等学校社会科学部(編)		12	0	0	12	43 *
10 28	つぼみー遺族会ニュース創刊号	千田小学校原爆犠牲教師と学童遺族会		7	0	0	7	14 *
10 33	老人大学文集第1集	広島市社会福祉協議会		7	0	0	7	44 *
11 03	広島の願いー高校生と被爆三十一年	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	67	0	0	67	32 *
11 15	女人随筆第30号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
12 01	動員日誌ー自昭和19.11.3, 至20.8.14	山田敏雄		1	0	0	1	91 *
12 08	なごや第3号	名古屋市立高等学校教員組合		2	0	0	2	45

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1976 (昭和51) 年</b>								
12 10	とおかいちー創立百周年記念誌	十日市小学校 百周年記念誌 (編)	三次市十日市 小学校	5	0	0	5	14 *
12 20	風雪三十年(上)ー 広船の思い出	「風雪三十年」 編さん室編	三菱重工業株 式会社広島造 船所	18	0	0	18	15 *
12 25	広島県医師会速報第 881号附録ーわか青 春・随筆集	広島県医師会 (編)		1	0	0	1	82 *
12 26	平家納経の世界ー国 宝の謎を推理する	小松茂美	六興出版	1	0	0	1	71
12 31	波の音第24号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
12 33	原爆下の司令部	栗村逸造(他)	広島師友会	14	0	0	14	11 *
13 33	あの日、あの時この 雲の下一被爆体験を 語り継ぐために	長崎市立緑が 丘中学校		0	12	0	12	43
<b>1977 (昭和52) 年</b>								
01 10	早く、援護を!第1 8号	韓国の原爆被 害者を救援す る市民の会		1	0	0	1	31 *
01 25	核兵器完全禁止を国 連に要請する国民代 表団(広島県代表) の報告	国連へ核兵器 完全禁止を要 請する国民代 表派遣広島県 実行委員会		1	1	0	2	52
01 25	被爆者の訴えを世界 の人びとにー被爆者 の援護連帯のために	原水爆禁止日 本協議会編		1	1	0	2	52 *
01 30	東雲附小百年史	広島大学教育 学部附属東雲 小学校(編)	創立百周年記 念事業会	1	0	0	1	14 *
01 30	天国から地獄へー南 方進攻作戦の栄光と 戦犯死刑囚の屈辱	岡崎清三郎	図書出版共栄 書房	1	0	0	1	71 *
01 31	波の音第25号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
02 14	飯盛の父母と子ども で綴る戦争、原爆の 記録ー飯盛中学校学 級文集より	岡本博(編)		0	17	0	17	43 *
02 28	波の音第26号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
03 10	酒縁歳時記ー昭和二 十年八月六日	佐々木久子	鎌倉書房	1	0	0	1	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1977	(昭和52)年							
03 19	'76ひろしま—東京都葛飾区立上平井中学校修学旅行記録集	江口保(編)		7	0	0	7	43 *
03 31	ヒロシマの夜の病棟から—被爆者日記抄	田村慶子(著) 佐藤友之(編)	太平出版社	1	0	0	1	71 *
03 31	波の音第27号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
03 33	戸坂原爆の記録	広島市戸坂公民館(編)		29	0	0	29	44 *
03 33	不死鳥16号	広島大学レクリエーション委員会		1	0	0	1	82 *
04 15	広島の炎—三十二年目の証言	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	39	0	0	39	32 *
04 15	一九四五年八月からの出発	内田千寿子・(解説)山代巴	而立書房	1	0	0	1	71
04 25	地域と子ども2号	地域と教育の会		1	0	0	1	84
05 01	平和文化第5号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *
05 15	歌集・原爆に生きて	竹内一作	久木短歌会	1	0	0	1	92 *
05 20	女人随筆第31号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
05 25	あの日あの時—死とのとなりあわせ	豊島区原爆被害者の会編	[東京都]	6	5	0	11	25 *
05 31	波の音第29号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
05 31	風雪三十年(下)—広船の思い出	「風雪三十年」編さん室(編)	三菱重工株式会社広島造船所	3	0	0	3	15 *
06 01	鷺と松虫	衣川舜子		1	0	0	1	91
06 01	俳句川柳亀の歩み	三浦能峯	三浦基農	1	0	0	1	91 *
06 10	原爆前後36	思い出集世話人		0	3	0	3	15 *
06 15	ヒロシマに生き征く—被爆者の手記	松室一雄	第三文明社	1	0	0	1	71 *
06 17	戦友	金比羅戦友会		0	7	0	7	11
06 20	学童疎開の記録	創価学会青年反戦出版委員会	第三文明社	1	0	0	1	32
06 24	聞き書丹波の庶民史	奥谷松治	平凡社	1	0	0	1	71
06 25	原爆体験記—あれから33年、今なお	全労働省労働組合広島支部(編)	全労働省労働組合	21	0	0	21	62 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1977 (昭和52) 年									
06 25	広島県職労運動史第1巻	広島県職労運動史編集委員会 (編)	自治労広島県職員労働組合	4	0	0	4	62	*
06 30	波の音第30号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82	*
07 10	一開業医のたわごと	長崎孝	医療法人厚生堂長崎病院	1	0	0	1	92	*
07 15	つぼみ-遺族会ニュース第2号	千田小学校原爆犠牲教師と学童遺族会		29	0	0	29	14	*
07 15	私たちと戦争2-戦争体験文集	戦争体験を記録する会	タイムス	1	0	0	1	32	
07 20	わしらの被爆体験-100人の証言	全日自労広島分会・自労被爆者の会編	全日自労広島分会	100	0	0	100	26	*
07 20	原子雲の下で-埼玉に住む被爆者の手記	しらすぎ会	埼玉母親連絡会	9	2	0	11	25	
07 20	われなお生きてあり [新装版]	福田須磨子	筑摩書房	0	1	0	1	71	
07 23	ヒロシマからのレポート-部落と原爆	広島県立広島商業高等学校部落問題研究部・原爆問題研究部 (編)		3	0	0	3	43	*
07 24	西浦上国民学校被爆追悼記	三十三回慰霊行事実行委員会 (編)		0	25	0	25	14	*
07 25	あさ第13号-被爆者のわかいと原水爆禁止運動の統一	山下会		5	0	0	5	63	*
07 25	長崎の証言第9集	長崎の証言刊行委員会		1	12	0	13	32	*
07 25	つゆくさ・大阪大空襲体験記-第六集にかえて	大阪大空襲の体験を語る会 (編)		2	0	0	2	32	*
07 30	反核の原点から-青年と原水禁運動	広島被爆二世連絡協議会準備会、広島県労働組合会議青年部 (他、共編)		4	0	2	6	26	*
07 30	故吉岡進の三十三回忌によせて	吉岡静人編	吉岡正枝	4	0	0	4	91	*
07 31	波の音第31号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82	*
07 33	ひーちゃんはいった-広島少女たちの遺言	大野允子	ポプラ社	1	0	0	1	71	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1977 (昭和52) 年								
07 33	山口のヒロシマー原爆死没者の碑建立の記録	山口県原爆被爆者福祉会館(監修)	山口県原爆死没者の碑建立委員会	2	0	0	2	31 *
07 33	ヒロシマは生きていた—佐々木雄一郎の記録 [写真集]	毎日新聞広島支局(編) 佐々木雄一郎(写真)	毎日新聞広島支局	1	0	0	1	74 *
07 33	平和へのねがい第3号	原水爆禁止西宮市協議会		2	0	0	2	52
08 01	木の葉のように焼かれて第11集	木の葉のように焼かれて編集委員会	新日本婦人の会広島県本部	7	0	0	7	63 *
08 01	木の葉のように焼かれてBurned Like Fallen Leaves—英・和対訳	新日本婦人の会広島県本部(編)		13	0	0	13	63 *
08 01	原爆が遺した子ら—胎内被爆小頭症の記録	きのこ会編	溪水社	16	0	0	16	29 *
08 01	燃え続く原爆の火	福岡県南筑被爆者の会編		13	13	0	26	25 *
08 06	石の陰—会報第二号	反戦被爆者の会		1	0	0	1	29 *
08 06	流燈—広島市女原爆追悼の記・続編	広島市女原爆遺族会・広島市女同窓会編		53	0	0	53	14 *
08 06	みたまやすかれ—被爆物故職員三十三回忌追悼	日本銀行広島支店		6	0	0	6	13
08 06	碑—広島郵便局原爆殉職者追悼誌	広島郵便局原爆殉職者追悼誌発行委員会(編)		34	0	0	34	13 *
08 06	鎮魂	旧制広島市立中学校同窓会(編)	旧制広島市立中学校同窓会, 同校原爆死没者遺族会	57	0	0	57	14 *
08 06	炎の中の私第1集	広島医療生活協同組合原爆被害者の会編		29	0	0	29	27 *
08 06	Toge Sankichi Hiroshima Poems (対訳・原爆詩集)	峠三吉	三友社	1	0	0	1	71 *
08 09	原子雲の下に生きて—長崎の子供らの手記	永井隆(編)	中央出版社	0	39	0	39	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1977 (昭和52) 年								
08 09	ナガサキからの祈り	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	0	53	0	53	32 *
08 09	長崎原爆キリスト者体験記	同出版委員会		0	17	0	17	92
08 15	私の戦争体験2	山口戦争体験を記録する会		1	6	0	7	32 *
08 15	ほづつのあとに[正一殉職従軍赤十字看護婦追悼記]	小林清子(等編)	アンリー・デュナン教育研究所	1	0	0	1	65 *
08 15	短歌長崎8月号	短歌長崎社		1	6	0	7	83
08 20	女絵かきの誕生—原爆を描いた愛の自叙伝	丸木俊	朝日新聞社	1	0	0	1	74 *
08 25	悪魔の足跡	岡本靖治		1	0	0	1	91
08 25	広島県医師会速報	広島県医師会		1	0	0	1	82 *
08 29	ヒロシマから全国の仲間へ	(1977年)原水爆禁止世界大会オープン・フォーラム「高校生」集会現地実行委員会		2	0	0	2	52 *
08 30	被爆32周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆32周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51 *
08 31	波の音第32号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
08 33	被爆体験・私の訴えたいこと(上)		NHK中国本部	96	0	0	96	74 *
08 33	被爆体験・私の訴えたいこと(下)		NHK中国本部	87	0	0	87	74 *
08 33	閃光(ひかり) No. 2—長崎動員の思い出	元熊本工業専門学校電気科学生		0	6	0	6	14
09 08	基地の街を生きぬいて	創価学会青年部反戦出版委員会(編)	第三文明社	1	0	0	1	32 *
09 20	女人隨筆第32号	女人隨筆社		1	0	0	1	84 *
09 30	鎮魂—原爆投下直後の三次における救援活動	広島県立三次高等学校史学部(編)		2	0	0	2	43 *
09 30	広島に生きて	嘉屋文子		1	0	0	1	91 *
09 30	波の音第33号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
10 10	老人大学文集第二号	広島市社会福祉協議会		5	0	0	5	44 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1977	(昭和52)年								
10 15	畑俊六策鴨日記	畑俊六・小見山登編	日本文化連合会	1	0	0	1	65	
10 25	五十年の軌跡	学校法人広島電気学園(編)		2	0	0	2	14	*
10 31	波の音第34号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82	*
11 19	「父母の戦争体験」に学ぶ・1集-創立30周年記念	池田市立池田中学校研究委員会・道徳学活部会(編)	池田市立池田中学校	1	2	0	3	43	*
11 25	平和への願い-地方都市からの訴え	池田市原爆被害者の会・池田市・福祉部・福祉事務所(共編)	池田市原爆被害者の会[大阪府]	19	5	0	24	25	*
11 33	1977年原水爆禁止世界大会-核兵器の廃絶・被爆者の援護	原水爆禁止統一実行委員会(編)		2	1	0	3	51	*
12 10	原爆前後37	思い出集世話人		1	7	0	8	15	*
12 20	この子らに語りつぐもの-広島原爆被爆教職員の手記1集	広島県原爆被爆教職員の会・広島県高校原爆被爆教職員の会(編)		14	0	0	14	26	*
12 20	ある牧者の親子-原爆の中の証人	八木正人	キリスト新聞社	1	0	0	1	71	*
12 20	季刊えひめ第7号	愛媛文化団体連絡協議会		1	0	0	1	84	
12 30	原民喜のガリバー旅行記	原民喜	晶文社	1	0	0	1	71	*
12 31	波の音第36号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82	*
12 33	甦記憶三十三回-私の昭和20年8月6日	緑井中組みどり会・佐東公民館(編)		20	0	0	20	12	*
12 33	原爆下の司令部第2集	広島師友会原爆記録「原爆下の司令部」編纂委員会編	広島師友会	14	0	0	14	11	*
13 33	原爆三十三回忌誌	松田雪美		1	0	0	1	91	*
13 33	長女の原爆死	福原徳和		1	0	0	1	91	*
13 33	77ひろしま-東京都葛飾区立上平井中学校修学旅行記録集	東京都葛飾区立上平井中学校(編)		2	0	0	2	43	*
13 33	被爆二世宣言創刊号	関東被爆二世連絡協議会		0	1	0	1	29	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1978 (昭和53) 年</b>								
01 10	女人随筆第33号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
02 10	母の歴史	新日本婦人の 会編	草土文化	0	1	0	1	63
02 10	炎の中から一被爆の 実相とその後遺・被 爆者の実情に関する 北区レポート	被爆問題国際 シンポジウム 北区推進委員 会・原水爆禁 止北区統一準 備会(編著)	東京北法律事 務所	3	1	1	5	32 *
02 10	天皇制を問いつづける	わたつみ会 (編)	筑摩書房	0	1	0	1	61 *
02 19	こどもの兵隊一親が 子に語る戦争と原爆 の話 第一集	日本キリスト 教団広島府中 教会、こばと 幼稚園平和教 育文集編集委 員会		5	0	0	5	43 *
02 28	折一広島通商産業局 原爆被災誌	広島通商産業 局関係職員原 爆慰霊碑建立 会(編)		47	0	0	47	13 *
02 28	波の音第38号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82 *
02 33	暗い青春一廿日市中 学校父母戦争体験記	廿日市中学校 平和教育推進 委員会(編)		28	0	0	28	43 *
03 20	老人大学文集第3集	広島市社会福 祉協議会		8	0	0	8	44 *
03 25	八十年史	広島県立広島 工業高等学校 創立八十周年 記念事業委員 会(編)	広島県立広島 工業高等学校	2	0	0	2	14 *
03 31	本郷の昔話一生活・ 戦争体験編	本郷町昔話編 集委員会編	本郷町民主教 育研究協議会	4	0	0	4	65 *
03 31	結成30年のみのり 一長崎市婦人会結成 三十年記念誌	長崎市婦人会 (編)		0	4	0	4	63 *
03 31	第2回平和を考える 市民の集い記録集	広島平和文化 センター編		3	0	0	3	41 *
04 05	炎の中に	山中スエ子		1	0	0	1	91
04 15	「戦争を告発する」 文集(二)	全電通広島戦 争告発行動委 員会		1	0	0	1	62 *
04 15	「戦争を告発する」 文集(三)	全電通広島戦 争告発行動委 員会		39	0	0	39	62 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1978 (昭和53) 年									
04 20	被爆三十周年記念誌 ・第1輯	福山市原爆被害者の会編	[広島県]	26	0	0	26	22	*
04 20	私の原爆被爆体験記 —昭和二十年八月九日	藤木義明		0	1	0	1	91	*
04 20	学びぼう! 広島・長崎 の教訓から (県内被 爆者の調査を中心と した報告書)	NGOシンポジ ウム群馬県推 進委員会編		7	1	0	8	32	*
04 30	波の音第40号	明慶寺同朋会		1	0	0	1	82	*
04 33	きのご雲第4集	新日本婦人の 会長崎支部		0	4	0	4	63	*
05 08	砂原格氏追想録	砂原格先生顕 彰会 (編)		3	0	0	3	92	*
05 15	ストックングで歩く とき—戦後の青春4	堀場清子編	たいまつ社	2	0	0	2	71	
05 15	女の一生	もろさわよう こ (編著)	平凡社	1	0	0	1	71	
05 20	ヒロシマ、ひとりか らの出発	高梅昭博	筑摩書房	1	0	0	1	71	*
05 20	ノーモア・ヒバクシ ャー福岡県原爆被害 者実態調査報告書	国連NGO主 催「国際シン ポジウム」福 岡県推進委員 会 (編)		0	1	0	1	32	*
05 21	ビキニ水爆実験被災 24周年1978年 3. 1ビキニデー中 央集会の記録	原水爆禁止運 動の統一をめ ざす静岡県民 準備会 (編)		2	1	0	3	52	*
05 24	釜ヶ崎原爆被爆者の 会5年間の歩み	釜ヶ崎原爆被 爆者の会編	[大阪市]	0	1	0	1	25	*
05 25	呉海軍工廠電気実験 部の記録	電実会	呉海軍工廠電 気実験部の記 録編集委員会	12	2	0	14	11	*
05 30	女人随筆第34号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
05 33	家族の戦争体験記・ 第4集—原爆体験特 集	広島市亀山中 学校美術科		33	0	0	33	43	
05 33	旭日章25年	久保律郎		1	0	0	1	91	
06 20	戦禍の語り—残され た者の手記	伊藤一男・有 山恭弘 (編)	時事通信社	1	1	0	2	74	*
06 20	私たちは長崎にいた	永井隆 (編著)	中央出版社	0	8	0	8	71	*
06 25	原爆を見つめて	井上健次	労働大学	1	0	0	1	75	*
06 33	被爆者の叫び	大竹市原爆被 爆者協議会編	[広島県]	30	0	0	30	22	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1978 (昭和53) 年								
07 08	そして世界は育つのです	藤川辰正	広島医療生活協同組合	1	0	0	1 64 *	
07 10	原爆前後38	思い出集世話人		0	1	0	1 15 *	
07 20	ほづつのとに(続)一殉職従軍赤十字看護婦追悼記	小林清子(等編)	アンリー・デュナン教育研究所	0	1	0	1 65 *	
07 20	かあさんと呼ばれた日	山口男子編	草土文化	1	0	0	1 71	
07 24	生きテ帰ルンダゾ	日本キリスト教団広島府中教会、こばと幼稚園平和教育文集編集委員会		9	0	0	9 43 *	
07 25	あさ第14号-「世界へヒロシマを」	山下会		8	0	0	8 63 *	
07 25	長崎の証言第10集	長崎の証言刊行委員会		1	14	0	15 32 *	
08 01	壁第10集-ヒロシマ未解放部落原爆被爆者の手記	福島地区被爆者の会		5	0	0	5 21 *	
08 01	木の葉のように焼かれて第12集	新日本婦人の会広島県本部		12	0	0	12 63 *	
08 01	婦人公論8月号		中央公論社	1	0	0	1 81	
08 02	この怒りを第4集-原爆被災復旧記録	国鉄労働組合・国労原爆被爆者対策協議会(編)		9	7	0	16 26 *	
08 04	被爆二世創刊号	全国被爆二世連絡協議会準備会		0	2	1	3 29	
08 05	原子雲の下に生きつづけて第6集	全電通被爆者連絡協議会		6	1	0	7 26 *	
08 05	広島県医師会速報	広島県医師会		1	0	0	1 82 *	
08 06	同和地区の被爆者	広島中央保健生活協同組合・福島地区被爆者の会(など編)	国連代表派遣をすすめる福島推進委員会	9	0	0	9 21 *	
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第2集-黒い雨の町の証言・	広島医療生活協同組合(等編)		27	0	0	27 27 *	
08 06	広島市鞆町国民学校卒業生名簿-昭和20年3月(第58期生)	〔広島市〕鞆町国民学校昭和20年卒業生(編)		5	0	0	5 14 *	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1978 (昭和53) 年									
08 15	戦中戦後・母子の記録 (第2巻) 我が子に遺す	朝日新聞社 業開発本部編	笠原政江	1	0	0	1	92	*
08 15	初仕事は“安楽殺”だった—昭和20年8月9日の証言	塩月正雄	光文社	0	1	0	1	71	*
08 15	短歌長崎8月号	短歌長崎社		0	1	0	1	83	
08 20	週刊読売8月20・27日合併号		読売新聞社	0	2	0	2	81	
08 30	被爆33周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆33周年 原水爆禁止世界大会実行委員会		0	1	0	1	51	*
08 33	原爆体験記—創立二十周年記念	唐津原爆被害者の会 (編)	[佐賀県]	3	6	0	9	25	*
09 15	詩集・このみちをゆく—旧陸軍看護婦生徒の記録	北山紀子		1	0	0	1	91	*
09 15	長野のヒロシマ・ナガサキ—77被爆問題シンポジウム長野県記録集	被爆問題国際シンポジウム長野県推進委員会		2	0	0	2	32	
09 20	定本原民喜全集Ⅱ	原民喜	青土社	1	0	0	1	71	*
10 05	女人随筆第35号	女人随筆社		1	0	0	1	84	*
10 06	銃魂—船舶衛生兵の追憶	佐々田政一		1	0	0	1	91	*
10 10	原爆前後39	思い出集世話人		0	2	0	2	15	*
10 10	修道学園史—創始二百五十三年私学百年	修道学園(編)		8	0	0	8	14	*
10 20	回想第21 海軍航空廠	片岡源一郎編	21空廠慰霊塔奉賛会	0	1	0	1	11	
11 30	定本原民喜全集Ⅲ	原民喜	青土社	1	0	0	1	71	*
11 33	78核兵器完全禁止・被爆者援護世界大会—東京・広島・長崎の記録	78核兵器完全禁止・被爆者援護世界大会実行委員会		2	1	0	3	51	*
12 05	季刊長崎の証言1	長崎の証言の会		1	5	0	6	32	*
13 33	大分の平和教育—戦争体験記集NO. 1	大分県教職員組合平和教育推進委員会編		2	4	1	7	45	*
13 33	1978年皆実有朋同窓生の記録—原爆その日	広島県立皆実高等学校		7	0	0	7	14	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1978 (昭和53) 年</b>								
13 33	原爆の図	丸木位里丸木 俊 (制作)	原爆の図丸木 美術館	2	0	0	2 65 *	
<b>1979 (昭和54) 年</b>								
01 01	会報第2号	府中市原爆被 害者の会	[広島県]	1	0	0	1 22 *	
01 10	追憶の便りーヒロシ マで逝ったわが子へ	藤野としえ	未来社	1	0	0	1 71 *	
01 33	私の人生ー三浦快藏 傳	三浦快藏		1	0	0	1 91 *	
02 01	8. 15前後ー戦争 と私たち	戦争を語りつ ぐ岡山婦人の 会 (編)		2	0	0	2 32 *	
02 03	香川の原水禁運動3 0年史	山本繁	原水爆禁止香 川県協議会	2	0	0	2 52 *	
02 10	季刊長崎の証言2	長崎の証言の 会		0	6	0	6 32 *	
02 15	合同歌集・七つのだ んぐり	森田良正(編)	晩鐘発行所	1	0	0	1 65 *	
02 25	わが句ものがたり	鳴沢花軒 (本 名:寡愆)	十一房出版	1	0	0	1 71 *	
02 28	戦中戦後・母子の記 録 (第6巻) 生きぬ いて	朝日新聞社事 業開発本部編	笠原政江	2	0	0	2 92 *	
03 05	女人随筆第36号	女人随筆社		1	0	0	1 84 *	
03 14	戦中戦後・母子の記 録 (第3巻) 限りな き力	朝日新聞社事 業開発本部	笠原政江	1	0	0	1 92 *	
03 14	「父母の戦争体験」 に学ぶ・2集	[池田市立] 池田中学校研 究委員会編	池田市立池田 中学校	1	1	0	2 43 *	
03 15	若き牧師たちへー教 師の生きがいを創る	三上満・石田 明 (共著)	労働旬報社	1	0	0	1 71 *	
03 20	長崎県警察史ー下巻	長崎県警察史 編集委員会編	長崎県警察本 部	0	37	0	37 13 *	
03 20	三代の記録	広島市観音公 民館宝寿大学		4	0	0	4 44	
03 25	曠野の青春 [遺画文 集]	古田耕三(著) 古田耕三遺稿 刊行会 (編)	古田みつ子	1	0	0	1 91 *	
03 29	世界の平和を望う旅 ー国連に核兵器完全 禁止を要請する日本 国民代表団に参加し て	楡垣益人		1	0	0	1 91	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1979 (昭和54) 年								
03 30	早く援護を！第25号	韓国の原爆被害者を救済する市民の会		1	0	0	1	31 *
03 33	家族の戦争体験記・第5集	広島市亀山中学校美術科		6	0	0	6	43
04 10	ほのぐらい灯心を消すことなく	奥田貞子		1	0	0	1	91 *
04 15	原爆前後40	思い出集世話人		1	4	0	5	15 *
04 20	私の体験手記	聖教新聞社会部(編)	聖教新聞社	1	0	0	1	74 *
04 29	統・平和への漂標—大阪市原爆被害者の会十五周年記念	大阪市原爆被害者の会編		1	0	0	1	25 *
05 12	季刊長崎の証言3	長崎の証言の会		0	4	0	4	32 *
05 19	三十周年記念誌	広島県連合未亡人会(編)		4	0	0	4	19 *
05 20	原口幸隆—かんでらとともに	原口喜代(編)		1	0	0	1	91 *
05 25	被災二五周年—一九七九年三・一ピキニデー集会の記録	原水爆禁止運動の統一をめざす静岡県民準備会		1	0	0	1	52
05 30	妻の甲神部隊	沢田直二(編著)		11	0	0	11	91 *
05 33	〔千綿〕婦人会のあゆみ—〔昭和54年5月〕	千綿婦人会編		0	5	0	5	63 *
05 33	濁き創刊号—被爆体験文集	徳山被爆者の会	〔山口県〕	8	1	0	9	25 *
05 33	イモツル8—特集：ヒロシマの子どもたち	広島地区高校生部落問題研究協議会		1	0	0	1	84
06 01	広島憩いの家No. 4	広島憩いの家		3	0	0	3	31 *
06 01	女と反原発	何が何でも原発に反対する女たちのグループ		1	0	0	1	63
06 15	被爆者の手記(第1集)	熊本県原爆被害者の会編		1	5	0	6	25 *
06 15	原爆前後41	思い出集世話人		0	3	0	3	15 *
06 20	戦中戦後・母子の記録(第4巻)母の歩み	朝日新聞社事業開発本部	笠原政江	2	0	0	2	92 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1979 (昭和54) 年								
06 20	原爆と平和教育—第2回原爆問題シンポジウム	長崎「原爆問題」研究普及協議会		0	1	0	1	32
06 20	早く援護を！第26号	韓国の原爆被害者を支援する市民の会		1	0	0	1	31 *
06 20	熊平源藏追想録	熊平源藏追想録編集委員会(編)	熊平製作所	1	0	0	1	92 *
06 24	花ばさみ—原爆ケロイドに耐えて—杉久美枝川柳集	杉久美枝	串かつ川柳会	1	0	0	1	65 *
06 33	きのご雲—忘れ得ぬ日の思い出	静岡県原水爆被害者の会(編)		41	5	0	46	25 *
06 33	ひろしま創刊号	日本民主主義文学同盟広島支部		1	0	0	1	82
07 01	この子らに語りつぐもの—広島原爆被爆教職員の手記第1集	広島県原爆被爆教職員の会・広島県高校原爆被爆教職員の会編		14	0	0	14	26
07 05	学内通信		広島大学	1	0	0	1	82
07 15	白いチョゴリの被爆者	広島県朝鮮人被爆者協議会(編)	労働旬報社	18	0	0	18	29 *
07 20	三十五年目の被爆者	広島原爆被害者問題ケースワーカー研究会(編)	労働教育センター	10	0	0	10	31 *
07 20	1945年8月6日—ヒロシマは語りつづける	伊東社	岩波書店	1	0	0	1	71 *
07 20	語りつぐ戦争	福岡県教職員組合(編)	葦書房	3	4	0	7	45 *
07 20	季刊長崎の証言4	長崎の証言の会		1	11	0	12	32 *
07 20	歌集・警邏線	宮田定	短歌新聞社	1	0	0	1	71
07 20	大牟田の空襲第7集	大牟田の空襲を記録する会		0	1	0	1	32
07 23	きのご会会報No. 11	きのご会		1	1	0	2	29 *
07 29	母の思い出	西名義美		1	0	0	1	91
07 33	閃光は今も眼に—原爆証言集1集	宇部市・小野田市原爆被爆者協議会編	[山口県]	22	3	0	25	25 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1979 (昭和54) 年								
08 01	木の葉のように焼かれて第13集	新日本婦人の会広島県本部		9	0	0	9	63 *
08 01	沼波・平和記念特集号	広島市沼田町文化協会編		10	0	0	10	12 *
08 01	ナガサキの証言	鎌田定夫	青木書店	0	34	0	34	71 *
08 01	釜ヶ崎原爆被爆者の怒りと悲しみ	釜ヶ崎原爆被爆者の会編	[大阪市]	5	2	0	7	25 *
08 01	世界8月号		岩波書店	0	1	0	1	81
08 01	文化評論		新日本出版社	4	2	0	6	81
08 05	女人随筆第37号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第3集一子どもたちに平和な未来を	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合編		26	0	0	26	27 *
08 06	創業百年史	創業百年史編纂事務局編	広島銀行	11	0	0	11	15 *
08 06	会報第9号	総領町原爆被害者の会	[広島県]	1	0	0	1	22 *
08 06	詩集・原爆の日	吉岡満子	野火の会	1	0	0	1	65 *
08 06	壁第11集-ヒロシマ未解放部落原爆被爆者の手記	福島地区被爆者の会		8	0	0	8	21 *
08 15	原爆前後42	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
08 18	'79年広島・長崎報告-原水爆禁止1979年世界大会から第2分冊	広島・長崎報告編集共同デスク編	原水爆禁止日本協議会	0	1	0	1	51 *
08 20	母たちの戦争体験-ひき裂かれて	鶴見和子・牧瀬菊枝(編)	麦秋社	0	1	0	1	71 *
08 20	早く援護を!第27号	韓国の原爆被害者を救援する市民の会		1	0	0	1	31 *
08 30	被爆34周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆34周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	0	0	1	51 *
08 33	'79ひろしま-東京都葛飾区立上平井中学校修学旅行記録集(上,下)	東京都葛飾区立上平井中学校(編)		1	0	0	1	43 *
08 33	ヒロシマ爆心からの証言	滝宮俊三		1	0	0	1	91
09 01	世界9月号		岩波書店	0	1	0	1	81
09 15	原爆前後43	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1979	(昭和54)年							
09 20	広通文学102号		広通文学会	1	0	0	1	82 *
09 33	父母の戦争体験記	[広島県] 美 土里中学校3 年A組(編)		2	0	0	2	43 *
09 33	歌集・希望	甫出繁二		1	0	0	1	91 *
10 01	世界10月号		岩波書店	0	1	0	1	81
10 01	婦人公論10月号		中央公論社	0	1	0	1	81
10 06	被団協第10号	日本原水爆被 害者団体協議 会		1	0	0	1	28 *
10 15	わが青春—七高時代	北辰会		0	61	0	61	14
10 25	語りつぐ戦争体験3 —骨壺	日本児童文学 者協会・日本 子どもを守る 会編	草土文化	3	0	0	3	65 *
11 01	ほのぐらい灯心を消 すことなく	奥田貞子	キリスト新聞 社	1	0	0	1	71
11 03	呉共済病院七十五年 史	七十五年史編 集委員会(編)	呉共済病院	2	0	0	2	15 *
11 03	高校生のヒロシマ・ アピール	8・6全国高 校生集会現地 実行委員会、 広島県高校生 平和ゼミナ ール実行委員会		1	0	0	1	52 *
11 08	柔しく剛く—安田リ ョウ追想録	安田リョウ先 生記念誌編集 委員会(編)	安田学園	3	0	0	3	14 *
11 10	季刊長崎の証言5	長崎の証言の 会		4	3	0	7	32 *
11 20	ペン30周年記念誌	広島ペンクラ ブ		1	0	0	1	65 *
11 30	人生雑感	川越静枝編	永田書房	1	0	0	1	71 *
11 33	原爆被爆体験記	芝山宏(編)	京都府原爆被 災者の会	55	13	0	68	25 *
11 33	あの日々を生きぬい て—父母の戦争体験 記	海田中学校第 一学年PTA		30	0	0	30	43
11 33	原水爆禁止'79世 界大会の記録	'79世界大会 記録編集委員 会(編)	原水爆禁止19 79年世界大会 実行委員会	4	4	1	9	51 *
12 05	女人随筆第38号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
12 20	朝鮮人被爆者の実態 報告書(1979年 12月15日)	広島・長崎朝 鮮人被爆者実 態調査団事務 局(編)		6	6	0	12	31 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1979 (昭和54) 年</b>								
12 20	語りつく戦争体験5 —神の子たち	日本児童文学 者協会・日本 子どもを守る 会編	草土文化	0	1	0	1	65 *
12 20	雲のかなたに	宮本操		1	0	0	1	91
12 28	五〇〇米に生きる— 核兵器のない真の平 和のために	三浦一江	大阪市原爆被 害者の会	1	0	0	1	25 *
13 33	ヒロシマ爆心からの 証言	滝宮俊三 (大 阪市原爆被害 者の会)		1	0	0	1	91
13 33	はまゆうの花	原良子(編著)		1	0	0	1	91 *
<b>1980 (昭和55) 年</b>								
01 10	空白の学籍簿—第三 国民学校の被爆実態 をたずねて	〔広島市立〕 翠町中学校生 徒会報告書編 集委員会(編)	広島市立翠町 中学校生徒会	5	0	0	5	14 *
01 20	燃える日本列島	来栖良夫ほか 編	童心社	1	1	0	2	71
01 25	語り—山口のヒロシ マ1	山口県原爆被 爆者福祉会館 「ゆた苑」		6	0	0	6	31 *
01 25	きのご雲は消えても	神戸市原爆被 害者の会(編)		19	2	0	21	25 *
01 33	不確実な真実	小豊勝(編)		1	0	0	1	91 *
02 01	感情草紙〔随筆集〕	高山雅子	青葉出版社	1	0	0	1	71 *
02 01	なかやまのむかしば なし—PTA創設3 0周年記念誌	広島市立中山 小学校PTA (編)		1	0	0	1	14 *
02 06	被団協第14号	日本原水爆被 害者団体協議 会		0	0	1	1	28 *
02 10	季刊長崎の証言6	長崎の証言の 会		0	11	0	11	32 *
02 15	世界の中のヒロシマ	広島平和文化 センター		1	0	0	1	41 *
02 25	アイゴ! ムルダルラ —広島・長崎被爆朝 鮮人の35年	吉留路樹(編 著)	二月社	6	7	0	13	71 *
03 10	老人大学文集第4集	広島市社会福 祉協議会		6	0	0	6	44 *
03 16	傷あとの証言—原爆 被害者体験記1号	大阪市東住吉 区原爆被害者 の会(編)		4	2	0	6	25 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1980(昭和55)年								
03 25	時刻表地図から消えた町	福田宏年	集英社	1	0	0	1	71
04 01	福屋五十年史〔1929-1979〕	福屋社史編集委員会	福屋	1	0	0	1	15*
04 15	原爆前後45	思い出集世話人		0	4	0	4	15*
04 15	広島県医師会速報	広島県医師会		2	0	0	2	82*
04 20	女人随筆第39号	女人随筆社		1	0	0	1	84*
04 25	遺産づくり運動—ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐために	大阪市原爆被害者の会(編)		1	0	0	1	25*
05 15	原爆前後46	思い出集世話人		0	3	0	3	15*
05 23	季刊長崎の証言7	長崎の証言の会		0	10	0	10	32*
05 27	世羅部隊誌—元世羅部隊の原爆被爆記録	門原叡夫・平元貞一(編)	元世羅部隊世話人会	106	0	0	106	11*
05 30	私のみた原爆	岡田芳正		1	0	0	1	91
05 30	匂いのない花	小柳恵美子		0	1	0	1	91*
06 10	原爆の記—広島財務局原爆被災者の記録	庭山慶一郎(編)	大蔵財務協会	65	0	0	65	13*
06 20	いもぞうすい—語りつぐ戦争の話1集	佐保子ども劇場例会研究会		0	2	0	2	65*
06 25	ひろしまのピカ	丸木俊(文・絵)	小峰書店	1	0	0	1	71*
06 33	広島通信62	「広島通信」の会		4	0	0	4	82*
07 01	記録7月号	記録の会	記録社	0	0	1	1	81
07 01	思い出の記	真田亀一		1	0	0	1	91
07 01	人類の明日のために—広島原爆記録集	天理教広島教務支庁(編)	天理教道友社	31	0	0	31	65*
07 20	港の見える丘に立ちて—我が人生の記	峯美津江		0	1	0	1	91*
07 20	長崎を忘れない	渡辺千恵子(作)・東本つね(画)	草土文化	0	1	0	1	71*
07 20	動員学徒隊長の手記—被爆体験を中心とした	堂崎豊	文化評論出版	1	0	0	1	71*
07 20	女人随筆第40号	女人随筆社		1	0	0	1	84*
07 25	別冊人生読本・戦争体験		河出書房新社	4	2	0	6	81*
07 28	きのこ会会報No. 12	きのこ会		1	0	0	1	29*
07 29	原爆歌集	竹内一作		1	0	0	1	91*
07 30	原爆と一兵士—	秦恒雄	旺史社	1	0	0	1	71*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1980 (昭和55) 年								
07 30	煉瓦の壁—長崎捕虜 収容所と原爆のドク ュメント	田島治太夫・ 井上俊治	現代史出版会 (発行)、徳間 書店(発売)	0	1	0	1	71 *
07 30	日本の空襲8—九州	空襲・戦災を 記録する会九 州連絡会編	三省堂	0	7	0	7	32 *
07 31	木の葉のように焼か れて第14集	新日本婦人の 会広島県本部		9	0	0	9	63 *
07 31	あさ第15号—被爆 三十五周年・ヒロシ マの私たち	山下会		4	0	0	4	63 *
07 33	炎の慟哭—戦争体験 記録”女の叫び”	大阪府堺市婦 人団体連絡協 議会戦争体験 記実行編集委 員会(編)		2	0	0	2	63 *
07 33	原爆被爆者対策基本 問題懇談会への意見 書	森滝市郎	〔「きのこ会 ・会報」12 号別刷り〕	1	0	0	1	29
07 33	濁き第2号—被爆体 験文集	徳山被爆者の 会	〔山口県〕	10	1	0	11	25 *
07 33	あゆみ	東大阪市原爆 被害者の会		6	0	0	6	25
07 33	閃光は今も眼に—原 爆証言集第2集	宇部市・小野 田市原爆被爆 者協議会	〔山口県〕	15	1	0	16	25 *
08 01	真樹8月号—平和希 求広島特集		真樹社	3	0	0	3	82
08 01	原子雲の下に生きつ づけて第7集	全電通被爆者 連絡協議会		2	0	0	2	26 *
08 05	ヒロシマで学習する 平和教材集	広島県夏休み 帳編集委員会 (編)	広島平和教育 研究所出版部	1	0	0	1	45 *
08 05	季刊長崎の証言8	長崎の証言の 会		0	8	0	8	32 *
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第4集	広島医療生活 協同組合原爆 被害者の会な ど		20	0	0	20	27 *
08 06	人類の未来への証言	全国原爆被爆 教職員連絡会 (編)	労働旬報社	8	8	0	16	26 *
08 06	生きて・生きて	「被爆の体験 聞き書き集」 編集委員会編	原水爆禁止日 本協議会	5	1	0	6	52 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1980(昭和55)年								
08 06	原爆投下の軌跡—エ ノラ・ゲイ機長の証 言,その歴史的背景	広島平和教育 センター設立 準備委員会編		1	0	0	1	65 *
08 09	閃光の影で—原爆被 爆者救護赤十字看護 婦の手記	日本赤十字社 長崎県支部 (編)		0	51	0	51	15 *
08 10	女人随筆第40号	女人随筆社		1	0	0	1	84 *
08 15	絶句	水主川繁人		1	0	0	1	91 *
08 15	父・母の昭和史—高 校生の聞きがき	佐倉康・滝沢 順・中村英子 (編)	新興出版社	6	2	0	8	71 *
08 30	被爆35周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	被爆35周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		1	2	0	3	51 *
08 30	手記・じかたびの詩 —失業と貧乏をのり こえて	全日自労・建 設一般・早船 ちよ(共編)	労働旬報社	1	1	0	2	62 *
08 33	八〇年原水爆禁止世 界大会と行動の記録 第2分冊	原水爆禁止日 本協議会		1	2	0	3	51 *
08 33	夏雲—「千代田新聞」 特集号	千代田平和委 員会		1	0	0	1	61
08 33	増田勉—“ヒロシマ” シリーズ作品展 [画集・作品展図録]	増田勉		1	0	0	1	91 *
09 06	被団協第21号	日本原水爆被 害者団体協議 会		1	0	0	1	28 *
09 10	日本の空襲7—中国 ・四国	岡田智晶編	三省堂	2	0	0	2	71 *
09 10	歴史読本臨時増刊— 特集手記わたしの8 月15日	田中満儀編	新人物往来社	3	0	0	3	71 *
09 15	悠久の流れの中に	平山郁夫	佼成出版社	1	0	0	1	71 *
09 20	語り—山口のヒロシ マ2	山口県原爆被 爆者福祉会館 「ゆだ苑」編		6	1	0	7	31 *
10 01	不帰春—学徒勤労働 員の記録	旧制・長崎県 立大村中学校 学徒勤労働員 を記録する会 (編)		0	9	0	9	14 *
10 01	安芸第14号—40 周年特集	広島鉄道病院		1	0	0	1	82 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1980 (昭和55) 年								
10 01	末松栄とその時代	「末松栄とその時代」刊行会 (編)	「末松栄とその時代」刊行会	4	0	0	4	92 *
10 10	原水爆禁止1980年世界大会の記録	原水爆禁止1980年世界大会準備委員会広報委員会 (編)		1	2	0	3	51 *
10 25	韓国の被爆者	富村順一	JCA出版	0	1	0	1	71 *
10 30	十三人の死をみつめて	佐伯敏子	ベトナムの子供を支援する会	1	0	0	1	61
11 02	元船舶兵 (晩部隊) の思い出日記	増山幸男		1	0	0	1	91 *
11 10	げんばく記 [増補・改訂版]	土田康		1	0	0	1	91 *
11 10	季刊長崎の証言9	長崎の証言の会		0	5	0	5	32 *
11 27	あいち従軍看護婦の記録	「あいち従軍看護婦の記録」編集委員会	日本赤十字社愛知県支部	1	0	0	1	19 *
11 29	醜貌一女の悲しみをのりこえて	野中フミ子	大阪市原爆被害者の会	1	0	0	1	25 *
12 01	角尾晋先生一胸像建立記念誌	角尾晋先生胸像建立実行委員会		0	4	0	4	92
12 06	被団協第24号	日本原水爆被害者団体協議会		0	1	0	1	28 *
12 15	原爆前後47	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
12 27	直訴状一昭和五十五年十二月二十七日 (園田厚生大臣宛て)	広島被爆者 (藤枝良枝等20名)・広島原爆被害者問題研究会		20	0	0	20	31 *
12 33	全機全托一伊藤是の想いで	伊藤隆明・伊藤信明 (編)		1	0	0	1	91 *
13 33	ヒロシマには歳はないんよー佐伯敏子さんの原爆体験の聞きがき	佐伯敏子 (証言) 松原市立布忍小学校 (聞き書き)	松原市立布忍小学校	1	0	0	1	43 *
13 33	医系学生に原爆問題をどう教えたかーそのカリキュラムのすべて	高木昌彦 (編著)		2	0	0	2	43 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1980 (昭和55) 年								
13 33	子供たちの未来のために—被爆35周年 原水爆禁止大会三多 摩代表団報告集	被爆35周年 原水爆禁止大 会三多摩代 表団		3	1	0	4	52
1981 (昭和56) 年								
01 18	ふるさとの街やかれ —あやまちを再びく り返さぬために・第 2号	板橋みのり会	[東京都]	2	0	0	2	25
01 20	原爆前後48	思い出集世話 人		0	3	0	3	15 *
01 33	広島通信63	「広島通信」 の会		1	0	0	1	82 *
02 10	季刊長崎の証言10 号	長崎の証言の 会		1	4	0	5	32 *
02 12	こだまするうた2集 —ヒロシマを語りつ ぐ高校生	安田女子高等 学校社会科学 研究部 (編)		12	0	0	12	43 *
03 01	人間をかえせ わが家をかえせ	滝宮俊三	大阪市原爆被 害者の会	1	0	0	1	25 *
03 01	文集語ろう—戦争・ 原爆・平和	広島市立幟町 中学校三年七 組PTA (編)		5	0	0	5	43 *
03 15	ばんばのつぶやき	今井美沙子	サンブライト	0	1	0	1	75
03 15	続々・ぎおんの思い 出—55年度祇園公民 館老人大学文集	祇園公民館老 人大学	祇園公民館	3	0	0	3	44 *
03 33	ふるさと・向真日2 号	六日市町抜月 河内地区モデ ルコミュニテ イ推進委員会 (編)	[島根県鹿足 郡]	1	0	0	1	44 *
04 01	創立六十周年記念誌	広島市立広島 商業高等学校 創立六十周年 記念誌編集委 員会 (編)	広島市立広島 商業高等学校 ・同窓会	6	0	0	6	14 *
04 01	創立六十周年記念誌	広島市高等女 学校・広島市 立舟入高等学 校同窓会 (編)		2	0	0	2	14 *
04 15	初めて知った戦争の 話—中学生の聞きが き	関豊・青井・ 荒川明子 (編)	新興出版社	0	1	0	1	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1981(昭和56)年									
04 15	広島大河附近の街—旭町・翠町・出汐町・霞町・丹那新町	大竹嘉治(編著)	大河郷土史研究会	5	0	0	5	12	*
04 29	いのちある限り—被爆者運動35年のあゆみ	神奈川県原爆被災者の会編		22	6	0	28	25	*
04 33	原爆句集	原爆忌東京俳句大会実行委員会編		1	1	0	2	65	
05 03	「中国文化」原子爆弾特集号—復刻並に抜き刷り(2号—18号)	「中国文化」復刻刊行の会(編)		2	0	0	2	92	*
05 14	私達の太平洋戦争	旧愛媛県立松山城北高等女学校卒業生有志(編)	植村淑子	11	1	0	12	14	*
05 15	沖縄の被爆者—癒やされぬ36年の日々	福地曠昭(編著)	沖縄県原爆被爆者協議会(刊)・那覇出版社(発売)	19	34	13	66	25	*
05 15	季刊長崎の証言1号	長崎の証言の会		1	3	0	4	32	*
05 20	原爆前後49	思い出集世話人		0	2	0	2	15	*
05 25	歌集・深海	島毅	秋田文化出版社	0	1	0	1	75	
06 05	8.15前後(第2集)—戦争と私たち	戦争を語りつぐ岡山婦人の会(編)		1	0	0	1	32	*
06 10	少年のひろしま	大平数子(作)竹本三郎(画)	草土文化	1	0	0	1	71	*
06 14	原爆許すまじ—体験絵集	静岡県原水爆被害者の会編		4	0	0	4	25	*
06 33	平和へのねがい4号	原水爆禁止西宮協議会		4	0	0	4	52	*
07 01	'80千葉原爆写真展感想文集	千葉県原爆写真展を成功させる実行委員会		1	0	0	1	32	
07 10	木の葉のように焼かれて	新日本婦人の会広島県本部(編)	労働教育センター	28	0	0	28	63	*
07 10	くろせちよう農協だより第71号	黒瀬町農業協同組合	[広島県]	1	0	0	1	82	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1981(昭和56)年									
07 10	消えぬ傷痕3-被爆 三十六年の証言	松岡克昌(編)		2	0	0	2	91	*
07 15	ヒロシマの雨はドームの涙PART I	小川利雄(編)	教育出版センター	27	0	0	27	43	*
07 15	ヒロシマの雨はドームの涙PART II	国際平和教育研究会(編)	教育出版センター	23	0	3	26	43	*
07 15	ヒロシマの雨はドームの涙PART III	国際平和教育研究会(編)	教育出版センター	24	1	2	27	43	*
07 15	木の葉のように焼かれて第15集	新日本婦人の会広島県本部		17	0	0	17	63	*
07 18	日本医事新報NO. 2986		日本医事新報社	0	1	0	1	84	*
07 19	芸州の秋-戦時、広島での雑感	落葉園人[斉藤次男]	斉藤[まこと]・斉藤博	1	0	0	1	91	
07 20	原爆前後50-長崎精機原子爆弾記	思い出集世話人		0	39	0	39	15	*
07 20	紙碑-被爆老人のあかし	広島原爆被爆者援護事業団(編)		72	0	0	72	31	*
07 24	「原爆一号」といわれて	吉川清	筑摩書房	1	0	0	1	71	*
07 25	戦争と女性	西口友紀恵編	白石書店	1	1	0	2	71	
07 30	あさ第16号-ヒロシマとともに生きて	山下会		9	0	0	9	63	
07 30	高校生のヒロシマ・アピール-原水爆禁止1980年世界大会関連行事	8・6全国高校生集会現地実行委員会、広島県高校生平和ゼミナール		1	0	0	1	52	
07 31	広島は火の海だ-原爆にあった兵士の証言	市岡英史	恒文社	1	0	0	1	71	*
07 33	濁き-被爆体験文集第3号	徳山被爆者の会	[山口県]	9	0	0	9	25	*
08 01	広島壊滅のとき-被爆カメラマン写真集	広島原爆被災撮影者の会編		20	0	0	20	19	*
08 01	「ヒロシマの心」を若い世代に	高橋昭博	原爆資料保存会	1	0	0	1	32	*
08 01	原子雲の下に生きつづけて第8集	全電通被爆者連絡協議会		7	0	0	7	26	
08 01	ながさき・部落解放研究3号	長崎県部落史研究所		0	6	0	6	83	*
08 01	真樹第58巻第8号-平和希求広島特集		真樹社	1	0	0	1	82	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1981(昭和56)年								
08 05	生き続けて—信州からの証言第3集	長野県原水爆被災者の会 (長友会)		9	5	0	14	25 *
08 05	季刊長崎の証言12号	長崎の証言の会		0	10	0	10	32 *
08 06	原爆記—それは第二の誕生日だった	小野山博子	女人随筆社	1	0	0	1	71 *
08 06	煙の柱	片倉襲造・片倉和子		1	0	0	1	91
08 06	被団協第32号	日本原水爆被害者団体協議会		2	1	0	3	28 *
08 08	8・9の被爆者たち	国鉄長崎機関区原爆被爆体験記編集委員会	国鉄動力車労働組合長崎支部	0	28	0	28	62
08 08	長崎県職員原爆慰霊碑	長崎県職員組合長崎支部編		0	3	0	3	13
08 10	手記—私の戦争体験	「赤旗」社会部	白石書店	2	1	0	3	74
08 10	自然を恋う	林京子	中央公論社	0	1	0	1	71 *
08 15	戦争知っていますか—あなたに伝えるわたしの戦争体験	板橋大運動実行委員会編	労働教育センター	3	0	0	3	65
08 15	広島市医師会だより8月号	広島市医師会		36	0	0	36	82 *
08 20	ヒロシマの母の遺産	石田明	労働教育センター	2	0	0	2	71 *
08 20	続・ヒロシマを語る十冊の本	ヒロシマを知らせる委員会 (編)・文次隆一(執筆)	労働教育センター	17	0	0	17	32 *
08 20	1981東京・広島・長崎—原水爆禁止世界大会=行動の記録2	原水爆禁止日本協議会		0	2	0	2	51 *
08 31	被爆36周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆36周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51
08 31	広島女子大学創立六十周年記念誌	広島女子大学 (編)		7	0	0	7	14 *
08 33	ピカに灼かれて・被爆体験記第5集	広島医療生活協同組合原爆被害者の会など		20	0	0	20	27 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1981 (昭和56) 年								
08 33	ゆうかりの友より・ 被爆体験 (NHK) 私の訴えたいこと・ はまゆうの花	原良子(編著)		4	0	0	4	91 *
08 33	追憶みちすがら	勝田実		1	0	0	1	91
09 01	閃光	脇水成子		1	0	0	1	91 *
09 01	世界		岩波書店	2	0	0	2	81
09 06	語りー山口のヒロシ マ3	山口県原爆被 爆者福祉会館 「ゆた苑」		4	0	0	4	31 *
09 08	この世の地獄を生きてー山口からの被爆 証言	創価学会青年 部反戦出版委 員会(編)	第三文明社	33	6	0	39	32 *
09 10	Medical Tribune 9月 10日号		メディカル・ トリビューン	1	0	0	1	84 *
09 16	水!!!水!!!1集ー 被爆体験記	広島市三篠公 民館・三篠地 区社会福祉協 議会・大芝地 区社会福祉協 議会・広瀬地 区社会福祉協 議会編		5	0	0	5	44 *
09 20	遠景7号		木精社	1	0	0	1	84 *
09 33	私の被爆手記	難波和美		1	0	0	1	91 *
09 33	はだし第3号ー特集 「私の八月六日」	はだしの会 (広島市安佐 北区)		3	0	0	3	84 *
10 01	閃光ー核兵器の廃絶 を願う被爆者の記録	高槻市原爆被 害者の会(編)	[大阪府]	31	11	0	42	25 *
10 01	のこりぎれ	志條みよ子	志條みよ子	1	0	0	1	91 *
10 20	匂いのない花	小柳恵美子		0	1	0	1	91 *
10 30	原水爆禁止' 81世 界大会の記録	原水爆禁止19 81年世界大会 準備委員会広 報委員会(編)		0	1	0	1	51 *
10 33	子どもたちへ孫たち へ	広島市南観音 公民館生涯大 学		1	0	0	1	44 *
11 08	鎮魂の譜ー日本赤十 字社広島県支部戦時 救護班史	日本赤十字社 看護婦同方会 広島県支部編		9	0	0	9	13 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1981 (昭和56) 年</b>								
11 21	創立六十周年記念誌	長崎市立城山 小学校創立六十周年記念行事実行委員会 (編)		0	1	0	1	14 *
11 25	語りつく戦争体験	北海道教職員 組合	検書房	1	0	0	1	45
11 30	原爆前後51	思い出集世話 人		0	6	0	6	15 *
11 30	江角ヤス学園長先生 追慕の記	「江角ヤス学 園長先生追慕 の記」編集委 員会 (編)	純心女子学園	0	4	0	4	14 *
12 06	波羅密多に想うー進 徳高女被爆生の記録	進徳高女被爆 生の会 (編)		7	0	0	7	14 *
12 08	白衣を紅に染めて	創価学会婦人 平和委員会 (編)	第三文明社	1	2	0	3	32 *
12 08	反戦平和と労働運動 ー「広島・長崎・戦 争」を考える学習会 での問題提起	自治労福山市 職員労働組合 原爆被爆者連 絡協議会(編)	自治労福山市 職員労働組合	1	0	0	1	62 *
12 28	残像〔句集〕	清水宵夢〔本 名：大五郎〕		1	0	0	1	91 *
12 33	女が語り継ぐ戦争ー 読者の手記から	朝日新聞松山 支局 (編)	朝日新聞松山 支局	3	0	0	3	74 *
12 33	子どもたちへ孫たち へ	広島市南観音 公民館生涯大 学		1	0	0	1	44 *
13 33	原爆を裁く国民法廷 (福岡法廷) の記録	原爆を裁く国 民法廷 (福岡 法廷) 実行委 員会 (編)		1	1	0	2	32 *
<b>1982 (昭和57) 年</b>								
01 05	曼陀羅華	山根澄子		1	0	0	1	91 *
01 10	くろせちょう農協だ より第77号	黒瀬町農業協 同組合		1	0	0	1	82 *
01 30	被爆体験記	久留米被爆者 の会 (編)	[福岡県]	9	10	0	19	25 *
01 31	教育実践33	日本民間教育 研究団体連絡 会	民衆社	1	0	0	1	81

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982(昭和57)年								
01 33	らくたい先生	広島・子どもと教師の文学の会(編)・せきあきこ(絵)	ポプラ社	2	0	0	2	65
02 01	平和をいつまでも一戦争・原爆体験の聞き取り三年間の記録	吉岡憲朗 編	[広島市立観音小学校]	89	0	0	89	43 *
02 06	被団協第37号	日本原水爆被害者団体協議会		1	2	0	3	28 *
02 10	くろせちょう農協だより第78号	黒瀬町農業協同組合		1	0	0	1	82 *
02 10	不戦のちかいー大阪・「原爆の図」展の記録	丸木位里・俊「原爆の図」展実行委員会(編)	丸木位里・俊「原爆の図」展実行委員会	6	0	2	8	92 *
02 11	戦争を知らない世代の戦争体験記	大分県高等学校教職員組合編		4	0	0	4	45
02 20	ヒロシマ・ナガサキの証言創刊号	広島・長崎の証言の会	労働教育センター [発売]	5	1	0	6	32 *
02 20	ヒロシマ日記	蜂谷道彦	法政大学出版局	1	0	0	1	71
02 20	広島記念病院三十年史	広島記念病院(編)		3	0	0	3	65 *
02 22	原爆に夫を奪われてー広島島の農婦たちの証言	神田三亀男(編)	岩波書店	19	0	0	19	71 *
02 25	古稀を越えて	伊藤実雄		1	0	0	1	91
03 01	教育評論82年3月号	日本教職員組合		1	0	0	1	84
03 09	戦争を知らない子どもたちにとってヒロシマとは第3集	名古屋大学教育学部附属高等学校		1	0	0	1	43
03 15	思い出の泉ー寿大学文集2	広島市温品公民館		2	0	0	2	44
03 21	やよい通信創刊号(0号)	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
03 31	文芸ひろしまー市民文芸集1号	広島市文化振興事業団(編)		3	0	0	3	65 *
03 31	ながさき・部落解放研究4号	長崎部落史研究所		0	2	0	2	83 *
03 31	患者と福祉NO.9	広島県医療社会事業協会		1	0	0	1	82

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982 (昭和57) 年								
03 33	子どもたちへ孫たちへ	広島市南観音公民館生涯大学		1	0	0	1	44 *
04 01	PEACE・NOW !ー知性、人間性、その輝きからー青年へのメッセージ	全国大学生生活協同組合連合会 (編)		2	0	0	2	64 *
04 01	青灯NO. 16		青灯の会	1	0	0	1	84 *
04 01	劇映画・冬のリトルボーイー対話のための資料集	深川宗俊編	平和プロダクション	3	0	0	3	65
04 05	子どもたちに平和な地球を残したい	日本こどもを守る会編	草土文化	2	2	0	4	65
04 15	原爆前後52	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
04 17	核廃絶人類不戦ー外国人戦争犠牲者追悼碑建立委員会(編)文集	外国人戦争犠牲者追悼碑建立委員会(編)		0	13	0	13	31 *
04 20	みんなのひろば7-16号(1979. 4. 5-1982. 4. 20) : 10回連載・未完	よつば会 (香川県三豊郡三野町)		1	0	0	1	84 *
04 21	北の被爆者・原爆被爆体験集ー原爆は人類にとって何であったか	被爆体験を語りつぐ会(編)		7	2	0	9	32 *
04 22	全通婦人部反戦・反基地集会 (第4回被爆者交流会) しおり	全通信労働組合中央本部婦人部中央常任委員会 (編)		1	1	1	3	62 *
04 25	やよい通信第1号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
04 30	もう戦争はいらんとよー映画「世界の人へ」・朝鮮人被爆者記録映画・証言篇	盛善吉 (編)	連合出版	2	5	0	7	71 *
04 33	パラシュートが落ちた!ー聞き取りによる平和学習第1集1981	可部中学校生徒会・広島市立可部中学校 (編)		48	0	0	48	43 *
04 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第1号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	0	1	0	1	32 *
05 01	女性のひろば		日本共産党中央委員会	1	0	0	1	81
05 01	平和文化第35号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1982(昭和57)年									
05 10	民医連医療118		全日本民医連 出版部	1	0	0	1	84	*
05 15	広島が消えた日―被爆軍医の証言	肥田舜太郎	日中出版	1	0	0	1	71	*
05 15	天の羊―被爆死した南方特別留学生	中山士朗	三交社	1	0	0	1	71	*
05 20	夾竹桃のうた	松田雪美		1	0	0	1	91	*
05 23	原爆―体験記録第一集	府中市原爆被害者の会	[広島県]	48	0	0	48	22	*
05 23	82・平和のためのヒロシマ行動―3月21日の記録	総評教宣局共同アスク編	労働教育センター	0	1	1	2	62	*
05 30	ヒロシマ・ナガサキの証言第2号	広島・長崎の証言の会	労働教育センター [発売]	6	4	0	10	32	*
05 33	記録・82年―平和のためのヒロシマ行動	82年・平和のためのヒロシマ行動広島実行委員会		8	2	0	10	52	*
06 01	恵子ゴー・オンShigeko Go On	笹森恵子	汐文社	1	0	0	1	71	*
06 01	新潮45+創刊2号		新潮社	1	0	0	1	81	
06 01	やよい通信第2号	松岡克昌		1	0	0	1	82	*
06 02	平和への母の祈り―感想文集	日本キリスト教団福井神明教会付属栄冠幼稚園母の会編		1	0	0	1	43	
06 07	ヒロシマの心・母の祈り	創価学会婦人平和委員会編	第三文明社	19	0	0	19	32	*
06 08	原爆被爆の実相	黒岩貞義		0	1	0	1	91	*
06 10	早く援護を!第38号	韓国の原爆被害者を救援する市民の会		1	0	0	1	31	
06 15	平和と憲法を考える―護憲学入門	名古屋憲法問題研究会編	日本評論社	1	0	0	1	61	
06 20	警備召集兵の原爆日記―抜粋	四国直登	幟町国民学校原爆犠牲者慰霊碑護持会	1	0	0	1	12	*
06 20	いもぞうすい―語りつぐ戦争の話2集	佐世保子ども劇場例会研究部		0	2	0	2	65	*
06 30	短歌の解明	山本康夫	真樹社	1	0	0	1	72	*
06 33	原爆被爆体験記	那須竹夫		1	0	0	1	91	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982 (昭和57) 年								
06 33	反核・平和を求めて —世界史課題—3. 21反核集会参加報告集	広島女学院高等学校世界史 学習者一同 (編)		4	1	0	5	43 *
07 01	原爆は私の原点	中下穂子		1	0	0	1	91
07 01	やよい通信第3号	松岡克昌		3	0	0	3	82 *
07 02	原爆絵巻・崎陽のあらし	深水経孝(著) 熊本高教組 人吉・珠磨地区平和教育推進委員会(編)	原爆絵巻「崎陽のあらし」を出版する会	0	1	0	1	92 *
07 10	絶後の記録—広島原子爆弾の手記(改訂・増補版)	小倉豊文	中央公論社	1	0	0	1	71 *
07 10	人間に未来はあるのか—ある物理学者の問い	庄野直美	勁草書房	1	0	0	1	71 *
07 10	炎のメモアール	小野英子	汐文社	1	0	0	1	71 *
07 15	原爆の碑—広島のことろ【増補改訂版】	黒川万千代 (編)	新日本出版社	1	0	0	1	71 *
07 15	聞き書きヒロシマ・メモリー—千葉県我孫子に生きる被爆者	自治労我孫子市職員組合 (編)	崙書房	7	0	0	7	62 *
07 15	夾竹桃の花ふたたび—長崎被爆体験記	高田チエ子	日本婦人会議 鹿児島県本部	0	1	0	1	63 *
07 15	女にとっての戦争1—「ひととき」欄の三〇年から	影山三郎・中村智子・草の実会(編)	田畑書店	9	2	1	12	65 *
07 17	鳥取県の戦災記録	鳥取県の戦災を記録する会		2	0	0	2	32 *
07 17	遠景9号		木精社	1	0	0	1	84
07 20	広島・原爆災害の爪跡	中野清一(編著)	蒼林社出版	4	0	0	4	71 *
07 20	書作品集・ヒロシマ	森下清鶴(弘)	現代詩文書広島研究会	1	0	0	1	65 *
07 23	はだしのゲンはピカドンを忘れない	中沢啓治	岩波書店	1	0	0	1	71 *
07 25	鳩になって—江戸川・被爆者の証言	江戸川原爆犠牲者追悼碑の会	[東京都]	8	5	0	13	31 *
07 25	痛む心にこころ合わせて—原爆孤児の死をみとりて	佐藤知子	並木知子	1	0	0	1	91 *
07 25	忘れ潮【句集】	和田敏子	牧羊社	1	0	0	1	71 *
07 25	戦争と女たち—女の論理からの反戦入門	青木やよひ編	オリジン	1	0	0	1	71



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1982 (昭和57) 年									
07 26	きり絵画文集—原爆・ヒロシマ	寺尾知文	光人社	1	0	0	1	71	*
07 28	木の葉のように焼かれて第16集	新日本婦人の会広島県本部		18	0	0	18	63	*
07 30	あさ第17号—82年ヒロシマ	山下会		6	0	0	6	63	*
07 31	原爆と朝鮮人第1集—長崎朝鮮人被爆者実態調査報告書	長崎在日朝鮮人の人権を守る会(編)		0	42	0	42	31	*
07 33	さよなら、先生—被爆少年の手記	織井青吾	ポプラ社	1	0	0	1	71	*
07 33	わが足跡七十七年	小谷春夫		1	0	0	1	91	
07 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第2号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	0	1	0	1	32	*
08 01	生と死—ヒロシマ・ナガサキから	徳島県原爆被爆者の会(編)		96	32	6	134	25	*
08 01	ヒロシマ・ある歯科医の証言	吉岡尊治	溪水社	1	0	0	1	72	*
08 01	原子雲の下に生きつづけて第9集	全電通被爆者連絡協議会		7	0	0	7	26	*
08 01	歌集・白桃	木村さき		1	0	0	1	91	*
08 01	漢詩集・流雲	山本洋		1	0	0	1	91	*
08 01	虹361号—特集原爆		九州公論社	0	8	0	8	84	*
08 01	翔る創刊号	広島医療生活協同組合教育委員会		2	0	0	2	82	*
08 01	真樹第53巻第8号—平和希求広島特集		真樹社	1	0	0	1	82	*
08 01	やよい通信第4号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
08 01	社会主義NO. 368	社会主義協会		1	0	0	1	65	
08 04	未来はここから始まる—君はヒロシマで何を学ぶか	大阪市立大学平和講座運営委員会		0	1	0	1	43	
08 04	全通婦人部第5回被爆者交流会(原水禁広島集会)しおり	全通信労働組合中央部婦人部中央常任委員会		3	1	0	4	62	*
08 06	「西の通信省」始末記—秘話・原爆に屈しなかった通信マンの記録	通信史研究所(編)	通信新報社	33	0	0	33	13	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982(昭和57)年								
08 06	その夏—広島原爆前後の体験記	広島高等師範学校文科第一部昭和二十四年卒業同期生(編)		14	0	0	14	14 *
08 06	ヒロシマの声	全専売労働組合広島地方部(編)		27	0	0	27	62 *
08 06	KNOW MORE HIROSHIMA—10フィート運動記録集	広島10フィート若者の会(編)永井秀明(監修)		5	2	0	7	52 *
08 06	石の陰 第八号	反戦被爆者の会		1	0	0	1	29 *
08 06	わたらの被爆体験 [再刊・増補版]—100人の証言	建設一般全日自労広島支部・自労被爆者の会(編)	建設一般全日自労広島支部	100	0	0	100	26 *
08 06	被団協第43号	日本原水爆被害者団体協議会		2	0	1	3	28 *
08 10	原爆前後53	思い出集世話人		1	4	0	5	15 *
08 10	部落解放第184号		解放出版社	1	0	0	1	81 *
08 15	もうひとつのヒロシマ—朝鮮人韓国人被爆者の証言	朴壽南(パク, スナム)	舎廊房出版部(発行)・皓星社(発売)	1	0	0	1	92 *
08 15	反核と戦争責任—「被害者」日本と「加害者」日本	岩松繁俊	三一書房	0	1	0	1	71 *
08 15	上州路8月号—特集 青空の中から—群馬・原爆被災者の証言	月刊上州編集部		2	2	0	4	84 *
08 15	多摩市民の戦争体験—子らに伝える平和への願い	多摩市民の戦争体験を記録する会編	彩流社	1	0	0	1	32
08 15	広島市医師会だより 8月号	広島市医師会		18	1	0	19	82 *
08 15	女にとっての戦争2—「ひととき」欄の三〇年から	影山三郎・中村智子・草の実会(編)	田畑書店	5	0	1	6	65 *
08 16	〔愛蔵版〕原爆詩集—にんげんをかえせ	峠三吉	合同出版	1	0	0	1	71 *
08 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第3号	広島・長崎の証言の会	労働教育センター [発売]	6	4	0	10	32

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982(昭和57)年								
08 20	私の戦争体験-若い世代に語りつぐ	日高六郎・総評教宣局編	労働教育センター	1	0	0	1	62 *
08 20	ぼく生きたかった	名越誠蔵・操(文)・矢野洋子(絵)	労働教育センター	1	0	0	1	71 *
08 31	被爆体験記・長崎-広島	伊万里・西松浦地区被爆者友の会(編)	[佐賀県]	2	10	0	12	25 *
08 31	大田洋子集第2巻-人間権褫	大田洋子	三一書房	1	0	0	1	71 *
08 31	被爆37周年原水爆禁止大会報告決定集	同編集委員会	被爆37周年原水爆禁止世界大会実行委員会	1	0	0	1	51
08 33	戸坂原爆の記録 [第2版]	広島市戸坂公民館(編)		30	0	0	30	44 *
08 33	水!!水!!-被爆体験記第2集	広島市三條公民館		6	0	0	6	44 *
08 33	渇き第4号-被爆体験文集	原爆被爆体験文集編集委員会	[山口県] 徳山被爆者の会	6	0	0	6	25 *
08 33	この怒りを6集-碑の叫びに聴け	国鉄労働組合原爆被爆者対策協議会編		17	11	0	28	26 *
08 33	ノーモア・ヒロシマ-大量死体焼却体験記	井内淳介		1	0	0	1	91 *
08 33	原子雲の下に生きて	池上清		0	1	0	1	91 *
08 33	広島通信66		「広島通信」の会	2	0	0	2	82 *
09 01	千田保育園三十年の歩み	社会福祉法人二葉会		1	0	0	1	14
09 01	やよい通信第5号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
09 01	核廃絶を求める高校生	広島・長崎・埼玉高校生平和ゼミナール	平和文化	1	0	0	1	43
09 06	語り-山口のヒロシマ4	和の集い編		5	1	0	6	31 *
09 15	無私庵雑記	山口県原爆被爆者福祉会館「ゆた苑」	科学書院(発行)・霞ヶ関出版(発売)	1	0	0	1	71 *
09 33	体験記録・平和への願い	広島市立大河小学校		31	0	0	31	43 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982 (昭和57) 年								
10 01	よみがえる南蛮貿易	松尾英三		0	1	0	1	91
10 01	中本総合印刷五十年 と私のあゆんだ道	中本庚子郎	中本総合印刷 株式会社	1	0	0	1	15 *
10 01	やよい通信第6号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
10 06	被団協第45号	日本原水爆被 害者団体協議 会		1	0	0	1	28 *
10 10	句稿原爆忌	佐久間たかし	東方印刷	1	0	0	1	92
10 15	ながさき・部落解放 研究5号	長崎県部落史 研究所		0	2	0	2	83 *
10 17	追懐一広島高等師範 学校創立八十周年記 念	広島高等師範 学校創立八十 周年記念事業 会 (編)		15	0	0	15	14 *
10 20	歌集・九年母一亡夫 山脇昌一の霊に捧ぐ 名:ヒロコ]	山脇弘子 [本 名:ヒロコ]	原点短歌会	1	0	0	1	72 *
10 20	原水爆禁止1982 年世界大会の記録	原水爆禁止19 82年世界大会 準備委員会広 報委員会編		1	2	0	3	51 *
10 25	今、語りつごう平和 への願いー一九八二 年瀬神戸生協平和作 文集	瀬神戸生活協 同組合組織部 (編)		2	0	0	2	64 *
10 27	被爆婦人の集い・1 5周年記念誌No More HIBAKUSHA	大阪市原爆被 害者の会婦人 部 (編)		1	1	0	2	25 *
10 28	震災・原爆の業火を 超えてー私の人生	新井嘉之作		1	0	0	1	71 *
10 30	みらさかー地域に学 ぶ人権・平和	(広島県) 三 良坂中学校 「みらさか」 編集委員会編		1	0	0	1	43 *
10 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第3号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	1	0	0	1	32 *
11 01	きみはヒロシマを見 たかー広島原爆資料 館	高橋昭博・N HK取材班 (文)・土田ヒ ロミ (写真)	日本放送出版 協会	1	0	0	1	74 *
11 01	やよい通信第7号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
11 02	折にふれて	森本亨	広島相互銀行 創業六十周年 広報部会	1	0	0	1	15 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1982(昭和57)年								
11 03	平和への願いをこめて一語りつぐ戦争体験第1集	日本中国友好協会伊勢崎支部		1	0	0	1	61 *
11 05	地獄絵一草津南町国民義勇隊全滅の記録	小西ノブ子	田螺社	11	0	0	11	71 *
11 06	被団協第46号	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28 *
11 10	長崎原爆体験一医師の証言	調来助・吉沢康雄	東京大学出版会	0	1	0	1	71 *
11 15	地にみくにをー創立九十年誌	日本基督教団広島府中教会		1	0	0	1	65 *
11 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第4号	広島・長崎の証言の会	労働教育センター [発売]	5	2	0	7	32
11 25	たえがたきをたえー母娘の戦争生活記録	Iの会	PMC出版	1	0	0	1	65
11 25	子どもの心に平和のとりでをー幼・低学年と両親への平和教育	宗藤尚三編著	汐文社	1	0	0	1	71
11 30	原爆体験記	恵の丘長崎原爆ホーム本館被爆者(著)	恵の丘長崎原爆ホーム	1	43	0	44	31 *
11 33	原子雲ー放射能の痛みに耐えて、慟哭の声を綴る	大阪府原爆被害者団体協議会「原子雲」編集委員会編		86	37	0	123	25 *
12 06	被団協第47号	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28 *
12 08	やよい通信第8号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
12 08	おんなの太平洋戦争	大分県平和教育研究会(編)		2	1	0	3	45 *
12 08	私と戦争そしてこれから	日本婦人会議山口県本部		1	0	0	1	63
12 20	ヒロシマの朝そして今ー被爆者として母として人間として	山下会(著)・稲沢潤子(編)	あゆみ出版	25	0	0	25	63 *
12 20	被爆朝鮮・韓国人の証言	鎌田定夫(編)	朝日新聞社	19	22	0	41	74 *
13 33	にんげんをかえせー戦争と原爆を裁く「北海道法廷」の記録	戦争と原爆を裁く「北海道法廷」実行委員会(編)		2	0	0	2	32 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
<b>1982 (昭和57) 年</b>									
13 33	原爆を裁く6・15 新宿法廷報告集	原爆を裁く6 ・15新宿法 廷実行委員会 (編)		3	0	0	3	32	*
13 33	核兵器のない世界を つくろう-千代田国 民法廷	「核兵器のな い世界をつく ろう」千代田 国民法廷実行 委員会(編)	労働旬報社	4	0	0	4	32	*
13 33	原爆被爆者対話記録 ・テープ部門・米国 公文書館の部	広島平和文化 センター(編)		11	0	0	11	41	*
<b>1983 (昭和58) 年</b>									
01 01	日本医師会雑誌第8 9巻第1号		日本医師会	1	0	0	1	84	*
01 15	やよい通信第9号	松岡克昌		1	0	0	1	82	*
01 31	歌集・文集-ヒロシ マ鬼火	脇水成子	東野文庫	5	0	0	5	65	*
01 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第4号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	0	1	0	1	32	*
02 01	原爆と地獄-被爆体 験文集	鳥取県原爆被 害者協議会編		25	1	0	26	25	*
02 01	語りつぐ戦争体験	関西高等学校 普通科2年E 組(編)		4	1	0	5	43	*
02 10	ヒロシマ・ナガサキ の証言第5号	広島・長崎の 証言の会	労働教育セン ター [発売]	4	4	0	8	32	
02 11	やよい通信第10号	松岡克昌		3	0	0	3	82	*
02 25	猫ちゃんは帰らない -何よりも平和を	黒川万千代	民衆社	1	0	0	1	71	*
03 01	核時代と私たち-平 和のわがいに立って	婦人之友社 (編)小川岩雄 (監修)	婦人之友社	3	2	0	5	71	*
03 01	PEACE NOW! -' 83か けがえのない私たち の地球	全国大学生生活 協同組合連合 会(編)		2	0	0	2	64	*
03 03	母たちの語りつぎた きことども	島根県連合婦 人会・NHK 松江放送局編	NHKサービ スセンター	1	0	0	1	63	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1983 (昭和58) 年								
03 04	草の根のちから一核兵器をなくせ12・2文京法廷記録	核兵器をなくせ12・2文京法廷実行委員会編集委員会(編)		13	3	0	16	32 *
03 10	平和宣言一平和新聞で訴える一被爆体験を子どもたちに伝えたい	広島市立戸坂中3年PTA学年部(等編)		25	0	0	25	43 *
03 15	ながさき・部落解放研究6号	長崎県部落史研究所		0	1	0	1	83 *
03 21	やよい通信第11号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
03 21	未来を拓く一ひろしまの女性1983	広島婦人問題研究会(編)		1	0	0	1	63 *
03 24	母と子でみる広島・長崎	朝日新聞企画部(東京本社)	草土文化	3	3	0	6	74 *
03 25	原爆前後54	思い出集世話人		0	4	0	4	15 *
03 25	私のヒロシマ原爆	中条一雄	朝日新聞社	1	0	0	1	74 *
03 25	廿日市町史資料編5一近代現代下	廿日市町		2	0	0	2	12 *
03 30	山河慟哭	満田廣志		1	0	0	1	91 *
03 30	草の根の反核・平和一'82.10.17高槻反核平和フェスティバル	高槻地方自治研究センター・同フェスティバル実行委員会(共編)	高槻地方自治研究センター	2	0	0	2	65 *
03 31	長崎原爆被災誌第5巻一資料編	長崎市(編)	長崎国際文化会館	0	31	0	31	41 *
03 31	文芸ひろしま一市民文芸集2号	広島市文化振興事業団(編)		2	0	0	2	65 *
03 31	ひろしま修学旅行ガイド一世界平和に貢献する水と緑と文化のまち	広島市観光課(編)		1	0	0	1	41 *
03 33	諫早市原爆被爆者救護活動の記録	諫早市福祉事務所福祉課編	諫早市	0	25	0	25	41 *
03 33	老施と創造第3号	広島市老人福祉施設連盟		1	0	0	1	44 *
04 01	原子雲(1)-(10)・完(金属産業新聞495号-505号連載)	坂本勝	[不明]	1	0	0	1	62 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1983 (昭和58) 年								
04 05	戦争はいやだー5歳から88歳までの声	第2回国連軍縮特別総会 (SSD II) 国民運動推進連絡会議編	同時代社	1	0	0	1	52
04 10	きのご雲を見た町からー安芸郡府中町民の証言第一集	府中町原爆体験を語りつぐ会	[広島県]	5	0	0	5	32 *
04 29	教育一路五十五年	山田敏雄		1	0	0	1	91
04 30	戦争体験を問う	湘北教育文化研究所「戦争体験を問う」編集委員会 [相模原市]	田畑書店	1	0	0	1	65
04 33	希望2	甫出繁二	甫出裕紀	1	0	0	1	91 *
05 01	原爆詩集・われらの詩8号・反戦詩歌集2集 (復刻版)	峠三吉没後30年記念事業委員会 (編)		1	0	0	1	92 *
05 01	やよい通信第12号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
05 05	碑に誓うー中学生のヒロシマ修学旅行	江口保	東研	0	1	0	1	71 *
05 15	ヒロシマ・ナガサキの証言第6号	広島・長崎の証言の会	労働教育センター [発売]	2	5	0	7	32 *
05 15	原爆の記 (抜粋)	小坂千世子	幟町公園慰霊碑護持会	1	0	0	1	12 *
05 15	鳥蕪あれもこれも	紺野耕一編	島忍	2	0	0	2	91
05 20	原爆前後55	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *
05 20	「アンゼラス」の鐘に祈りて	相川キミ子		0	1	0	1	91 *
05 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第5号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
06 05	やよい通信第13号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
06 10	天よりの声ーヒロシマ・被爆二年目の手記	末包敏夫	日本YMCA同盟出版部	19	0	0	19	71 *
06 10	ひろしまたかう婦人教師 [再版]	ひろしまたかう婦人教師編集委員会編	広島平和教育研究所出版部	1	0	0	1	45 *
06 15	直樹よ甦れーヒロシマの母は慟哭する	三上五月	大阪市原爆被害者の会	1	0	0	1	25 *
06 15	広島・長崎を考える平和ゼミナール記録集1ーヒロシマへの旅	全国大学生生活協同組合連合会 (編)		6	0	0	6	64 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1983 (昭和58) 年									
06 20	私たちは長崎にいた	永井隆	中央出版社	0	8	0	8	71	
06 21	ヒロシマの子ー「君たちはどう生きるか……」	森下弘・李実根・空辰男・横山英(編著)	平和文化(発行)・汐文社(発売)	6	1	0	7	71	*
06 23	一回・朝倉清隆遺稿追悼文集	朝倉清隆遺稿追悼文集編集委員会(編)		4	0	0	4	92	*
06 25	生協運動7月号ー特集語り継がんと被爆体験		日本生活協同組合連合会	0	1	0	1	81	*
06 30	第一回広島平和セミナー報告書	松木傑(責任編集)	日本福音ルーテル教会西教区平和と核兵器廃絶を求める委員会	1	0	0	1	65	*
06 33	子どもたちへ孫たちへ	広島市南観音公民館生涯大学		1	0	0	1	44	*
06 33	1945夏ヒロシマ	福原照明(編著)	核戦争防止国際医師会議広島県支部	2	0	0	2	52	*
06 33	生き地獄の核に散って逝った方々の証言・前編	近藤旭		1	0	0	1	91	*
07 01	はらおぐさ・原小草ー開園10周年記念特集	特別養護老人ホーム清鈴園(編)	西中国キリスト教社会事業団	17	0	0	17	31	*
07 01	広島護国神社戦後復興誌	広島護国神社(編)		4	0	0	4	19	*
07 01	続・ひろしまたかかう婦人教職員	ひろしまたかかう婦人教職員編集委員会(編)	広島平和教育研究所出版部	1	0	0	1	45	*
07 05	この子を残して	永井隆	中央出版社	0	1	0	1	71	*
07 06	戦争はもういらんー被爆体験と生徒たちの感想文	福岡市原爆被害者の会編		1	2	0	3	25	*
07 10	原爆前後(上)	白井秀雄・相原秀次(編)	朝日新聞社	0	23	0	23	15	*
07 10	原爆前後(下)	白井秀雄・相原秀次(編)	朝日新聞社	5	6	0	11	15	*
07 10	世界の平和・軍縮教育ー'82年国際シンポジウム報告書	WCOTP・日教組報告書編集委員会	勁草書房	1	0	0	1	62	
07 10	わがふるさと芸州三田	永井弥六	溪水社	1	0	0	1	72	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1983 (昭和58) 年									
07 16	私も証言するーヒロシマ・ナガサキのこと	原水爆を考える原町市民の会 (編)		14	5	0	19	32	*
07 17	やよい通信第14号	松岡克昌		1	0	0	1	82	*
07 19	語ってよ、母さんー娘たちの戦争体験レポートージュ	創価学会女性平和文化委員会 (編)	第三文明社	2	0	0	2	32	*
07 20	絵本・ヒロシマのおとうさんーヒロシマの心を子どもたちに	高橋昭博(文) 四国五郎(絵)	汐文社	1	0	0	1	71	*
07 20	黒い卵 (完全版) ー占領下検閲と反戦原爆詩歌集	栗原貞子	人文書院	1	0	0	1	71	*
07 20	空襲とかくれんぼー子どもたちに残す教師の戦争体験1	福井県教職員組合		1	0	0	1	45	
07 20	あの日おきたことをー原爆絵画展5年のあゆみ	名古屋YMC Aひろしま・ながさきを伝える会編		2	3	0	5	32	
07 25	オランダ兵士・長崎被爆記	レネ・シェーファー (著・画)	草土文化	0	1	0	1	71	*
07 29	木の葉のように焼かれて第17集	新日本婦人の会広島県本部		14	0	1	15	63	*
07 30	核戦争と医学ーL A S T A I D	核戦争防止国際医師会(編)	日経サイエンス社 (発行)・日本経済新聞社 (発売)	0	1	0	1	52	*
07 31	原爆と朝鮮人第2集ー長崎朝鮮人被爆者実態報告書	長崎在日朝鮮人の人権を守る会		0	13	0	13	31	*
07 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第6号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32	*
07 33	平和へのわがい5号	原水爆禁止西宮市協議会		16	5	0	21	52	*
08 01	きのご雲を見た町からー安芸郡府中町民の証言2集	府中町原爆体験を語りつぐ会	[広島県]	9	0	0	9	32	*
08 01	証言・戦争と農村ー戦争・原爆・農婦たち	神田三亀男	日本農業新聞中国・四国支所	1	0	0	1	74	*
08 01	キノコ雲の下で	阪田泰正	安芸津記念病院郷土資料室	1	0	0	1	92	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1983 (昭和58) 年									
08 01	真樹第54巻第8号— 平和希求広島特集		真樹社	1	0	0	1	82	*
08 01	虹361号—特集原 爆		九州公論社	0	8	0	8	84	
08 01	原民喜	原民喜	ほるぷ出版	1	0	0	1	71	*
08 01	大田洋子	大田洋子	ほるぷ出版	1	0	0	1	71	*
08 01	短編I	美川きよ他	ほるぷ出版	1	1	0	2	71	*
08 01	短編II	中山士朗等	ほるぷ出版	1	0	0	1	71	*
08 01	手記/記録		ほるぷ出版	24	31	2	57	71	*
08 01	評論/エッセイ		ほるぷ出版	1	0	0	1	71	*
08 01	核戦争防止しまね医 師の会第2号	核戦争防止島 根県医師の会		1	0	0	1	52	*
08 01	佼成8月号		佼成出版社	1	0	0	1	84	
08 01	あすの農村8月号		日本共産党中 央委員会	0	1	0	1	81	
08 01	みんなのねがい8月 号		全国障害者問 題研究会	1	0	0	1	84	
08 01	女性のひろば8月号		日本共産党中 央委員会	1	0	0	1	81	
08 02	撫子のいのち今ここ に—元女子挺身隊員 (長崎出動)の集い に寄せて	元女子挺身隊 員(長崎)の 集い(編)		0	12	0	12	15	*
08 05	戦争と女たち—平和 を産みだす母性の叫 び	埼玉母親連絡 会(編著)	あゆみ出版	2	1	0	3	63	*
08 06	原爆被爆体験記	一宮市原爆被 災者の会編	[愛知県]	17	11	2	30	25	*
08 06	炎の記憶—安芸門徒 の原爆体験	安芸教区広陵 東組・安芸教 区広陵東組仏 教婦人会連盟		33	0	0	33	65	*
08 06	教師が語りつぐ戦争 体験	広島県教職員 組合海田地区 支部戦争体験 記編集委員会		12	0	0	12	45	*
08 06	破壊の日—外人神父 たちの被爆体験	カトリック正 義と平和広島 協議会「平和 を願う会」		4	0	0	4	61	*
08 06	語り継ぎ言い継ぎ行 かん生命の重みを— 創立25周年記念証言 集第2集	唐津原爆被害 者の会(編)	[佐賀県]	4	9	0	13	25	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1983 (昭和58) 年								
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第6集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		23	0	0	23	27
08 06	ヒロシマの子は侵略の歴史を忘れない	広島県高校生平和ゼミナール (編)		1	0	0	1	43 *
08 06	詩集・ヒロシマの顔	森下弘	青磁社	1	0	0	1	71 *
08 06	子供たちの明日に平和をー豊島法廷記録集	5・19豊島法廷実行委員会		1	1	0	2	32
08 09	原爆予告をきいた	日本児童文学者協会・日本子どもを守る会 (編)	草土文化	3	1	0	4	65 *
08 10	朝鮮・ヒロシマ・半日本人 (新版)	朴壽南 (パク, スナム)	三省堂	23	0	0	23	71 *
08 15	明日へー青年反戦詩集	葵生川玲・米川征 (編)	視点社	3	0	0	3	71 *
08 15	広島市医師会だより 8月号	広島市医師会		7	2	0	9	82 *
08 15	ヒロシマの3日間	西尾善登(著) 山下性太郎 (編)	香川県三豊郡三野町 (等)	1	0	0	1	41 *
08 20	原爆を裁く	東京都原爆被害者団体協議会 (編)	労働教育センター	24	4	0	28	25 *
08 20	原爆の絵アメリカに行く	松原美代子 (著) ヒロシマを知らせる委員会 (編)	日本放送出版協会	1	0	0	1	74 *
08 21	1983原水爆禁止世界大会と原水協行動の記録第2分冊	原水爆禁止日本協議会		0	2	0	2	51 *
08 25	ヒロシマ・ナガサキの証言第7号	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	4	2	0	6	32 *
08 25	やよい通信第15号	松岡克昌		3	0	0	3	82 *
08 31	被爆38周年原水爆禁止大会報告決定集	被爆38周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51
08 33	兵隊ぐらしとピカドンー吾輩は猫ではない2	江戸家猫八 (著) 馬場のぼる (表紙画・挿画)	ポプラ社	1	0	0	1	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1983 (昭和58) 年									
08 33	白い町ヒロシマ	木村靖子(著) 梶鮎太(画)	金の星社	1	0	0	1	71	*
08 33	82修学旅行ーヒロシマ・京都で	東京都立竹台高等学校		1	0	0	1	43	
08 33	子どもたちへ孫たちへ	広島市南観音公民館生涯大学		1	0	0	1	44	*
09 01	核戦争防止しまね医師の会第3号	核戦争防止島根県医師の会		1	0	0	1	52	*
09 05	Hiroshimaヒロシマ・土田ヒロミ	朝日新聞社(編)	朝日新聞社	1	0	0	1	74	*
09 06	語りー山口のヒロシマ5	山口県原爆被爆者福祉会館「ゆた苑」		7	0	0	7	31	*
09 10	逆流に抗すー数知れない犠牲の中から	日本ユネスコ協会連盟		1	0	0	1	65	
09 10	親鸞からの射程ー宗教・平和・国家	樹心の会編	永田文昌堂	1	0	0	1	75	
09 28	校庭は墓場になったー女教師たちの戦争体験記	退職婦人教職員全国連絡協議会(編)	ドメス出版	4	3	0	7	45	*
09 30	青春回想録ー広高その永遠なるものー広島高等学校創立60年記念	広高青春回想録編集委員会	広島高等学校同窓会	1	0	0	1	14	
09 33	被爆体験文集渇き第5集	原爆被爆体験文集編集委員会編	徳山被爆者の会	5	0	0	5	25	*
10 01	原子雲の下に生きつづけて第10集	全電通被爆者連絡協議会		23	4	3	30	26	*
10 01	やよい通信第16号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
10 01	原爆百首	山根義人		1	0	0	1	91	
10 05	集団疎開での思い出	大福寺会(編)		23	0	0	23	14	*
10 15	広島・長崎を考える平和ゼミナール記録集2	高橋清雄編	全国大学生生活協同組合連合会	14	0	0	14	64	
10 15	ながさき・部落解放研究7号	長崎県部落史研究所		0	1	0	1	83	*
10 24	原水爆禁止1983年世界大会大会の記録	原水爆禁止1983年世界大会準備委員会編		1	2	1	4	51	*
10 30	ヒロシマ・ナガサキの証言第8号	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	4	4	0	8	32	*
10 30	生き地獄の核に散って逝った方々の証言・後編	近藤旭		1	0	0	1	91	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1983 (昭和58) 年								
10 33	ヒロシマ・ナガサキを 考える第7号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	1	0	0	1	32 *
10 33	文芸プラザ1983年10 月号		文芸プラザの 会	1	0	0	1	65 *
11 06	やよい通信第17号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
11 06	被団協第48号	日本原水爆被 害者団体協議 会		0	1	0	1	28 *
11 12	日本人の平和運動と 平和教育について－ 朝鮮人被爆者の立場 から	豊能郡教職員 組合		1	0	0	1	45
11 15	長崎に燃えよ、オリ ンボスの火－車いす の平和の旅	橋本進・渡辺 千恵子(共著)	草土文化	0	1	0	1	71 *
11 15	戦火の中の青春	和光学園戦争 記録編集委員 会(編)	民衆社	0	1	0	1	43 *
11 21	反核と第三世界－文 学者は訴える	伊藤成彦・井 上ひさし等編	岩波書店	0	1	0	1	71
11 30	“語り”の継走を－ 次木市原爆被害者の 会結成25周年記念誌	茨木市原爆被 害者の会(編)	[大阪府]	10	1	0	11	25 *
12 08	平和への願いをこめ て－語りつく戦争体 験第2集	日本中国友好 協会伊勢崎支 部		1	0	0	1	61 *
12 11	ヒバクシャ－ともに 生きる第2号	原爆被害者相 談員の会		3	0	0	3	31 *
12 11	やよい通信第18号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
13 33	真赤な原子雲－祖父 母が語る戦争と原爆 の話(第3集)	日本キリスト 教団広島府中 教会附属こば と幼稚園母の 会平和教育委 員会(編)		13	0	0	13	43 *
13 33	K. K. 丸嘉洋紙店設立 五拾周年誌－昭和五 年四月和洋紙卸問屋	中間庭嘉蔵		1	0	0	1	91 *
13 33	追想－1983年度 修学旅行記	宮城県名取高 等学校		1	0	0	1	43
13 33	世界の子どもたちに 平和を－語りつこう 戦争体験	平和を守る生 協実行委員会 (編)	[広島医療生 協内]	1	0	0	1	64 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1984 (昭和59) 年									
01 10	被爆体験記(1)	船越原爆被害者の会・広島市船越公民館(共編)		92	1	0	93	21	*
01 10	ふるさとふくしまひろしま-金崎は画集	金崎是(画・文)	広島県水平社六〇周年記念事業金崎は画集刊行委員会	1	0	0	1	65	*
01 10	未来を生きる子供たちへー平和への願い第1集	広島県民生活協同組合平和を守る生協実行委員会(編)		1	0	0	1	64	*
01 16	やよい通信第19号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
01 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第8号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32	*
02 08	戦争受難(戦時下の小学校、国民学校、師範学校、原爆)	黒岩貞義		0	5	0	5	91	*
02 17	漢詩集・浮雲	山本洋		1	0	0	1	91	*
02 19	やよい通信第20号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
02 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第9号	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	2	3	0	5	32	*
02 21	核・貧困・抑圧-'83アジア文学者ヒロシマ会議報告	アジア文学者ヒロシマ会議実行委員会編	ほるぷ出版	5	0	0	5	65	*
03 01	平和文化第46号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41	*
03 03	偏心軌道-詩集	水谷なりこ	編集工房ノア	1	0	0	1	92	
03 15	戦争はもういらんII-長崎レポート<被爆体験と生徒たちの感想文>	福岡市原爆被害者の会(編)		1	2	0	3	25	*
03 15	長崎原爆学校被災誌-原爆殉難教え子と教師の像建立記念	「原爆殉難教え子と教師の像」維持委員会(編)		0	10	0	10	45	*
03 15	ながさき・部落解放研究8号	長崎県部落解放研究所		0	1	0	1	83	*
03 20	歌文集・夾竹桃のうた(第2版)	松田雪美(著) 渡部正則(編)	松田雪美	1	0	0	1	91	*
03 20	やよい通信第21号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
03 25	核時代の平和を求めて	永井道雄(編)	国際連合大学(発行)・東京大学出版会(発売)	2	2	0	4	43	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1984(昭和59)年									
03 26	架けよ翔け・ヒロシマ	高槻地方自治 研究センター (編)		4	0	0	4	65	*
03 26	ヒロシマへの旅	阿部博行		1	0	0	1	91	
03 33	郷土の思い出・語り 伝え	広島市公民館 連合会(編)		3	0	0	3	44	*
03 33	原爆に姉をうばわれ て	あべ松ツタ子		0	1	0	1	91	
04 01	原爆証言集一平和を つくりだすために	松木傑(編)	日本福音ルー テル教会西教 区平和と核兵 器廃絶を求め る委員会	8	2	0	10	65	*
04 01	被爆体験記第1集	全通広島中央 支部被爆者、 被爆二世協議 会(編)		6	0	0	6	26	*
04 22	やよい通信第22号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
04 30	ヒロシマ・ナガサキ の証言第10号	広島・長崎の 証言の会	汐文社[発売]	4	4	0	8	32	*
04 33	あの日の閃光	岸和田市原爆 被害者之会 (はづき会)編	[大阪府]	29	21	0	50	25	*
04 33	証言集・かながわ第 1集一被爆40周年 記念	神奈川県原爆 被災者の会 (編)		13	4	0	17	25	*
04 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第9号	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会		1	0	0	1	32	*
05 01	未来をつくる小さな 挑戦	12.11シンポ ジウム実行委 員会(編)		1	0	0	1	65	*
05 01	平和文化第47号	広島平和文化 センター		1	0	0	1	41	*
05 01	ベンHIROSHIMAー1 984年版	広島ペンクラ ブ事務局		1	0	0	1	65	*
05 05	広島の遺書	豊田清史	蒼洋社	1	0	0	1	71	*
05 20	子供たちのヒロシマ ー北海道のこどもた ちの8.6広島訪問記	広島原爆資料 北空知展実行 委員会(編)	空知民衆史講 座出版部	6	0	0	6	32	*
05 20	教育研究第8号	友保キヌエ (証言)	日本第二学園 (研修係)	1	0	0	1	84	*
05 27	非核への漂標ーヒロ シマの兵士たちの証 言	森田栄	大阪市原爆被 害者の会	2	0	0	2	25	*
05 27	やよい通信第23号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1984 (昭和59)年								
05 31	戦争・原爆被災の体験を聞いてー脳水成子特集・夢ー赤い墓標、ほか	脳水成子 (編著)	東野文庫	1	0	0	1	65 *
05 33	私達の被爆記	中島町原爆者友の会 (編)	[愛媛県]	15	1	0	16	25 *
06 01	昭和二十年八月九日・私の原爆被爆体験記 [増補・改訂版]	藤木義明		0	1	0	1	91 *
06 01	群友会ニュース第14号	群馬県原爆被災者の会		1	0	0	1	25 *
06 10	原爆前後56	思い出集世話人		0	5	0	5	15 *
06 13	広島・長崎を考える平和セミナー記録集3ーヒロシマへの旅	全国大学生生活協同組合連合会		3	0	0	3	64
06 25	霧笛鳴りやまずー橙青回想録	大久保武雄	海洋問題研究会	1	0	0	1	65
06 27	やよい通信第24号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
06 29	いもぞうすいー語りつぐ戦争の話3集	佐世保子ども劇場例会研究部		0	4	0	4	65 *
06 30	原爆一体験記録 (2集)	府中市原爆被害者の会	[広島県]	31	5	1	37	22 *
06 33	木椅子第58号	木椅子発行所		1	0	0	1	82 *
07 01	いしぶみー広島修学旅行の記録	昭和59年度宮城県女川高等学校3学年		6	0	0	6	43
07 01	かけはしーYMCA国際平和研究所通信1号	YMCA国際平和研究所		1	0	0	1	61 *
07 01	平和文化第48号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *
07 15	ピカに灼かれてー被爆体験記第7集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		20	0	0	20	27 *
07 15	子供たちに残す戦争体験	新潮45+編集部 (編)	新潮社	3	1	0	4	71 *
07 20	原爆前後57	思い出集世話人		0	1	0	1	15 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1984 (昭和59) 年								
07 20	われらの記録	広島県立第二 中学校第十九 会卒業生一同 (広島二中十 九会) (編)	広島二中十九 会	3	0	0	3	14 *
07 20	昭和二十年の記録一 全滅を免れた附中一 年生	「昭和二十年 の記録」刊行 委員会 (編)	広島高等師範 学校附属中学 校第四十一回 生同期会	7	0	0	7	14 *
07 20	焼土にも春が	伊藤ハルエ (著) 山口瑛 子 (編)		1	0	0	1	91 *
07 20	過ぎたれど終らぬ日 々ー私たちの8・1 5	総評教宣局編	労働教育セン ター	1	0	0	1	62
07 20	昔語り平和公園境界	上田良三	溪水社	1	0	0	1	72 *
07 20	鎮魂の道ー原爆・水 俣・沖繩	丸木位里・丸 木俊 (共著) 水上勉(解説)	岩波書店	2	0	0	2	71 *
07 20	煎豆に花が咲いた	森岡まさ子	朋興社	1	0	0	1	71
07 22	鳩になってー江戸川 ・被爆者の証言第2 集	江戸川原爆犠 牲者追悼碑の 会	[東京都]	11	5	0	16	31 *
07 23	ヒロシマからー原水 禁運動を生きて	松江澄	青弓社	1	0	0	1	71 *
07 25	木の葉のように焼か れて第18集	「木の葉のよ うに焼かれて 」編集委員会	新日本婦人の 会広島県本部	13	1	0	14	63 *
07 25	あさ第18号 (終刊 号)	山下会		4	0	0	4	63 *
07 29	やよい通信第25号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
07 31	原爆と朝鮮人第3集 ー長崎朝鮮人被爆者 実態調査報告書	長崎在日朝鮮 人の人権を守 る会 (編)		0	8	0	8	31 *
07 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第10号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	0	1	0	1	32 *
08 01	被爆体験記(2)	船越原爆被害 者の会・広島 市船越公民館 (共編)		92	0	0	92	21 *
08 01	きのご雲ー日赤従軍 看護婦の手記	雪永政枝 (著 者代表)	オール出版	13	0	0	13	71 *
08 01	広島巡礼	亀沢深雪	新地書房	1	0	0	1	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1984 (昭和59) 年								
08 01	ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐために	日本原水爆被害者団体協議会		2	1	1	4	28
08 01	暮しと政治8月号		日本共産党中央委員会	1	2	0	3	81
08 04	全通婦人部第5回被爆者交流会 (原水禁広島集会) しおり	全通信労働組合中央本部婦人部中央常任委員会 (編)		1	0	0	1	62 *
08 04	MONITOR-2 1世紀に伝える広島	第5回被爆者交流会地元実行委員会 (編)	全通広島地区婦人部	3	0	0	3	62 *
08 05	原爆被爆集		短歌長崎社	0	1	0	1	73 *
08 06	ヒロシマの長い一日 [第1集] -安芸門徒の原爆体験	[浄土真宗本願寺派] 安芸教区志和組報専坊仏教婦人会 (編)		6	0	0	6	65 *
08 06	きのこぐもー原爆の軌跡	東城町原爆被害者の会きのこぐも編集委員会 (編)		64	0	0	64	22 *
08 06	炎の墓標ー被爆体験記	三和町被爆者友の会被爆体験記編集委員会 (編)	(広島県双三郡)	187	0	0	187	22 *
08 06	原爆被爆体験記第1集	西大寺地方原爆被爆者の会	[岡山県]	12	1	0	13	25 *
08 09	原爆体験記第2集	恵の丘長崎原爆ホーム被爆者 (著)	恵の丘長崎原爆ホーム	3	44	0	47	31 *
08 09	石標に刻む	久保ミツエ		0	1	0	1	91 *
08 10	ヒバクシャのこころ	高橋昭博	汐文社	1	0	0	1	71 *
08 15	ドキュメント昭和二十年八月十五日・増補版ー占領下の日本人	安田武・福島 铸郎 (編)	双柿舎	2	1	0	3	71 *
08 15	広島市医師会だより	広島市医師会		1	1	0	2	82 *
08 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第11号	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	3	1	0	4	32
08 20	ひとりひとりの戦争・広島	北島宏泰 (編)	岩波書店	6	0	0	6	71 *
08 22	原水爆禁止世界大会・日本原水協行動の記録 (第2分冊)	原水爆禁止日本協議会 (編)		2	2	0	4	51 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1984 (昭和59) 年								
08 31	いのちありて一昭和 20年8月6日・ヒ ロシマ	東京経済大学 平和委員会	八王子	5	0	0	5	61
08 33	ヒロシマ・ナガサキ 1号一被爆体験を語 り継ぐ	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		1	0	0	1	32
08 33	原爆投下当時の思ひ 出の記	小谷コミチ	山本志津子	1	0	0	1	91 *
08 33	ヒロシマ・ナガサキ 2号一被爆体験を語 り継ぐ	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		0	1	0	1	32 *
09 01	婦人公論9月号		中央公論社	1	0	0	1	81 *
09 01	核戦争防止しまね医 師の会一核戦争防止 島根県医師の会会報 第3号	核戦争防止島 根県医師の会		1	0	0	1	52 *
09 01	世界		岩波書店	1	0	0	1	81
09 01	前衛		日本共産党中 央委員会	0	1	0	1	81
09 02	やよい通信第26号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
09 08	シンポジウム第2回 平和を願う念仏者の 集い一核兵器廃絶へ 向けて一記録集	浄土真宗本願 寺派安芸教区 教化推進協議 会		4	0	0	4	65
09 10	平和を願って第1集 一みやぎの被爆者の 体験文集	宮城県原爆被 害者の会(編)		19	8	1	28	25 *
09 10	歌集・たつた川	横山英子	手帖社	1	0	0	1	71 *
09 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第11号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	1	0	0	1	32 *
09 33	軍縮問題資料9月号 NO. 46	宇都宮軍縮研 究室		2	2	0	4	61 *
10 01	被爆体験記(3)	船越原爆被害 者の会・広島 市船越公民館 (共編)		143	0	0	143	21 *
10 01	かけはしーYMCA 国際平和研究所通信 2号	YMCA国際 平和研究所		2	0	0	2	61 *
10 01	落穂	土屋定雄		1	0	0	1	91 *
10 05	長崎原爆の記録	泰山弘道・井 上謙蔵(解題)	あゆみ出版	0	1	0	1	71 *
10 07	やよい通信第27号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1984 (昭和59) 年								
10 15	原水爆禁止1984年世界大会の記録	原水爆禁止1984年世界大会準備委員会編		2	1	0	3	51 *
10 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第12号	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	12	6	1	19	32 *
10 20	護衛なき輸送船団一知られざる船舶砲兵死闘記	神波賀人	戦誌刊行会・星雲社(発売)	1	0	0	1	71 *
10 30	歌集・美しく伸びし水銀柱	森下弘	有文社印刷所	1	0	0	1	92 *
10 33	木椅子第59号	木椅子発行所		1	0	0	1	82 *
10 33	軍縮問題資料10月号NO.47	宇都宮軍縮研究室		0	1	0	1	61 *
11 01	原子野に樹々よー葛飾区被爆者の証言とその歩み	葛飾原爆被爆者の会(葛友会)(編)	[東京都]	14	6	0	20	25 *
11 01	証言一ふたたび被爆者をつくらないために	新潟県原爆被害者の会上越支部・上越市原爆被害者の会		2	0	0	2	25
11 11	やよい通信第28号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
11 15	群青の海へーわが青春譜	平山郁夫	佼成出版社	1	0	0	1	71
11 23	核兵器許すまじー被爆と抑留・二つの受難から	藤川トヨコ	大阪市原爆被害者の会	1	0	0	1	25 *
11 25	群友会ニュース第15号	群馬県原爆被災者の会		1	0	0	1	25 *
11 30	星は見ているー全滅した広島一中一年生・父母の手記集	秋田正之(著者代表)	文化評論出版	33	0	0	33	72 *
11 33	ヒロシマ・ナガサキ3号ー被爆体験を語り継ぐ	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		0	1	0	1	32 *
11 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第12号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	2	0	0	2	32 *
12 01	シネ・フロント		シネ・フロント社	1	0	0	1	84
12 08	平和への願いをこめてー語りつぐ戦争体験第3集	日本中国友好協会伊勢崎支部文化部		1	0	0	1	61 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1984 (昭和59) 年									
12 10	あの時の「私」を語る—夕刊フジ・千野境子の「話題の人」インタビュー	千野境子	三修社	1	0	0	1	71	
12 11	ヒバクチャーとともに生きる第3号	原爆被害者相談員の会		1	0	0	1	31	*
12 15	広島・長崎を考える平和ゼミナール記録集4	全国大学生生活協同組合連合会(編)		8	7	0	15	64	*
12 16	やよい通信第29号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
12 25	翔る第6号	広島医療生活協同組合教育委員会		1	0	0	1	82	*
13 33	子どもたちへ孫たちへ	広島市南観音公民館		1	0	0	1	44	*
13 33	被爆者援護法制定を要求する「国民法廷・広島」			2	0	0	2	32	
13 33	私達の運動の記録—非核地域を神奈川で!	非核県宣言をめざす署名を集める会		1	0	0	1	52	*
1985 (昭和60) 年									
01 01	ひろしま14号	日本民主主義文学同盟広島支部		2	0	0	2	65	
01 06	'84国連軍縮週間—核戦争阻止,核兵器完全禁止,非核化,被爆者援護—	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	52	
01 10	追悼記—一冊の貯金通帳番号控より	広島女子高等師範学校附属山中高等女学校原爆死没者追悼文集編集委員会		57	0	0	57	14	*
01 15	架けよ翔けヒロシマ—第2回高槻反核平和フェスティバル講演記録	寺田寿々子(講演)	[大阪府] 交野市原爆被害者の会	1	0	0	1	25	*
01 15	八月の少女たち—ヒロシマ・1945	大野允子(著) 吉崎正巳(絵)	新日本出版社	1	0	0	1	71	*
01 15	やよい通信第30号	松岡克昌		2	0	0	2	82	
01 20	子どもに平和を・平和の教育を	山口勇子	あゆみ出版	1	0	0	1	71	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985 (昭和60) 年								
01 33	告発・証言・十五年戦争	山口県高等学校教員組合・山口県高等学校退職教職員協議会	山口県高等学校教員組合	1	0	0	1	45
01 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第13号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会 〔広島県〕	1	0	0	1	32 *
02 01	被爆体験記集	音戸町原爆被爆者友の会編		57	0	0	57	22 *
02 01	創造の軌跡とビジョンー広島支社のあゆみ	三井生命保険相互会社		3	0	0	3	15
02 07	女・男・いのち	大庭みな子	読売新聞社	1	0	0	1	74
02 10	核を考える	九州大学公開講座委員会編	九州大学出版会	0	1	0	1	43 *
02 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第13号 (85冬)	広島・長崎の証言の会	汐文社〔発売〕	11	0	0	11	32
02 22	PEACE FOCUS No. 3	WORK SHOP/4S230286M (制作)	日本平和委員会	1	0	0	1	61
02 24	やよい通信第31号	松岡克昌		2	0	0	2	82
02 28	広島第二県女二年西組ー原爆で死んだ級友たち	関千枝子	筑摩書房	1	0	0	1	71 *
02 33	白い町ヒロシマ	木村靖子(作)・梶島太(画)	金の星社	1	0	0	1	71
02 33	やよい通信ー特集原爆被害者の基本要 求について1	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
02 33	ヒロシマ・ナガサキ4号	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32
02 33	木椅子第60号	木椅子発行所		1	0	0	1	82 *
03 01	西尾静夫自叙伝	西尾静夫		1	0	0	1	91 *
03 01	女性のひろば		日本共産党中央委員会	1	0	0	1	81
03 14	やよい通信第32号	松岡克昌		2	0	0	2	82
03 14	老人大学文集第九集	広島市社会福祉協議会		5	0	0	5	44 *
03 31	文芸ひろしま・市民文芸集第4号	広島市文化振興事業団(編)		1	0	0	1	65 *
03 31	平和文化第52号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
03 33	文集へいわー語り伝える戦争体験	大朝町高齢者学級 (編)	大朝町公民館	5	0	0	5	44	*
03 33	聞きとりによる平和学習第2集	広島市可部東中学校生徒会・可部東中学校		15	0	0	15	43	
03 33	ヒロシマ・ナガサキ5号	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32	
03 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第14号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	0	1	0	1	32	*
04 01	被爆体験記第2集	全通広島中央支部被爆者、被爆二世協議会 (編)		8	0	0	8	26	*
04 01	長崎の心つたえて	今田斐男	耕文舎	0	1	0	1	75	*
04 01	かけはし-YMCA国際平和研究所通信4号	YMCA国際平和研究所		3	0	0	3	61	*
04 10	原子雲の下でー原爆被爆四十周年体験記録	呉原爆被爆者友の会仁方支部 (編)	[広島県]	58	0	0	58	22	*
04 14	やよい通信第33号	松岡克昌		2	0	0	2	82	
04 15	子どもたちに平和な未来をー平和への願い第2集	生活協同組合ひろしま平和部会 (編)		3	0	0	3	64	*
04 20	あの日のナガサキー40年目の証言	松野秀雄	市民出版社	0	1	0	1	71	*
04 21	鍾秀一書・閃光のもとに	上出軒山		1	0	0	1	91	*
04 30	ヒロシマ・ナガサキの証言第14集 (85夏)	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	2	15	0	17	32	*
04 33	いのちの輝き第1集ー桐生のヒロシマ	桐生平和委員会 (編)		4	0	0	4	61	*
04 33	或る女医の奮闘始末記	笠間信子		1	0	0	1	91	
04 33	木椅子第61号	木椅子発行所		1	0	0	1	82	*
05 01	われらの記録第2集	広島県立第二中学校第十九回卒業生一同 (広島二中十九会) (編)		12	0	0	12	14	*
05 01	『ピカドン』体験記	水野勇	岐阜日日新聞社	1	0	0	1	74	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
05 01	恒久平和を願う一老被爆者の提言・地球の危機を救い住みよい世界を創ろう	久保正直	久保正直・溪水社 (発売)	1	0	0	1	92	*
05 01	平和文化第53号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41	*
05 03	もうひとつの被爆碑ー在日韓国人被爆体験の記録	創価学会青年部反戦出版委員会 (編)	第三文明社	17	0	0	17	32	*
05 03	喜寿ー豊留, 佐々木, 上田校長時代を偲ぶ	広島県新庄学園同窓会 (編)	広島県新庄学園同窓会	1	0	0	1	14	*
05 18	やよい通信第34号	松岡克昌		2	0	0	2	82	
05 19	原爆に散華ー橋本副官追憶の記	橋本以志	鞆町公園慰霊碑護持会	1	0	0	1	12	*
05 20	いのちあるかぎりー原爆と未解放部落	福島地区被爆者の会 (編)	兵庫部落問題研究所	20	0	0	20	21	*
05 20	ヒロシマの空に開いた落下傘	河内朗	大和書房	1	0	0	1	71	*
05 20	ペン1985	広島ペンクラブ		1	0	0	1	65	
05 25	紙碑第2集ー被爆老人のあかし	広島原爆被爆者援護事業団		56	0	0	56	31	*
05 25	広島県印刷史	田村信三	広島県印刷工業組合	1	0	0	1	15	*
05 27	ひろしまの河	原水爆禁止広島母の会		62	0	0	62	52	
05 33	原爆回想記	広島市安佐北区白木公民館・白木町老人クラブ連合会 (共編)		36	0	0	36	44	*
05 33	語り継ごう業火の中のさけび	広島主婦同盟文化部 (編)	広島主婦同盟	104	0	0	104	63	*
05 33	原爆証言記録	宗田勝		1	0	0	1	91	
05 33	周防灘と九州の山と夏空と	明石光一郎		0	1	0	1	91	
05 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第15号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32	*
06 01	わらび6月号		民族歌舞団わらび座	1	0	0	1	84	
06 09	被爆体験記・くずれえぬ平和を一結成30周年記念誌	福岡市原爆被害者の会 (編)		7	16	0	23	25	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
06 10	戦争を拒む未来	戦争と原爆を語り継ぐ共同出版委員会編	草莽社	2	0	0	2	32	*
06 16	「ヒロシマ母の記」 一史樹の「死」を生きて	名越操	平和文化(発行)・汐文社(発売)	1	0	0	1	71	*
06 20	やよい通信第35号	松岡克昌		2	0	0	2	82	
06 25	ツルよとペー84広島平和の旅によせて	非核都市宣言のための室蘭市民連合広島平和の旅少女代表団		6	0	0	6	52	
06 25	私たちの戦争体験—四十年目の自分史	辺見じゅん(朝日カルチャー自分史グループ)編	深夜叢書社	0	1	0	1	71	
06 25	キミちゃんの手紙—ナガサキ被爆女学生の記録	山登義明	未来社	0	1	0	1	71	*
06 25	月刊国語教育7月号		東京法令出版	1	0	0	1	84	*
06 30	木の葉のように焼かれて第19集	新日本婦人会広島県本部		17	0	0	17	63	*
06 30	水をください—被爆証言集—創立10周年記念	相模原原爆被災者の会創立十周年記念行事実行委員会(編)	[神奈川県]	7	7	0	14	25	*
06 30	娘よ、ここが長崎です	筒井茅乃(著)松岡政春・保田孝(写真)	くもん出版	0	2	0	2	71	*
06 30	へくそ花も花盛り—大道あや聞き書き一代記とその絵の世界	大道あや	福音館書店	1	0	0	1	71	*
06 30	私の母は広島で死んだ—My Mother Died in Hiroshima	松本裕子		1	0	0	1	91	*
06 33	追想—あの日あの時	広島市南観音公民館(編)		23	0	0	23	44	*
06 33	灰色の屍—広島原爆体験記録	関道徳		1	0	0	1	91	*
06 33	ヒロシマ・ナガサキ、そしていま—この40年	神奈川県原爆被災者の会(編)		14	4	0	18	25	*
06 33	軍縮問題資料6月号 NO.55	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
07 01	子孫におくる劫火の跡	甲田町被爆者の会(編)	[広島県]	81	0	0	81	22	*
07 01	平和文化第54号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41	*
07 01	文化評論		新日本出版社	1	0	0	1	81	
07 01	福祉のひろば126号		大阪福祉事業財団	1	0	0	1	84	
07 06	戦争を語りつごう第10集	埼玉母親連絡会		4	1	0	5	63	
07 10	ヒロシマ四十年-森滝日記の証言	中国新聞社(編)	平凡社	1	0	0	1	74	*
07 10	よき日えの軌跡	磯本恒信	長崎県部落史研究所	0	1	0	1	73	
07 15	木の葉のように焼かれて	新日本婦人の会広島県本部(編)	新日本出版社	47	0	0	47	63	*
07 15	社報「FUDE」	ニシキプリント編集室		1	0	0	1	84	
07 20	母に聞く被爆体験-被爆40周年によせる	くらしと平和を守る婦人の会(編)		0	11	0	11	63	*
07 20	ヒロシマ・ナガサキから世界と未来へ	伊東社	勁草書房	1	0	0	1	71	*
07 20	核兵器全面禁止をめざして-非核自治体全国一の成果に立って	原水爆禁止香川県協議会(編)		11	0	0	11	52	*
07 20	火幻28巻108号	火幻短歌		1	0	0	1	82	
07 21	きのご雲第3集	山梨県原水爆被害者の会(甲友会)編		20	2	2	24	25	*
07 22	歌文集・被爆農婦を生きる	枝松きみ子	火幻社	1	0	0	1	72	*
07 25	ヒロシマを語る	ヒロシマを語る会(編)		31	0	0	31	29	*
07 25	よい戦争	スタッズ・ターケル	晶文社	2	0	0	2	71	
07 27	人間をかえせ-原爆死没者の記録	大阪市原爆被害者の会(編)		53	22	0	75	25	*
07 28	ヒロシマの劫火の中で	田部隼子(遺稿) 田部信子(編)	田部信子	8	0	0	8	91	*
07 28	やよい通信第36号	松岡克昌		2	0	0	2	82	
07 29	歌集・原爆回顧	竹内一作	相武アララギ発行所	1	0	0	1	65	*
07 31	昭和二十年夏の日記	河邑厚德編著	博文館新社	5	0	0	5	71	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985 (昭和60) 年								
07 33	いまだ癒えずー現在を語る被爆者たち	黒崎晴生・松尾弘 (編)	非核長崎市民の会, 日本リアリズム写真集団長崎支部	0	19	0	19	52 *
07 33	友よ・夏の花・原爆詩	林京子・原民喜・峠三吉	金の星社	1	1	0	2	71
08 01	原爆ー体験記集	御調町原爆被爆者協議会編	(広島県)	72	0	0	72	22 *
08 01	被爆の遺言ー被災カメラマン写真集	広島原爆被災撮影者の会編		18	0	0	18	19 *
08 01	昭和六十年原爆忌・追憶誌	小林治平 (編)	小林木材工業	1	0	0	1	92 *
08 01	長崎の証人たち・第16集	長崎総合科学大学付属高等学校校長崎の証言ゼミナール・平和研究部 (編)		0	6	0	6	43 *
08 01	平和	摂津市市長公室企画課 (編)	摂津市	7	3	0	10	41 *
08 01	岡山・平和レポート No. 3-8・15特集	岡山高教組平和問題委員会		2	0	0	2	45
08 01	女たちの八月十五日ー戦争の惨禍を二度と繰り返さないために	小学館 (編)	小学館	2	0	0	2	71 *
08 01	暮しの手帖97		暮しの手帖社	0	1	0	1	81 *
08 01	流れ雲(1)-(17)・完	坂本勝	[不明]	1	0	0	1	62 *
08 01	あすの農村8月号		日本共産党中央委員会	1	0	0	1	81
08 01	文化評論		新日本出版社	3	0	0	3	81
08 01	女性のひろば		日本共産党中央委員会	1	0	0	1	81
08 01	Voice特別増刊号		PHP研究所	1	0	0	1	81
08 06	平和への願いー被爆体験記	広島県大朝町原爆被害者の会 (編)		88	0	0	88	22 *
08 06	原爆ー追想	千代田町原爆被害者の会編	[広島県]	198	0	0	198	22 *
08 06	ピカー益田からのヒロシマ・ナガサキ	益田市原爆被害者の会 (編)	[島根県]	39	0	0	39	25 *
08 06	百日紅ー三良坂町原爆史	三良坂町原爆被害者の会編	(広島県)	170	0	0	170	22 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
08 06	被爆40周年を迎えて	広島県海田町 原爆被害者会 (編)		51	0	0	51	22	*
08 06	被爆40周年記念誌・ピカドーン-被爆の軌跡	神石郡原爆被害者協議会 (編)	[広島県]	120	1	0	121	22	*
08 06	ヒロシマの長い一日 [第2集] -安芸門徒の原爆体験	[浄土真宗本願寺派] 安芸教区志和組報専坊仏教婦人会 (編)		8	0	0	8	65	*
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第8集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		32	0	0	32	27	*
08 06	語り継ぐ四十年-平和を求めて	秋田県原爆被害者団体協議会 (編)		21	5	2	28	25	*
08 06	原爆回顧録-子と孫達への贈りもの	毘沙門台風土記編集室(編)	老人クラブ第一・第二びしゃもん会	10	0	0	10	44	*
08 06	核兵器廃絶の日まで-被爆40周年を記念して	杉山秀夫		1	0	0	1	91	*
08 06	ヒロシマ Hiroshima[写真集]	土田ヒロミ (著)	佼成出版社	1	0	0	1	71	*
08 06	ひろしま16号	日本民主主義文学同盟広島支部		1	0	0	1	82	
08 06	閃光の耳-原爆記念碑・私の軍隊生活・戦争の悲劇・平和を祈る	小林数雄		3	0	0	3	91	*
08 06	広島女子大国文創刊号	広島女子大学国文学会		7	0	0	7	43	*
08 06	被団協第79号	日本原水爆被害者団体協議会		1	0	0	1	28	*
08 08	わが戦いの日々 (被爆四十周年記念)	長崎県被爆者手帳友の会編		0	25	0	25	24	*
08 08	被爆体験記	[長崎県立長崎高等女学校第四十二回卒業生] (編)		0	57	0	57	14	*
08 08	続・福山空襲の記録	福山空襲を記録する会(編)		5	0	0	5	32	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1985 (昭和60) 年									
08 09	わが身焦がされても なお—もういやだ第 3集	長崎原爆青年 乙女の会(編)	汐文社	0	13	0	13	23	*
08 09	原爆体験記第3集— 被爆四十年をむかえ て	恵の丘長崎原 爆ホーム被爆 者(著)	恵の丘長崎原 爆ホーム	2	41	0	43	31	*
08 09	終わりはいつですか	創価学会婦人 平和委員会編	第三文明社	0	22	0	22	32	*
08 09	サヨナラはお乳の匂 い—脱走から生まれ たわたしの終戦	荒木正夫(著) 村上新一郎 (絵)	あらき書店	0	1	0	1	73	*
08 09	平和をもとめて— 「山里文集」(平和 祈念) <復刻>	川原竹一(編 著)	耕文舎	0	10	0	10	75	*
08 10	ピカドンの青春—母 から子へのバラード	小井手桂子	三修社	2	0	0	2	71	*
08 10	いずみ8月号		広島県警察本 部警務部教養 課	19	0	0	19	82	*
08 10	昭和史探訪5—終戦 前後	三国一郎・井 田麟太郎(共 編)	角川書店	1	0	0	1	71	*
08 15	被爆四十年—核廃絶 への祈り	愛媛県原爆被 害者の会新居 浜支部(編)		31	5	0	36	25	*
08 15	原爆、忘れまじ—ヒ ロシマ・ナガサキ被 爆体験手記集	愛知県原水爆 被災者の会婦 人部(編)		8	9	0	17	25	*
08 15	強制の兵站基地—炭 鉱・勤労報国・被爆 の記録	創価学会青年 部反戦出版委 員会(編)	第三文明社	0	3	0	3	32	*
08 15	私・わが家の五〇年 史—個人が映す昭和	朝日新聞西部 本社	葦書房	1	1	0	2	74	
08 15	落陽を追って—ある 二二歳の一三八日	星名春治	近代文芸社	1	0	0	1	71	
08 15	子供たちに贈る二十 一世紀への証言	福中都生子編 著	平和問題研究 会[大阪市]	0	1	0	1	61	
08 15	息子は帰ってきた— 戦争の民話	立石恵利編著	手帖社	1	0	0	1	71	
08 15	広島市医師会だより 8月号	広島市医師会		5	1	0	6	82	
08 15	詩誌草土14号	山田かん編		0	1	0	1	83	*
08 20	ヒロシマ・ナガサキ の証言第15号(8 5夏)	広島・長崎の 証言の会	汐文社[発売]	4	1	0	5	32	*

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985	(昭和60)年							
08 20	「女の気持ち」・6 00字人生論		毎日新聞社	1	0	0	1	74
08 26	花の幻一統・平和を 作る人たち	安芸基雄	みすず書房	1	0	0	1	71
08 28	原水爆禁止世界大会 日本原水協行動の記 録	原水爆禁止日 本協議会		5	2	0	7	51
08 33	被爆四十年追悼の記 —被爆体験記	浄土真宗本願 寺派安芸教区 高宮組可部法 中(編)		34	0	0	34	65 *
08 33	被爆前後の瀬野村の 生活と体験(聴き書) —被爆体験継承学習 事業	広島市瀬野公 民館被爆体験 継承学習グル ープ(編)		5	0	0	5	44 *
08 33	中国地方建設局原爆 被災40周年追悼誌	建設省中国地 方建設局(監 修)	中国建設弘済 会	17	0	0	17	13 *
08 33	中寺勤勞奉仕隊一沼 田町大塚	寄田明日子 (文・絵)		1	0	0	1	91 *
08 33	資料集にんげん一反 戦連帯編1	解放教育研究 所編	明治図書	1	1	0	2	65
08 33	ヒロシマ・ナガサキ 6号	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		0	1	0	1	32
08 33	熊野跡村における被 爆前後のくらしと体 験—被爆体験継承学 習事業	広島市阿戸町 被爆体験継承 学習グループ ・広島市瀬野 公民館(編)		7	0	0	7	44 *
08 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第16号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	0	1	0	1	32 *
09 01	あれやこれや	尾山悦造	十和株式会社	1	0	0	1	92 *
09 01	婦人公論9月号		中央公論社	1	0	0	1	81
09 01	平和文化第55号	広島平和文化 センター		1	0	0	1	41 *
09 01	世界		岩波書店	1	0	0	1	81
09 03	やよい通信第37号	松岡克昌		2	0	0	2	82
09 10	原爆前後58	思い出集世話 人		0	6	0	6	15 *
09 15	忘れな草第七号—被 爆四十周年記念	調来助編	旧長崎医科大 学原爆犠牲者 学術遺族会	0	130	0	130	14 *
09 15	広島市医師会だより 233号	広島市医師会		1	0	0	1	82 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985 (昭和60) 年								
09 20	原爆被爆体験記第1集	茨城県原爆被爆者協議会編		29	2	0	31	25 *
09 21	残心 [その1] — [父・梅太郎の思い出集]	荆尾武男 (編著)		1	0	0	1	91 *
09 25	翔る第7号	広島医療生活協同組合教育委員会		2	0	0	2	82
09 33	被爆体験文集渇き第6号	原爆被爆体験文集編集委員会編	[山口県] 徳山被爆者の会	24	2	0	26	25 *
09 33	続・女が語り継ぐ戦争—終戦40年を迎えて	朝日新聞松山支局内—戦争を語り継ぐ女の会 (編)	朝日新聞松山支局内—戦争を語り継ぐ女の会	3	0	0	3	74 *
09 33	ヒロシマ・ナガサキ7号	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		0	1	0	1	32
10 01	民話の手帖NO. 2	日本民話の会	国土社	1	0	0	1	84
10 05	やよい通信第38号	松岡克昌		2	0	0	2	82
10 10	あまからびん	佐々木久子	ミリオン書房	1	0	0	1	71
10 19	広島大学附属小学校八十年誌	広島大学附属小学校八十年記念誌編集委員会		1	0	0	1	14
10 28	逃げられなかった父と母—現代「ハッピー」族の戦争研究	松浦総三編	大月書店	0	1	0	1	71
10 30	ヒロシマ・ナガサキの証言第16号 (85秋)	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	2	9	0	11	32 *
10 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第17号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
11 01	あのことが嘘のように—キリスト者と被爆体験	吉田哲子	吉田哲子 (発行)・伝道文書販売センター (発売)	1	0	0	1	92 *
11 01	平和文化第56号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *
11 01	女性のひろば		日本共産党中央委員会	1	0	0	1	81
11 02	安田学園七十年史	七十年史編集委員会	安田学園	2	0	0	2	14 *



月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985 (昭和60) 年								
11 03	夾竹桃のうた [歌文集]	松田雪美(著) 江島浩二 (写真)	松田雪美	1	0	0	1	91 *
11 03	大阪と八連隊—大阪師団抄史	中野公策		2	0	0	2	91
11 10	やよい通信第39号	松岡克昌		3	0	0	3	82
11 15	熱線四千度—地獄からの生還	脇水成子(著) 森本憲夫(編)	青葉図書	2	0	0	2	71 *
11 20	語りつぐヒロシマ	自治労原爆被爆者連絡協議会(編)		11	1	0	12	26 *
11 20	燃ゆる夾竹桃	脇水成子(編著)		1	0	0	1	91 *
11 20	私の戦争体験記	日野市		2	0	0	2	41
11 20	生徒から・愛	野平満枝	ぱんたか	1	0	0	1	71 *
11 21	句集・被爆記	高杉吾泉		1	0	0	1	91 *
11 25	昭和の戦争6—ジャーナリストの証言	嬉野満洲雄編	講談社	1	1	0	2	71
11 25	舟入教育五十年	広島市立舟入小学校創立五十周年記念編集委員会(編)	広島市立舟入小学校広島市立舟入小学校PTA	2	0	0	2	14 *
11 28	被爆国の青年同盟の責務に燃え「アピール」署名の先頭に	日本民主青年同盟中央委員会		7	0	0	7	65
11 30	炎の詩第2集—ヒロシマ・ナガサキ被爆四〇周年	群馬県原爆被災者の会(群友会)(編)	群馬評論社	14	1	0	15	25 *
11 30	北の被爆者—被爆四〇年に憶う	坂野井富貴子(等7名著) ・北海道平和委員会(編)	北海道平和委員会	4	2	0	6	61 *
11 33	安佐医師会史	安佐医師会編		16	0	0	16	15 *
11 33	木椅子第63号	木椅子発行所		1	0	0	1	82 *
12 01	閃光の証言—被爆体験文集	広島県歯科医師会(編)	広島県歯科医師会	23	0	0	23	15 *
12 01	反核座り込み—広島駅前10年の歩み	広島駅前核実験抗議座り込み連絡センター(編)		13	0	0	13	52 *
12 01	被爆40年—<8.6ヒロシマ>の原点をとりもどそう—'85反戦・反核広島集	広島実行委員会(編)		2	0	0	2	52 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1985 (昭和60) 年								
12 01	広島短歌第39号—特集・歌集「被爆」感想号	清水保編	広島短歌会	13	0	0	13	82 *
12 01	月刊社会党		日本社会党	1	0	0	1	81
12 08	後世に語りつぎたいこと第1集	広島市戸坂公民館 (編)		11	0	0	11	44 *
12 08	NO MORE WAR—娘たちのみた戦火	創価学会女性平和文化委員会編	第三文明社	2	0	0	2	32
12 11	ヒバクシャーとともに生きる第4号	原爆被害者相談員の会		8	0	0	8	31 *
12 12	女性による反核・軍縮、非核地帯設置のための国際フォーラム	日本社会党同フォーラム実行委員会		1	0	0	1	65
12 14	やよい通信第40号	松岡克昌		3	0	0	3	82
12 15	電車内被爆者の証言	広島電鉄株式会社電車内被爆者のつどい係 (編)	広島電鉄株式会社電車内被爆者のつどい係	60	0	0	60	19 *
12 19	私達の思いを次世代へ—市老連被爆体験記	広島市老人クラブ連合会 (編)		163	0	0	163	44 *
12 20	歌集・風—ある日ある時	中尾ツユ子	原点短歌会	1	0	0	1	72 *
12 25	傷痕Ⅱ—戦後四十年	広島県医師会 (編)		35	13	0	48	15 *
12 25	草の根は燃ゆ—反核欧州語りある記	肥田舜太郎		1	0	0	1	91
12 33	被爆四十周年記念誌—被爆体験と過去・現代・未来を綴る	大阪府原爆被害者団体協議会 (編)		22	7	3	32	25 *
13 33	被爆40周年原水爆禁止大会報告決定集	被爆40周年原水爆禁止大会実行委員会		1	1	0	2	51
13 33	アメリカ・ピースツアー—被爆者「平和の旅」	アメリカ・ピースツアー—米国西海岸班	[日本被団協]	1	0	0	1	28
13 33	長電OB会会報NO.7—原爆特集号	三菱電気長崎製作所		0	12	0	12	15
13 33	統・告発・証言・十五年戦争	山口県高等学校教員組合・山口県高等学校退職教職員協議会	山口県高等学校教員組合	1	0	0	1	45

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1986 (昭和61) 年</b>								
01 01	かけはしーYMCA 国際平和研究所通信 7号	YMCA国際 平和研究所		1	0	0	1 61 *	
01 01	平和文化第57号	広島平和文化 センター		1	0	0	1 41 *	
01 26	やよい通信第41号	松岡克昌		3	0	0	3 82 *	
01 33	私の体験した恐怖の 原子爆弾記録	菊井文江		1	0	0	1 91 *	
01 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第18号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	4	1	0	5 32 *	
02 11	足音第2号	長崎県退職婦 人教職員連絡 協議会		0	5	0	5 45	
02 20	ヒロシマ・ナガサキ の証言第17号 (86冬)	広島・長崎の 証言の会	汐文社[発売]	3	1	0	4 32 *	
02 20	あの日から生きて生 きて	東京都原爆被 害者団体協議 会(東友会)編	汐文社	6	5	0	11 25 *	
02 20	イルボンサラムヘー 40年目の韓国被爆 者	鎌田定夫(編) ・伊藤孝司 (写真)	広島・長崎の 証言の会(発 行)、汐文社 (発売)	84	8	1	93 32 *	
02 20	翔る第8号ー広島医 療生協職員機関誌	広島医療生協 教育委員会編	広島医療生活 協同組合	1	0	0	1 82 *	
02 28	ヒロシマ・ナガサキ には歳はないのです ー被爆体験を語りつ ぐ(3)	高槻地方自治 研究センター (編)		1	1	0	2 65 *	
02 28	やよい通信第42号	松岡克昌		2	1	0	3 82 *	
02 33	歌文集・花のいのち	満田廣志	熊本日日新聞 情報文化セン ター	1	0	0	1 75 *	
02 33	昭和60年度版母と子 の文集ーさわらび9 号ー特集・原爆=戦 争を語りつぐ	ひろしま市よ い本をすすめ る母の会		7	0	0	7 65	
02 33	ヒロシマ・ナガサキ 8号ー被爆体験を語 り継ぐ・・・八王子 から	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		1	0	0	1 32 *	
03 01	ばらー東京家政学院 中学校・高等学校紀 要24号	東京家政学院 中学・高等学 校		1	0	0	1 43 *	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1986(昭和61)年									
03 01	平和文化第58号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41	*
03 10	私の被爆者運動	斉藤義雄	新日本出版社	1	0	0	1	71	*
03 15	広島市医師会だより NO. 239	広島市医師会		2	0	0	2	82	*
03 15	河村郷四追想録	同編纂委員会		2	0	0	2	92	
03 25	鶴よはばたけー「再び被爆者をつくらぬ」ために	石川県原爆被災者友の会(編)		7	2	0	9	25	*
03 31	原爆被爆者等面接記録ー米国戦略爆撃調査団資料・テープ部門	広島平和文化センター		13	0	0	13	41	*
03 33	被爆体験記	沼隈町被爆者友の会(編)	[広島県]	11	0	0	11	22	*
03 33	いつまでも絶えることなくー被爆40年ヒロシマの手記	NHK広島放送局(編)	ぎょうせい中国支社	49	0	0	49	74	*
03 33	原爆被爆四十周年にあたり被爆の惨禍を語り合うー昭和60年/1985年7月	広島市三篠公民館(編)		15	0	0	15	44	*
03 33	あのとき閃光を見た・広島のに	広島市教育委員会事務局社会教育部社会教育課(編)		96	0	0	96	42	*
03 33	平和へのねがい第6号	原水爆禁止西宮市協議会		36	8	0	44	52	
03 33	原爆と地獄第2集ー被爆体験文集・被爆40周年記念	鳥取県原爆被害者協議会被爆四十周年記念事業実行委員会(編)	鳥取県原爆被害者協議会	19	1	1	21	25	*
03 33	折づるの証言ー川崎市折鶴の会結成20周年	川崎市折鶴の会(編)	[神奈川県]	15	7	1	23	25	*
03 33	体験記集ー14歳の生涯	中本昭、真実井房子、東木の實、黒岩百合子(共著)・浜田桂子(絵)	汐文社	4	0	0	4	71	*
03 33	被爆四拾年	鳥根県被爆者協議会文集編集委員会編	鳥根県原爆被害者協議会	30	0	0	30	25	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1986(昭和61)年								
03 33	いまようやくここに 立って—新書にんげ ん3反戦平和編	解放教育研究 所編	明治図書	0	1	0	1	65
04 01	ヒバクシャ—PEACE・ TOUR—原水協アメリ カ遊説の旅	吉崎幸恵		0	1	0	1	91 *
04 08	やよい通信第43号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
04 09	ヒロシマもうひとつ の顔—地方議会の生 態—ある市会議員の 報告	山口氏康	青弓社	1	0	0	1	71 *
04 10	反核詩画集・青い光 が閃くその前に	栗原貞子(詩) ・吉野誠(画)	詩集刊行の会	1	0	0	1	92 *
04 15	歌集・底流—竹内千 代第一歌集	竹内千代	真樹社	1	0	0	1	72 *
04 16	やよい通信第44号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
04 30	被爆四十周年賀茂台 地の声	東広島郷土史 研究会(編)	『被爆四十周 年賀茂台地の 声』実行委員 会	123	0	0	123	12 *
04 33	証言集・はまゆう第 1集	横浜市被爆者 の会(浜友の 会)(編)	[神奈川県]	8	4	2	14	25 *
04 33	原爆と広島野砲兵第 五連隊	諸岡淳		1	0	0	1	91 *
04 33	何かわすれていませ んか?—一九八六年 国際平和年によせて	浦田比路子 (編著)		0	1	0	1	91 *
04 33	ヒロシマ・ナガサキ 9号—被爆体験を語 り継ぐ・・・八王子 から	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		0	1	0	1	32 *
04 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第19号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	2	0	0	2	32 *
05 01	平和文化第59号	広島平和文化 センター		1	0	0	1	41 *
05 01	世界		岩波書店	1	0	0	1	81
05 05	われら兄弟姉妹	中島政利		0	1	0	1	91 *
05 10	ヒロシマ・ナガサキ の証言第18号 (86春)	広島・長崎の 証言の会	汐文社[発売]	5	3	0	8	32 *
05 11	人間をかえせ—20周 年記念誌	筑紫原爆被害 者の会(編)	[福岡県]	2	2	12	16	25 *
05 15	広島市医師会だより NO. 241	広島市医師会		1	0	0	1	82 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1986(昭和61)年								
05 15	軍縮問題資料NO. 66	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *
05 18	原爆地獄	鞆町公園慰霊碑護持会(編)		3	0	0	3	12 *
05 27	目でみる90年の歩み	広陵学園90年史編集委員会	学校法人広陵学園	1	0	0	1	14
05 30	戦争の潮騒—岡山県高校教師の戦争体験記	岡山県高等学校退職教職員協議会(編)		9	0	0	9	45 *
05 33	軍縮問題資料5月号NO. 66	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *
05 33	被爆の生き証人・アメリカ遊説の旅—1985. 7. 24—8. 13	福本宏支(〔徳島県〕勝浦町平和を守る町民の会)		5	1	0	6	61
06 01	いのちが未来をもてるように—平和の語り部=広島・長崎	日本生活協同組合連合会(編) 松谷みよ子(執筆協力) 杉野孝典(撮影)	日本生活協同組合連合会	1	0	0	1	64 *
06 10	平和の礎—戦没者の追悼録	八千代町戦没者遺族会(編)		30	0	0	30	11 *
06 15	ナガサキへの旅—広島・長崎を考える平和ゼミナール記録集7	全国大学生生活協同組合連合会		0	7	0	7	64
06 20	島原半島の戦災誌—太平洋戦争のきずあと	島原半島の戦災空襲を記録する会		0	1	0	1	32
06 26	やよい通信第45号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
06 30	被爆の証言—この子らの幸せのために	河本英明(編)	鳥取県教職員組合	20	0	0	20	45 *
06 30	その時ヒロシマ・ナガサキは—平和を私たちの手で	河本英明(編)	鳥取県教職員組合	14	0	0	14	45 *
07 01	広島弁護士会史	[広島弁護士会] 会史編集委員会(編)	広島弁護士会	9	0	0	9	15 *
07 01	平和文化第60号	広島平和文化センター		1	0	0	1	41 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1986(昭和61)年									
07 10	熱い波—被爆者救護活動の記録	廿日市町教育委員会「被爆者救護活動の記録」編集委員会(編)	廿日市町教育委員会	67	0	0	67	42	*
07 10	民医連医療168号	全日本民医連機関紙出版部		1	0	0	1	84	*
07 15	へいわ—長崎平和推進協会会報第18号	長崎平和推進協会		0	1	0	1	41	*
07 20	ナガサキの空	畑島喜久生(著)えさき・みつたか(絵)	らくだ出版	1	0	0	1	71	*
07 20	原爆と十字架—ある牧師の被爆体験から	水野保羅	基督兄弟団出版部	0	1	0	1	71	*
07 25	原爆と差別	中条一雄	朝日新聞社	1	0	0	1	74	*
07 25	木の葉のように焼かれて第20集	新日本婦人の会広島県本部		17	0	0	17	63	*
07 26	人間を返せ第2集—原爆死没者の記録	大阪市原爆被害者の会		59	24	0	83	25	
07 29	原子雲と仮縋帯	小野勝		1	0	0	1	91	*
07 30	手記・被爆者たちの40年	朝日新聞大阪社会部(編)	朝日新聞社	50	11	0	61	74	*
07 31	閃光の軌跡—山下蘇朴の水墨画	山下蘇朴(作)	山下まさと	1	0	0	1	91	*
07 33	あれから40年—広島原爆体験記録	布施田広義		1	0	0	1	91	*
07 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第20号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	2	0	0	2	32	*
08 01	勿忘草—一発の閃光	中尾ヒサ[長崎被爆者]		0	1	0	1	91	
08 01	「閃光」その救援	暁会(編)		37	0	0	37	11	*
08 01	やよい通信第46号	松岡克昌		2	0	0	2	82	*
08 01	花だいこん—いのちの尊厳を激動の昭和史に書き残す	「平和をねがう婦人の集い」実行委員会		1	0	0	1	63	
08 01	民主文学	日本民主主義文学同盟	新日本出版社	0	1	0	1	81	
08 03	一寸の虫—核問題ミニ通信—1982.1~1984.9	木下英夫編著	同時代社	12	3	0	15	71	
08 05	ナガサキから子供たちへ—ある被爆教師のことば	末永浩	葦書房	0	1	0	1	75	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1986 (昭和61) 年									
08 06	原爆と私	核兵器禁止平和建設広島県民会議 (編)		15	1	0	16	52	*
08 06	あゝ豊栄百六の叫び 一被爆四十周年・国際 平和年記念誌	豊栄町原爆被害者協議会・豊栄町つくしの会 (共編)	[広島県]	54	0	0	54	22	*
08 06	太平洋から非核のう ねりを	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	52	
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第9集・一 ひろがる交流の輪	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		18	0	0	18	27	
08 06	原爆の追憶	広島県芸北町原爆被爆者友の会 (編)		103	1	0	104	22	*
08 06	劫火をくぐって-静 岡の被爆者・別冊と して	静岡県原水爆被害者の会 (編)		68	16	0	84	25	*
08 06	あの日から40年生 きて-静岡の被爆者 ・副本	原水爆禁止静岡県協議会被爆者援護連帯部(見機明)編	静岡県原水爆被害者の会	23	6	0	29	25	*
08 06	生かされて-旧祇園 高等女学校第十九回 生被爆の記	加藤文子(編)	旧祇園高女19 回生有志	31	0	0	31	14	*
08 06	語り-山口のヒロシ マ6	山口県原爆被爆者福祉会館 ゆた苑		6	0	0	6	31	*
08 06	原爆被爆二世問題の 理解のために	総評単産被爆者協議会連絡会議 (等編)		2	2	0	4	26	*
08 06	原爆体験記集	三宅のルーツを 探る会編集委員会 (編)	三宅のルーツ を探る会	22	0	0	22	12	*
08 06	原子爆弾・地獄の記 録	菊井文江		1	0	0	1	91	*
08 06	ひろしま19号-反核 平和特集	日本民主主義文学同盟広島支部		1	0	0	1	82	
08 09	原爆許すまじ!-鹿 児島県原爆被爆者被 爆体験記 (第1集)	鹿児島県原爆被爆者福祉協議会 (編)		6	25	0	31	31	*



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1986 (昭和61) 年									
08 09	手よ語れ-ろうあ被爆者の証言	長崎県ろうあ福祉協会・全国手話通訳問題研究会長崎支部 (共編)	北人社(発行) 恵文社(発売)	0	6	0	6	65	*
08 14	岩国空襲の記録	岩国・戦争体験を語り継ぐ会	岩国・戦争体験を語り継ぐ会	8	0	0	8	32	*
08 15	原爆、忘れまじNo.2 (第2集) -ヒロシマ・ナガサキ被爆体験手記集	愛知県原水爆被災者の会婦人部 (編)		12	5	0	17	25	*
08 15	語りつかねばならないこと-原爆被爆体験記	和歌山県原爆被災者の会 (編)		47	7	1	55	25	*
08 15	広島市医師会だより 8月号	広島市医師会		10	1	0	11	82	
08 15	未来へ羽ばたく人びとに-北海道戦争体験者の手記	北海道連合遺族会		1	0	0	1	11	
08 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61	*
08 20	ヒロシマ・ナガサキの証言第19号 (86夏)	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	2	3	0	5	32	*
08 25	原爆と井上画伯-井上自助夫妻	井上自助・井上三枝(共著) 弥吉光長(編)	核兵器をなくし平和を求める図書館関係者の会(発行) 日本図書館協会 (発売)	2	0	0	2	52	*
08 28	原水爆禁止1986年世界大会の記録	原水爆禁止1986年世界大会実行委員会		3	2	0	5	51	
08 33	ヒロシマ・ナガサキ10号-被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32	*
08 33	ながさき・原爆の記録【写真集】	長崎市 (長崎国際文化会館) (編)	長崎平和推進協会	0	1	0	1	41	*
09 15	被爆体験手記集	松戸市原爆被災者の会(編)	[千葉県]	11	4	0	15	25	*
09 15	原爆前後59	思い出集世話人		1	7	0	8	15	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1986(昭和61)年								
09 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	1	0	2	61 *
09 15	広島市医師会だより	広島市医師会		1	0	0	1	82 *
09 18	やよい通信第47号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
09 19	わが人生論-青少年に贈る言葉・広島編(中)	中村輝雄編	文教図書出版	4	0	0	4	71
09 20	朝日新聞社会部記者の回想	朝日新聞東京社会部OB会	講談社	1	0	0	1	74
09 21	平和への道標-20周年記念誌	豊中市原爆被害者の会(編)	[大阪府]	35	9	0	44	25 *
09 25	日本被団協代表ギリシャ派遣報告・1986年7月28日-8月13日	杉山秀夫(編著)		1	0	0	1	91 *
09 30	原爆と朝鮮人-長崎朝鮮人被爆者実態調査報告書第4集	長崎在日朝鮮人の人権を守る会		0	2	0	2	31
09 33	被爆四十年追悼の記増補版] -被爆体験記	浄土真宗本願寺派安芸教区高宮組可部法中(編)		34	0	0	34	65 *
09 33	ヒロシマ・ナガサキ11号-被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32 *
09 33	軍縮問題資料9月号NO.70	宇都宮軍縮研究室		3	1	0	4	61 *
10 01	戦争は最大の差別であるfromが特[改訂版]	長崎県同和教育研究協議会		0	3	0	3	65
10 01	ヒロシマを世界へ	荒木武	ぎょうせい	1	0	0	1	71 *
10 10	長崎-広島・被爆者の叫び	佐賀県原爆被害者団体協議会(編)		4	15	0	19	25 *
10 12	40年を生きて-杉並被爆者調査の記録から	杉並被爆者団体光友会(編)	[東京都]	2	1	0	3	25 *
10 15	原爆前後60	思い出集世話人		0	2	0	2	15 *
10 20	「声」にまなぶ-平和運動にふれあいを求めて	西宮弘	谷沢書店	3	1	0	4	71
10 22	失った日から-原爆・引揚・教育・戦中の暮らし-体験記	広島県退職婦人教職員の会戦争体験記編集委員会(編)		12	0	0	12	45 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1986(昭和61)年								
10 33	楠那一創立111周年記念誌	楠那小学校創立111周年記念誌編集委員会(編)		7	0	0	7	14 *
10 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第21号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	2	1	0	3	32 *
11 10	ヒロシマ・ナガサキの証言第20号(86冬)	広島・長崎の証言の会	汐文社[発売]	3	4	0	7	32 *
11 10	日本よ美しくあれ	岩田幸雄(編)	西日本海洋協会	1	0	0	1	65 *
11 14	原爆大っきらい【歌集】	福島国登	歌集「原爆大っきらい」発行所	1	0	0	1	92 *
11 20	やよい通信第48号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
11 21	伊藤信之追想録	同刊行委員会		2	0	0	2	92
11 33	閃光の時-ヒロシマの体験と平和への誓い	堀登喜雄	大阪手話通訳問題研究会	1	0	0	1	65
12 01	私の履歴書	進藤貞和	日本経済新聞社	0	1	0	1	74 *
12 08	原爆と十字架【改訂版】ある牧師の被爆体験から	水野保羅(パウロ)	基督兄弟団出版部(発行)・いのちのことは社(発売)	0	1	0	1	71 *
12 08	ヒロシマに歳はないんよ	佐伯敏子	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
12 08	原爆被爆四拾周年記念誌・昭和六十一年	岡山県原爆被爆者会玉野支部原爆被爆40周年記念誌編集委員会編		10	2	0	12	25 *
12 10	平和を求めつづけて-広島県被団協30年の歩み	広島県原爆被害者団体協議会(編)	汐文社	24	0	0	24	22 *
12 15	似島原爆日誌-若き軍医の回想録	錫村満	汐文社	1	0	0	1	71 *
12 20	原爆へ・平和の鐘を第1巻-奈良県原爆被害者の手記	奈良県原爆被害者の会(わかくさの会)(編)		15	1	0	16	25 *
12 26	原爆前後61(完結)	思い出集世話人		1	2	0	3	15 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1986 (昭和61) 年</b>								
12 33	あの日あの時—原爆 文献から「死の行進」 を探る	新居国夫(編)		1	0	0	1	91 *
12 33	水!!水!!—被爆 体験記第4集	広島市三篠公 民館		12	0	0	12	44 *
13 33	虹のやくそく—平和 の尊さ・母から子供 へ	生活協同組合 コープながさ き消費者活動 委員会(編)		0	10	0	10	64 *
13 33	広島に於ける被爆の 体験記	今井敏郎		1	0	0	1	91 *
13 33	戦争—親と子の戦争 体験記録	芦屋町立山鹿 小学校		1	1	0	2	43
13 33	平和教育のしおり	黒岩貞義		0	1	0	1	91 *
<b>1987 (昭和62) 年</b>								
01 01	残心 [その2] [母 ・マツの思い出集]	荆尾武男(編 著)		1	0	0	1	91 *
01 10	広島市保育連盟三十 五年誌	広島市保育連 盟三十五年誌 編さん委員会 (編)		3	0	0	3	65 *
01 15	蓮の花は泥水にしか 咲かない	久保道正	ミリオン書房	1	0	0	1	71 *
01 21	やよい通信第49号	松岡克昌		1	0	0	1	82 *
01 30	女たちの<銃後>	加納史紀代	筑摩書房	1	0	0	1	71 *
01 31	天邪鬼の筆の跡—被 爆記者が綴る長崎の 戦後史	佐原治平(著) 佐原隆文 (監修)	聖母の騎士社	0	1	0	1	73 *
01 33	沿革誌—110年の あゆみ	広島中央警察 署沿革誌編さん 委員会(編)	広島中央警察 署	2	0	0	2	13 *
01 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第22号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	3	0	0	3	32 *
02 33	平和な明日へ・語り 継ぐ父母の被爆体験 [I] 原爆被爆体験 を伝えるために	長崎県原爆被 爆二世教職員 の会(編)		0	12	0	12	26 *
03 01	赤いトマトの思い出 —平和教育実践集	広島市立三和 中学校平和教 育部会(編)		26	0	0	26	43 *
03 01	生きて生きて—おか あさんの戦争体験記	小郡町婦人行 動対策会議編		6	0	0	6	63 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1987(昭和62)年								
03 05	戦争一親と子の戦争 体験記録	芦屋町立山鹿 小学校平和教 育委員会(編)	芦屋町立山鹿 小学校	1	1	0	2	43 *
03 08	繰返すまじ・あの日 一結成20周年記念 文集	丹有原爆被害 者の会(編)	[兵庫県]	17	2	3	22	25 *
03 11	やよい通信第50号	松岡克昌		2	0	0	2	82 *
03 15	原爆資料センター保 存資料一覧1987	長崎大学医学 部附属原爆被 災学術資料セ ンター(編)		1	2	0	3	31 *
03 21	天使の涙一母と娘の 原爆症闘病日記から	袖木雅如(ツ キマコ)	敷島画廊 [広 島市]	1	0	0	1	92
03 27	アジアの声一侵略戦 争への告発	戦争犠牲者を 心に刻む会編	東方出版	1	0	0	1	32
03 30	わか昭和史	松前重義 (構成)白井久 也	朝日新聞社	1	0	0	1	74 *
03 33	被爆前後の畑賀村・ 中野村の生活と体験 一被爆体験継承学習 事業	広島市中野公 民館被爆体験 継承学習グル ープ(編)	広島市中野公 民館	2	0	0	2	44 *
03 33	後世に語りつぎたい こと第2集	広島市戸坂公 民館(編)		3	0	0	3	44 *
04 06	銃後一思想弾圧・空 襲・原爆・沖縄戦・ 引揚げ	松谷みよ子	立風書房	12	6	0	18	71
04 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研 究室		1	0	0	1	61 *
04 20	広島随想	豊田清史	火幻社	1	0	0	1	72 *
04 30	被爆韓国人 ② [1987年4月号] 日本語版	韓国原爆被害 者協会(編)	在韓被爆者渡 日治療広島委 員会	3	0	1	4	29 *
04 33	生きた証しここに	広島市祇園西 公民館(自分 史の会)編	広島市祇園西 公民館	2	0	0	2	44 *
04 33	ヒロシマ・ナガサキ 12号一被爆体験を語 り継ぐ・・・八王子 から	八王子・被爆 体験を語り継 ぐ会		0	1	0	1	32 *
05 01	生きて来た道	土橋鹿市		1	0	0	1	91
05 10	原爆許すまじー2 1 世紀への遺言	埼玉県原爆被 害者協議会 (しらさぎ会)		59	27	4	90	25 *
05 10	被爆医師・今川卓治	今川静子(編)		1	0	0	1	91 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1987(昭和62)年									
05 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61	*
05 17	原爆に愛児を失いて (抜粋) 原爆体験記	玉田富子	幟町公園慰靈 碑護持会	1	0	0	1	12	*
05 17	夫と二児を奪い取ら れて(抜粋)	荒谷照子(証 言)	幟町公園慰靈 碑護持会	1	0	0	1	12	*
05 33	軍縮問題資料5月号 NO.78	宇都宮軍縮研 究室		1	0	0	1	61	*
06 01	炎の叫び—被爆体験 記	世羅西町原爆 被害者協議会	〔広島県〕	92	1	0	93	22	*
06 01	広島県史・原爆資料 編〔復刻版〕	広島県(編)	広島県(発行) 広島県教科書 販売(発売)	4	0	0	4	41	*
06 06	群友会ニュース19号	群馬県原爆被 災者の会		2	1	0	3	25	*
06 10	『望見』—'86第4期 生修学旅行の記録	埼玉県立狭山 清陵高等学校 (編)		1	0	0	1	43	*
07 01	広島教育409号—特 集・被爆体験を語る	広島県教職員 組合	広島平和教育 研究所出版部	3	0	0	3	82	
07 01	シネ・フロント		シネ・フロン ト社	1	0	0	1	84	
07 05	ヒロシマへ．．．． ．． 韓国の被爆者の 手記	韓国の原爆被 害者を救援す る市民の会編		4	0	0	4	31	*
07 15	原爆、忘れまじ第3 集—ヒロシマ・ナガ サキ被爆体験手記集	愛知県原水爆 被災者の会婦 人部(編)		10	4	0	14	25	*
07 15	御庄博実詩集	御庄博実	思潮社	1	0	0	1	71	*
07 15	「女の気持ち」三〇 年・5・戦争—平和	毎日新聞大阪 本社学芸部(編)	新評論	16	1	3	20	74	*
07 20	ヒロシマ・ナガサキ の証言第21号 (87)—ヒロシマ ・ナガサキの群像	広島・長崎の 証言の会	汐文社〔発売〕	24	31	0	55	32	*
07 20	撫子	八尾洋二・鈴 木咲子(共著)	鈴木咲子	4	0	0	4	91	*
07 20	この事実をみよ—核 の冬を生きのこるた めに	久保猛夫	田中書店	0	1	0	1	71	*
07 25	木の葉のように焼か れて第21集	木の葉のよう に焼かれて編 集委員会	新日本婦人の 会広島県本部	19	0	0	19	63	*
07 25	8月15日の子ども たち	あの日を記録 する会(編)	晶文社	5	5	0	10	32	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1987(昭和62)年								
07 25	障害者と戦争-手記・証言集	清水寛(編著)	新日本出版社	1	0	0	1	71 *
07 28	われなお生きてあり	福田須磨子	筑摩書房	0	1	0	1	71 *
07 28	やよい通信第51号	松岡克昌		3	0	0	3	82 *
07 31	戦争-血と涙で綴った証言(上巻)	朝日新聞テーマ談話室編	朝日ソノラマ	1	1	0	2	74
07 33	ヒロシマ・ナガサキ14号-被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32 *
08 01	はまゆう第2集-結成15周年記念	横浜市被爆者の会(浜友の会)編	[神奈川県]	60	27	0	87	25 *
08 01	木の葉のように焼かれて第1集-被爆婦人の手記[改訂版]	木の葉のように焼かれて編集委員会	新日本婦人会広島県本部	19	0	0	19	63
08 01	原爆被爆者実態調査-被爆者援護法制定のために	大阪市東住吉区原爆被害者の会・阪南中央病院・調査実行委員会編	阪南中央病院原爆被爆者アンケート調査実行委員会	3	2	0	5	25 *
08 01	暮らしと政治8月号		日本共産党中央委員会	2	1	0	3	81
08 03	長崎よ、誓いの火よ-わたしの青春アルバム	渡辺千恵子	草の根出版会	0	1	0	1	71 *
08 06	流燈第3編-広島市女原爆追憶の記	広島市高等女学校・広島市立舟入高等学校同窓会(編)		25	0	0	25	14 *
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第10集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		15	0	0	15	27 *
08 06	母と子でみる原爆を撮った男たち	「反核・写真運動」(編)	草の根出版会	18	1	0	19	52 *
08 06	水!!!水!!!-被爆体験記第5集	広島市三篠公民館		17	0	0	17	44 *
08 06	ヒロシマという名の街で	小笠邦久	蝸牛社	1	0	0	1	71 *
08 06	県労被爆連の歩み-12年の運動の軌跡	広島県労働組合原爆被爆者団体連絡協議会(編)		19	0	1	20	26 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1987(昭和62)年								
08 06	広島・長崎原爆被爆体験記一附・後遺症の報告	長門大津原爆被爆者友の会(編)	長門時事新聞社 [山口県]	37	3	0	40	25 *
08 06	清らかな鈴の音をー15年の歩みから	特別養護老人ホーム清鈴園編	新教出版社	26	0	0	26	31
08 06	ヒロシマ「平和への出発」	創価学会婦人平和委員会編	第三文明社	1	0	0	1	32 *
08 09	原爆体験手記第4集	恵の丘長崎原爆ホーム(編)		0	44	0	44	31 *
08 09	被爆・いのちの悲録ーいまだ戦後終らざる人々の記録	久保ミツエ	島津書房	4	12	0	16	71 *
08 12	丸一エキストラ版(18巻4号)	潮書房	潮書房	6	0	0	6	81 *
08 15	「ヒロシマ」の空白ー中沢家始末記	中沢啓治	日本図書センター	1	0	0	1	71 *
08 15	医者たちの8月15日	大阪府保険医協会(編)	清風堂書店出版部	2	1	0	3	65 *
08 15	広島市医師会だよりNO. 256	広島市医師会		22	1	4	27	82 *
08 15	昭和の遺書	辺見じゅん編	角川書店	1	1	0	2	71 *
08 15	矢車草ひとみに揺れてー空襲を語り継ぐ	金野紀世子	東方出版	1	0	0	1	71
08 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *
08 20	続・閃光は今もなお	宮崎県原爆被害者の会(編)	鉦脈社	18	29	1	48	25 *
08 20	この小さな生命を守れ	黒川万千代	ささら書房	1	0	0	1	71
08 29	原水爆禁止1987年世界大会の記録	原水爆禁止世界大会実行委員会		5	3	0	8	51
08 33	明日への証ー平和と幸をこどもたちに	全農林労働組合中国四国地方本部編		6	0	0	6	62
09 01	原爆ドーム、慰霊碑は語るー原爆体験記集第1集	尾道地区原爆被害者の会(編)	[広島県]	24	1	0	25	22 *
09 20	出会いーわかずわが道	福武書店(編)	広島テレビ放送	1	0	0	1	74 *
09 30	証言1987ーヒロシマ・ナガサキの声(創刊号)	長崎の証言の会	汐文社[発売]	6	15	0	21	32
09 33	軍縮問題資料9月号NO. 82	宇都宮軍縮研究室		2	1	0	3	61 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1987 (昭和62) 年									
10 05	戦争—血と涙で綴った証言 (下巻)	朝日新聞テマ談話室	朝日ソノラマ	7	3	0	10	74	
10 15	写真記録—原爆棄民—韓国・朝鮮人被爆者の証言	伊藤孝司(著) 鎌田定夫(解説)	ほるぷ出版	136	31	0	167	71	*
10 30	言いたいことがありすぎて	丸木俊	筑摩書房	1	0	0	1	71	
10 31	宣教—原爆の街	日本福音ルーテル長崎教会		0	1	0	1	65	*
10 33	ヒロシマ・ナガサキ15号—被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32	*
10 33	原爆体験記	加藤作蔵		7	0	0	7	91	
11 01	広島金融復興記—ある銀行の8月6日以後	田辺良平	溪水社	16	0	0	16	72	*
11 01	長崎国際文化会館による原爆体験記	長崎国際文化会館(編)	長崎市職員互助会	0	30	0	30	41	*
11 01	激動の岩国を生きる	岩国市立岩国図書館(編)		1	0	0	1	92	*
11 20	願いはほのぼの家族—病にも敗けない被爆の母の記	奥井裕子	毎日企画センター	1	0	0	1	92	
11 22	釈迦道友—広島原子爆弾投下時の記録	北村友次	創栄出版	1	0	0	1	75	*
11 28	平和・人権「聞きとり」教材集—戦争の実相をこそ伝えよう	大阪府同和教育研究協議会 平和・人権プロジェクト		1	4	0	5	45	
11 30	流燈 [句集]	長谷川史郊	東京美術	1	0	0	1	71	*
11 33	青磁と茜	池辺よみこ		1	0	0	1	91	
12 08	福島の被爆者第1集—あの八月の灼かれた日から	福島県原爆被害者協議会事務局(編)		10	1	0	11	25	*
12 25	証言 '87.8.28.29	土井久男(証言) 愛知県高等学校教職員組合(編)	愛知県高等学校教職員組合	1	0	0	1	45	*
12 33	ころやかに、したたかに—平和への主役たち	ピースウィーク'87実行委員会(編)		0	1	0	1	61	*
12 33	ふれあい6号	富田之朗編	和同会服部中央病院・三木自由が丘病院(豊中)	1	0	0	1	84	*

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1987 (昭和62) 年									
13 33	雑草のうたJapan Peace Birds	土田康		1	0	0	1	91	*
13 33	こごもり寿大学作品 集(Ⅱ)ー私が歩ん できた道ー	広島県安芸郡 府中町立府中 南公民館こご もり寿大学		1	0	0	1	44	*
1988 (昭和63) 年									
01 01	原爆被爆者の叫び・ 体験記	久井町原爆被 害者の会(編)	[広島県]	66	0	0	66	22	*
01 10	「文芸春秋」にみる 昭和史第1巻	文芸春秋編	文芸春秋	1	0	0	1	71	
01 18	夕光・田中義昭歌集	田中義昭	大和出版	1	0	0	1	71	*
01 20	原爆直下からの逃走 ー瓊中報国隊の思い 出	最上哲		0	1	0	1	91	*
01 20	統・一開業医のたわ ごと	長崎孝	長崎病院	1	0	0	1	92	
01 33	広島市医師会創立1 00周年記念特別号	広島市医師会 (編)		2	0	0	2	82	*
01 33	平和ふくとく本	橋本三水	三文書房	2	0	0	2	75	
02 01	ふたたびくりかえす まいー私の戦争体験 記	私の戦争体験 記編集委員会 ・町田市企画 部企画課(共 編)	町田市	6	1	0	7	41	*
02 01	鳴竹庵雑想	坂田正	溪水社	1	0	0	1	72	*
02 11	ヒパクチャーともに 生きる第6号	原爆被害者相 談員の会		1	0	0	1	31	
03 01	とやまー創立戸山小 学校80年、戸山中 学校40年記念誌	戸山小中学校 PTA(編)		1	0	0	1	43	*
03 10	被爆教職員ここまで 生きてー被爆40周 年を記念して	原爆被爆教職 員の会全国連 絡会(編)		16	3	1	20	26	*
03 10	雲と光ー或る脳神経 外科医の軌跡	川野正七	三月書房	0	1	0	1	71	*
03 10	広島経済人の昭和史 (Ⅰ)	高橋衛(編著)	広島地域社会 研究センター	3	0	0	3	72	*
03 10	広島経済人の昭和史 (Ⅱ)	高橋衛(編著)	広島地域社会 研究センター	3	0	0	3	72	*
03 10	崇徳第17号<19 87年版>崇徳学園 原爆被災記録	崇徳学園		3	0	0	3	14	
03 10	子どもとともに	細井迪	溪水社	1	0	0	1	72	*
03 12	懐古の抄	佐々木辰郎		1	0	0	1	91	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1988 (昭和63) 年									
03 30	原子雲第1集	足立区原爆被害者の会(足友会)編	[東京都]	13	6	0	19	25	*
03 31	ピース・トークきみたちにつたえたい I	長崎平和推進協会(編)		0	12	0	12	41	*
03 31	原爆被害者は訴えるー被爆証言集	広島平和文化センター(編)		11	0	0	11	41	*
03 31	敦煌・歴史の旅ーシルクロードに法隆寺を見た	平山郁夫	光文社	1	0	0	1	71	
03 33	ヒロシママーナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から16号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会	1	0	0	1	32	*
03 33	原子爆弾ー広島の方	広島市二葉公民館(編)		24	0	0	24	44	*
04 15	広島市医師会だより NO. 264	広島市医師会		1	0	0	1	82	*
04 22	核抑止か核廃絶か	非核の政府を求める会(編)	大月書店	1	0	0	1	52	*
04 30	いのちー語り継ぐ四十年平和を求めて	大分県原爆被害者団体協議会(編)		15	15	0	30	25	*
04 33	被爆者の証言ー核戦争を阻止し、核兵器をなくすために	北海道被団協		49	4	0	53	25	*
04 33	長崎市立城山小学校壊滅の日	江頭千代子	城千津子	0	1	0	1	91	
05 10	群青の海へーわが青春譜	平山郁夫	中央公論社	1	0	0	1	71	
05 15	撫子抄	八尾洋二・鈴木咲子	幟町公園慰霊碑賛持会	4	0	0	4	12	*
05 15	ささのつゆー核兵器もない戦争もない平和な世界を	平塚支部結成十周年記念誌発行編集委員会	神奈川県原爆被災者の会平塚支部	16	9	0	25	25	*
05 19	語りつぐべきことー二つの世紀をつなぐものー沢地久枝対話集	沢地久枝	岩波書店	2	0	0	2	71	
05 28	平和への証ー30周年記念誌	福岡県原爆被害者団体協議会(編)		7	11	0	18	25	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1988 (昭和63) 年								
06 10	明日に語り継ぐ私の戦争体験記	生活協同組合 市民生協消費者運動委員会	みずうみ社	4	0	0	4	64
06 19	明日へわたしの証言	調布市原爆被害者の会 (調友会) 編	[東京都]	18	6	1	25	25 *
06 20	鳩の使いの旅ー広島 のこころを世界へ	黒川万千代	新日本出版社	1	0	0	1	71 *
06 20	原爆被爆者の半世紀	伊東社	岩波書店	1	0	0	1	71 *
06 25	平和を願ってーみやぎの被爆者の体験文集第二集	宮城県原爆被害者の会		18	8	4	30	25 *
06 28	広島第二県女二年西組ー原爆で死んだ級友たち	関千枝子	筑摩書房	1	0	0	1	71
06 30	山口歩兵第四十二連隊史	山口歩兵第四十二連隊史編纂委員会(編)		2	0	0	2	11 *
06 33	ヒロシマーナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から17号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会	0	2	0	2	32 *
06 33	核兵器が全てこわされる日をーSSDⅢ(第3回国連軍縮特別総会)参加報	伊東社		1	0	0	1	91
07 02	歌集・おくれ穂	好永よしみ	重信町(愛媛県温泉郡)	1	0	0	1	92 *
07 03	21世紀への伝言ーヒロシマ・ナガサキからの伝言	中谷亘(編)	[山口県] 宇部市・小野田市原爆被爆者協議会	60	6	0	66	25 *
07 15	木の葉のように焼かれて第22集	木の葉のように焼かれて編集委員会	新日本婦人の会広島県本部	14	0	0	14	63 *
07 15	平和への道標ー1988反戦文集	洛南労働組合連絡会議		1	0	0	1	62
07 17	堤久吉さんを偲ぶ	堤久吉さんを偲ぶ文集発行の会(編)		0	1	0	1	92 *
07 18	消えたベンー新聞労働者の8月6日	中国新聞労働組合(編)	汐文社	4	0	0	4	62 *
07 20	原爆百句ーナガサキ豆本第1集	隈治人(著) 牧武志(編)	ナガサキ豆本の会(牧武志主宰)	0	1	0	1	92 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1988 (昭和63) 年								
07 20	長崎俘虜収容所	ヒュー・クラーク	長崎文献社	1	0	0	1	73 *
07 20	草の根平和行進の道程1	日野市総務部編	日野市	3	0	0	3	41
07 25	アジアの声第二集—侵略戦争の証言	戦争犠牲者を心に刻む会編	東方出版	2	0	0	2	32
07 33	似島—広島とヒロシマを考える	原水爆禁止似島少年少女のつどい実行委員会 (編)		6	0	0	6	52 *
07 33	平和な明日へ・語り継ぐ父母の被爆体験(Ⅱ)—原爆被爆体験を伝えるために	長崎県原爆被爆二世教職員会 (編)		0	5	0	5	26 *
07 33	民医連医療第197号—特集・核兵器廃絶運動の現局面—		全日本民医連機関紙出版部	1	0	0	1	84 *
08 01	水!水!—被爆体験記総集編	広島市三篠公民館など		55	0	0	55	44
08 01	広島原爆体験記・黒い雨の下で	田面広一郎		1	0	0	1	91 *
08 03	核廃絶と世論の力—長崎平和シンポジウム	長崎市・核軍縮を求める二十二人委員会 (編)	岩波書店	0	1	0	1	52 *
08 05	いにちとうとし	森滝市郎先生の米寿を祝い激励するつどい実行委員会		1	0	0	1	92
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第11集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		16	0	0	16	27
08 06	炎の巡礼者—ヒロシマの母・小西のぶ子遺稿集	小西のぶ子遺稿集編集委員会 (編)	社会評論社	1	0	0	1	72 *
08 06	原爆と戦争—被爆前後の石内村の生活と体験	石内地区被爆誌編集委員会・広島市佐伯区石内公民館 (共編)		32	0	0	32	44 *
08 06	原爆、忘れまじN.4 (第4集)—ヒロシマ・ナガサキ被爆体験手記集	愛知県原水爆被災者の会婦人部 (編)		6	6	0	12	25 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1988 (昭和63) 年								
08 06	ひろしま24号-反核 平和特集	日本民主主義 文学同盟広島 支部		2	1	0	3	82
08 06	語り伝えてぬくしな の八月六日	かはず会編	岡本三和子	31	0	0	31	91
08 07	グラフこんにちわー 日本共産党です8月 7日号	日本共産党中 央委員会		8	0	0	8	65 *
08 08	人生空模様-歩みつ づけて八十年	山根力男		1	0	0	1	91 *
08 08	原爆で逝った妹に告 ぐ-平和をめざす都 市、今の広島市	奥井裕子		1	0	0	1	91
08 09	ピース・トーカーき みたちにつたえたい II	長崎平和推進 協会 (編)		0	11	0	11	41 *
08 10	戦争は終わった	好村富士彦編	ほるぷ出版	1	0	0	1	71
08 15	証言1988-ヒロ シマ・ナガサキの声 第2集	長崎の証言の 会	汐文社[発売]	7	13	0	20	32
08 15	115500㎡の皮膚-被 爆43年の自分史	山口仙二	みずち書房	0	1	0	1	71 *
08 15	戦争被爆体験集・か たりべ	非核平和の町 づくりを進め る会 (編)		9	0	0	9	52 *
08 15	歌集・山川のうた	井口直子	真樹社	1	0	0	1	72 *
08 15	広島市医師会だより 268号	広島市医師会		4	0	0	4	82 *
08 15	広島県医師会速報	広島県医師会		1	0	0	1	82 *
08 20	「昭和」の瞬間	白川浩司編	文芸春秋	1	0	0	1	81
08 31	原水爆禁止1988 年世界大会の記録	原水爆禁止世 界大会実行委 員会		2	0	0	2	51
08 31	いのちあるかぎりー 10周年記念誌	宗像原爆被害 者の会 (編)	[福岡県]	3	11	0	14	25 *
08 33	許すまじ・被爆体験 記	広島市原爆被 爆者協議会井 口支部 (編) 井口公民館 (協力)		27	0	0	27	21 *
08 33	ヒロシマ-ナガサキ 被爆体験を語り継ぐ ・・・八王子から18 号	田中憲助編	被爆体験を語 り継ぐ会	1	0	0	1	32 *
08 33	わたしのヒロシマ	森本順子 (作 ・絵)	金の星社	1	0	0	1	71 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1988(昭和63)年								
09 15	在韓被爆者問題を考える	在韓被爆者問題市民会議 (代表:高木健一)編	凱風社	2	0	1	3	31 *
09 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	1	0	2	61 *
09 17	教師のゆえに	小川利雄	溪水社	1	0	0	1	72 *
09 17	開講30周年記念誌	広島大学原爆放射能医学研究所臨床第一(内科)研究部門		1	0	0	1	92 *
09 20	自叙伝・涙灯-浮浪の旅の章	池本宗将(文・絵)		0	1	0	1	91 *
09 28	丸木位里画文集・流々遍歴	丸木位里(著)	岩波書店	1	0	0	1	71 *
09 33	平和へのメッセージ-被爆者からのメッセージ・たから診療所20周年記念	たから診療所被爆者からのメッセージ編集委員会(編)	たから診療所	4	2	1	7	65 *
09 33	軍縮問題資料9月号 NO. 94	宇都宮軍縮研究室		1	1	0	2	61 *
10 01	安芸春秋23号		安芸春秋社	1	0	0	1	82 *
10 08	子どもたちに-教職員の戦争体験記	大阪市教職員組合南大阪支部(編)	大阪市教職員組合南大阪支部	1	0	0	1	45 *
10 20	山鳥-吉田達雄追悼集	栗田充治(編)	吉田照子	2	0	0	2	91 *
10 31	あの日、あの時、そして今-結成30周年を記念して	東京北区原爆被爆者の会(双友会)編		13	10	0	23	25 *
10 33	原爆と暁部隊	増山幸男		1	0	0	1	91 *
11 08	福島県の被爆者第2集-あの八月の灼かれた日から	福島県原爆被害者協議会事務局(編)	福島県原爆被害者協議会	14	1	0	15	25 *
11 12	母をかえせ私たちを返せ-被爆婦人の集い二十周年記念誌	大阪市原爆被害者の会婦人部(編)		9	3	1	13	25 *
11 20	ピカッ・ドーン!! (原爆)-九死に一生を得た四十三年前の記録	熊巳武彦		1	0	0	1	91
11 20	我が人生随想記	大橋完造		1	0	0	1	91 *
11 22	五月萌ゆる時-元広島第一陸軍病院教育隊・近藤隊々誌	五月戦友会		37	0	0	37	11 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1988 (昭和63) 年</b>								
11 28	「あの日」の証言 (その1)	日本原水爆被害者団体協議会		384	116	0	500	28 *
12 01	轍	藤井巖 (著) 広島トヨタ自動車「轍」編集委員会(編)	広島トヨタ自動車「轍」編集委員会	2	0	0	2	15 *
12 11	ヒバクシャーとともに 生きる第7号	原爆被害者相談員の会		4	0	0	4	31
12 33	あの日よ再び来ない で-1945. 8. 9 もう一つのナガサキ	佐世保海軍病院 院諫早分院の 会編	あらし書店 (発売)	0	33	0	33	11
13 33	原子爆弾一地獄乃記録 [改訂版]	菊井文江		1	0	0	1	91 *
13 33	原爆詩集・復刻版一 峠三吉没後35年記念 復刻	峠三吉	峠三吉記念事業委員会	1	0	0	1	92 *
13 33	被爆43周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	被爆43周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		1	0	0	1	51
13 33	長崎精機原子爆弾記 [復刻版]	三菱重工株式 会社長崎精機 製作所 (編)		0	39	0	39	15 *
13 33	長崎の原爆はこうし て投下された	田中孟		0	1	0	1	91
<b>1989 (平成元) 年</b>								
01 20	火の海はもう二度と 見ないー私の戦争体 験記	大東文化大学 文学部石川研 究室・板橋区 総務部総務課 (共編)	[東京都] 板 橋区平和都市 宣言記念事業 実行委員会	1	1	0	2	41 *
02 06	忘れ水物語ーある被 爆者の記憶	上原輝男	主婦の友社	1	0	0	1	71
02 15	軍縮問題資料2月号 NO. 99	宇都宮軍縮研 究室		1	0	0	1	61 *
02 20	夾竹桃の花は咲けど もー業者婦人戦争体 験集	広島県商工団 体連合会婦人 部協議会		14	0	0	14	63
02 33	原子爆弾ー広島の変 統1	広島市二葉公 民館 (編)		6	0	0	6	44 *
03 01	いのちの輝き第2集 ー桐生のヒロシマ	桐生平和委員 会被爆体験編 集部 (編)	桐生平和委員 会	3	0	0	3	61 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1989 (平成元) 年									
03 01	広島平和学習レポート-1988. 10. 25~28 修学旅行資料集	神奈川県立東金沢高等学校 第九期生旅行委員会 (編)		3	0	0	3	43	*
03 01	広島通信-ヒロシマの継承-全68号の復刻版	ヒロシマ・ナガサキを考える会		5	0	0	5	32	*
03 06	鉛筆だけがはかたく握りしめ	「鉛筆だけがはかたく握りしめ」編集委員会 (編)	部落解放同盟 高宮支部	1	0	0	1	65	*
03 20	わが子に伝えたい昭和の体験記録 (上)	小学館編	小学館	2	0	0	2	71	
03 28	「あの日」の証言 (その2)	日本原水爆被害者団体協議会 (編)		288	212	0	500	28	*
03 31	いのち・くらし・こころ-福岡県被団協「原爆被害者調査」	福岡県原爆被害者団体協議会・福岡県原爆被害者相談所		41	65	0	106	25	*
03 33	閃光-被爆体験記	広島市吉島公民館・中島婦人会 (編)		9	0	0	9	44	*
03 33	統・あのとき閃光を見た広島の上に	広島市教育委員会事務局社会教育部社会教育課 (編)		193	0	0	193	42	*
03 33	原子爆弾-広島の変	広島市二葉公民館 (編)		19	0	0	19	44	*
03 33	むかしの帝積 (第6集) -戦争のころのこと	東城町帝積公民館・帝積の昔を語る会編		1	0	0	1	44	*
03 33	平和へのねがい第7号	西宮市・原水爆禁止西宮市協議会		26	10	0	36	52	*
03 33	あゆみ	溝口久次		1	0	0	1	91	
04 01	点滅-後世に遺す全会員 (被爆者206人・遺族7人) の伝言集	大牟田原爆被害者の会 (編)	[福岡県]	61	149	3	213	25	*
04 10	原子野に生きる-福田須磨子集	長崎の証言の会 (編)	汐文社[発売]	0	1	0	1	32	*
04 10	証言'87. 8. 28/29 [改訂版]	広島ツアー参加者	愛知県高等学校教職員組合	1	0	0	1	45	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1989 (平成元) 年									
04 15	子どもたちに語る8月6日・ヒロシマ	岩佐幹三	日本生活協同組合連合会	1	0	0	1	64	*
04 30	平和への轍	「語りつぐ戦争」誌坪生町 発起人会	[広島県福山市]	7	0	0	7	32	*
04 33	ヒロシマ—ナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から19号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会 (八王子から)	1	0	0	1	32	*
05 01	原爆の囁き—被爆死の動員学徒に捧ぐ	久保田盛磨呂	溪水社	1	0	0	1	72	*
05 01	記録集「原爆の図」ヒロシマ展—三代からのメッセージ	記録集「原爆の図」ヒロシマ展編集委員会 (編)		43	0	0	43	32	*
05 15	長崎市長への七三〇〇通の手紙—天皇の戦争責任をめぐって	径書房編	径書房	4	2	0	6	71	
05 21	原爆秘録	幟町公園慰霊碑護持会 (編)		3	0	0	3	12	*
05 23	妹たちのかがり火・第4集—仁木悦子の遺志を継いで	かがり火の会	千書房	0	1	0	1	65	
05 25	お—い地球—ピース・ウェーブ—核兵器のない未来のために	原水爆禁止日本協議会		0	1	0	1	52	
05 27	長崎の証言20年	長崎の証言の会 (編)		0	4	1	5	32	*
06 05	歌集・炎1—反核非戦の闘いのために	市岡正憲	火幻短歌会	1	0	0	1	72	*
06 23	二つの昭和—いま語りつぐ戦争と教育—きみたちに語ろう第2集	戦争体験を記録する会	あさを社 (高崎市)	0	1	0	1	32	
06 26	紅梅—坂本文子・遺稿・追悼文集	坂本文子追悼文集刊行委員会 (編)		1	0	0	1	92	*
06 33	ひろしま—平和への願い第6集	生活協同組合ひろしま平和推進委員会編		2	0	0	2	64	*
06 33	あのときのヒロシマ—私の原爆体験記	篠山益治		1	0	0	1	91	*
07 01	Living Under the Atomic Cloud—原子雲の下に生きつづけて	全電通原爆被爆者協議会編	[日英両語]	5	0	0	5	26	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1989 (平成元) 年									
07 10	水辺の祈りー構成詩ーヒロシマから	えのゆずる	大日本図書株式会社	1	0	0	1	71	*
07 15	広島反転爆撃の証明	若木重敏	文芸春秋	1	0	0	1	71	*
07 20	原爆、忘れまじNo.5 (第5集)ーヒロシマ・ナガサキ被爆体験手記集	愛知県原水爆被災者の会婦人部 (編)		8	6	1	15	25	*
07 20	木の葉のように焼かれて第23集	新日本婦人の会広島県本部編		11	0	0	11	63	*
07 20	ヒロシマ医師のカルテ	広島市医師会 (編)		58	1	0	59	15	*
07 20	戦争を知っていますかー語り継ぐ女性たちの体験	NHKおはようジャーナル製作班 (編)	日本放送出版協会	2	1	0	3	74	*
07 20	私の手を握って下さいー広島・原子野を生きて	山口澄夫	鋳派社	1	0	0	1	73	*
07 20	平和よ高く舞えー葛飾区非核平和祈念誌	葛飾区総務部総務課	[東京都]	1	0	0	1	41	
07 22	ヒロシマの鎮魂のために	中森明	溪水社	1	0	0	1	72	*
07 26	平和への願いー30年のあゆみ	静岡県原水爆被害者の会30年のあゆみ編集委員会 (編)	静岡県原水爆被害者の会	6	1	0	7	25	*
07 26	無量寿への道ー絶望から光明へー被爆者の記録	富田家睦		1	0	0	1	91	*
07 26	思いやりは平和の絆	奥井裕子		1	0	0	1	91	
07 28	被爆者の死(その1)ー「あの日」から昭和20年末まで	日本原水爆被害者団体協議会 (編)		201	100	0	301	28	*
07 29	ベルギー原爆国際法廷で私たちはこう証言した	大阪市原爆被害者の会婦人部		4	0	0	4	25	*
07 30	被爆者として人間として	町友会とともに生きる会		1	0	0	1	31	*
07 33	長崎原爆松谷新公ーその経過と意義	「長崎原爆松谷新公」を支援する会 (編)		0	2	0	2	31	*
07 33	焼土にも春が (改訂版)	伊藤ハルエ	山口瑛子	1	0	0	1	91	*
07 33	夏服の少女たちー広島・昭和20年8月6日	大野充子	ポプラ社	1	0	0	1	71	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1989 (平成元) 年								
08 01	原爆回想録一四十年 目の検証	広島県警友会 (編)		133	0	0	133	13 *
08 01	家庭と教育8月特大号	切明悟編	東方出版	1	0	0	1	82 *
08 01	被爆	又野宏純		1	0	0	1	91
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第12集一 特集・黒い雨の証言	生協原爆被害 者の会・広島 医療生活協同 組合		28	0	0	28	27 *
08 06	黒い雨 (続)	広島県「黒い 雨・自宅介護 等」原爆被害 者の会連絡協 議会 (編)		9	0	0	9	29 *
08 06	生きて愛して一目で 聞いたもうひとつの ヒロシマ	仲川文江(著)	ひろけん(広 島県手話通訳 問題研究会)	12	0	0	12	65 *
08 06	原爆と仁保	広島市仁保公 民館 (編)		43	0	0	43	44 *
08 06	被爆体験集(河内編) あるとき閃光を見た 広島の上に	河内地区被爆 体験編集委員 会, 広島河内 公民館 (編)		10	0	0	10	44 *
08 06	黒い雨に打たれて	白倉英雄	北越出版	1	0	0	1	71 *
08 06	二十一世紀への遺言	竹内一作	相武アララギ 発行所	1	0	0	1	65 *
08 09	原爆体験記第5集	恵の丘長崎原 爆ホーム被爆 者 (著)	恵の丘長崎原 爆ホーム	0	29	0	29	31 *
08 09	原子野録音	永井隆	聖母の騎士社	0	1	0	1	73
08 15	母さんの昭和史ーい ま子どもたちに38 篇の伝言	平和のための 大阪の戦争展 実行委員会編	日本機関紙出 版センター	4	2	0	6	32
08 15	私の八月十五日	自分史を書く 会		0	1	0	1	65 *
08 15	広島市医師会だより NO. 280-I P P N W ・原爆特集号	広島市医師会		9	0	0	9	82 *
08 18	赤十字物語ー日本赤 十字社広島県支部百 年の歩み	日本赤十字社 広島県支部		2	0	0	2	15 *
08 20	NHK・戦争を知っ ていますかー語り継 ぐ女性たちの体験2	NHKおはよ うジャーナル 制作班編	日本放送出版 協会	2	1	0	3	74

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1989 (平成元) 年								
08 31	原水爆禁止1989年世界大会の記録	原水爆禁止世界大会実行委員会 (編)		10	4	0	14	51 *
08 33	ヒロシマ-ナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から20号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会 (八王子から)	0	1	0	1	32 *
09 06	増補版・長崎市長への7300通の手紙	径書房編	径書房	4	2	0	6	71
09 10	証言1989-ヒロシマ・ナガサキの声第3集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	8	17	2	27	32
09 10	太平洋戦争Ⅱ-目撃者が語る昭和史第7巻	義井博編集	新人物往来社	1	0	0	1	71
09 12	浪漫	東京都立江戸川高等学校修学旅行委員会 (編)	東京都立江戸川高等学校四十六期生	1	0	0	1	43 *
09 15	広島県眼科医会史	広島県眼科医会史編纂委員会 (編)	広島県眼下医学会	8	0	0	8	15 *
09 15	軍縮問題資料9月号 NO. 106	宇都宮軍縮研究室		1	1	0	2	61 *
09 15	広島市医師会だより	広島市医師会		12	1	0	13	82 *
09 20	原爆許すまじ (被爆体験記第2集)	鹿児島県原爆被爆者福祉協議会 (編)		12	29	1	42	31 *
09 33	被爆44周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆44周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51 *
09 33	知ってください原爆の恐怖!-わたしの被爆体験より	美濃英夫		1	0	0	1	91 *
09 33	わたしがちいさかったときに-長田新・編「原爆の子」他より	長田新編; いわさきちひろ画	童心社	19	0	0	19	71
09 33	月刊Asahi		朝日新聞社	1	0	0	1	81
10 01	原爆-あの日あの時	大田区原爆被害者の会 (大友会) (編)	[東京都]	19	2	0	21	25 *
10 01	比治山学園史	比治山学園創立五十周年記念事業会		7	0	0	7	14 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1989 (平成元) 年								
10 05	ヒバクチャー原爆被害者の生活史とソーシャルワーカーによる相談援助活動	原爆被害者相談員の会		1	0	0	1	31 *
10 10	われら命もて原爆許すまじー世田谷同友会結成三〇周年記念誌	世田谷被爆者の会 (世田谷同友会)	[東京都]	17	1	3	21	25
10 24	ひろがる抗議の輪ー核実験禁止を求めて	長崎県内核実験に抗議する市民団体交流会		0	2	0	2	52 *
10 30	沖本真始集ー胡蝶燃え落つ	沖本真始	近代文芸社	1	0	0	1	71
11 01	あついで夏の日	段原小学校PTA編集委員会 (編)	段原小学校PTA編集委員会	6	0	0	6	43 *
11 01	私の昭和史	週刊文春編	文芸春秋	1	1	0	2	71
11 05	広島県医師会速報	広島県医師会		7	0	0	7	82 *
11 08	被爆者の死(その2)ー昭和21年からの40年	日本原水爆被害者団体協議会 (編)		239	161	0	400	28 *
11 15	平和の勇者ドクタージュノー	大佐古一郎	蒼生書房	1	0	0	1	71
12 01	真珠湾と広島	武山泰雄、ジャネット・F・タチヤマほか	武山事務所	1	0	0	1	92
12 08	わたしの昭和ー二万三千日の回想	わたしの昭和編集室 (編)	自費出版まつやま	1	0	0	1	92 *
12 08	おじいちゃんおばあちゃんに聞いた戦争の話第2集	非核政府を求める徳島の会		1	1	0	2	52
12 11	ヒバクチャーーともに生きる第8号	原爆被害者相談員の会		6	0	0	6	31 *
12 15	朝鮮人被爆者ーナガサキからの証言	長崎在日朝鮮人の人権を守る会	社会評論社	0	26	0	26	31
12 15	軍縮問題資料12月号 NO. 109	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *
12 33	90年代へ向かう中小商工業課題と展望	第6回中小商工業全国交流・研究集会全国実行委員会 (編)		1	0	0	1	65 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1989 (平成元) 年								
12 33	ことりもカラスもい なくなった一爆心5 00米の証言	井出口茂美	波根伸俊・伊 藤都 (発行)	1	0	0	1	91
1990 (平成2) 年								
01 01	翔る第15号	広島共立病院	広島医療生活 協同組合	3	0	0	3	82 *
01 10	原爆へ平和の鐘を第 二巻一奈良県原爆被 害者の会 (わ かくさの会)	奈良県原爆被 害者の会 (わ かくさの会)		17	3	0	20	25 *
01 15	私の昭和	新潮社編	新潮社	0	1	0	1	71
01 15	福電丸だより第14 1号		第五福電丸平 和協会	1	0	0	1	52 *
02 10	原爆は終わっていな いー出島艶子さんの <ヒロシマ>学級通 信・特別号	埼玉県立朝霞 高等学校 (8 9年度入学) 1年2組 (担 任) 竹内良男 (編)	埼玉県立朝霞 高等学校	1	0	0	1	43 *
02 10	私を育てた母ー昭和 を生きた女性	同志社大学文 学部英文学科 小野ゼミクラ ス学生一同	ONOゼミP RESS	0	1	0	1	43 *
02 20	絵手紙の自分史ー戦 争と原爆の惨禍の記 録・旅を楽しむ法	柳澤寛	研文社	1	0	0	1	71
03 01	もり山に誓う第12 集	広島市立清和 中学校		1	0	0	1	43
03 10	女医の記録ーIPP NW第9回核戦争防 止国際医師会議世界 大会	広島女医の会		4	0	0	4	63 *
03 10	被爆者援護法ー核時 代の人権宣言	被爆45周年に 被爆者援護法 を実現する京 都の会 (編)	かもがわ出版	3	2	1	6	31 *
03 20	水島の春ー故稲毛恒 子遺稿ーある女子挺 身隊員の手記	稲毛恒子	山崎よし子	1	0	0	1	91 *
03 30	授業＝ナガサキー平 和への祈りの授業	畑島喜久生	国土社	0	1	0	1	71 *
03 31	夕焼けはきらいだー 平和を願う戦争体験 記	草加市企画財 政部広報広聴 課	草加市	1	1	0	2	41 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1990(平成2)年									
03 33	閃光パートⅡ	吉島東学区連 合婦人部広島 市吉島公民館		16	0	0	16	44	*
03 33	被爆証言句集・千羽 づる	つちだ・やす		1	0	0	1	91	*
03 33	ヒロシマ・ナガサキ 被爆体験を語り継ぐ ・・・八王子から22 号	田中憲助編	被爆体験を語 り継ぐ会(八 王子から)	1	0	0	1	32	*
04 01	福山市原爆死没者慰 霊碑建立記念誌・原 爆被爆体験記	福山市原爆死 没者慰霊碑建 立委員会・福 山市原爆被害 者の会	[広島県]	92	0	0	92	22	
04 01	ピース・トーカーき みたちにつたえたい Ⅲ	長崎平和推進 協会		0	22	0	22	41	*
04 25	句集・被爆馬	和田タカ		1	0	0	1	91	*
04 33	練馬の被爆者一付・ 被爆者と歩む練馬非 核平和運動	「練馬の被爆 者」編集の会	被爆者練馬の 会[東京都]	13	3	0	16	25	
04 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第35号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	2	0	0	2	32	*
05 01	被爆体験集おりづる ー被爆45周年記念 誌	大阪市淀川区 折鶴の会(編)		13	4	0	17	25	*
05 10	われらの記録第三集	広島第二中学 校第19回卒 業生一同		12	0	0	12	14	*
05 20	追憶	幟町公園慰霊 碑護持会	幟町公園慰霊 碑護持会	5	0	0	5	12	*
05 25	いま、私のことばで ヒロシマを語らなけ れば	竹本成徳	日本生活協同 組合連合会	1	0	0	1	64	
05 26	広島光道学校の想い 出	広島光道学校 同窓会		5	0	0	5	14	*
05 31	平和たいすきノーモ アヒロシマナガサキ 45	原水爆禁止日 本協議会		1	1	0	2	52	
05 33	原爆被爆体験記	西大寺地方原 爆被爆者の会 (編)	[岡山県]	26	1	1	28	25	*
06 18	原爆の子ー広島の子 少女のうたったえ (上)	長田新編(沖 原豊解説)	岩波書店	67	0	0	67	71	



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1990 (平成2) 年								
06 18	原爆の子ー広島の子 年少女のうったえ (下)	長田新編	岩波書店	39	0	0	39	71
06 20	アジアから見たナガ サキー被害と加害	江口宜・小田 実・高史明・ 本島するなど	岩波書店	0	3	0	3	71
06 20	広島鉄道病院50年 史	西日本旅客鉄 道株式会社広 島支社	広島鉄道病院	1	0	0	1	13 *
06 33	十二歳の夏	木本和夫	瀬戸民主商工 会	1	0	0	1	65 *
07 06	被団協第138号	日本原水爆被 害者団体協議 会		2	3	0	5	28 *
07 10	広島・長崎からの伝 言	大川悦生(編 著)	岩崎書店	9	7	0	16	71 *
07 10	社会文学4号ー特集 ・核と文学	日本社会文学 会編	不二出版(発 売元)	0	1	1	2	65
07 14	非核・ヒロシマの声	非核の政府を 求める広島 の会		40	0	11	51	52
07 15	ヒロシマ花物語	関千恵子	汐文社	1	0	0	1	71
07 15	広島市医師会だより	広島市医師会		1	0	0	1	82 *
07 20	木の葉のように焼か れて第24集	新日本婦人の 会広島県本部		13	0	0	13	63
07 20	原爆、忘れまじーヒ ロシマ・ナガサキ被 爆体験手記集NO.6	愛知県原水爆 被災者の会婦 人部(編)		7	7	0	14	25 *
07 20	ぼくの町は戦場だっ た	BBCイギリ ス放送編	平凡社	1	0	0	1	74
07 20	閃光は消えず	松岡克昌(編)	勁草出版サー ビスセンター	37	3	0	40	92 *
07 20	草の根平和行進の道 程2	日野市総務部 編	日野市	0	6	0	6	41
07 22	鳩になってー江戸川 ・被爆者の証言第3 集	江戸川原爆犠 牲者追悼碑の 会	追悼碑の会事 務局[東京都 ]	12	12	0	24	31
07 25	被爆朝鮮人教師の戦 後誌ー歲月よ!アリ ランよ!	朱碩	明石書店	1	0	0	1	71
07 25	余白の声・つぶやき	月下美紀	汐文社	1	0	0	1	71
07 28	人間を返せ第3集ー 原爆死没者の記録	大阪市原爆被 害者の会		62	33	0	95	25
07 33	証言集・かなかわ第 2集ー被爆45周年 記念	神奈川県原爆 被災者の会 (編)		13	7	0	20	25 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1990(平成2)年								
07 33	被爆体験集	昭島市企画部 企画課		5	5	1	11	41 *
07 33	戦中戦後をめぐる自分史—三十周年記念	NHK広島婦 人学級	NHK広島放 送局婦人学級	5	0	0	5	92 *
07 33	ヒロシマ・ナガサキを 考える第36号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考 える会	2	0	0	2	32 *
08 01	広島長崎原爆被爆体 験記第二集	長門大津原爆 被爆者友の会 (編)	[山口県]	21	2	0	23	25 *
08 01	新郷土8月号	佐賀県教育庁 文化課内新郷 土刊行協会		0	1	0	1	42 *
08 06	ピカドン第2集—終 わりなき闘い—被爆 45周年記念誌	神石郡原爆被 害者協議会 (編)	[広島県]	55	0	7	62	22 *
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第13集	生協原爆被害 者の会・広島 医療生活協同 組合		24	0	0	24	27
08 06	いまひとこと—被爆 45周年・結成35 周年記念	福岡市原爆被 害者の会		37	95	0	132	25
08 06	被爆45年目の証言 —南観音地区被爆者 の証言と地区災害の 実態	南観音地区被 爆証言編集委 員会(編)		35	0	0	35	21 *
08 06	海峡を越えて—訪韓 報告集I・「在韓」 被爆者の訴えを聞いて	ヒロシマを語 る会、アジア ・太平洋地域 の戦争犠牲者 に思いを馳せ 心に刻む集会 実行委員会		16	0	1	17	29
08 06	アンニョンハムシカ 李さん—お元気です か	李実根編著		1	0	0	1	91
08 06	原爆の実相復刻版	柴田重暉	文化社(復刻 責任者=小野 勝)	1	0	0	1	82
08 06	広島金融復興記	田辺良平		1	0	0	1	91
08 06	PEACE—平和の 原点は人類の英知と 良心	小松清興		1	0	0	1	91

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1990 (平成2) 年								
08 06	被団協第140号	日本原水爆被害者団体協議会		0	1	0	1	28 *
08 09	原爆体験記第6集—被爆45年を迎えて—患の丘長崎原爆ホーム創設20周年	患の丘長崎原爆ホーム		0	23	0	23	31 *
08 09	夾竹桃よ永遠に—原子爆弾犠牲者の霊に捧ぐ	長崎医科大学附属病院看護婦被爆体験編集委員会(編)		0	73	0	73	14 *
08 09	原爆被害の新たな実相—現在の被爆者問題第6集	長崎「原爆問題」研究普及協議会		0	1	0	1	32
08 09	想い出新たに	山友会(山里国民学校被爆当時の六年生)		0	23	0	23	14
08 10	在韓被爆者の問いかけるもの	「韓国被爆者慰霊訪日団」を迎える全国連絡会(編)		12	1	0	13	31 *
08 10	孫たちへの証言第3集	福山琢磨編	新風書房	3	0	0	3	71 *
08 15	被爆体験記—あの日あの時	長崎県立長崎高等女学校42回生		0	50	0	50	14 *
08 15	広島市医師会だより8原爆特集号	広島市医師会		6	0	0	6	82 *
08 30	証言1990—ヒロシマ・ナガサキの声第4集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	5	9	0	14	32
08 31	紙碑—被爆老人のあかし第3集	広島原爆義護ホーム	広島原爆被爆者援護事業団	46	0	0	46	31
08 33	千葉県原爆体験集—原爆許すまじ・友愛会創立20周年記念	千葉県原爆被爆者友愛会(編)		50	17	3	70	25 *
08 33	語り—山口のヒロシマ7	山口県原爆被爆者福祉会館「ゆた苑」		8	0	0	8	31 *
09 01	原爆被爆・平和の語り部	宮田幸子		1	0	0	1	91
09 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *
09 19	それからの日日	四反田みつ	日本随筆家協会	1	0	0	1	65

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1990(平成2)年								
09 24	無量寿への道第二部 —差別のない平和な 世を求めて	富田家睦		1	0	0	1	91 *
09 33	原水爆禁止1990 年世界大会の記録— ドキュメント'90	原水爆禁止世 界大会実行委 員会(編)		1	0	0	1	51 *
10 01	平和への願いをこめ て—原爆ドームに寄 せられた手紙	広島平和文化 センター(編)		75	4	11	90	41 *
10 01	あなたにも知ってほ しいのです	宮崎国民法廷 実行委員会事 務局		2	2	0	4	32
10 01	神崎—創立80周年 記念誌	広島市立神崎 小学校		1	0	0	1	14
10 05	歌集・海熙し	西岡喜美子	東京四季出版	1	0	0	1	71
10 26	11人の被爆者の証 言	鈴峯女子校等 学校二学年平 和学习委員会		11	0	0	11	43 *
10 30	帝国陸海軍マサカ物 語・珍書発掘—(1) 広島・他	山本昌雄	戦誌刊行会	2	0	0	2	71
10 33	被爆の惨禍を語る— 原爆被爆四十五周年 にあたり	広島市青崎公 民館		6	1	0	7	44
10 33	被爆45周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	同編集委員会	被爆45周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会	2	3	0	5	51
10 33	平和教育39—特集・ 被爆者の生き方から 何を学ぶか	日本平和教育 研究協議会編	明治図書	2	2	0	4	81
11 01	PEACE—第17回 全国高校生平和集会 ・NO NUKES CONCERT '90報告集	第17回全国高 校生平和集会 実行委員会		2	0	0	2	52
11 05	朝鮮人徴用工の手記	鄭忠海(著)	河合出版	1	0	0	1	71 *
11 18	原爆被爆体験記・第 二集—ヒロシマ・ナ ガサキ	被爆体験記編 集委員会	茨城県原爆被 爆者協議会	41	7	0	48	25
11 20	水邑其の一・私の半 生記	長船元昭		1	0	0	1	91
11 23	翼よわが命	小田勇		1	0	0	1	91

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1990 (平成2) 年</b>								
11 30	広島赤十字看護専門学校50年史	広島赤十字看護専門学校・日本赤十字社看護婦同方会広島県支部	広島赤十字専門学校	5	0	0	5	15
12 02	ヒロシマ・ナガサキを体験したとよはしのひとたち	豊睦会(愛知県原水爆被災者の会豊橋支部)		10	6	0	16	25
12 16	たいまつ	碓井法明	ウエディングベル社	1	0	0	1	75
12 33	ヒロシマ・ナガサキ一被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から23号	八王子・被爆体験を語り継ぐ会		1	0	0	1	32 *
13 33	かわうち一創立百周年記念誌	広島市立川内小学校		6	0	0	6	14
<b>1991 (平成3) 年</b>								
01 01	統・造船官の記録	造船会	今日の話題社	1	1	0	2	11
01 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第38号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	2	0	0	2	32 *
02 01	21世紀への伝言II	宇部市・小野田市原水爆被災者協議会	[山口県]	30	2	0	32	25 *
02 02	ケロイド	松尾あつゆき	層雲社	0	1	0	1	71 *
02 02	戦火に生きて一戦争体験集	広島市立己斐上中学校第2学年		7	0	0	7	43
02 10	地球が裸ニナッタ	長崎の証言の会編	汐文社[発売]	0	12	0	12	32
02 15	昭和の戦争記録一黒区民の体験で綴る	東京都目黒区総務部総務課編	東京都目黒区	2	1	0	3	41 *
02 15	あしたへの伝言	長崎県婦人団体連絡協議会		0	12	0	12	63 *
02 25	戦争は人間のしわざですー教皇来広10周年記念被爆証言集	カトリック正義と平和広島協議会		34	1	0	35	61 *
02 28	愛と平和への祈り	脇水成子		1	0	0	1	91
03 01	被爆の証言ー広島・長崎	大阪府原水爆被害者団体協議会編		204	75	0	279	25 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1991(平成3)年									
03 01	平和への架け橋(上巻)ー練馬区戦争体験記録	練馬区戦争体験記録刊行委員会編	練馬区	2	1	0	3	41	*
03 10	被爆者とともに	町友会とともに生きる会		2	0	0	2	31	
03 25	平成2年度中学生の広島派遣体験レポート	目黒区総務部総務課		1	0	0	1	41	
03 31	ヒバクシャとともに生きる第9号・発足10周年記念特集号	原爆被害者相談員の会		5	0	0	5	31	
03 31	園井恵子資料集ー原爆が奪った未完の大女優	岩手県松尾村		1	0	0	1	41	
03 31	日本赤十字社広島県支部百年史・資料編	日本赤十字社広島県支部		3	0	0	3	15	*
03 33	命ある限り	兵庫県原爆被害者団体協議会編	兵庫県原爆被害者団体協議会	38	14	0	52	25	*
03 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第39号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32	*
03 33	閃光ー被爆体験記パート3	吉島東学区連合婦人会・広島市吉島公民館		12	0	0	12	44	
04 13	核戦争を防止する岡山県医師の会会報第6回総会号・第13号合併号	核戦争を防止する岡山県医師の会		0	1	0	1	52	*
04 15	広島市医師会だより	広島市医師会		0	1	0	1	82	*
04 20	明日第2号ー文学伝習所・姉妹誌	明日事務局	[広島県安芸郡府中町]	1	0	0	1	83	
04 30	翔る第17号	広島共立病院	広島医療生活協同組合	1	0	0	1	82	*
04 33	征旅転々	澄川武司		1	0	0	1	91	
05 01	ドンが聞こえなかった人々(写真集)	豆塚猛	文理閣	0	2	0	2	71	
05 16	閃光の記憶から一生と死のあいだ	上総英郎	マルジュ社	1	0	0	1	71	
05 19	被爆者ー被爆四十五周年	大阪市原爆被害者の会		5	4	0	9	25	*
05 19	続・追憶	幟町公園慰霊碑護持会		1	0	0	1	12	*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1991 (平成3) 年								
05 25	天よりの大いなる声 ・長崎二十二人の原 爆体験記・原爆体験 記	(解説) 小田 切秀雄	日本図書セン ター	45	22	0	67	71
05 25	長崎の鐘・長崎精機 原子爆弾記・雅子斃 れず	(解説) 黒古 一夫	日本図書セン ター	0	42	0	42	71
05 25	白夾竹桃の下・原爆 に生きて	(解説) 石川 逸子	日本図書セン ター	26	15	0	41	71
05 25	花の命は短くて・も ういやだ	(解説) 小田 切秀雄	日本図書セン ター	15	33	0	48	71
05 25	星は見ている・純女 学徒隊殉難の記録	(解説) 黒古 一夫	日本図書セン ター	33	92	0	125	71
05 25	ヒロシマ日記・中国 地方総監府誌	(解説) 中野 孝次	日本図書セン ター	15	0	0	15	71
05 25	千羽鶴・黒い蝶	(解説) 黒古 一夫・石川逸 子	日本図書セン ター	1	0	0	1	71
05 25	原爆の実相・われな お生きてあり	(解説) 中野 孝次	日本図書セン ター	1	1	0	2	71
05 25	あの日から今もお ・炎と影・長崎原爆 記	(解説) 山田 かん	日本図書セン ター	2	27	0	29	71
05 25	長崎の証言	(解説) 鎌田 定夫	日本図書セン ター	5	54	0	59	71
05 25	ナガサキの被爆者・ 被爆韓国人	(解説) 石川 逸子	日本図書セン ター	7	1	0	8	71
05 25	煉瓦の壁・天の羊	(解説) 黒古 一夫	日本図書セン ター	1	1	0	2	71
05 25	被爆二世・原爆が遺 した子ら	(解説) 黒古 一夫	日本図書セン ター	16	0	0	16	71 *
05 25	原爆孤老・沖縄の被 爆者	(解説) 小田 切秀雄	日本図書セン ター	19	34	0	53	71 *
05 25	原子力と文学(抄) ・原爆文学史・原爆 とことば(抄)	(解説) 黒古 一夫	日本図書セン ター	2	0	0	2	71
05 25	原爆歌集・句集一広 島編	(解説) 栗原 貞子・吉波曾 死	日本図書セン ター	27	1	0	28	71
05 25	かくへいきのないち ぎゅうをーノーモア ・ヒロシマ・ナガサ キ	原水爆禁止日 本協議会		1	1	0	2	52
05 26	京の語り部ー45年 目のヒロシマ・ナガ サキ	京都原水爆被 災者懇談会編		33	3	17	53	25

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1991 (平成3) 年									
06 01	碑・いしづみ	一高会原爆慰 霊碑建設委員 会編		25	0	0	25	14	*
06 01	ドキュメントフィル ム・夏雲-逝きしも のへのレクイエム- 完成台本	学校法人広島 女学院		20	0	0	20	14	
06 06	被団協第149号	日本原水爆被 害者団体協議 会		0	1	0	1	28	*
06 10	みえちゃんの集団疎 開	原美恵子		1	0	0	1	91	*
06 13	恐ろしい時代の幕あ け-ドラマと人間	早坂暁	岩波書店	1	0	0	1	71	
06 15	医師たちのヒロシマ -原爆災害調査の記 録	核戦争防止・ 核兵器廃絶を 訴える京都医 師の会編	機関紙共同出 版	11	1	0	12	52	
06 20	ヒロシマ・ナガサキ を世界へ-被爆医師 の反核語り部世界行 脚	肥田舜太郎	あけび書房	1	0	0	1	71	
06 25	原爆の火の長い旅	山口勇子	新日本出版社	1	0	0	1	71	
06 33	私の原爆記	斗樹良江	斗樹正	1	0	0	1	91	*
07 01	原爆日記	伊藤ふたえ	かささぎ短歌 会(久留米市)	1	0	0	1	75	
07 08	地獄の原子野に生き て-子・孫・若者に 訴える被爆者の声	福岡県原水爆 被害者団体協 議会糟屋郡原 爆被害者の会		13	24	0	37	25	
07 10	母を語る-広島のと ップを育てた母	請川洋一編著	春秋社	8	0	0	8	72	
07 15	語りつくべきこと・ 沢地久枝対話集-二 つの世紀をつなぐも の	沢地久枝	岩波書店	2	0	0	2	71	
07 15	福竜丸だより第15 9号		第五福竜丸平 和協会	1	0	0	1	52	*
07 20	苦しみ・悲しみ・怒 り・愛-結成25周 年記念誌-ヒロシマ ・ナガサキの心	筑紫原爆被害 者の会	[福岡県]	11	28	0	39	25	
07 20	鳩-胸に刻んでほし いことがあります	新潟県原爆被 害者の会(新 友会)		9	1	0	10	25	



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1991 (平成3) 年									
07 20	原爆、忘れまじーヒロシマ・ナガサキ被爆体験手記集 (第七集)	愛知県原水爆被災者の会婦人部編		7	6	0	13	25	*
07 20	森瀧市郎先生の卒寿を記念して	行安茂編		2	0	0	2	91	*
07 25	広島原爆の疑問点	穴戸幸輔	マネジメント社	1	0	0	1	71	
07 25	木の葉のように焼かれて第25集	新日本婦人の会広島県本部		23	1	0	24	63	
07 30	夏草一ひろしまおぼえ書き	持田郁子	径書房	1	0	0	1	71	
07 30	軍命違反「軍旗ハ焼カズ」-陸軍へんこつ隊長手記	後藤四郎	毎日新聞社	4	0	0	4	74	
08 01	小さき十字架-ナガサキの子ども手記集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	0	49	0	49	32	
08 01	暮しの手帖33 (1991・8・9月)	大橋鎮子編	暮しの手帖社	1	0	0	1	81	
08 01	きのご雲の下で	溝部誠	溝部誠	1	0	0	1	91	
08 06	被爆者の声	被爆者の声編集委員会編	[広島県] 坂町教育委員会	70	0	0	70	42	*
08 06	原爆被爆体験記	三原市原爆被害者の会編	(広島県)	129	1	0	130	22	*
08 06	原爆一体験記録第3集	府中市原爆被害者の会	[広島県]	50	0	0	50	22	
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第14集	生協原爆被害者の会・広島医療生活協同組合		18	0	0	18	27	*
08 06	広島軍司令部壊滅-昭和20年8月6日	穴戸幸輔	読売新聞社	1	0	0	1	74	
08 06	被爆-10人が語るヒロシマ・ナガサキ	出版労連反核六者の会		6	4	0	10	62	
08 06	閃光・轟音・純白の巨柱-動員学徒の見た広島原爆	山田幸一		1	0	0	1	91	*
08 06	私の終戦記念日	全日本年金者組合広島県本部		3	0	0	3	65	
08 06	ヒロシマの劫火の中で [改訂版]	田部礼子	田部信子	1	0	0	1	91	
08 06	原爆体験記第2輯-あれから45年、今なお	全労働省労働組合広島支部編	全労働省労働組合	39	0	0	39	62	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1991(平成3)年								
08 09	あすへの遺産ー長崎被災協結成35周年記念誌	長崎原爆被災者協議会		0	41	0	41	24
08 09	原爆雲	長崎医科大学昭和二十一年卒業同窓会編		0	20	0	20	14 *
08 10	孫たちへの証言第4集ー戦争・それからの私たち	福山琢磨 (「自分史教室」講師)	新風書房	1	1	0	2	71
08 15	証言1991ーヒロシマ・ナガサキの声第5集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	5	9	0	14	32
08 15	私の戦争体験・第5集	山口戦争体験を記録する会 ・日本中国友好協会山口県連合会		1	0	0	1	32
08 15	広島市医師会だよりNO.304ー原爆特集号	広島市医師会		3	1	0	4	82 *
08 20	わが人生論ー青少年へ贈る言葉・広島編(下)	中村輝雄編	文教図書出版	2	0	0	2	71
08 23	アサヒグラフ8月16・23日号		朝日新聞社	1	0	0	1	81
08 28	ヒロシマ・平和のりボンーあしたにむかって	ひろしま平和のりボンの会		6	0	0	6	52
08 31	原水爆禁止1991年世界大会の記録	原水爆禁止世界大会実行委員会		3	0	0	3	51
08 31	被爆46周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆46周年原水爆禁止世界大会実行委員会報告決定集編集委員会		1	1	0	2	51 *
08 33	風と樹々と原爆と	有馬千代		1	0	0	1	91
08 33	ごめんね、お母さんー長崎で原爆をみた少年の心の記録	荒木正夫(文) ・高橋孟(絵)	ポプラ社	0	1	0	1	71
08 33	ヒロシマーナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から24号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会(八王子から)	0	1	0	1	32 *
09 01	わが妄雲記ー総集編(上)	大橋静慈		1	0	0	1	91 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1991 (平成3) 年									
09 14	旅愁	修学旅行委員会編	東京都立江戸川高等学校四十七期生	4	0	0	4	43	*
09 15	軍縮問題資料1月号 NO.130	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61	*
09 20	統・閃光は消えずー被爆者聞き書き	松岡克昌編	勁草出版サービスセンター	72	0	0	72	92	*
09 20	オーストラリアに抱かれて	ブレア・照子	テレビ朝日	1	0	0	1	74	
10 01	暮しの手帖34 (1991・10・11月)	大橋鎮子編	暮しの手帖社	1	0	0	1	81	
10 01	平和の祈り新たにー戦時下の教師と父母と子どもらの記録	熊本県教育会館		1	1	0	2	45	
10 15	難病をのり越えて生きる貴さ	奥井裕子		1	0	0	1	91	
10 15	福竜丸だより第162号		第五福竜丸平和協会	1	0	0	1	52	*
10 23	浦上原頭の廃墟の中より	鎮西学院原子爆弾被爆体験記録編集委員会	鎮西学院	0	34	0	34	14	
11 01	わか安雲記ー総集編(下)	大橋静慈		1	0	0	1	91	*
11 20	創立九十周年記念誌	学校法人瀬戸内学園広島県瀬戸内高等学校		1	0	0	1	14	*
11 20	被爆者からの手紙ー35年の相談活動	副島まち子	兵庫部落問題研究所	1	0	0	1	75	
11 25	道遙かー自伝画文集	平山郁夫	日本経済新聞社	1	0	0	1	74	
11 33	ポプラは語り継ぐー8・6前後の記録	広島県立広島第二中学校二十三回生編		110	0	0	110	14	*
11 33	11人の被爆者の証言1991第2集	鈴峯女子高等学校二学年平和学習委員会		11	0	0	11	43	*
12 01	ページをめくるれんげの花	藤井幸男	溪水社	1	0	0	1	72	
12 20	悠久のまことー皆実有明九十年史	九〇周年記念誌編集委員会	広島県立広島皆実高等学校	1	0	0	1	14	*
12 33	叫び創刊号	「叫び」編集委員会	富山県被爆者協議会	13	6	0	19	25	

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1991 (平成3) 年</b>								
13 33	PEACE—第18回 全国高校生平和集会 '91ナガサキ報告集	第18回全国高 校生平和集会 '91長崎実行 委員会		0	1	0	1	52
<b>1992 (平成4) 年</b>								
01 01	いしゅたるNO.13	堀場清子	いしゅたる社	1	0	0	1	84 *
01 01	公害・総集編—風の 軌跡	上寺勝	瀬戸内公害研 究所	1	0	0	1	65
01 11	別府原爆センター設 立30周年記念誌	尾藤光男 (編 集責任者)	財団法人大分 県原子爆弾被 爆者対策協議 会	4	0	0	4	31 *
01 28	永遠に平和を—ヒロ シマ原爆の手記	木場博		1	0	0	1	91
01 28	1991年度広島研 究旅行報告集	名古屋大学教 育学部付属中 学校3年生		5	0	0	5	43
02 33	いのちあるかぎり— 戦争と原爆を裁く8 ・31浜松市民法廷 の記録	浜松原爆法廷 実行委員会		2	0	0	2	32
02 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第42号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	1	0	0	1	32 *
03 01	絶叫—被爆体験記	甲山町原爆被 害者協議会	[広島県]	58	1	0	59	22 *
03 01	原爆、忘れまじ—ヒ ロシマ、ナガサキ被 爆体験手記集	亀沢深雪 (責 任編集)	「原爆、忘れ まじ」を世界 に広める会	23	12	0	35	32
03 20	原子爆弾—県内被爆 者の手記	静岡県原水爆 被害者の会		106	22	0	128	25 *
03 30	みやぎの原爆死没者 を悼み平和を願って —みやぎの被爆者の 体験文集第3集	宮城県原爆被 害者の会		60	7	1	68	25
03 33	被爆証言集—199 2—	神奈川県逗子 市被爆者の会 (つばき会)		7	5	0	12	25
03 33	あの日のこと—8月 8日長崎被爆体験絵 巻より	西山進		0	1	0	1	91
04 05	女たちの太平洋戦争 3—暗い青春の日々	朝日新聞社編	朝日新聞社	1	1	0	2	74
04 33	反核家族2—「すい とんの日」100号	本間美智子編	反核家族	5	0	0	5	52

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1992 (平成4) 年								
05 01	平和を学ぶ	丹生久吉・佐藤年明・児玉克哉編	汐文社	1	1	0	2	43
05 15	ひろしまの瞳	土田康	青磁社	1	0	0	1	71
05 15	青い空は—核兵器ゼロの世界を	原水爆禁止日本協議会		1	0	0	1	52
05 33	被爆の思いで	塩田町原爆被害者の会	(佐賀県)	1	31	3	35	25
05 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第43号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
06 05	あの戦争のなかにぼくもいた	石浜みかる	国土社	1	0	0	1	71
06 10	いのちの塔—広島赤十字・原爆病院への証言	「いのちの塔」手記編纂委員会	中国新聞社	22	0	0	22	74
06 10	遠いことでなく—守口の被爆者の体験記	横山稔(編集責任者)	[大阪府] 守口市原爆被害者の会・守口市教職員組合	11	8	0	19	25
06 14	地底の響き—中国人強制連行・青島から広島へ48年たった今	中国人強制連行調査訪中団		1	0	0	1	65
06 19	爆心地ヒロシマに入る—カメラマンは何を見たか	林重男	岩波書店	1	1	0	2	71
07 01	草の根平和行進の道程3	日野市総務部編	日野市	1	0	0	1	41
07 20	句画集・かの一ぱつの原爆に	坪田正夫	新樹社(東京都文京区)	1	0	0	1	71
07 20	花の下	舛井寛		1	0	0	1	91
07 25	木の葉のように焼かれて第26集	新日本婦人会広島県本部編		20	0	0	20	63
07 25	戦後補償を考える—アジアの声第6集	国際フォーラム実行委員会編	東方出版	1	0	0	1	32
07 30	ゆるす思想ゆるさぬ思想	山口仙二・本島等	こうち書房	0	1	0	1	71
07 31	海に消えた被爆朝鮮人徴用工—鎮魂の海峡	深川宗俊	明石書店	1	0	0	1	71
08 01	川柳句集・捧げろ—幽香里の原爆の記	森脇幽香里	[自費出版]	1	0	0	1	91

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1992 (平成4) 年								
08 01	涙痕	長崎県部落史 研究所		0	1	0	1	65
08 02	被爆者の昭和むかし 嘶ー長崎・四十七年 目のメッセージ	木村三郎	「被爆者の手 記」出版西区 の会[名古屋]	0	1	0	1	32
08 06	閃光の下でー被爆体 験記	君田村原爆被 爆者友の会	[広島県]	84	0	0	84	22 *
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第15集	広島医療生活 協同組合原爆 被害者の会		17	0	0	17	27 *
08 06	ひかりのたねー「あ の時代」を生きた少 女の日記	天野文子(記) 小野和子(編)	汐文社	1	0	0	1	71
08 09	原爆体験記第7集	恵の丘長崎原 爆ホーム		0	25	0	25	31
08 10	孫たちへの証言第5 集ーいま語り継がね ばならぬこと	福山琢磨編	新風書房	3	1	0	4	71 *
08 15	福竜丸だより第17 2号		第五福竜丸平 和協会	1	0	0	1	52 *
08 15	広島市医師会だより	広島市医師会		3	1	0	4	82 *
08 31	証言1992ーヒロ シマ・ナガサキの声 第6集	長崎の証言の 会	汐文社[発売]	5	12	0	17	32
08 31	原水爆禁止1992 年世界大会の記録	原水爆禁止世 界大会実行委 員会		3	1	0	4	51
08 33	川尻町民の戦争体験 記ー永久平和を願っ て	川尻町中央公 民館		7	0	0	7	44 *
09 15	原爆半世紀の軌跡	藤井正伸編著		1	0	0	1	91
09 15	軍縮問題資料9月号 NO.142ー(特集)ヒロ シマ・ナガサキの記 憶	宇都宮軍縮研 究室		2	1	0	3	61 *
09 27	私たちは歩みつづけ るー被爆婦人の集い 25周年記念誌	大阪市原爆被 害者の会婦人 部	「平和への遺 産」シリーズ NO.14]	8	0	1	9	25
09 29	こーぶざれっとOCT1 992	生協ひろしま		1	0	0	1	64
09 33	ヒロシマーナガサキ 被爆体験を語り継ぐ ・・・八王子から26 号	田中憲助編	被爆体験を語 り継ぐ会 (八 王子から)	0	1	0	1	32 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
<b>1992 (平成4) 年</b>								
10 01	ひろしまの歩みとと もに—まこも会創立 四十周年記念誌	広島市退職公 務員連盟(ま こも会)		2	0	0	2	13
10 15	—しずくの水—栃木 県被爆者体験記	栃木県原爆被 害者協議会		35	10	0	45	25
11 01	広島電鉄開業80・ 創立50年史	広島電鉄株式 会社社史編纂 委員会		1	0	0	1	15
11 16	ホザナー主と共に	ジーザスフェ ローシップ広 島		1	0	0	1	65
11 33	被爆47周年原水爆 禁止世界大会報告決 定集	被爆47周年 原水爆禁止世 界大会実行委 員会		1	1	0	2	51
12 01	PEACE—第19回 全国高校生平和集会 ・NO NUKES CONCERT '92報告集	第19回全国高 校生平和集会 実行委員会		0	1	0	1	52
12 02	もり山に誓う第15 集	広島市立清和 中学校		1	0	0	1	43
12 20	原爆の図・福岡展物 語	原爆の図をみ る会・福岡		0	0	3	3	32
12 22	二度とあやまちをく り返さないPKO廃 案を求める女たちの 行動	PKO廃案を 求める女たち の行動 [松井 義子気付]		1	0	0	1	63
13 33	久保仲子さんを偲ん で	[編刊不明]		1	0	0	1	92
<b>1993 (平成5) 年</b>								
01 15	ピカッ、ドーン！— 九死に一生を得た— 銀行員の記録	熊巳武彦(東 京都中野区在 住)		1	0	0	1	91
01 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第45号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	2	0	0	2	32 *
02 06	原爆被害と核実験被 害—資料と証言	原水爆禁止日 本協議会		3	1	0	4	52
02 21	広島・長崎の原爆被 害、世界の核実験被 害の実相の普及と核 兵器廃絶のための国 際シンポジウム	国際シンポジ ウム実行委員 会		1	0	0	1	32

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL	S
1993 (平成5) 年									
02 33	忘れえぬ「あの日」 が怒りとなって—被 爆者集団証言	原水爆禁止東 京協議会		3	0	30	33	52	
03 31	証言—湯来のヒロシ マ	湯来町原爆被 害者の会	[広島県]	54	0	0	54	22	*
03 33	平和への祈りを次代 へ—中野区民戦争体 験記録集	中野区企画部 企画課	中野区	1	0	0	1	41	
03 33	平和を願って—区民 の戦争・戦災体験集	東京都杉並区 総務部総務課		5	0	0	5	41	
04 10	自分史つうしんピバ クシャ第3号	栗原淑江		1	0	0	1	32	
04 30	青桐の下で—「ヒロ シマの語り部」沼田 鈴子ものがたり	広岩近広	明石書店	1	0	0	1	71	
05 10	原爆亭折ふし	中山士朗	西田書店	1	0	0	1	71	
05 10	自分史つうしんピバ クシャ第4号	栗原淑江		2	0	0	2	32	
05 25	世界に問われる日本 の戦後処理 1—「従 軍慰安婦」等国際公 聴会の記録	国際公聴会実 行委員会編	東方出版	0	1	0	1	32	
05 30	原爆、そして戦後	野村英二	亜紀書房	1	0	0	1	71	
05 33	追憶—西宮市民の戦 争体験記	追憶編集委員 会	[兵庫県] 西 宮市遺族会他 6団体	71	21	0	92	25	
05 33	長崎原爆松谷訴訟資 料集5—被爆者の証 言	長崎原爆松谷 訴訟を支援す る会		0	3	0	3	31	
05 33	長崎原爆松谷訴訟資 料集6—松谷英子の 証言	長崎原爆松谷 訴訟を支援す る会		0	1	0	1	31	
05 33	ヒロシマ・ナガサキ を考える第46号	石川逸子編	ヒロシマ・ナ ガサキを考え る会	1	0	0	1	32	*
06 01	ヒバクチャーともに 生きる第11号	原爆被害者相 談員の会		2	0	0	2	31	
06 20	忘れてはならない 「あの日」を	町友会ととも に生きる会		2	2	0	4	31	
06 33	ヒロシマ—ナガサキ 被爆体験を語り継ぐ ・・・八王子から27 号	田中憲助編	被爆体験を語 り継ぐ会 (八 王子から)	1	0	0	1	32	*
07 01	ヒロシマ随想—医師 として被爆者として	丸屋博		1	0	0	1	91	



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1993 (平成5) 年								
07 01	江波地区被爆の概況 —原子爆弾被爆四十 八周年	江波地区社会 福祉協議会		3	0	0	3	44
07 10	ヒロシマ・ナガサキ への旅—原爆の碑と 遺跡が語る	水田九八二郎	中央公論社	1	1	0	2	71
07 10	自分史つうしんヒバ クシャ第6号	栗原淑江		1	0	0	1	32
07 15	虹の碑—原爆被爆者 証言詩抄	増岡敏和	日曜舎	1	0	0	1	71
07 25	木の葉のように焼か れて第27集	同編集委員会	新日本婦人の 会広島県本部	26	1	0	27	63
07 30	想い出の柳父琢治 [ヤナブタクジ]さん	「想い出の柳 父琢治さん」 編集委員会		2	0	0	2	92
07 33	広島・長崎からの証 言	神奈川県選子 市被爆者の会		44	19	0	63	25
08 01	原爆先生—ナガサキ に生きる	江頭千代子	葦書房	0	1	0	1	75
08 01	地底の響きⅡ—中国 人強制連行・安野発 電所建設工事	強制連行され た中国人をた ずねる訪中団		6	0	0	6	32
08 01	子供と学ぶヒロシマ ・ナガサキ	安斎育郎・植 野浩・広瀬方 人・谷口稜暉	コープ出版	0	1	0	1	75
08 03	ひろしまの夏	神戸美和子	草の根出版会	1	0	0	1	71
08 05	私の原爆の記	桥井治		1	0	0	1	91 *
08 06	被爆体験記—平和を 祈りつつ	本郷町原爆被 害者友の会編	本郷町 (広島 県)	123	0	0	123	22 *
08 06	ピカに灼かれて・原 爆体験記第16集	生協原爆被害 者の会・広島 医療生活協同 組合		23	0	0	23	27
08 06	光明団と広島師範と 軍港宇品と原爆とい ま	空辰男 (編集 事務局代表)		6	0	0	6	14 *
08 06	学問の道草—莊司雅 子エッセイ集	莊司雅子	玉川大学出版 部	1	0	0	1	71
08 06	跋行—篠埜潔原爆小 説集	篠埜潔	青磁社	1	0	0	1	71
08 06	秋田の被爆者—ヒロ シマ・ナガサキの証 言	秋田県原爆被 害者団体協議 会		48	0	0	48	25
08 09	原爆体験記第8集	恵の丘長崎原 爆ホーム		0	28	0	28	31

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1993 (平成5) 年								
08 10	孫たちへの証言第6集—こんなことがあっただヨ	福山琢磨編	新風書房	3	1	0	4	71 *
08 10	自分史つうしんヒバクシャ第7号	栗原淑江		2	1	0	3	32
08 15	広島市医師会だより	広島市医師会		0	1	0	1	82 *
08 31	証言1993—ヒロシマ・ナガサキの声第7集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	4	9	0	13	32 *
08 31	原水爆禁止1993年世界大会の記録	原水爆禁止世界大会実行委員会		1	0	0	1	51
08 33	私たちの町にも広島・長崎があった	日本福祉大学附属高校2年C組		22	13	0	35	43
09 10	自分史つうしんヒバクシャ第8号	栗原淑江		2	0	0	2	32
09 33	ヒロシマ・ナガサキを考える第47号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
10 01	落暉燃ゆ—旧制広島高等学校創立70周年記念誌	広島高等学校同窓会		17	0	0	17	14
10 10	自分史つうしんヒバクシャ第9号	栗原淑江		2	1	0	3	32
10 20	追悼記・増補—ヒロシマの願い	広島女高師附属山中高等女学校原爆死没者追悼文集編集委員会		83	0	0	83	14 *
10 30	被爆者の死と生	東京都原爆被害者団体協議会(東友会)		74	36	0	110	25
10 30	泉(広島編)	江崎玄編	星文舎社	11	0	0	11	71
10 33	原爆から半世紀—苦難に耐えた証人達	島根県原爆被害者協議会・浜田支部		31	2	0	33	25
10 33	平成5年度小・中学生の広島派遣体験レポート	目黒区総務部総務課		1	0	0	1	41
11 10	自分史つうしんヒバクシャ第10号	栗原淑江		1	2	0	3	32
11 33	被爆48周年原水爆禁止世界大会報告決定集	被爆48周年原水爆禁止世界大会実行委員会		1	1	0	2	51

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1993 (平成5) 年								
12 01	駆けぬけてー羽原好恵追悼集	羽原好恵追悼集刊行委員会		1	0	0	1	91
12 08	歩兵第11連隊史	鯉11会		3	0	0	3	11
12 10	自分史つうしんヒバクシャ第11号	栗原淑江		1	0	0	1	32
12 33	叫び第2号	富山県被爆者の会		14	4	0	18	25
1994 (平成6) 年								
01 01	ヒロシマ・ナガサキを考える第48号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会 光文社	1	0	0	1	32 *
01 33	宝石			1	0	0	1	81
02 01	己斐一創立120周年記念誌	広島市立己斐小学校		3	0	0	3	14
02 28	ヒロシマから平和な未来をーアジア青年平和フォーラム発言報告集	日本青年学生平和友好祭実行委員会	新潮社	1	0	0	1	61
03 10	自分史つうしんヒバクシャ第14号	栗原淑江		0	2	0	2	32
03 25	核絶対否定への歩み	森滝市郎	溪水社	1	0	0	1	72
03 25	金沢法学第36巻第1・2合併号ー岩佐幹三教授退官記念論文集			1	0	0	1	84
03 31	炎の歌・第3集	群馬県原爆被災者の会 (群友会)		30	2	0	32	25
03 33	土の器	間野絢子		1	0	0	1	91
04 01	生かされてーヒロシマを語る会十年の歩み	ヒロシマを語る会 (代表: 吉田博直)		25	0	0	25	29 *
04 10	自分史つうしんヒバクシャ第15号	栗原淑江		1	1	0	2	32
05 01	いずみ5月号		いずみ社 (大阪市)	0	1	0	1	84
05 03	被災40周年ー1994・3・1ビキニデーの記録	被災40周年1994年3・1ビキニデーー静岡県実行委員会編		0	1	0	1	52
05 06	感性で撮るうまい写真ー写真上達の決め手はバーチャルトレーニング	井上清司	研光新社	1	0	0	1	71

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1994 (平成6) 年								
05 10	自分史つうしんヒバクシャ第16号	栗原淑江		1	2	0	3	32
05 14	元小倉陸軍病院派遣 広島原爆防空衛生隊 の記	元小倉陸軍病 院派遣広島原 爆防空衛生隊		6	0	0	6	11 *
06 01	ヒバクチャーともに 生きる第12号	原爆被害者相 談員の会		1	0	0	1	31
06 10	自分史つうしんヒバクシャ第17号	栗原淑江		1	1	0	2	32
06 20	エッセイ広島(創刊 号)	清原和子(編 集発行代表)		1	0	0	1	82
06 21	広陵百年史	広陵学園		2	0	0	2	14
06 25	ヒロシマ・ナガサキ -死と生の証言-原 爆被害者調査	日本原水爆被 害者団体協議 会	新日本出版社	257	165	0	422	28
06 33	ピース・トーカーき みたちにつたえたい IV	財団法人長崎 平和推進協会 継承部会		0	10	0	10	41
07 01	草の根平和と行進の道 程4	日野市総務部 庶務課		1	0	0	1	41
07 07	父母の現代史-部落 問題と平和教育2	広島県同和教 育研究協議会		15	0	0	15	45
07 10	加害基地字品-新し いヒロシマ学習	空辰男	汐文社	1	0	0	1	71
07 10	爆前・爆後-広島を 生き得た-教師のド キュメント	豊田清史	創樹社	1	0	0	1	71
07 10	自分史つうしんヒバク クシャ第18号	栗原淑江		1	2	0	3	32
07 15	「はだしのゲン」自 伝	中沢啓治	教育史料出版 会	1	0	0	1	71
07 20	原爆機反転す-ヒロ シマは実験室だった	若木重敏	光文社	1	0	0	1	71
07 20	大牟田の空襲第21 集	大牟田の空襲 を記録する会		0	1	0	1	32
07 25	木の葉のように焼か れて第28集	新日本婦人の 会広島県本部		20	1	0	21	63
07 30	人間を返せ第4集- 原爆死没者の記録	大阪市原爆被 害者の会		73	30	0	103	25
07 33	わたしの八月	松柳須磨子		1	0	0	1	91
08 01	孫たちへの証言第7 集-「なんとしても 語り継ぎたいこと」	「自分史教室」 講師・福山 琢磨(編)	新風書房	8	0	1	9	71 *

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1994 (平成6) 年								
08 01	流燈	広島市立高等 女学校・広島 市立舟入高等 学校同窓会		31	0	0	31	14
08 03	「この子たちの夏」 と共に歩んだ10年	「この子たち の夏」上演実 行委員会・金 沢		1	0	4	5	32
08 06	ピカドンー残刻の軌 跡ー被爆50周年記 念誌	神石郡原爆被 害者協議会	〔広島県〕	80	1	0	81	22
08 06	ピカに灼かれて・被 爆体験記第17集	広島医療生協 原爆被害者の 会		17	0	0	17	27
08 06	ああ麗しき太田川ー 広島県立工業学校原 爆追悼集第1集	広島県立広島 工業学校同窓 会・広島県立 広島工業高等 学校		8	0	0	8	14
08 06	ノー・モア・ヒロシ マー50年後の空洞 と重さ	小倉豊文	風濤社	1	0	0	1	71
08 06	被爆の惨状ー広島第 一陸軍病院庄原分院 山内病棟	山内社会福祉 協議会		1	0	0	1	44
08 09	原爆体験記第9集	恵の丘長崎原 爆ホーム		0	24	0	24	31
08 09	証言1994ーヒロ シマ・ナガサキの声 第8集	長崎の証言の 会	汐文社〔発売〕	2	14	0	16	32
08 10	自分史つうしんヒバ クシャ第19号	栗原淑江		1	0	0	1	32
08 10	続・女たちの太平洋 戦争ー旧宇和島高女 同窓生の記録	作業社 (愛媛 県立宇和島南 高等学校同窓 会)		1	1	0	2	14
08 15	広島市医師会だより	広島市医師会		1	1	0	2	82 *
08 31	平和の構築と都市の 役割ー核兵器廃絶を 目指して	世界平和連帯 都市市長会議 事務局	広島平和文化 センター	2	2	0	4	41
08 31	原水爆禁止1994 年世界大会の記録	原水爆禁止世 界大会実行委 員会		5	1	0	6	51

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1994 (平成6) 年								
08 33	似島-広島とヒロシマを考える	原水爆禁止似島少年少女のつどい実行委員会		1	0	0	1	52
08 33	いずみ特集号1994年8月-私の戦争体験第16集-前衛	大阪いずみ市民生活協同組合		0	1	0	1	64
08 33			日本共産党中央委員会	1	0	0	1	65
09 01	ヒロシマ・ナガサキを考える第50号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	2	1	0	3	32 *
09 10	自分史つうしんヒバクシャ第20号	栗原淑江		1	0	0	1	32
09 20	第7回どう生きる高齢化社会-銀の雫文芸賞入選作品集	社会福祉法人NHK文化事業団(編)	公益新宅零石とみ文芸賞基金	1	0	0	1	65
09 33	それぞれの「黒い雨」-50年前の日記から	旧制広島第一中昭和17年卒業・壬午会		84	0	0	84	14
10 01	原爆・あの日あの時-広島・長崎の被爆証言・第2集	大田区原爆被害者の会(大友会)	[東京都]	11	6	0	17	25
10 10	広島原爆の思い出-被爆体験文集	[島根県] 伯太町被爆者協議会		20	0	0	20	25
10 10	自分史つうしんヒバクシャ第21号	栗原淑江		1	2	0	3	32
10 10	地平線	広島KJ法研究会		1	0	0	1	82
10 33	平和のために5-学び、調べ、表現する	平和・国際教育研究会編		1	0	0	1	61
10 33	平成6年度小・中学生の広島派遣体験レポート	目黒区総務部総務課		1	0	0	1	41
11 01	熊本近代文学館友の会文集第2号	熊本近代文学館友の会編		1	0	0	1	65
11 10	自分史つうしんヒバクシャ第22号	栗原淑江		0	4	0	4	32
12 01	広島市平和祈念式に参加して-平成6年度派遣団記念文集	甲府市地域振興課		1	0	0	1	41
12 10	自分史つうしんヒバクシャ第23号	栗原淑江		1	2	0	3	32

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1994 (平成6) 年								
12 16	核の半世紀—目撃者は語る	財団法人広島平和文化センター		2	0	0	2	41
12 28	生命もてここに証す—原爆死没者を追悼して・1994年版	東友会(東京都原爆被害者団体協議会)		13	3	0	16	25
1995 (平成7) 年								
01 01	ヒロシマ・ナガサキを考える第51号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
01 04	戦災復興事業誌	戦災復興事業誌編集研究会・広島市都市整備局都市整備部区画整理課	広島市都市整備局都市整備部区画整理課	1	0	0	1	13
01 10	自分史つうしんヒバクシャ第24号	栗原淑江		1	0	0	1	32
01 17	回顧50年—被爆者の手記	瀬戸田町原爆被害者の会	[広島県]	48	0	0	48	22 *
01 18	わが子に伝える私の戦後50年	東京新聞地方部・社会部編	東京新聞出版局	4	0	0	4	74
01 25	第2回国連軍縮広島会議—国連と軍縮シンポジウム報告書	国連軍縮広島会議実行委員会		2	0	0	2	41
02 01	実録・長い手紙	郡家真一		0	1	0	1	91
02 05	原爆と聖書	川野正七	三月書房	0	1	0	1	71
02 20	女たちの八月十五日—もうひとつの太平洋戦争	小学館(編)	小学館	1	1	0	2	71
02 28	続・母を語る—広島 of トップを育てた42人の母	請川洋一編	春秋社	1	0	0	1	72
02 33	藤田京郎追悼文集—付記=思い出の記・語録	デルタ工業株式会社		3	0	0	3	92
02 33	どうやって「ヒロシマ」を伝えるか—悩んでいる一人として	栗栖武士郎	ひろしまピースネットワーク	1	0	0	1	52
03 01	いしぶみ—広島郵便局原爆殉職者追悼誌	広島郵便局原爆殉職者追悼誌発行委員会・広島西郵便局		4	0	0	4	13

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
03 01	原爆と文学1995年版	原爆と文学の会	(日曜舎)	2	0	0	2	65
03 01	わたしのくヒロシマ - 真実井房子さんの証言	埼玉県立朝霞高等学校(94年度入学)1年7組担任 竹内良男		1	0	0	1	43
03 10	あの日・・・「ヒロシマ・ナガサキ死と生の証言」より	日本原水爆被害者団体協議会編	新日本出版社	65	50	0	115	28
03 10	戦禍の記憶 - 娘たちが書いた母の「歴史」	今川仁祝編著	大学教育出版(岡山市)	1	0	0	1	45
03 10	若潮三期の絆 - 船舶特幹三期生の記録	陸軍船舶特別幹部候補生第三期生会	[発行者:和田功]	51	0	0	51	11
03 10	自分史つうしんヒバクシャ第26号	栗原淑江		1	0	0	1	32
03 11	蔵本淳教授退官記念業績集	広島大学原医研血液内科同門会		1	0	0	1	92
03 20	原爆を見た聞こえない人々 - 長崎からの手話証言	長崎県ろうあい福祉協会・全国手話通訳問題研究会長崎支部編	文理閣	0	18	0	18	65
03 20	平和への祈りを次代へ - 中野区戦争体験記録集第3集 - 原子雲第2集	中野区企画部企画課	中野区	19	9	0	28	41
03 20	わたしの放浪記	足立区原爆被害者の会(足立会)	[東京都]	21	5	0	26	25
03 20	岩手の被爆者は願う	佐々木久子	法蔵館	1	0	0	1	71
03 25	平和と教育研究・年報・VOL.22	岩手県原爆被害者団体協議会		33	1	0	34	25
03 30	H I B A K U S H A 援護交流の集い - 被爆50周年記念	広島平和教育研究所		3	0	0	3	45
03 30	未来への警鐘 - 被爆者は語る	大阪市原爆被害者の会・婦人部		4	1	0	5	25
03 31	矢賀原爆戦災誌	香川県原爆被害者の会編	被爆50周年 記念事業実行 委員会	110	18	2	130	25
03 33		矢賀学区連合町内会		26	0	0	26	44 *



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
03 33	昭和20年夏の思い出	デルタ18会		45	0	0	45	14
03 33	伝えていこう・このことを一戦後50周年・被爆50周年記念事業	東大阪市・東大阪市原爆被害者の会		23	9	0	32	25
03 33	ヒロシマーナガサキ被爆体験を語り継ぐ・・・八王子から29号	田中憲助編	被爆体験を語り継ぐ会 (八王子から)	2	0	0	2	32 *
04 01	原爆許すまじー被爆体験集第4集	鹿児島県原爆被爆者福祉協議会		177	552	0	729	31
04 10	自分史つうしんヒバクシャ第27号	栗原淑江		3	0	0	3	32
04 16	21世紀への伝言ーヒロシマ・ナガサキからの被爆証言	福岡市原爆被害者の会		31	98	0	129	25 *
04 20	長崎の鐘	永井隆	サンパウロ	0	1	0	1	71
04 20	この子を残して	永井隆	サンパウロ	0	1	0	1	71
04 25	八月六日上々天気	長野まゆみ	河出書房新社	1	0	0	1	71
04 33	被爆者援護法国会審議・参考人の意見陳述	東京都原爆被害者団体協議会 (東友会) 編		4	0	0	4	25
05 01	統・水をくださいー被爆50周年記念・創立20周年記念	相模原原爆被災者の会	[神奈川県]	13	10	0	23	25 *
05 01	十日間の空白ー被爆地広島救援の記録	飯島薫		1	0	0	1	91
05 08	千葉県原爆体験集	千葉県原爆被爆者友愛会		45	17	2	64	25
05 10	原爆へ平和の鐘を (第3巻)ー奈良県原爆被害者の手記	奈良県原爆被害者の会 (わかきさ)		25	3	0	28	25
05 10	自分史つうしんヒバクシャ第28号	栗原淑江		0	2	0	2	32
05 12	郷にうつりてー広島市己斐国民学校学童集団疎開記録	石田秋三		1	0	0	1	91
05 15	戦争と庶民1940-49ー第3巻空襲・ヒロシマ・敗戦	佐藤靖編	朝日新聞社	2	2	0	4	74
05 15	軍縮問題資料	宇都宮軍縮研究室		1	0	0	1	61 *

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
05 20	つたえてください・あしたへ・・・-聞き書きによる被爆体験証言集I	エフコープ生活協同組合		7	14	0	21	64
05 20	平和を求めて五十年	杉山秀夫		1	0	0	1	91
05 20	被爆50周年・非核の願いさらに	非核の政府を求めると編	新日本医学出版社	3	0	0	3	52
05 25	統・未来を語りつづけて-原爆被爆五十年事業	広島県原爆被爆教職員会・広島県教職員組合		9	0	0	9	26
05 25	灼かれた記憶を凍る世界で	天瀬裕康	創元社	1	0	0	1	71
05 26	崇徳学園百二十年史	崇徳学園百二十年史編纂委員会	崇徳学園	8	0	0	8	14
05 30	閃光のかたりべー被爆50周年記念誌・被爆の証言	泉佐野市原爆被害者協議会	[大阪府]	17	7	0	24	25
05 33	筑後の被爆者たちー死の灰を浴びて50年	福岡県南部被爆者連合会		27	48	0	75	25
06 01	平和がいちばんいいー聞き書き被爆体験	しらさぎ会(埼玉県原爆被害者協議会)・埼玉県生活協同組合連合会	埼玉県生活協同組合連合会	7	4	0	11	25
06 01	ヒバクシャーとともに生きる第13号	原爆被害者相談員の会		2	0	0	2	31
06 04	鳩になってー江戸川・被爆者の証言第4集	江戸川原爆犠牲者追悼碑の会	[東京都]	48	26	0	74	31
06 10	デルタの記	暮しの手帖編	暮しの手帖社	1	1	0	2	71
06 10	夏の声	研井悦子	短歌新聞社	1	0	0	1	71 *
06 10	閃光を浴びてー広島で原子爆弾被爆体験	川口隆	[岡崎市]	1	0	0	1	91
06 19	ヒロシマいのちの伝言ー被爆者高橋昭博の50年	高橋昭博	平凡社	1	0	0	1	71 *
06 19	福岡大空襲ー語りつきー6・19平和のための福岡女性のつどい	福岡婦人団体交流会		0	2	0	2	63
06 20	ロザリオの鎖	永井隆	サンパウロ	0	1	0	1	71

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
06 21	戦後・被爆50年ー核兵器のない地球のために	原水爆禁止日本協議会		1	1	0	2	52
06 23	禁じられた原爆体験	堀場清子	岩波書店	1	0	0	1	71
06 25	写真集・ナガサキ・傷痕癒えぬままにー苦悩の50年を生き	黒崎晴生		0	3	0	3	91
06 25	原爆被爆体験記・めがね橋とヤコちゃん	黒崎美千子 (文・絵)		0	1	0	1	91
06 25	長崎<11:02> 1945年8月9日	東松照明	新潮社	0	6	0	6	71
06 25	太平洋戦争一兵士と市民の記録	集英社	集英社	1	0	0	1	71
06 30	語り継ごう「被爆者の心」	三原市原爆被害者の会	[広島県]	9	0	0	9	22 *
06 30	三原市医師会史(1)	三原市医師会		3	0	0	3	15
06 33	この怒りをー被爆50周年特集・長崎版	国鉄労働組合 長崎県支部・ 国労原爆被爆者対策協議会		0	32	0	32	26
06 33	虹の約束ー長崎50年聞き書き集	被爆体験聞き書きグループ	長崎原爆被災者協議会・生活協同組合コープながさき	0	19	0	19	24
06 33	被爆から50年ー追憶の手記集	広島原爆被害者援護評議会		30	0	0	30	31
06 33	きのご雲ー被爆50年記念誌	山梨県原水爆被爆者の会		51	16	5	72	25
06 33	私の原爆・平和教育	末永浩		0	1	0	1	91
06 33	原子雲の青春ー昭和20年4月長崎工業経営専門学校入学者被爆体験集	「原子雲の青春」刊行世話人(代表:畑野昭雄)	「原子雲の青春」刊行事務局	0	61	0	61	14
06 33	被爆50周年に思う	28会(河内長野市原爆被害者の会)		17	5	1	23	25
07 01	原爆ー三重の被爆者証言	三重県原爆被災者の会		52	10	0	62	25
07 01	原爆ドーム、慰霊碑は語るー原爆体験記第2集	尾道地区原爆被害者の会	[広島県]	26	0	0	26	22 *
07 01	占領下の広島ー反核・被爆者運動草創期ものがたり	渡辺力人・田川時彦・増岡敏和編	日曜舎	1	0	0	1	71
07 01	白い虹	川島義高	学習研究社	1	0	0	1	71

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
07 01	歴史地理教育NO. 535		歴史教育者協議会	0	1	0	1	84
07 01	原爆を語るー被爆50周年記念	品川被爆者の会	[東京都]	10	6	0	16	25
07 05	南区たより[広島市]	広島市南区役所地域振興課		2	0	0	2	41
07 07	鳩ー夏でした。目を閉じると、兄が笑っていた	新潟県原爆被害者の会(新友会)		9	1	0	10	25
07 10	自分史つうしんヒパクシャ第30号	栗原淑江		3	0	0	3	32
07 15	統・いのちある限りー被爆50周年記念	神奈川県原爆被災者の会		34	18	0	52	25
07 15	はまゆうー訴えたいあの日の出来事ー被爆50周年記念証言集	横浜市原爆被災者の会	[神奈川県]	136	62	0	198	25
07 15	八月九日の語り部ーいま子どもたちに伝えたい私の被爆者救護体験	笠原美代	光陽出版社	0	1	0	1	71
07 15	さまざまな戦後[第2集]	伊藤ルイ他	日本経済評論社	1	0	0	1	71
07 20	生きるー被爆者の自分史	あったか編集工房(編集・構成)	被爆者の自分史編集委員会(代表:目見田武市)	19	0	0	19	32
07 20	閃光の下からー城山国民学校の被爆記録[復刻版]	朝日ソノラマ編集部編、(文)林成郎(写真)松本栄一	朝日ソノラマ	0	2	0	2	71
07 20	人類は生きねばならぬー核時代を乗り越えてー森瀧市郎の歩み	森瀧市郎追悼集刊行委員会		4	0	0	4	92
07 20	広高とヒロシマ	広島高等学校同窓有志の会		31	0	0	31	14
07 20	ヒロシマという思想ー「死なないために」ではなく「生きるために」	松元寛	東京創元社	1	0	0	1	71
07 21	孤塁を守る戦いー追悼・岡正治	岡まさはる追悼集刊行委員会		2	0	0	2	92

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
07 21	原爆ドームの祈り	長谷川敬(文) ・山本東陽 (写真)	講談社	1	0	0	1	71
07 25	木の葉のように焼か れて第29集	新日本婦人の 会広島県本部		23	0	0	23	63
07 28	原爆被害者の「叫び 」第2集-被爆50 周年特集	久井町原爆被 害者の会	[広島県]	47	0	0	47	22 *
07 30	青い空を-いしかわ の被爆者たちの50 年	石川県原爆被 災者友の会		27	14	3	44	25
07 30	生命もてここに証す -1995年版	社団法人東友 会・東京都原 爆被害者団体 協議会		5	3	0	8	25
07 31	ForアスSHOG EN-私たちの明日 への証言	原爆被害者証 言のつどい		18	0	0	18	29
07 31	戦争と平和-67人 の証言	小田桐誠(編 著)	三一書房	7	1	0	8	71
07 33	被爆して生きて50 年-被爆50周年祈 念誌	京都府京都府 原爆被災者の 会(京友会)		75	16	0	91	25
07 33	あの日への祈り-第 一県女原爆50周年	皆実有朋会		8	0	0	8	14
07 33	惨事を想い起こして	古川修 [元長 崎県公立学校 教員]		0	1	0	1	91
07 33	被爆体験文集・原爆 と地獄第3集-被爆 50周年記念	鳥取県原爆被 害者協議会		113	4	0	117	25
07 33	永遠の誓い-戦後5 0周年記念によせて	葛飾区総務部 総務課		2	1	0	3	41
07 33	被爆-50周年を迎 えて	広島県立賀茂 高等女学校 (昭和21年 3月卒業生)		31	0	0	31	14
07 33	広島・長崎被爆体験 文集	宇治市平和都 市推進協議会 ・京都府原爆 被災者の会宇 治支部		21	7	0	28	25
08 01	被爆者の証言	甲奴町原爆被 害者の会	[広島県]	53	0	0	53	22 *
08 01	被爆者ととともに	原爆被害者相 談員の会編	中国新聞社	4	0	0	4	31

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995(平成7)年								
08 01	被爆の実相—被爆50周年の節目にあたり	高知県原爆被爆者の会		26	8	0	34	25
08 01	いのち—21世紀への遺言	大分県原爆被害者団体協議会・大分県生活協同組合連合会・大分県連合青年	みずき書房	19	32	0	51	25
08 01	真赤な原子雲—祖母が孫に語る戦争と原爆の話	こばと幼稚園 平和教育委員会 [広島県府中町]	汐文社	40	0	0	40	43
08 01	いのちの輝き第3集—桐生のヒロシマ	桐生平和委員会		2	0	0	2	61
08 01	ヒロコ・生きて愛—原爆乙女の戦後50年	田坂博子	学習研究社	1	0	0	1	71
08 01	孫たちへの証言第8集—50年前のあのことこのこと	自費出版センター(企画・制作)・福山琢磨(編)	新風書房	6	4	0	10	71*
08 01	ヒロシマ・こどもたちの夏	村上啓子(作) 堀口忠彦(絵)	溪水社	1	0	0	1	71
08 01	ながさき総合文芸誌ら・めえる第31号—被爆50年に	広田助利編	長崎ペンクラブ	0	1	0	1	83
08 01	遺すことば—原爆被爆体験記・第3集	茨城県原爆被爆者協議会		52	18	0	70	25
08 01	鎮魂の叫び第1集	岐阜県原爆被爆者の会		33	3	0	36	25
08 05	被爆体験記・被爆50年を生きて	作木村原爆被爆者友の会	[広島県]	83	0	0	83	22*
08 05	いのり—被爆50年記念文集(第4集)	宮城県原爆被害者の会		34	13	0	47	25
08 05	未来への証言—青年はヒロシマ・ナガサキを忘れない	被爆体験を聞く [東京都] 北区の会		6	5	0	11	32
08 05	広島大学医学部50年史・資料編	広島大学医学部同窓会(広仁会)		2	0	0	2	14
08 05	ヒロシマと平和の福音	宗藤尚三	新教出版社	1	0	0	1	71*

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
08 05	忘れえぬ日－長崎医科大学被爆50周年記念誌	長崎大学医学部原爆復興50周年医学同窓記念事業会		0	17	0	17	14
08 05	南区だよりNO. 147	広島市南区役所地域振興課		2	0	0	2	41
08 05	広島県医師会速報	広島県医師会		2	0	0	2	82 *
08 06	ピカに灼かれて・被爆体験記第18集	広島医療生協原爆被害者の会		9	2	0	11	27
08 06	炎の墓標第2集－被爆50周年記念誌	三和町原爆被害者友の会編集委員会	[広島県双三郡]	96	1	0	97	22 *
08 06	炎の記憶－安芸門徒の終戦50周年	浄土真宗安芸教区広陵東組仏教社年会		17	0	0	17	65
08 06	被爆体験記・忘れ得ぬ日	布野村原爆被害者友の会	[広島県]	90	0	0	90	22 *
08 06	被爆50年・あの日から明日へ	世田谷被爆者の会(世田谷同友会)	[東京都]	36	10	0	46	25
08 06	新編・一しずくの水	栃木県原爆被害者協議会		13	4	0	17	25
08 06	50年ころあたらに－ひばくのころでシリーズ4	町友会とともに生きる会		4	1	0	5	31
08 06	語り継いで・・・「被爆体験・聞き語り」集	生協ひろしま		18	0	0	18	64
08 06	凍りついた夏の記憶－ヒロシマ・50年目の証言	竹内良男編	雲母書房	2	0	0	2	71 *
08 06	ああ歴しき太田川－広島県立広島工業学校原爆追悼集・第2集	広島工業高等学校同窓会(編集代表:岡本智恵子)編	広島工業高等学校同窓会・広島県立広島工業高等学校	13	0	0	13	14
08 06	八月のドーム	山本志津子		2	0	0	2	91
08 06	ヒロシマ50年－或少年兵の手記	小笠邦久	蝸牛社	1	0	0	1	71
08 06	消えた十字架(ロザリオ)－被爆50周年折念	碓井静照	ガリバープロダクツ	1	0	0	1	91
08 06	詩集・それでも太田川は美しい	水谷なりこ	編集工房ノア	1	0	0	1	92

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
08 06	閃光・後世への伝言集ー被爆50周年記念誌	東城町原爆被害者の会・東城町原爆死没者遺族の会	[広島県]	98	0	0	98	22
08 06	平和	広島市安公民館		5	0	0	5	44
08 06	わたしたちの8月6日	ひまわり会・高陽第一診療所		66	0	0	66	65
08 06	十四歳・平和のいしずえ	大竹小学校昭和19年卒業生		32	0	0	32	14
08 06	川柳句集	奥本清子	広島川柳会	1	0	0	1	65
08 06	句文集・焦土の祈り	広島番傘川柳会		7	0	0	7	65
08 06	ヒロシマ新聞(1945年8月7日)	中国新聞労働組合		5	0	0	5	62
08 07	平和ー被爆50年史	全国電気通信労働組合・全電通原爆被爆者協議会中央本部		26	0	0	26	26
08 09	いのちの証Ⅰー原爆被害と被爆者	長崎原爆被災者協議会		0	34	0	34	24
08 09	いのちの証Ⅱー被爆者が生きた「昭和」	長崎原爆被災者協議会		0	8	0	8	24
08 09	原爆体験記第10集	恵の丘長崎原爆ホーム		0	30	0	30	31
08 09	ナガサキ50年ー原爆被爆体験記	伊商[佐賀県立伊万里商業学校]学徒報	ナガサキ50年刊行会	0	47	0	47	14
		国隊(徳久悦次編)						
08 09	原爆記ーあの日、八月六日の私はー長崎師範学校被爆50周年祈念	長師23年卒生被爆祈念誌発刊会		0	36	0	36	14
08 09	ピース・トーカーきみたちにつたえたいV	長崎平和推進協会		0	11	0	11	41
08 09	南京大虐殺と原爆ーアジアの声第9集	戦争犠牲者を心に刻む会編	東方出版	1	0	0	1	32
08 09	原爆句抄ーA-BO MB・HIBAKU	松尾あつゆき	新樹社	0	1	0	1	71
08 09	原爆の医学的影響ー被爆50周年記念誌	長崎大学		0	1	0	1	14



月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
08 09	原爆五十周年記念誌	三菱重工業長崎原爆供養奉賛会		0	4	0	4	15
08 09	長崎医科大学原爆被災復興日誌	長崎大学医学部原爆復興50周年医学同窓会記念事業会		0	1	0	1	14
08 10	記憶の光景—10人のヒロシマ	江成常夫	新潮社	10	0	0	10	71
08 10	原爆と日本人—ヒロシマ・ナガサキを忘れない	蛭川真夫編	朝日新聞社	1	0	0	1	74
08 10	キノコ雲から這い出した猫	江戸家猫八	中央公論社	1	0	0	1	71 *
08 10	自分史つうしんヒバクシャ第31号	栗原淑江		1	1	0	2	32
08 15	修羅—福井県被爆者50年目の証言	福井県原爆被害者団体協議会		21	2	0	23	25 *
08 15	激闘のビルマ、鎮魂の長崎	吉田悟	東京経済	0	1	0	1	71
08 15	あなたに聞いてほしい・戦争を伝える本	山本典子編 (戦争を伝える本企画室)	人の森出版	1	0	0	1	75
08 15	川柳原爆句集「原子野」	原爆川柳保存会編	緑書房	8	0	0	8	32
08 15	ヒロシマの原点へ—自分史としての戦後50年	松江澄	社会評論社	1	0	0	1	71
08 15	歌集・広島	竹内一作	季刊ふるさと紀行編集部	2	0	0	2	75
08 15	広島市医師会だより	広島市医師会		6	2	0	8	82 *
08 15	女性自身		光文社	1	0	0	1	81
08 25	原爆・表現と検閲—日本人はどう対応したか	堀場清子	朝日新聞社	1	0	0	1	74
08 28	語りつかぬばならないこと—原爆被爆50周年記念誌	和歌山県原爆被災者の会		147	35	2	184	25
08 31	証言1995—ヒロシマ・ナガサキの声第9集	長崎の証言の会	汐文社[発売]	2	14	0	16	32
08 31	原爆被爆50年・私達の被爆体験集—八王子より	八王子市原爆被爆者の会	[東京都]	10	6	0	16	25

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
08 31	原水爆禁止1995年世界大会の記録	原水爆禁止世界大会実行委員会		4	2	0	6	51
08 33	被爆50年目の証言—あの日忘れまじ	神辺町原爆被害者の会	〔広島県〕	49	0	0	49	22
08 33	観音被爆50年	(広島市) 観音被爆証言編集委員会		36	0	0	36	32
08 33	あの日を語る一言—五十年目の広島から	広島県女性会議		35	0	0	35	63
08 33	私の被爆体験談	荒角理幸 (元山陽ジャスコ会長)	(呉東ロータリークラブ)	1	0	0	1	82
08 33	なくしたいピカドン第2集	広島中央保健生協被爆者の会		8	0	0	8	27
08 33	戦後50年—戦争・被爆を語る—長崎新聞OB体験集	長崎新聞労働組合		0	8	0	8	15
08 33	原爆被災50周年追悼誌	中国地方建設局		30	0	0	30	13
08 33	松山市民の平和への願い	松山市		3	0	0	3	41
09 01	青森県の被爆者—50年後に語られた広島・長崎の証言	青森県原爆被害者の会		52	10	0	62	25
09 01	梶葉—かじのは—通巻Ⅲ	「梶葉」刊行委員会		1	0	0	1	91
09 01	ヒロシマ・ナガサキを考える第53号	石川逸子編	ヒロシマ・ナガサキを考える会	1	0	0	1	32 *
09 01	島を出た民の戦争体験集—沖縄県人会兵庫県本部結成50周年記念出版	沖縄県人会兵庫県本部		0	1	0	1	65
09 03	しらうめ—広島県立第二高等女学校母校創立50周年記念誌	広島県立広島第二高等女学校同窓会		92	0	0	92	14 *
09 06	ヒロシマ・一期一会	井上清司	研光新社	1	0	0	1	71
09 10	自分史つうしんヒバクシャ第32号	栗原淑江		3	2	0	5	32
09 15	閃光の日から50年—福島におけるヒロシマとナガサキ	福島県原爆被害者協議会編		26	30	1	57	25

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
09 20	全通広島労働運動史	全通信労働組合広島地区本部		13	0	0	13	26 *
09 26	女性自身		光文社	1	0	0	1	81
09 33	平和祈念文集—終戦50周年記念	滋賀県健康福祉部社会福祉課		3	0	0	3	41
09 33	再びあるまじき—核廃絶こそ私のねがい—被爆・終戦50周年	田辺俊三郎		1	0	0	1	91
10 01	原子爆弾(統) 一県内被爆者の手記と感想	静岡県原水爆被害者の会		43	15	0	58	25
10 10	自分史つうしんヒバクシャ第33号	栗原淑江		2	1	0	3	32
10 15	八万キロの戦争—語り部が伝える真実	片山正年	社会思想社	1	0	0	1	71
10 16	句文集・広島忌	高杉悟泉		1	0	0	1	91
10 17	平和の礎・ヒロシマ	全水道広島水道労働組合		7	0	0	7	26
10 25	御土砂—硫黄島からナガサキへ	大塚一敏	新日本出版社	0	1	0	1	71
10 25	ふるさとは一瞬に消えた—長崎・浦上町の被爆といま	長崎県部落史研究所編	解放出版社	0	10	0	10	65
10 25	とどけ平和の折り第7集—広島平和のパス高森町派遣団報告書	高森町教育委員会平和のパス事務局	高森町教育委員会	2	0	0	2	41
10 31	「皇国臣民」廃業宣言	朱碩	高麗春秋社	1	0	0	1	71
10 31	動員学徒誌—被爆50周年記念	村中和子(広島県動員学徒等犠牲者の会)	広島県動員学徒等犠牲者の会	52	0	0	52	14
10 33	教師・いま原点からの新生—戦後50年・教師たちの誓い	笹森晃編	理論社	1	0	0	1	71
11 01	牛田の被爆—被爆50周年誌・核兵器廃絶を願って	牛田ニュース・町史編集委員会	牛田ニュース	45	0	0	45	65 *
11 04	流光—語り継ごう平和を・被爆50年	修道中学校・修道高等学校		40	0	0	40	14 *
11 10	自分史つうしんヒバクシャ第34号	栗原淑江		1	0	0	1	32

月日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
11 15	長崎医科大学壊滅の 日一救いがたい選択 「原爆投下」	小路敏彦	丸ノ内出版	0	1	0	1	71
11 27	あの日を忘れないー 被爆50周年企画	長崎県時津町		0	72	0	72	41
11 33	国際司法裁判所にお ける広島市長の陳述	平岡敬	広島市市民局 平和推進室	1	0	0	1	41
11 33	第9回青少年広島へ の旅感想文集	品川区総務部 総務課		1	0	0	1	41
12 01	いしゅたる1995 冬NO. 16ー特集 ・原爆50年	堀場清子	いしゅたる社	1	0	0	1	84
12 01	原爆に託されたメッ セージー謎解きを試 みたー被爆者の半生 記	岩崎四郎著	近代文芸社	0	1	0	1	71
12 01	あの時戸坂で・・・ 50年目に古老が語 るピカの実相	城北中・高校 社会問題研究 会		4	0	0	4	43
12 01	被爆50周年の想い	山県郡千代田 町原爆被害者 の会	[広島県]	161	0	0	161	22
12 01	心に残るあの日の手 記集ー被爆・終戦5 0年を迎えて	[広島市中区] 竹屋地区社会 福祉協議会		38	0	0	38	44
12 06	ジュノーさんのよう に第46号	ジュノーの会	[広島県府中 市]	1	0	0	1	65
12 06	百日紅ー被爆50周 年記念誌・会報70 号記念誌	三良坂町原爆 被害者の会	[広島県]	53	0	0	53	22
12 08	語りつぐ平和を第1 3集ー特集戦後50 年	平和を語りつ ぐ秋田婦人の 会		1	0	0	1	63
12 10	自分史つうしんヒバ クシャ第35号	栗原淑江		1	0	0	1	32
12 15	PEACE!PEACE!PEACE! わたしたちに戦争責 任はないのか	日本戦没学生 記念会(わだ つみ会) 編	情況出版	1	0	0	1	61
12 15	紙碑ー被爆老人のあ かし・第4集	広島原爆被爆 者援護事業団		53	0	0	53	31
12 15	原水爆禁止運動資料 集第1期第1巻	小林徹(編・ 解説)	緑蔭書房	1	0	0	1	71
12 15	原水爆禁止運動資料 集第1期第2巻	小林徹(編・ 解説)	緑蔭書房	1	0	0	1	71
12 15	原水爆禁止運動資料 集第1期第3巻	小林徹(編・ 解説)	緑蔭書房	0	1	1	2	71

月 日	書誌名	編著者	発行所	広島	長崎	不明	計	CL S
1995 (平成7) 年								
12 20	小さな十字架を負いてー長崎原爆記	井上和枝(旧姓:安部和枝)	近代文芸社	0	1	0	1	71
12 25	傷痕Ⅲー戦後50年誌	広島県医師会編		9	0	0	9	15 *
12 33	原爆・小倉→長崎	北九州勤労学徒・工場OB・市民の会		0	1	0	1	15
12 33	あの日あのとときー電力会社の被爆と復興の記録	中国電力株式会社		25	0	0	25	15
12 33	平和への願いも新たにー小・中学生広島訪問団文集・第6集(平成7年度)	宇治市平和都市推進協議会		1	0	0	1	41
13 33	1995年広島への旅感想文集	三鷹市企画部企画調整室平和・女性・国際化推進係		2	0	0	2	41
13 33	平成7年度千代田区平和使節団からの報告	東京都千代田区		1	0	0	1	41

